

2015（平成 27）年度  
静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター長特別研究  
「多文化共生の地域課題への取り組みをめぐる総括的研究」  
（研究代表 池上重弘）  
研究成果報告書

## 磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 の詳細分析報告書

2016（平成 28）年 3 月

編集

池上重弘、上田ナンシー直美

# 磐田市東新町団地における生活状況をめぐる調査の詳細分析報告書

## 目次

はじめに 池上重弘（静岡文化芸術大学）	・・・ 1
回答者のプロフィールー基本属性、就労実態、今後の滞在と教育に関する意識ー 池上重弘（静岡文化芸術大学）	・・・ 12
地域での生活ー日本語能力、社会関係、情報収集ー 池上重弘（静岡文化芸術大学）	・・・ 28
磐田市東新町団地における外国人居住者の就労状況 中川雅貴（国立社会保障・人口問題研究所）	・・・ 45
出産・子育てをめぐるサポート・ネットワーク 千年よしみ（国立社会保障・人口問題研究所）	・・・ 59
東新町団地における外国人の子ども 千年よしみ（国立社会保障・人口問題研究所）	・・・ 71
磐田市東新町団地外国人住民の声 イシカワ エウニセ アケミ（静岡文化芸術大学）	・・・ 91

## 資料編

### 単純集計表

単純集計表A 日本人個人調査	・・・ 1
単純集計表B 外国人個人調査	・・・ 10
単純集計表C 外国人世帯調査	・・・ 38

### 調査実施に関する資料

調査実施のお知らせ	・・・ 55
封筒表紙	・・・ 56
調査票A 日本人個人調査	・・・ 57
調査票B 外国人個人調査（日本語）	・・・ 60
調査票B 外国人個人調査（やさしい日本語）	・・・ 67
調査票B 外国人個人調査（ポルトガル語）	・・・ 75
調査票B 外国人個人調査（スペイン語）	・・・ 82
調査票B 外国人個人調査（英語）	・・・ 89
調査票C 外国人世帯調査（日本語）	・・・ 96
調査票C 外国人世帯調査（やさしい日本語）	・・・ 100
調査票C 外国人世帯調査（ポルトガル語）	・・・ 104
調査票C 外国人世帯調査（スペイン語）	・・・ 108
調査票C 外国人世帯調査（英語）	・・・ 112
団地見取り図	・・・ 116

### 説明会に関する資料

説明会案内チラシ	・・・ 117
団地での報告会資料（日本語版パワーポイント）	・・・ 118
団地での報告会資料（ポルトガル語版パワーポイント）	・・・ 134

関連新聞記事	・・・ 150
--------	---------

## はじめに

池上重弘（静岡文化芸術大学）

### 1. 本報告書の位置づけと性格

本報告書は 2014 年度に静岡文化芸術大学が学長特別研究「多文化共生分野の地域課題解決に向けた実践的研究」（研究代表：池上重弘）の一環として実施した「磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査」（以下、東新町団地 2014 調査）の結果に基づき、2015 年度の静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター長特別研究「多文化共生の地域課題をめぐる総括的研究」（研究代表：池上重弘）の一環として分析作業を行った結果をまとめたものである。私たちのチームは 2015 年度に磐田市と静岡文化芸術大学の共同研究として「磐田市多文化共生推進プラン基礎調査（外国人調査）」（以下、磐田市 2015 調査）を実施しているが、東新町団地 2014 調査では団地の全数調査を実施し、磐田市 2015 調査では東新町団地を対象から外したため、実施年度に 1 年の差はあるものの、両者を統合すると 2014 年度と 2015 年度の磐田市における外国人の生活実態と意識が浮かび上がることになる。

東新町団地 2014 調査の結果については、2015 年 2 月 10 日に磐田市多文化共生社会推進協議会において、研究代表者の池上が「磐田市東新町団地調査の概略―速報版―」として最初の報告を行った。続いて 2015 年 3 月 8 日には団地内にある県営住宅集会場において研究チームのメンバーが「磐田市東新町団地調査の結果報告―居住者の皆様へ―」としてより詳しい報告の機会を持った（3 月 8 日の報告資料は本報告書の巻末の付録資料に所収）。本報告書では、2015 年度に行ったより詳細な分析結果を盛り込んだ論文を掲載している。

### 2. 磐田市における外国人の動態と多文化共生施策の展開<sup>(1)</sup>

静岡県磐田市は輸送用機器製造を中心とする工業都市であり、製造品出荷額は浜松市に次いで静岡県下で第 2 位となっている〔静岡県企画広報部情報統計局統計調査課 2014:9〕。天竜川の東岸一帯に位置する磐田市、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村が合併し、2005 年 4 月に現在の磐田市となった。リーマンショック直前の 2008 年 9 月末時点では、総人口 17 万 7 千人のうち、外国人登録者数は 9,936 人で外国人比率は 5.6%となっていた。つまり市民の 18 人に 1 人が外国人であった。製造業分野において間接雇用で働く外国人が多く、ブラジル国籍者が外国人登録者数のほぼ 8 割を占める点に磐田市の特色があった（この点は浜松市や磐田市を含む静岡県西部地域の特色とも言える）。その他には、中国やインドネシアからの研修生・技能実習生、中国人をはじめとする留学生、そして定住型のフィリピン人、ペルー人が目立っていた。また、市内でも県営住宅と UR 都市機構の賃貸住宅（旧公団住宅、以下、UR 住宅）が隣接する東新町地区は、団地の外国人比率がほぼ 5 割に達し、外国人集住地区となっていた。他方、市内には民間アパートに住む外国人も多く、分散型の居住地区もみられた。



磐田市は 2001 年の設立当初から外国人集住都市会議に参加しているが、多文化共生に関する取り組みが本格化したのは、企画調整課内に共生社会推進室が担当部署として設置された 2003 年 4 月からである。それまでにも、1999 年には外国人児童生徒相談員、2001 年には市民課ポルトガル語通訳が配置されたが、外国人住民への対応や多文化共生施策の総合的な調整・推進が進むようになったのは同室の設置を契機としている。2003 年度は、外国人共生社会推進連絡会と外国人共生社会推進庁内連絡会が設置された。前者は日本人市民と市内在住外国人の相互理解を深め、共生社会の推進を図ることを目的に設置され、後者は係長クラスをメンバーに外国人市民への対応を組織的かつ円滑に進めることを目的に設置された。

翌 2004 年度、共生社会推進室は共生社会推進課に昇格し、課にポルトガル語通訳が配置された。前年度の外国人共生社会推進連絡会をより充実させる形で、多文化共生社会推進協議会（以下協議会）が設定された。20 名の委員が施策の検討、関係機関との情報交換、連携事業を実施した。また、ブラジル人 500 人を対象とした実態調査が実施された。

さらに 2005 年度には新磐田市の誕生に伴い、共生社会推進課内に全国の市としては初めての多文化共生係が置かれた。筆者は 2005 年度から会長として協議会に加わっているが、協議会は地域、労働、教育の 3 つの部会に分かれて引き続き活発な議論を行い、年度末の 2006 年 3 月には市への要望を提言書としてまとめて市長に提出した。この年、主にブラジル人 650 世帯を対象とする実態調査が実施された<sup>(2)</sup>。

この当時の東新町団地の様子を描き出してみよう。市の南東部の東新町地区では、1970 年代になると、水田が広がる一帯に戸建て住宅区画と中規模集合住宅区画が隣接する宅地開発が進んだ（表 1）。

表 1 東新町団地の県営住宅と UR 住宅の比較

	県営住宅	UR住宅
建設	1975－1980年	1978年
間取り	3K、3DK	3K、3DK
家賃	約1.4万～3.8万円	約3.3万～3.6万
管理戸数	300戸	150戸

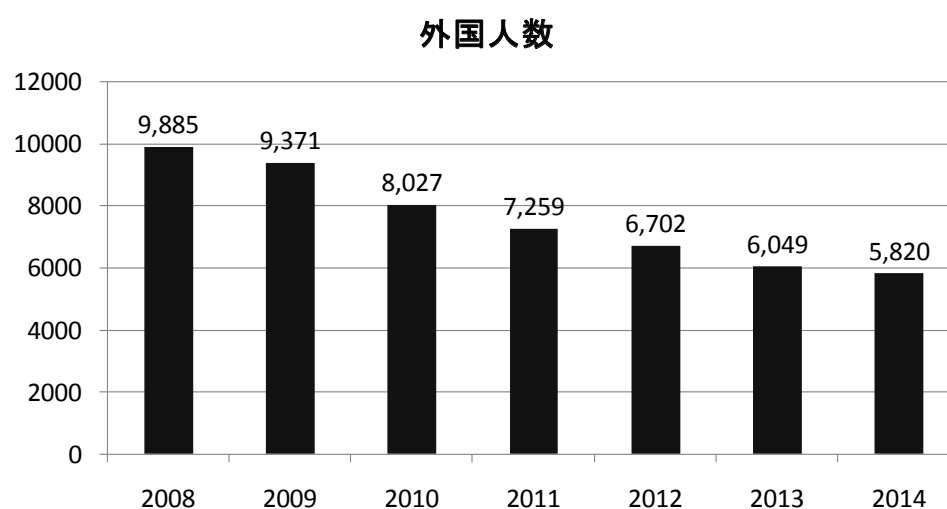
出典：稲葉他〔2008〕

2003 年頃から外国人居住者が急増したが、2002 年から県営住宅と UR 住宅の自治会を含む広域自治会と行政が団地自治会を支援するで団地における外国人急増に対応した。2002 年に通訳サポート委員を作り、2003 年から「通訳サポート制度」を導入した。県営住宅も

UR住宅も居住者の半数近くが外国人だが、外国人居住者の自治会加入率は高く、この頃から現在に至るまで自治会役員の半数近くは外国人が務めている〔池上 2004〕。

景気がよく間接雇用での製造業分野の労働需要が多かった時代にはとくに大きな問題も生じなかったが、2008年のリーマンショックを契機とする景気後退と雇用環境の激変は、間接雇用の不安定さを露骨な形で白日のもとに暴き出すことになった〔松尾 2010〕。2009年以降はそれまでの趨勢とは裏腹に外国人の急減が顕著になり、その後も減少傾向に歯止めがかかっていない（図1）。それは主にブラジル人の減少による（表2）。

図1 各年3月末の磐田市における外国人人口の推移（単位：人）



出典：磐田市資料

表2 磐田市における2008年9月末と2014年3月末の外国人人口の比較（単位：人）

国 籍	全体	ブラジル	フィリピン	中国
年 月				
2008年 9月末	9,936 (100%)	7,519 (75.7%)	726 (7.3%)	732 (7.4%)
2014年 3月末	5,820 (100%)	3,535 (60.7%)	835 (14.3%)	591 (10.1%)
増減	△4,116	△3,984	109	△141

出典：磐田市資料

### 3. 調査の背景と研究の趣旨

上述の通り、筆者は 2005 年度から継続して磐田市多文化共生社会推進協議会会長を務めており、磐田市が 2007 年 3 月に静岡県下ではじめて多文化共生社会推進プランを策定した時も、その 5 年後の 2012 年にプランを改定した時も、同協議会会長として磐田市の多文化共生施策に深く関わってきた。協議会会長としての活動の一環として 2013 年 12 月に磐田市の渡部修市長に同協議会の提言を提出した際、渡部市長から「2008 年のリーマンショック以降、磐田市の外国人集住団地の居住者も大きく異なってきたため、団地居住者の状況がわからなくなり、市としてどのような施策を打てばいいのかわからず困惑している。大学としてぜひ道しるべを示してほしい」と直々の要請を受けた。

筆者は 2002 年度に焼津市の外国人集住団地で居住者の全戸調査を実施し、当該団地の多文化共生施策に資する研究報告を提出した経験を持つ [池上・福岡 2004、2005；福岡・池上 2005]。また、2008 年のリーマンショック前後で、静岡県や浜松市から多文化共生をめぐる大規模調査も受託して実施した [池上 2008；池上・イシカワ 2009；静岡県 2008a；静岡県 2008b；静岡県 2010]。また研究メンバーの一人である千年よしみは 2005 年度に磐田市が実施した「磐田市外国人生活実態調査」にも深く関わった経験を持つ。

これらの調査結果との比較も念頭において調査項目を策定し、リーマンショック後の外国人集住団地における日本人居住者および外国人居住者の実態を把握するとともに、地域での生活や子どもの教育等に関する意識を把握し、磐田市における多文化共生施策推進の一助となるような政策を提言することを本調査の目的として設定した。

### 4. 調査内容の確定に向けての流れ

団地への外国人居住者増加に伴う影響として、大きく住宅管理上の問題と団地コミュニティの問題が挙げられる [稲葉他 2008；池上・福岡 2005]。住宅管理上の問題としては、ゴミの出し方や不法投棄、室内での生活騒音、屋外での生活騒音、無断同居・転貸等、駐車上のトラブル等がある。また、団地コミュニティの運営をめぐっては、日本語でコミュニケーションがとれない、自治会活動に参加しない、回覧・連絡文書が回らないといった課題が挙げられる。東新町団地の場合、上述の通り、自治会活動への参加率は高く、回覧・連絡文書も日本語とポルトガル語で用意して回すような態勢ができていた。しかし、リーマンショック以後のブラジル人の急減により、団地内でできていた多文化共生のしくみがうまく機能しなくなり、市長の発言にあるように、市としても施策展開の方向性を見いだせなくなっているのである。

研究チームとしては、稲葉他 [2008] や福本他 [2015] の先行研究を参考にしながら、東新町団地について以下のような問題意識を抱いた。

- ・団地コミュニティ自体が“制度疲労”を起こしているのではないか。
- ・日本人居住者も含めたコミュニケーション不全に陥っているのではないか。

- ・生活上の騒音をめぐるトラブルの背景には、エスニックな“文化の違い”というより、世代や就労形態の差による生活時間帯の違いがあるのではないか。
- ・団地に外国人は多いが、そもそも団地に「外国人コミュニティ」は存在するか。
- ・外国人側は団地での生活をどう認識しているか。
- ・外国人側は日本人との交流を希望しているのか。
- ・外国人はどんなネットワークの中で生活しているのか。
- ・外国人は日本での生活に何を期待しているのか。

以上の問題意識を持ちながら、2014年5月2日に東新町団地を含む南御厨地区の自治会長、市、自治会連合会、多文化交流センター、静岡文化芸術大学の四者で打合せを行い、調査の大枠について検討した。5月30日には東新町地区の子どもたちが通う磐田市立東部小学校で校長、教頭、外国人担当教諭にヒアリングを実施し、教育面での課題をうかがうと同時に、調査項目に対する要望を聞いた。その後、6月から8月にかけて研究チーム（表3）でのミーティングを重ね、質問項目と選択肢を精査し、9月にかけて調査票の翻訳を進めた。

表3 研究チームの構成

氏名	所属	職位
池上重弘（研究代表者）	静岡文化芸術大学	文化政策学部教授
イシカワ エウニセ アケミ	静岡文化芸術大学	文化政策学部准教授
千年よしみ	国立社会保障・人口問題研究所	国際関係部第一室長
中川雅貴	国立社会保障・人口問題研究所	国際関係部第三室 研究員
上田ナンシー直美	静岡文化芸術大学	准研究員

多文化交流センターが9月21日（日）に開催した「なかよし会」の折に、試作版の調査票を用意して来場者に回答してもらい、その回答結果や回答者のフィードバックをもとに調査票に改善を加えた。

磐田市、東新町地区の自治会、多文化交流センターと連携し、団地の管理者である静岡県およびUR都市住宅機構の協力も得て、2014年11月に大規模なアンケート調査（量的調査）と2015年2月に一部の外国人に対するインタビュー調査（質的調査）を実施した。

## 5. アンケート調査の調査方法と調査項目

### 5-1 調査方法

アンケート調査については、東新町団地の県営住宅およびUR住宅に住む16歳以上の全居住者（日本人居住者、外国人居住者）を対象に調査票を用いた個人調査を実施した。ま

た外国人世帯（外国人が含まれる世帯）については調査票を用いた世帯調査も併せて実施した。日本人向けには日本語の調査票、外国人向けにはやさしい日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語の調査票を用意し、回答しやすいもので回答してもらった。

団地の階段横にある掲示板に事前告知の貼り紙をした上で、2014年11月11日（火）から11月25日（火）までの15日間にかけて調査を実施した。学生実施チーム20名が2人一組になって平日の18:00から20:00の時間帯と土日の10:00～18:00の時間帯で各戸を訪問し、基本的に手渡しして後日回収する方法を取った<sup>(3)</sup>。アンケートの回答そのものはごく一部の例外以外、回答者自身が行った<sup>(4)</sup>。

## 5-2 調査票A（日本人個人調査）の調査項目一覧

### 【1】地域での行事等への参加

地域の会合や催しへの参加

### 【2】近隣の人々とのつきあい

団地に住む日本人とのつきあい、団地に住む外国人とのつきあい

団地に住む外国人との壁、団地の外国人との今後の関係

団地での外国人受け入れの条件、今後3年以内の引越予定とその理由

### 【3】外国人とのつきあい

団地以外での外国人とのつきあいとその機会

外国人との相互理解のために参加したいもの

外国人との相互理解のために地域で必要なこと

### 【4】外国人対象のサービス等

行政サービスの認知

用語の理解（男女共同参画、ユニバーサルデザイン、多文化共生）

### 【5】基本属性

性別、年齢、同居者、配偶者の国籍

磐田市での滞在年数、この団地での滞在年数

団地入居前の居住地、職種、意見や要望（自由記述）

## 5-3 調査票B（外国人個人調査）の調査項目一覧

### 【1】基本属性

性別、年齢、国籍、出生国、日系世代深度、在留資格、初来日年

日本での通算滞在年数、磐田市での通算滞在年数、団地入居前の居住地、宗教

最終学歴（母国／日本）、帰化の意向とその理由

### 【2】社会との関わり

生活情報の入手方法、会合や催しへの参加状況

### 【3】近隣とのつきあい

団地に住む同国人とのつきあい、団地に住む同国人以外の外国人とのつきあい  
団地に住む日本人とのつきかい、団地に住む日本人との間の人間関係の壁  
日本人との今後の関係

【4】日本語能力

会話能力、読む力、書く力、今後の日本語学習意向

【5】現在の仕事

収入を伴う仕事の有無

現職の形態、現職の雇用形態、現職を得た情報源、現職の継続期間

前月の週当たり労働時間、過去3ヶ月の平均月収

現職の業種、現職の職種、現職の労働契約期間、母国への送金

【6】日本で初めてした仕事

日本初職の形態、日本初職の雇用形態、日本初職を得た情報源

日本初職の業種、日本初職の職種

【7】母国でしていた仕事

母国での職種

【8】転居や帰国の予定

今後3年以内の転居予定の有無、予定がある場合の転居予定先、今後の日本滞在予定

【9】配偶者との関係

婚姻状況、公的な婚姻届け、結婚した国、同居年数、初婚・再婚の別、配偶者の国籍

自分の両親の状況、配偶者の両親の状況

【10】社会的サポート

相談相手

【11】健康状態や心配事

健康状態、悩みやストレスの有無、悩みやストレスの理由

困難や行政に望むこと（自由記述）

#### 5-4 調査票C（外国人世帯調査）の調査項目一覧

【1】防災

災害への備え、地域防災訓練参加の有無、不参加の理由、災害時の心配事

【2】行政サービスの認知と利用

外国人対象の行政サービスの認知と利用状況

【3】家族

同居人数、同居者、過去3ヶ月の世帯平均月収

【4】子ども

子どもの総数、同居している子どもの人数、同居している15歳未満の子どもの人数、同居第一子と第二子の状況、行政から受けている援助、PTA参加、

学校の週間やルールの情報入手得方法

子どもの放課後の遊び相手、子どもの週末の遊び相手

学齢期前の子どもの面倒を見る人

#### 【5】子どもの将来

子どもの日本での生活希望の有無、子どもに望む学歴

子どもの進学についての課題、子どもに日本で就いて欲しい職種

困難や行政に望むこと（自由記述）

## 6. インタビュー調査

### 6-1 調査方法

調査票B（外国人個人調査）の末尾に連絡先を記入してもらう欄を設け、個別のインタビュー調査に応じてよい回答者には連絡先の記入を依頼した。連絡先の記載のあった 37 世帯のうち 10 世帯に対して、2015 年 2 月に静岡文化芸術大学のブラジル人学生たちが 2 人一組で回答者の世帯を訪問してインタビューを実施した<sup>(5)</sup>。その結果は日本語に翻訳した報告メモとして研究チームに提出されたが、プライバシーに配慮して本報告書では掲載せず非公開とする。

### 6-2 インタビュー調査の調査項目一覧と指示内容

#### 【1】基本事項確認（インタビューを受けた人の属性を確認するため）

調査票をめくりながら、簡単に出身地や来日歴、家族等について質問

#### 【2】仕事のこと

いまの仕事だけでなく、来日以降、どんな仕事をしてきたか

どういう経路ないし方法で仕事を変わってきたか

いまの仕事の問題点は何か

#### 【3】子どもの教育のこと

家庭内の言語状況

子どもの交友関係（学校内、学校外）

学校にどのようなことを望んでいるか

親の帰国・日本滞在についての考え

子どもの将来についての考え（どこでどんな生活をしてほしいと考えているか）

教育の優先順位（教育、地位、財産等の中で教育がどれほど大切に思われているか）

#### 【4】団地に住む同胞（同じ国の人）との関係、日本人との関係

同じ国の人たちとはどんな関係か

団地に住む日本人との間にはどんな関係か

困った時に助け合ったりする人たちは、どこに住むどんな関係の人たちか

#### 【5】日本の社会との接点、情報収集

日本の社会との接点となっているは会社か、地域か、あるいは他の何かか

日本で生活する上で必要な情報はどのようにして入手しているか

**【6】自治会活動についてどう関わっているか、どう考えるか**

団地の自治会の活動（掃除等）には参加しているか

自治会役員を経験したことがあるか

自治会役員をやっていて大変なことは何か

団地の自治会活動をしっかりやっている人には、今後どのような形で自治会を運営するとよいと思うか、尋ねてみる

**【7】その他**

先方が学生に尋ねたいことがある場合、そのことについて意見交換しても構わない

その場合、どういう質問で、どのように回答したかも報告すること

できれば、インタビューの回答してくれた家族と一緒に写真を撮ってくる

（写真は研究上の用途でのみ利用と説明すること）

## **7. 本報告書の構成**

本報告書は以下、テーマごとにまとめられた7つの章と付録資料から構成される。筆者による第1章は、調査時点の磐田市の外国人人口を確認した上で、アンケート調査の回答者の基本的属性を明らかにしている。続く第2章は、生活情報収集と施設利用について、一部では日本人調査と外国人調査の結果を対比させながら検討する。第3章で筆者は、日本語能力と社会関係に焦点をあててまとめる。

中川による第4章は、外国人居住者の就労状況を取り上げ、雇用形態に注目しながらいくつかの新たな知見を導いている。第5章で千年は、出産と子育てをめぐるサポート・ネットワークについて論じている。国立社会保障・人口問題研究所が2013年に実施した「第5回全国家庭動向調査」の結果も参照しながら、団地に住む外国人の子育てサポート・ネットワークの特質を浮き彫りにしている。千年によれば、団地に居住する外国人の子どもに焦点を当てて実態を把握した報告は見当たらないという。千年がまとめた第6章は、これまで注目されてこなかった子どもたちの実態を描き出している。イシカワの第7章は、外国人調査の自由記述回答から外国人住民の声を拾い上げてかれらの意識を明らかにしている。

## **謝辞**

調査実施に向けて団地の管理局である静岡県およびUR都市機構との調整をはじめ、各方面との調整にあたってくださった磐田市市民部市民活動推進課のスタッフに深く御礼申し上げます。また、団地自治会の役員の皆様には実施面でお世話になりました。調査実施時には団地に隣接する多文化交流センターを「ベースキャンプ」として利用させていただきました。ご関係の皆様に感謝申し上げます。



## 注

- (1) リーマンショック以前の磐田市における多文化共生施策の全体像については、月花〔2008〕が手際よくまとめている。なお、この節は池上〔2009〕を元に 2016 年現在から振り返る形で記述している。
- (2) もちろんこの他にも磐田市では注目すべき施策を数多く展開している。たとえば、2004 年度には、市内 2 カ所で外国人の子どもの学習支援、生活情報提供等を目的とする多文化交流子育て支援センター事業が開始され、翌 2005 年度には外国人集住団地の近くに同事業の専用施設として市民と行政の協働により多文化共生交流センターが完成した。また、2005 年度には広報磐田ポルトガル語版の発行が始まり、ポルトガル語版生活ガイドブックも発行された。2006 年度は外国人情報窓口が開設され、外国人登録時のオリエンテーション機能、相談機能が強化された。
- (3) 20 名の学生実施チームのうち半数の 10 名が外国につながる学生たちであり、ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語については学生実施チームで対応できた。2002 年度に筆者が焼津市の県営住宅で調査を実施した時は、団地居住者のブラジル人とその友人らに外国語対応の協力を仰いだことと比較すると、ほぼ 10 年の間で外国につながるニューカマーの大学生がまだわずかではあるが確実に増加していることを実感できる。静岡文化芸術大学における南米系の定住外国人学生の増加については池上〔2014〕を参照。今回の調査においては、調査票の配布・回収をブラジル人大学生が担当しているという情報が団地内のブラジル人居住者の間に広まったらしく、調査期間の後半になると、訪問した学生に対して「どうやって日本語を覚えたのか」「どのように勉強して大学に入ったのか」「学費はどうしているのか」といった質問を投げかけてきた居住者もいた。
- (4) 一部のフィリピン人に対しては、英語の調査票を学生が読み上げ、回答者の英語での回答を学生が調査票に書き込んだものがあつた。
- (5) 個人調査票に「インタビューに応じてもいい」として連絡先を記載したのは 54 名だったが、同一世帯の回答者も複数いたため、実世帯数としては 37 世帯であつた。

## 文献

- 池上重弘. 2004. 「コミュニケーションから信頼と協力、そして共生へー静岡県磐田市における多文化共生への取り組みー」『国際人流』208 : 26-27.
- 池上重弘編. 2008. 『外国人市民と地域社会への参加ー2006 年浜松市外国人調査の詳細分析ー』静岡文化芸術大学.
- 池上重弘. 2009. 「自治体における多文化共生推進プランのつくり方ー静岡県磐田市の事例を参考にー」『国際文化研修』62 : 14-17.
- 池上重弘. 2014. 「浜松市における多文化子ども教育フォーラムとバイリンガル絵本プロジェクト」『国際人流』27(6) : 4-11.

- 池上重弘、イシカワ エウニセ アケミ編. 2009.『静岡県外国人労働実態調査の詳細分析報告書』静岡文化芸術大学.
- 池上重弘・福岡欣治. 2004.『多文化化する公営住宅における居住者の意識－焼津市・T団地での調査から－』(平成 14 年度静岡文化芸術大学学長特別研究報告書)、静岡文化芸術大学.
- 池上重弘・福岡欣治. 2005.「外国人居住者は地域コミュニティの担い手となり得るか?－焼津市・T団地での調査から－」『静岡文化芸術大学研究紀要』5: 1－12.
- 稲葉佳子他. 2008.「公営住宅における外国人居住に関する研究－外国人を受け入れたホスト社会側の対応と取り組みを中心に－」『住宅総合研究財団研究分論集』35: 275-286.
- 月花慎二. 2008.「市民とともに築く多文化共生のまちづくり－磐田市の取組」『ジュリスト』1350: 45－49.
- 静岡県. 2008a.『静岡県外国人労働実態調査(外国人調査)報告書』静岡県多文化共生室.
- 静岡県. 2008b.『静岡県外国人労働実態調査(企業調査)報告書』静岡県多文化共生室.
- 静岡県. 2010.『静岡県多文化共生アンケート調査』静岡県多文化共生室.
- 静岡県企画広報部情報統計局統計調査課. 2014.『平成 26 年(2014)工業統計調査(確報)』  
[https://toukei.pref.shizuoka.jp/shoukouhan/data/07-020/documents/h26ind\\_kakuhou\\_gaiyou.pdf](https://toukei.pref.shizuoka.jp/shoukouhan/data/07-020/documents/h26ind_kakuhou_gaiyou.pdf)  
 (2016 年 3 月 15 日最終閲覧)
- 福岡欣治・池上重弘. 2005.「多文化化する公営住宅における居住者の意識－焼津市・T団地の事例分析－」『静岡文化芸術大学研究紀要』5: 61－78.
- 福本拓他. 2015.「集合的消費の変質に着目した外国人受入れ意識の分析－三重県四日市市の日系ブラジル人集住地区を事例に－」『地理学評論』88(4): 341－362.
- 松尾隆司, 2010,「『ガラスのコップ』が壊れる時－国際金融危機と日系南米人の生活－」加藤剛編『もっと知ろう!!わたしたちの隣人－ニューカマー外国人と日本社会－』世界思想社, 122-145.

## 回答者のプロフィールー基本属性、就労実態、今後の滞在と教育に関する意識ー

池上重弘（静岡文化芸術大学）

### 1. はじめに

本章は、各章の分析に先立ち、東新町団地 2014 調査の回答者のプロフィールを描き出すことを目的とする。具体的には、まず住民基本台帳データから調査時点（あるいはそれに近い時点）での磐田市および東新町団地の外国人人口の特色を描き出す。次に調査票の回収数と回収率について詳細に述べる。その上で調査票 A（日本人個人調査）と調査票 B（外国人個人調査）で共通する質問項目を中心に、日本人の回答と外国人の回答を対比させる形で回答結果を紹介する。さらに調査票 B（外国人個人調査）と調査票 C（外国人世帯調査）に基づき、就労の実態、今後の滞在と子どもの教育に関する意識を取り上げて論じる。

### 2. 磐田市、南御厨地区、東新町団地の外国人

表 1 は磐田市、東新町団地を含む市南東部の南御厨地区、そして東新町団地の県営住宅と UR 住宅の総人口と外国人人口、そして関連する比率を示したものである。

表 1 磐田市、南御厨地区、県営住宅・UR 住宅の総人口と外国人人口

	2014年9月末現在					
	総人口	外国人の人口	外国人比率	16歳未満の 外国人の人口	16歳未満の 外国人の比率	16歳以上の 外国人の人口
	a	b	c=b/a*100	d	e=d/b*100	f
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
磐田市	170,776	5,983	3.5%	963	16.1%	5,020
南御厨地区	3,647	714	19.6%	219	30.7%	495
県営住宅	671	382	56.9%	128	33.5%	254
UR住宅	327	191	58.4%	53	27.7%	138

出典：磐田市住民基本台帳資料より磐田市が作成した表を筆者が一部改変。

表 1 は調査実施時の 2014 年 11 月に近い 9 月末現在の数字である。この表から大きく以下の 3 点を読み取ることができる。第一に、南御厨地区、とりわけ団地エリアは外国人の集住が認められる。磐田市全体でみると総人口 170,776 人のうち外国人は 5,983 人であり、外国人比率は 3.5% である。それに対し、南御厨地区では総人口 3,647 人のうち外国人は 714 人で外国人比率は 19.6% に跳ね上がる。なかでも団地の外国人比率の高さは突出しており県営住宅では 56.9%、UR 住宅では 58.4% に及んでいる。今回の調査対象からは除外したが、南御厨地区には業務請負業者が社宅としている集合住宅もあり、県営住宅と UR 住宅の居住者以外の外国人は、ほぼすべてその民間集合住宅に住んでいる。第二に、南御厨地

区、とくに団地エリアに住む外国人の子どもの比率の高さを指摘できる。磐田市全体では16歳未満の外国人の人口は963人で外国人全体の5,983人の16.1%であるのに対し、南御厨地区では外国人714人中219人が16歳未満でその比率は30.7%となり、市全体のほぼ倍となっている。ここから、団地を含む南御厨地区では外国人の子どもの多い、すなわち家族滞在の子育て層が多いことがうかがえる。また、16歳未満の外国人の人口を磐田市全体と南御厨地区で比較すると、市全体で963人いる16歳未満の外国人の22.7%に相当する219人が南御厨地区に集中していることがわかる<sup>(1)</sup>。

### 3. 調査票の配布数、回収数と回収率

本調査においては、団地に住む16歳以上の居住者全員を調査対象とした。表2は3つの調査票の対象者数と回収数、有効回収数とその比率を示したものである。

表2 東新町団地 2014 調査の回収数と回収率

	リスト上の対象者数	調査票回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
A票 日本人向け個人調査	352	229	65.1%	229	65.1%
B票 外国人向け個人調査	402	197	49.0%	190	47.3%
やさしい日本語		11		10	
ポルトガル語		171		167	
スペイン語		9		9	
英語		6		4	
C票 外国人向け世帯調査	198	104	52.5%	102	51.5%
やさしい日本語		5		6	
ポルトガル語		88		87	
スペイン語		8		7	
英語		3		2	
合計	952	530	55.7%	521	54.7%

調査実施に際して、磐田市から住民基本台帳に基づく居住者の情報を提供してもらい、各世帯人員の国籍をチェックし、その国籍に応じて世帯ごとに使用されていると思われる言語に対応した調査票を入れた封筒を用意した。具体的には、ブラジル人についてはポルトガル語とやさしい日本語、ペルー人についてはスペイン語とやさしい日本語、フィリピン人については英語とやさしい日本語の調査票を同封した。それ以外の国籍の居住者については英語とやさしい日本語の調査票を同封した。国籍では日本と表記されていても氏名や同居人の国籍等から外国籍と思われる場合は、外国人向けの調査票を用意した。

日本人向けの個人調査であるA票の対象者は352人で有効回収数は229であった。有効回収率は65.1%となっている。外国人向けの個人調査であるB票の対象者402人のうち、197人から回答があった。このうち有効回収数は190、有効回収率は47.3%である。今回は原則として対象者に直接会って、対象者の母語ないしそれに準じる言語を用いて調査の趣意書（巻末付録資料の調査実施のお知らせ）を提示した上で調査票を手渡しし、対象者

の指定する日時に対面で回収する方法を採用した。実際には何回訪問しても会えず、玄関ドアの郵便受けに投函することもあったし、郵便受けに入れてもらった回答を回収することもあったが、外国語を用いて対応する学生たちが手渡しして回収する直接法を取ったため、回収率は筆者らがこれまでに実施した郵送法調査の回収率を大きく上回った<sup>(2)</sup>。

外国人個人調査の有効回収調査票を言語別に分析すると、全体で 190 人のうちポルトガル語が 167 人（回収率 87.9%）で圧倒多数を占めた。残りはやさしい日本語が 10 人（回収率 5.3%）、スペイン語が 9 人（回収率 4.7%）、英語が 4 人（回収率 2.1%）であった<sup>(3)</sup>。

外国人世帯調査票である C 票については、198 世帯に配布して 104 世帯から回答を得た。このうち有効回収数は 102、有効回収率は 51.5%であり、言語別の回収率も外国人向け個人調査の B 票の場合と大きく変わらない。やはりポルトガル語での回答が 85.3%と大半を占めた。やさしい日本語版での回答率は 5.9%で、B 票の回答率（5.3%）とほぼ同様であった。

#### 4. 基本属性

以下では、このあとの各章において重要な情報となる回答者の基本属性を明らかにするが、そのうち日本人の回答と外国人の回答を対比させることができる項目についてはひとつのグラフにまとめて紹介する。以下のグラフにおいて、日本人の回答として表示されているのは 229 人を母数とする当該選択肢の回答率、外国人の回答として表示されているのは 190 人を母数とする当該選択肢の回答率である。なお、不詳には無回答を含んでいる。

##### （1）性別、年齢、国籍、日系世代深度等、個人の属性

図 1 は回答者の性別を示したものである。日本人は男性 44.5%、女性が 52.4%であり、外国人は男性が 42.1%、女性が 56.8%であった。いずれも女性の比率が高いが、外国人の方が女性の回答率が高い。

図 1 性別の比較（A 票問 15、B 票 Q1、単位：%）

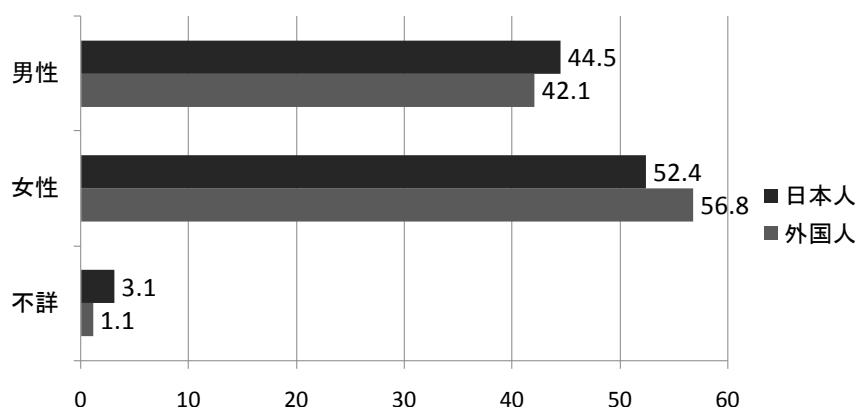
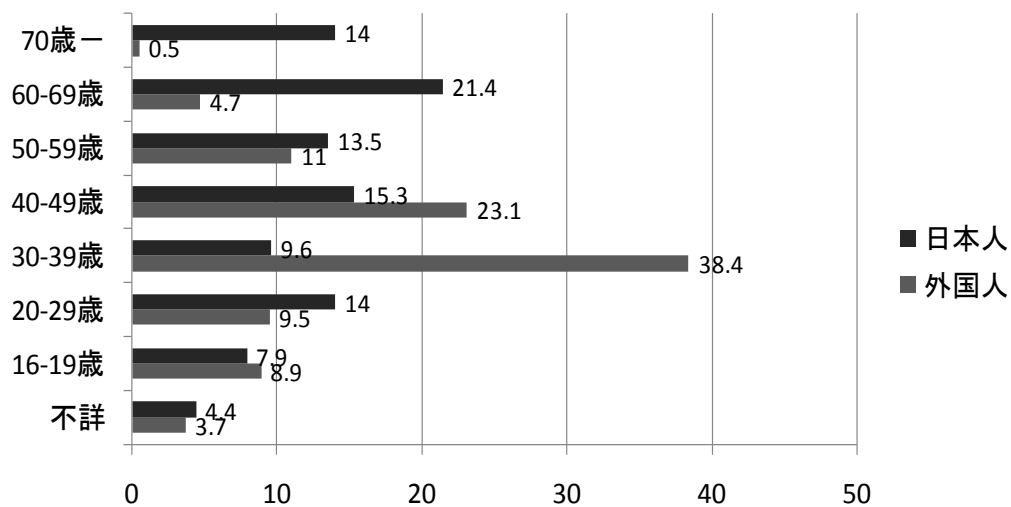


図2は回答者の年齢を10歳ごとの年齢層に区分して示したものである。一見して明らかのように、日本人は60歳代が21.4%でもっとも多く、70歳代が14.0%でそれに続く。60歳代と70歳代を合計すると35.4%で、日本人回答者の約3分の1を占める。一方で外国人回答者は30歳代が38.4%でもっとも多く、40歳代が23.1%でそれに続く。外国人回答者の中では60歳以上はわずか5%ほどしかない。日本人と外国人で年齢構成に大差がある。

図2 年齢層構成の比較（A票問16、B票Q2、単位：％）



次の図3は外国人世帯調査票（C票）で質問した同じ世帯に住んでいる人の数（本人一人の場合は"1人"と回答）である。外国人の場合3人、4人の世帯が多いことがわかる。

図3 この家に住んでいる人の数（C票Q6、単位：％）

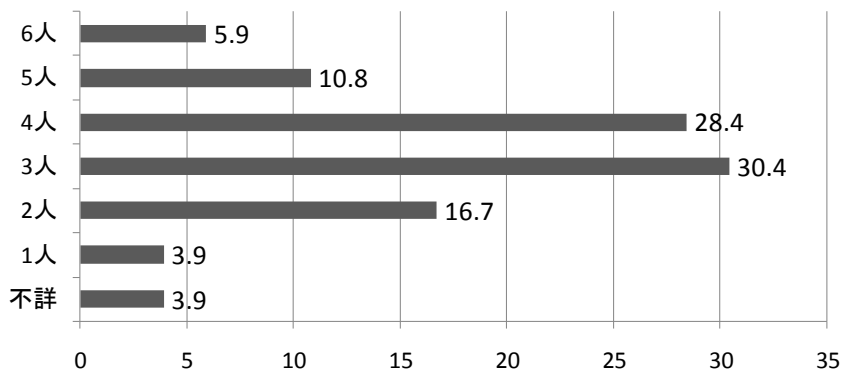


図4は外国人回答者の国籍と出生国を示したものである。国籍ではブラジルが87.9%で圧倒的に多く、ペルーが5.3%でそれに続く。日本との回答も1.6%あった。東新町団地は元々ブラジル人居住者が多数を占めるため、回答者の国籍についてもブラジルが多数を占

めた。続けて外国人回答者の生まれた国を尋ねたところ、国籍とはほぼ同じ結果が認められた。ブラジル、ペルー、フィリピン国籍と回答した者は出生国も同様であった。二重国籍の分の一部が出生国を日本と回答したようである。今回の調査結果には日本生まれの若い層の回答はほとんど含まれていないことが示唆される。

図3 国籍（B票 Q3、単位：％）と生まれた国（B票 Q4、単位：％）

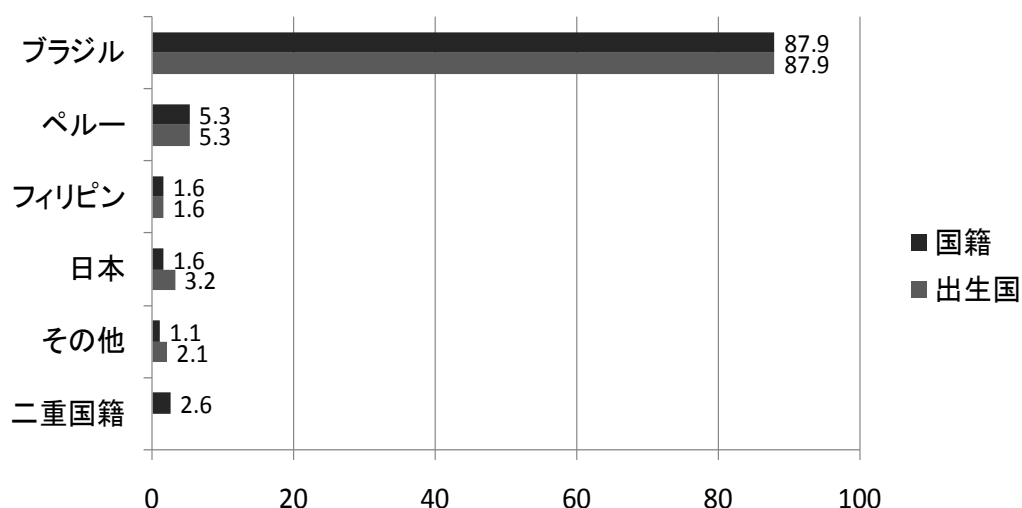
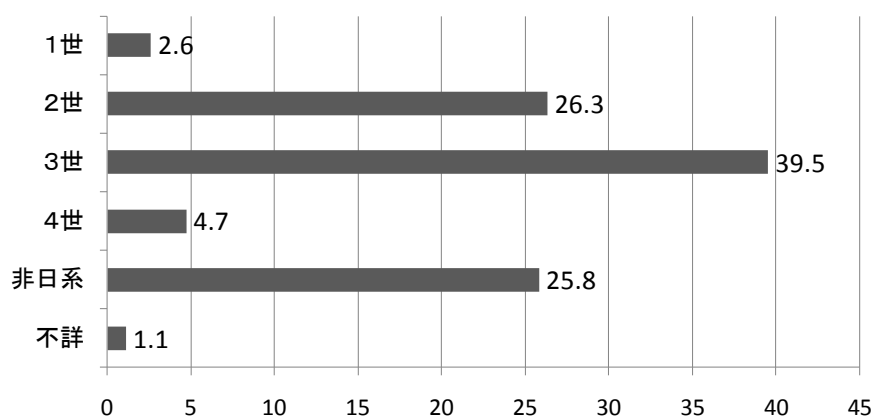


図4は外国人回答者に日系の世代深度を質問した結果である。3世が39.5%でもっとも多く、2世も26.3%でそれに続く。一方、非日系との回答も25.8%ある。東新町団地2014調査の回答者にはブラジル人が多いことから、日系2世、3世の存在が目立つが、非日系も一定数いることがわかる。

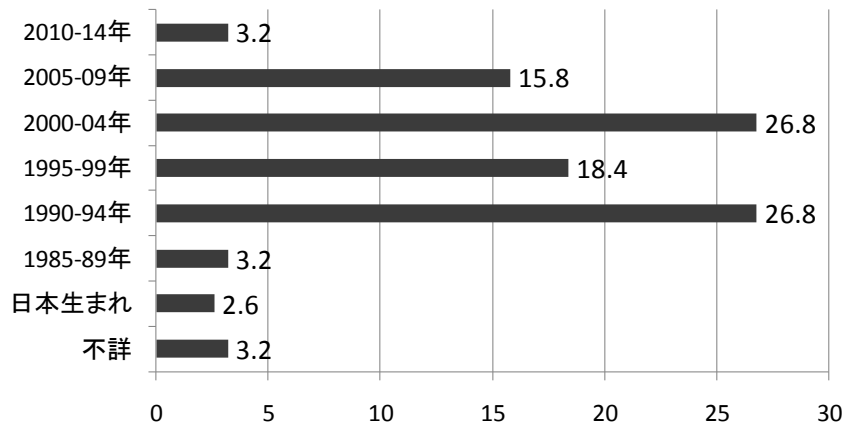
図4 日系の世代深度（B票 Q5、単位：％）



## （２）越境移動と日本滞在

図５は初めて来日した年を尋ねた結果である。２つのピークがあることがわかる。一つ目は 1990 年代の前半で、これは 1990 年 6 月の改定入管法施行直後に来日した人である。二つ目は 2000 年代前半で、これはリーマンショック前の製造業が好景気に沸いた時期に来日した人々である。2010 年代に入ってから初めて来日した人もわずかながら認められた。

図５ 初来日年（Ｂ票 Q7、単位：％）



日本と磐田市での通算滞在年数を対比させて示したものが図６である。日本での滞在年数の方が磐田市での滞在年数より長い。日本滞在年数では 10-14 年が 31.6%でもっとも多く、15-19 年が 22.6%、20-24 年が 21.6%と続く。10 年以上日本に滞在している者が 77.4%に及び、滞在の長期化がうかがえる。約半数の 45.8%が 15 年以上の滞在者である。次に図 6 のうち、磐田市での通算滞在年数に注目してみよう。磐田市での滞在年数は 0-4 年が 25.8%でもっとも多いが、5-9 年が 25.3%で、10 年未満の滞在者が 51.1%と過半数となっている。ここから日本国内での移動傾向の強さを読み取ることができる。

図６ 日本（Ｂ票 Q8）と磐田市（Ｂ票 Q9）での滞在年数の比較（単位：％）

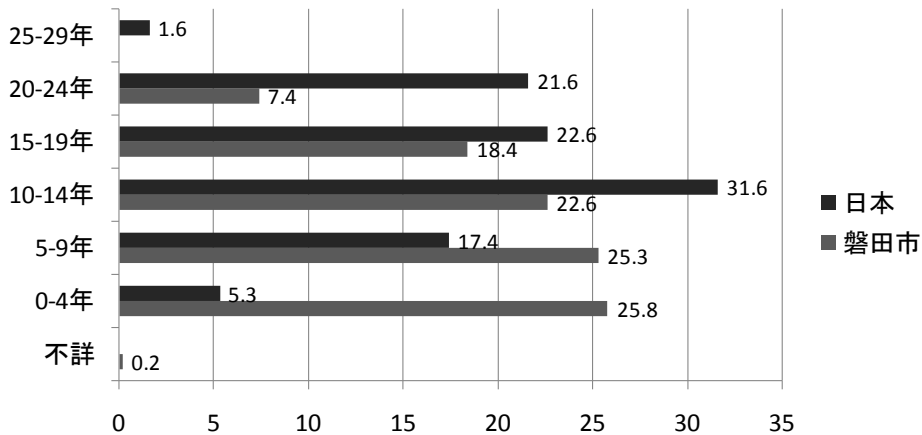
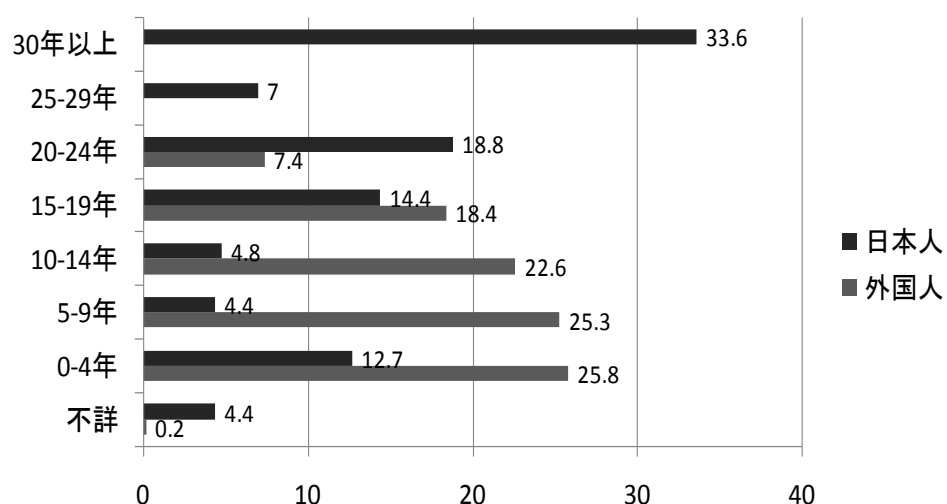




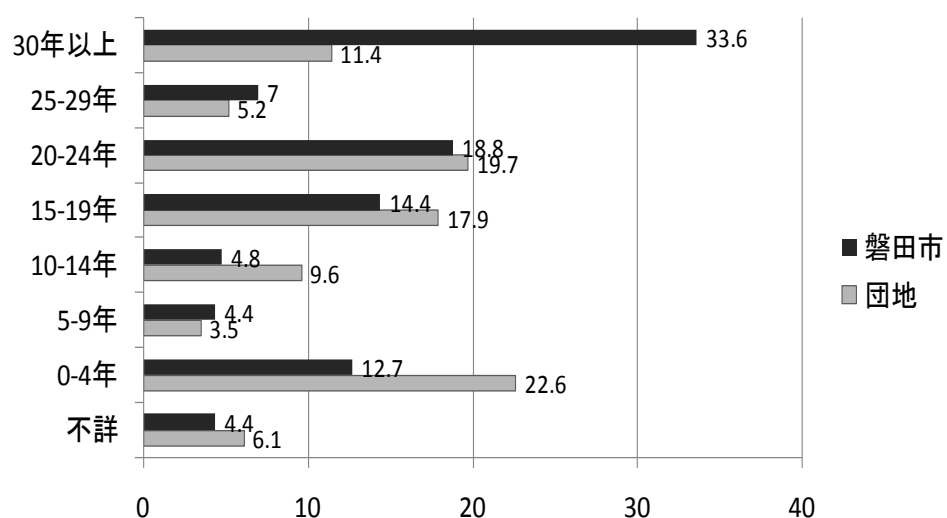
図7は、磐田市での日本人と外国人の通算滞在年数を比較したものである。外国人については上述の通り、磐田市滞在が10年に満たない者がほぼ半数だが、日本人の場合は30年以上が33.6%で、20年以上まで広げると59.4%に達する。

図7 日本人（A票問19）と外国人の磐田市（B票Q9）での滞在年数の比較（単位：%）



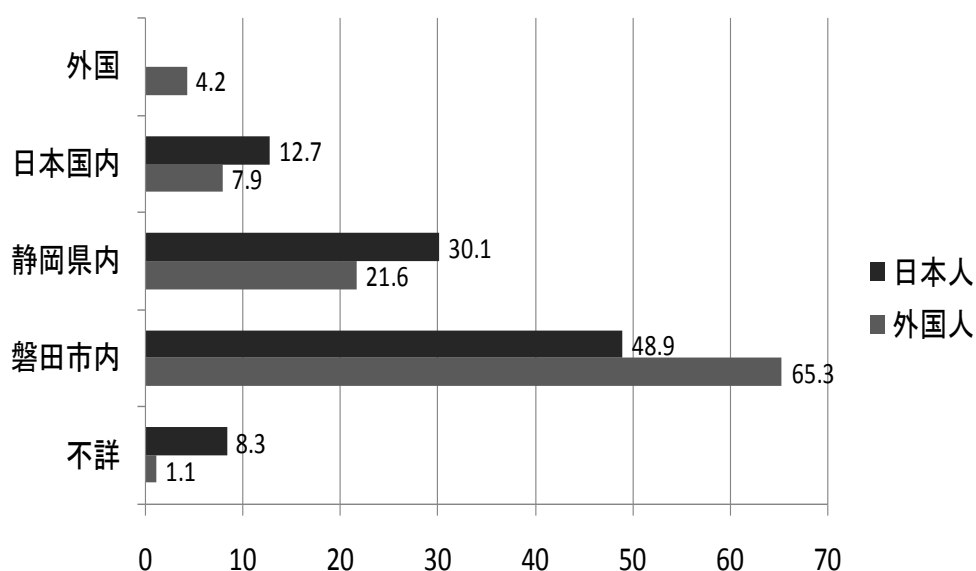
日本人について磐田市での滞在年数と団地での滞在年数を対比させて示したのが図8である。団地での滞在では5年未満が22.6%と最も多く、日本人についても団地での滞在が比較的短い人が認められる。一方、団地滞在が20年以上の人は36.3%で、日本人居住者の約3分の1は長期にわたって団地で生活していることがわかる。

図8 日本人の磐田市（A票問19）と団地（A票問20）での滞在年数の比較



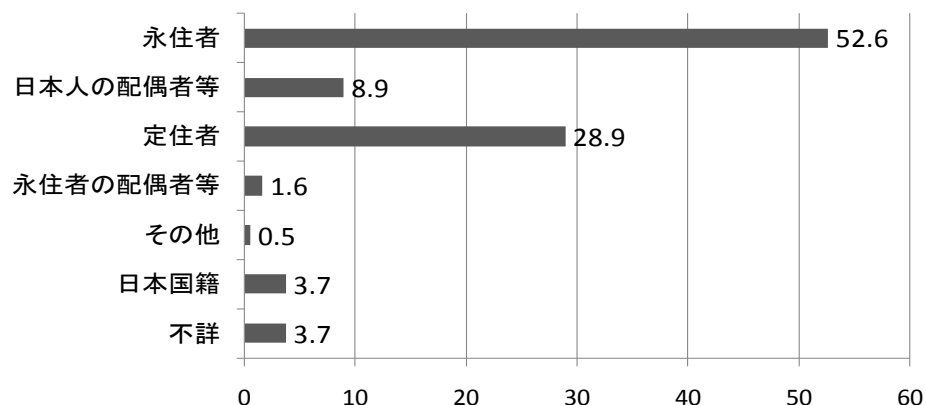
団地に住む前はどこに住んでいたかを尋ねたところ、日本人も外国人も磐田市内との回答がもっとも多く、以下静岡県内、日本国内と続いた。ただし、外国人は磐田市内からの転入が 65.3%で多く、ほぼ 3 分の 2 が磐田市内からの転入であることがわかる。

図 9 日本人（A 票問 21）と外国人（B 票 Q10）団地に住む前の居住地（単位：％）



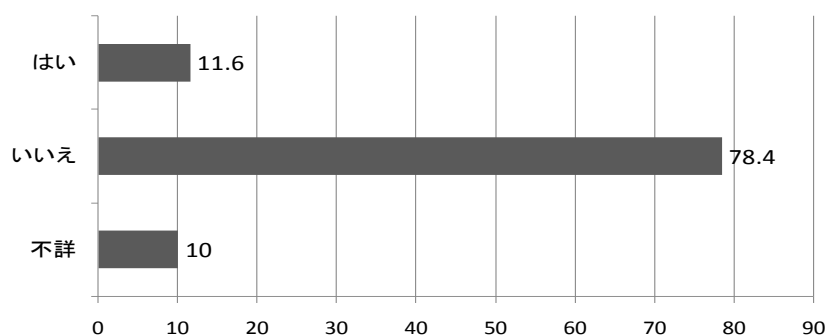
在留資格については永住者が 52.6%でもっとも多く、過半数が永住資格を持っていることが明らかになった。次いで多いのが定住者で 28.9%を占める。表 9 の選択肢の上から 4 つまではいわゆる「定住型」の在留資格であり、日本での就労に制限がない。定住型の在留資格保持者の合計が 92.0%に及ぶことがわかる。さらにそこに日本国籍取得者の 3.7%を加えると 95.7%に達し、欧米の基準からすると「移民」と表現すべき外国人が多い。

図 10 在留資格（B 票 Q6、単位：％）



日本国籍取得の意向を明確に示す者は 11.6%に過ぎなかった。滞在が長期化し、永住資格取得者が過半数に達しているにもかかわらず、日本の場合は日本国籍取得はそれまでの国籍を放棄しなくてはならないため、現在の国籍放棄にためらいがあったり、帰化のメリットをあまり感じなかったりするためと思われる。帰化を希望する理由については、42 人を母数とする回答のうち、「就職に有利」が 35.7%、「日本のパスポートがあると便利」が 26.2%、「いつでも自由に日本に戻れる」が 38.1%だった。

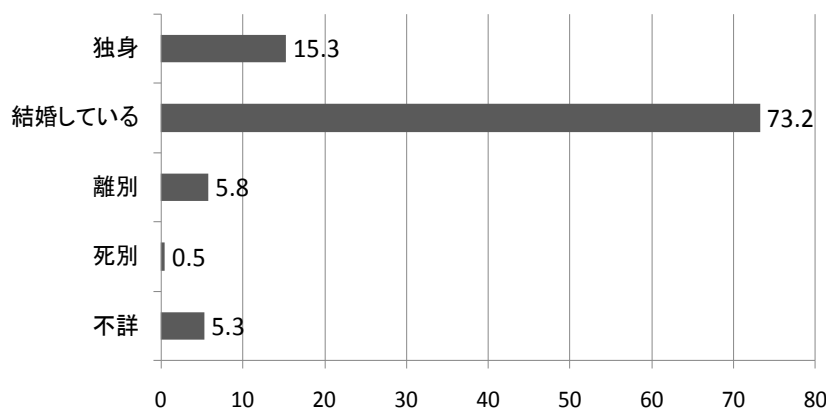
図 11 日本国籍取得（帰化）の意向（B 票 Q13、単位：％）



### （３）婚姻状況

外国人居住者の婚姻状況を示したものが図 12 である。結婚している人が 73.2%でもっとも多く、独身が 15.3%でそれに続いた。図は省略するが公的な結婚の届け出を役所などに出したかどうか尋ねたところ、非該当者を除く 162 人のうち、87.0%が届け出をしたと回答した。また、結婚した国については、同じく 162 人のうち、外国が 59.3%でもっとも多いが、日本との回答も 34.0%だった。夫・妻とも初婚の者は 64.2%でほぼ 3 分の 2、夫は初婚で妻が再婚が 11.7%でそれに続く。夫・妻ともに再婚も 9.3%で、夫は再婚、妻は初婚が 7.4%であった。

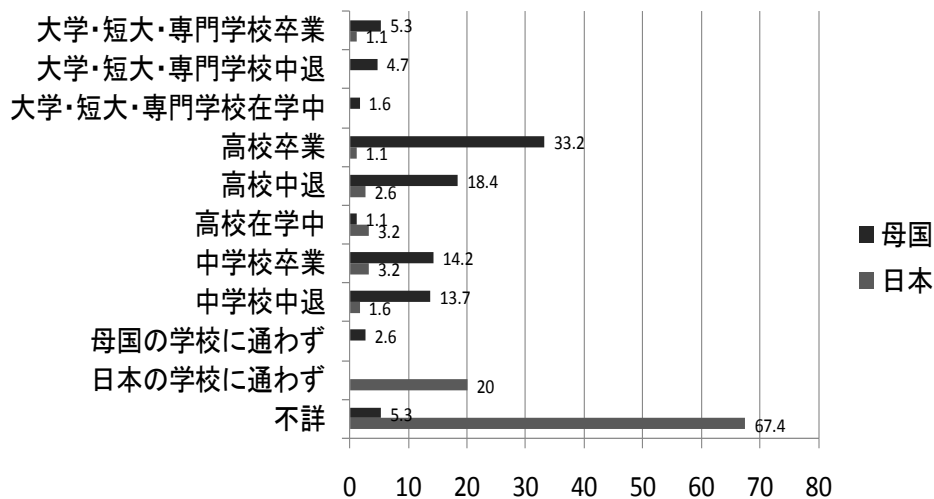
図 12 婚姻状況（B 票 Q46、単位：％）



#### (4) 学歴

母国と日本での最終学歴を尋ねた結果が図 13 である。ここでは母国での学歴と日本での学歴について、あてはまるものをひとつずつ回答してもらった。母国での学歴では高校卒業が 33.2%でもっとも多く、高校中退が 18.4%でそれに続いた。大学等まで進学し卒業した者が 5.3%、中退は 4.7%で、ほぼ 10%が高校卒業後、上位の学校に進学したことがわかる。一方で、中学校中退が 13.7%、中学校卒業が 14.2%なので、中卒以下の学歴しか持たない人が 27.9%いることが明らかになった。日本での学歴については、不詳が 67.4%と多い。これは無回答を含むためと考えられる。日本での学歴形成はこれからの課題で、高校在学中の者は 6 人で 3.2%、高校中退は 5 人で 2.6%であった。大学等を卒業した者はわずか 2 人で 1.1%を占めるにすぎない。

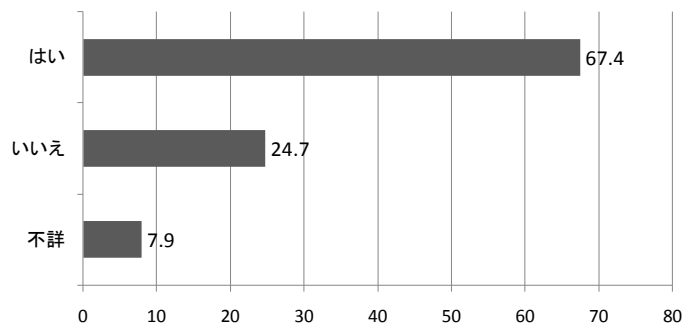
図 13 母国と日本での最終学歴 (B 票 Q12、単位 : %)



#### 5. 就労

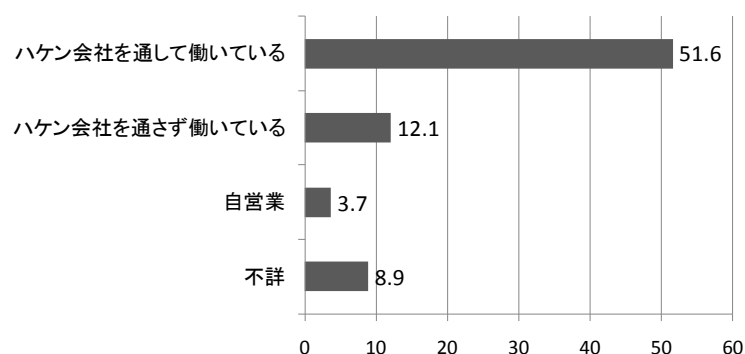
現在、収入を伴う仕事をしているか否かを尋ねたところ、「はい」が 67.4%、「いいえ」が 24.7%、不詳が 7.9%であった。約 3 分の 2 が収入を伴う仕事に従事している。

図 14 収入を伴う仕事の有無 (B 票 Q26、単位 : 人)



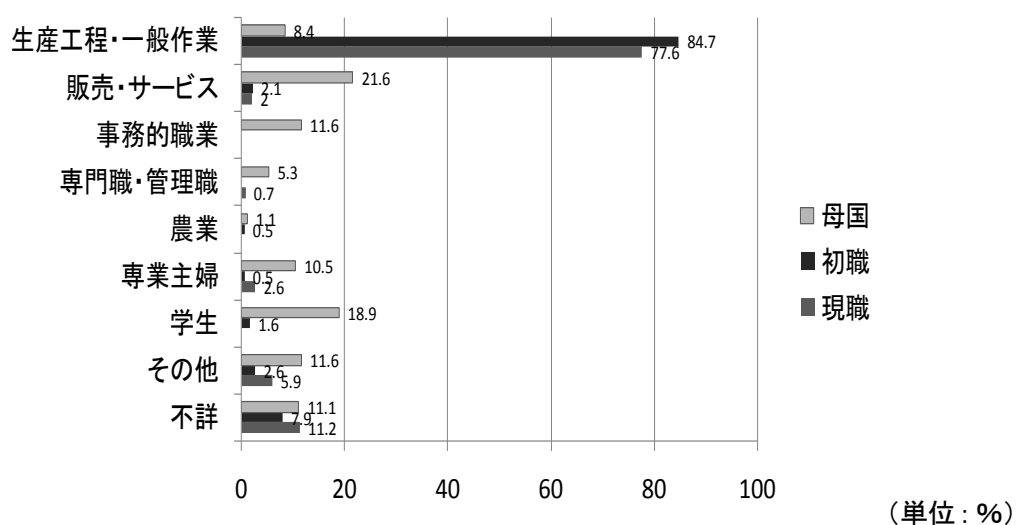
次に現在の仕事について、非該当者を除外した 145 人を母数として、一般に「ハケン会社」と称される業務請負会社を通して仕事に就いたか否かを示した。図 15 を見ると、ほぼ半数がハケン会社を通して働いていることがわかる。一方、ハケン会社を通さないで仕事を得ている人は 12.1%、自営業は 3.7%とごく少数に留まっている。

図 15 現在の仕事の形態 (B 票 Q27、N=145、単位：%)



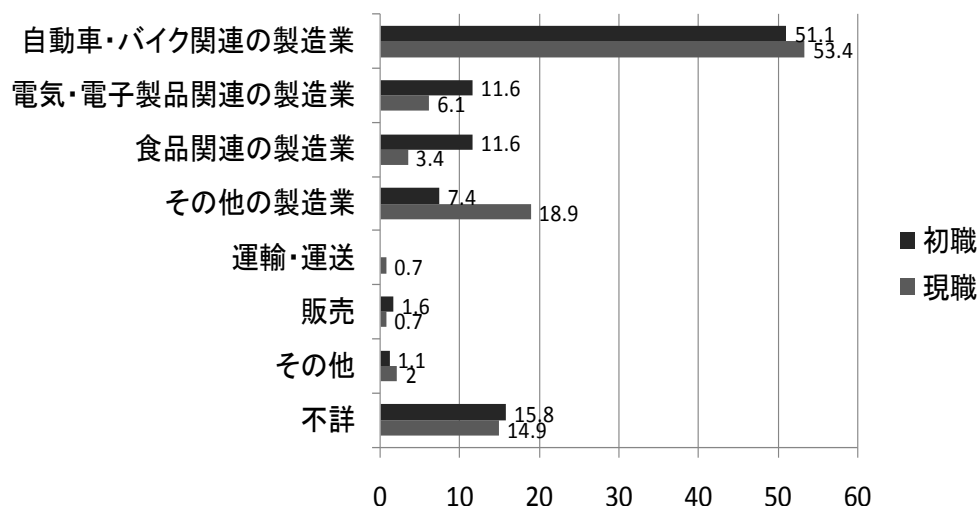
仕事の内容（職種）について、母国でしていた仕事（母国）、日本で初めて就いた仕事（初職）、現在の仕事（現職）の三段階で比較したものが図 16 である。母国では販売・サービスが 21.6%でもっとも多いが、事務的職業や専門職・管理職なども含む多様な職種で働いていたことがわかる。学生が 18.9%、専業主婦も 10.5%いた。しかし日本での初職は生産工程・一般作業、つまりいわゆるライン作業での仕事が 84.7%を占めた。日本の側の労働需要に吸い込まれるように画一的な職種に流れ込む様子がわかる。日本での現職についても生産工程・一般作業が 77.6%と圧倒的に多い点に変わりはない。滞在年数が長くなってもライン作業以外の職種に移動できるような状況にはなっていないことが明らかである。

図 16 母国 (B 票 Q42) と初職 (B 票 Q41) と現職 (B 票 Q34、N=152) の職種の比較



日本での初職と現職について業種を比較してみると、図 17 に明らかなように製造業が圧倒多数を占める。初職では電気・電子製品関連や食品関連の製造業が相対的に多いが、磐田市では自動車・バイク関連の製造業での仕事が多くなる。これは磐田市周辺域の産業の特色を反映した結果である。

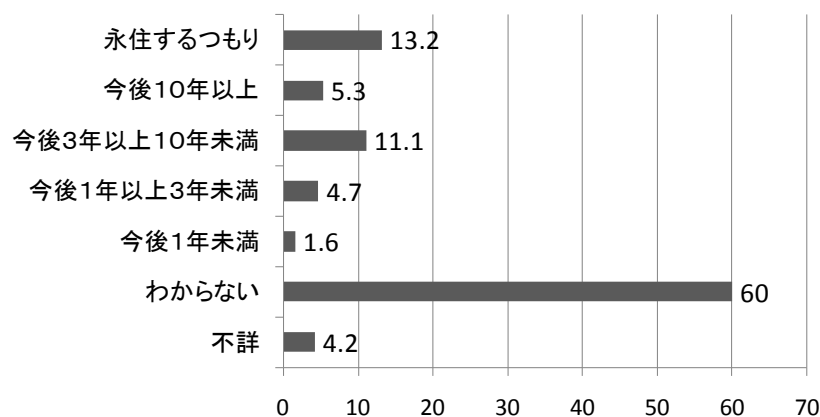
図 17 初職（B 票の Q40）と現職（B 票の Q33、N=148）の業種の比較（単位：％）



## 6. 今後の滞在と教育に関する意識

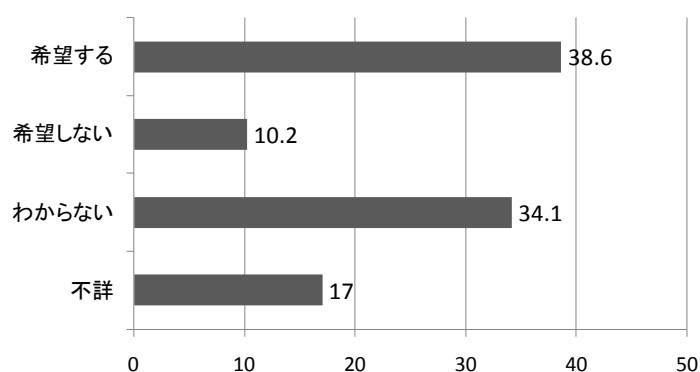
図 18 は今後の日本での滞在予定を尋ねた結果である。明確な永住希望を表明したのは 13.2% でほぼ 8 人に 1 人であった。不安定な就労状況を反映しているためか、「あとどれくらい日本で生活するかわからない」との回答が 60.0% でもっとも多かった。

図 18 今後の日本滞在予定（B 票 Q45、単位：％）



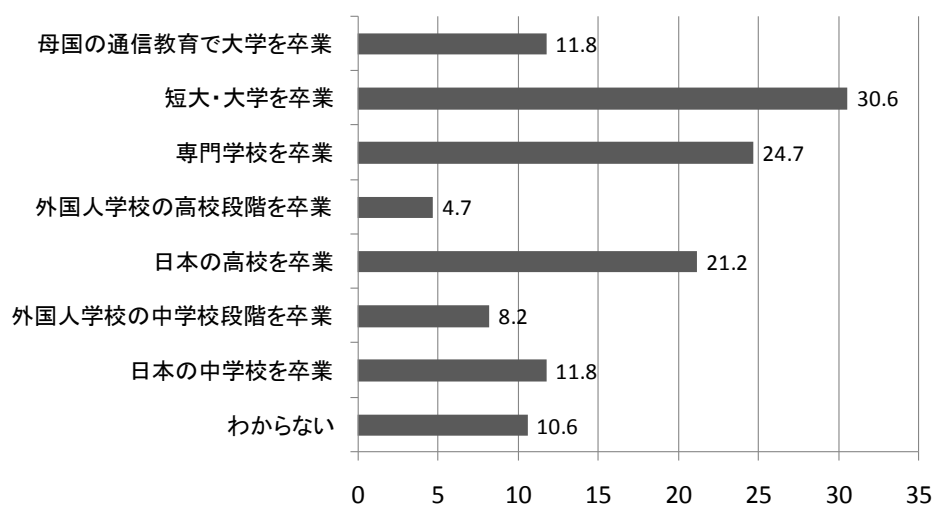
外国人世帯調査票（C 票）から、子どもの将来についての質問項目をまとめる。子どもを持つ世帯に子どもが将来日本で生活することを希望するか否かについて尋ねたところ、図 19 に示すように、希望する者が 38.6% で多かったが、わからないとの回答も 34.1% に及んだ。不安定就労に起因する先行きの不透明感がここにも表れていると言える。しかし明確に希望しないと回答したのは 1 割であり、わからないと回答している世帯でも滞在が長期化し、結果的に子どもが日本で教育を受け就労する可能性が高いだろう。

図 19 子どもの将来（日本での生活）への希望（C 票 Q19、N=88、単位：％）



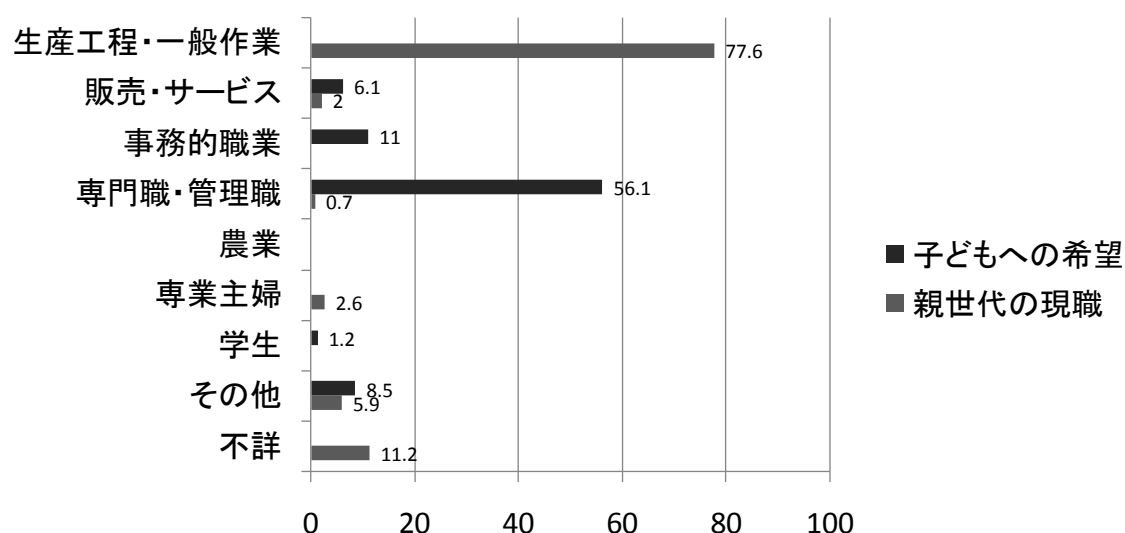
次に子どもの教育に対する希望をまとめる。もっとも多かったのは「(日本の) 短大・大学を卒業」で 30.6% を占めた。「専門学校を卒業」が 24.7% でそれに続く。日本の高校卒業を期待する保護者は 21.2% であった。日本の中学校や外国人学校の中学校段階を卒業するレベルでよいと考える保護者は 20.0% で、保護者の多くが少なくとも高校卒業ないし外国人学校の高校段階卒業以上の学歴を期待している。

図 20 子どもの教育に対する希望（C 票 Q20、N=85、複数回答、単位：％）



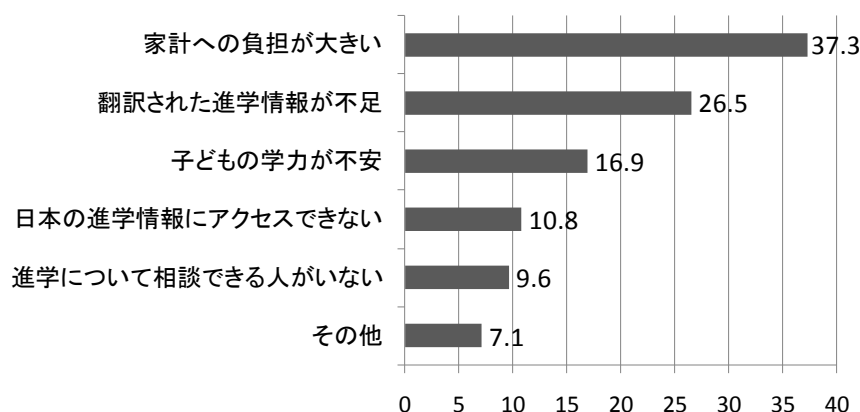
子どもの将来の仕事に関する希望と親世代の現在の仕事の職種を対比させて示したのが図 21 である。上述の通り、親世代では 77.6%が生産工程・一般作業に従事しており、それ以外の職種で働く者は極めてまれである。しかし、子どもに同じ生産工程・一般作業の仕事を望む親は皆無だった。つまり、親世代の誰一人として、子どもには自分と同じような「工場仕事」に就いて欲しいとは思っていなかったのである。それに対して、子どもに専門職・管理職に就いて欲しいと願う親は 56.1%であり、事務的職業の 11.0%を加えると、ほぼ 3 分の 2 に相当する 67.1%が子どもにはホワイトカラーの仕事に就くことを期待しているのである。

図 21 親世代の現職（B 票 Q34、N=152）と子どもの教育への希望（C 票 Q22、N=82）の比較  
（単位：％）



ではその希望が叶うためにはどのような課題を乗り越える必要があるのだろうか。図 22 は子どもの進学についての課題を尋ねたものである。

図 22 子どもの進学についての課題（C 票 Q21、N=83、複数回答、単位：％）





もっとも回答が多かったのは「家計への負担が大きい」で、37.3%が経済的負担に対する不安を表明していた。次に多かったのが「翻訳された進学情報が不足」との選択肢で、26.5%が回答した。翻訳された進学情報自体は、教育委員会や県、NPO 等でも作成し、WEB 上で閲覧できるものもあるが、そうした資料の情報が十分に行き届いていないことがうかがえる。「日本の進学情報にアクセスできない」は 10.8%、「進学について相談できる人がいない」は 9.6%が回答しているが、これらはいずれも進学についての情報が入ってこないことを意味している。子どもの高校卒業やそれ以上の学歴を希望する保護者が多いなか、その希望が実現するために必要な情報を的確に届けるための工夫が求められる。「子どもの学力が不安」との選択肢も 16.9%が選んでいた。学力面の支援も怠ってはならない。東新町団地に隣接する多文化交流センターでは、2004 年から継続して子どもたちの学習支援を行っている。今後もさらなる展開が望まれる。

## 注

- (1) 南御厨地区の子どもたちが通う東部小学校や神明中学校は早くから外国人児童や外国人生徒の教育に積極的に取り組む学校として知られている。リーマンショック以前の磐田市教育委員会や東部小、神明中の取り組みについては池上 [2009] を参照のこと。
- (2) 16 歳以上のブラジル人、ペルー人を主な対象とする 2006 年の浜松市調査の回収率は、外国人登録分（無作為抽出による郵送法）で 28.6%、外国人雇用企業経由分（企業が手渡し・回収）で 59.2%、外国人学校経由分（学校が手渡し・回収）で 65.4%、公立小学校経由分（学校が手渡し・回収）が 65.4%、全体で 48.5%であった [池上・竹ノ下 2008: 10]。16 歳以上のブラジル人のみを対象にポルトガル語の調査票を用いて実施した 2007 年の静岡県調査では、外国人登録（無作為抽出による郵送法）で 28.2%、公立小中学校経由で 56.3%、高等学校経由で 25.3%、全体で 35.3%であった [池上 2009: 18]。ブラジル、中国、フィリピン、ペルー、韓国・朝鮮、インドネシア、ベトナムの国籍者を対象に外国人登録情報からの無作為抽出による郵送法で実施した 2009 年の静岡県調査では、国籍による最高の 29.2%（中国）から最低の 20.2%（ベトナム）までの幅があるが、全体の回収率は 25.1%だった [静岡県県民部多文化共生室 2010: 2]。
- (3) 多国籍の外国人を対象とした 2009 年の静岡県調査では、ルビ付き日本語調査票での回答が全体で 21.2%であり、ブラジル人については 13.9%となっていた [静岡県県民部多文化共生室 2010: 2]。今回の東新町団地 2014 調査では、それから 5 年が経過しており、単なるルビ付きではなく「やさしい日本語」に直した調査票だったが、やさしい日本語での回答はその半分以上の数字だった。その理由については今後のさらなる分析が必要である。

## 文献

池上重弘編. 2009. 『静岡県磐田市における多文化共生－これまでの軌跡とこれからの課題－』 静岡文化芸術大学.

池上重弘・竹ノ下弘久. 2008. 「浜松市に暮らす南米出身の外国人のプロフィール－2006年浜松市外国人調査の基本属性－」 池上重弘編. 『外国人市民と地域社会への参加－2006年浜松市外国人調査の詳細分析－』 静岡文化芸術大学、8-18.

池上重弘. 2009. 「静岡県に暮らすブラジル人のプロフィール－2007年静岡県外国人労働実態調査の調査方法と基本属性－」 池上重弘編. 『静岡県外国人労働実態調査の詳細分析報告書』 静岡文化芸術大学、16-32.

静岡県県民部多文化共生室. 2010. 『静岡県多文化共生アンケート調査（日本人調査・外国人調査）報告書』

<https://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-140/documents/hyoushi.pdf>

（2016年3月15日最終閲覧）

池上重弘（静岡文化芸術大学）

## 1. はじめに

本章では、外国人居住者の日本語能力について概観した上で、団地内外での社会関係や情報収集の手段等について分析する。滞在の長期化が進み、実態としての定住が進行しつつあるのはまぎれもない事実であるが、滞在期間が長いわりに定住外国人の日本語能力が必ずしも高くないことは各所で指摘されている〔たとえば外国人集住都市会議 2015〕。外国人の日本語能力を把握するため、筆者らがこれまで実施した浜松市や静岡県の調査においては、「会話」、「ひらがな等を読める」、「ひらがな等を書ける」、「漢字を読める」、「漢字を書ける」といった項目について、それぞれ「まったくできない」、「あまりできない」、「まあまあできる」、「わりとできる」、「ほぼ完全にできる」という五択の選択肢を提示して主観的基準によりあてはまるものを選んでもらう形式を取っていた〔池上 2008、2009〕。しかしながら、こうした設問と選択肢設定では具体的な日本語能力のイメージがつかみにくいため、本調査では島田ら〔2007〕を参考に、より具体的な選択肢を設定した。

外国人居住者の社会関係については、日本人調査と対比させながら、地域で行われる会合や催しの認知と参加状況を明らかにする。さらに、同じく日本人調査とパラレルな質問項目となっている近隣の人々とのつきあいの程度を描き出す。外国人居住者、とりわけブラジル人居住者が半数近くを占める集合住宅では「ブラジル人コミュニティができています」ように考える日本人が多いが、果たしてそれは正しい認識であろうか。近隣の人々とのつきあいの分析から、この問いに対する答えを導き出したい。

本章の最後の部分で、外国人居住者がどのような手段で生活上の情報を収集しているか、また外国人を対象とした行政サービスをどの程度認知し利用しているかを明らかにする。この作業を通して、生活上のニーズにどのようにして対応しているかを浮き彫りにしたい。

## 2. 日本語能力

本調査では外国人居住者の日本語能力について、個人調査票のなかで「会話能力」、「読む力」、「書く力」の3点について質問した。リーマンショックのあと、ハケン会社に頼らずに自力でより安定した仕事を続けるには、業務連絡メモ等を書いたり読んだりする能力が求められるようになった。そこでとくに「書く力」に関する質問では、伝言メモを書く力が備わっているかどうかを焦点を当てて質問した。

図1は会話能力に関する回答結果である。「自分の家族や国などについて簡単な質問に答えることができる」という選択肢を選んだ者が51.6%で群を抜いてもっとも多かった。「買い物をするときに自分の希望や条件を詳しく説明できる」との回答が20.0%、「自国の教育制度や政治制度を説明できる」との回答が6.8%であり、少し込み入った会話などにおいて

日常レベルでほぼ問題なく意思疎通できると思われる人はその両者を合計した 26.8%、つまりほぼ 4 人に 1 人と考えることができる。「名前や出身地など、簡単な自己紹介ができる」との回答は 16.8%、「まったくできない」との回答は 2.6%であった。

図 1 日本語の会話能力 (B 票 Q22、単位 : %)

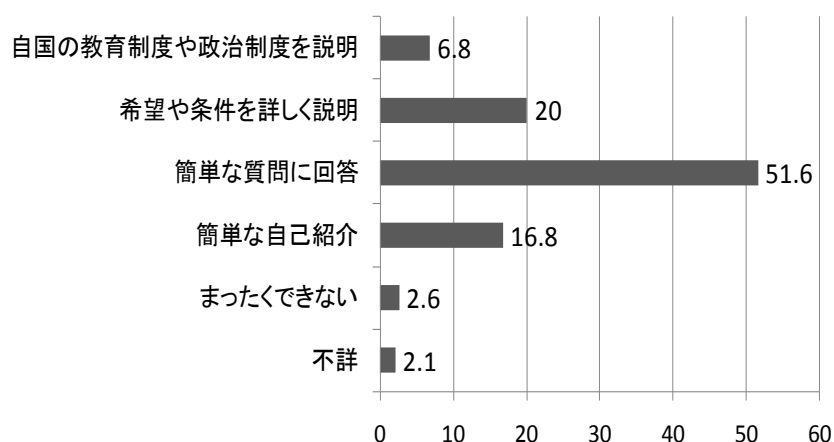
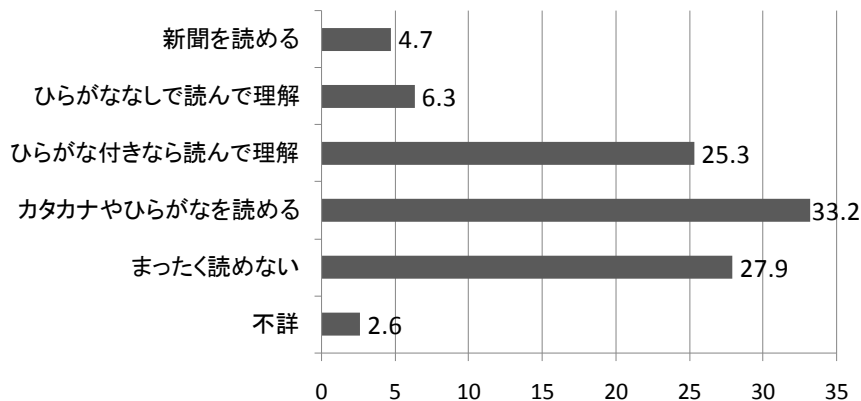


図 2 は日本語を読む力について回答結果を示したものである。もっとも多かったのは「カタカナやひらがなで書かれた国名や都市名を読むことができる」という選択肢で、33.2%、ほぼ 3 人に 1 人がこれを選んでいった。一方で、「まったく読めない」人も 27.9%で 3 割近い。

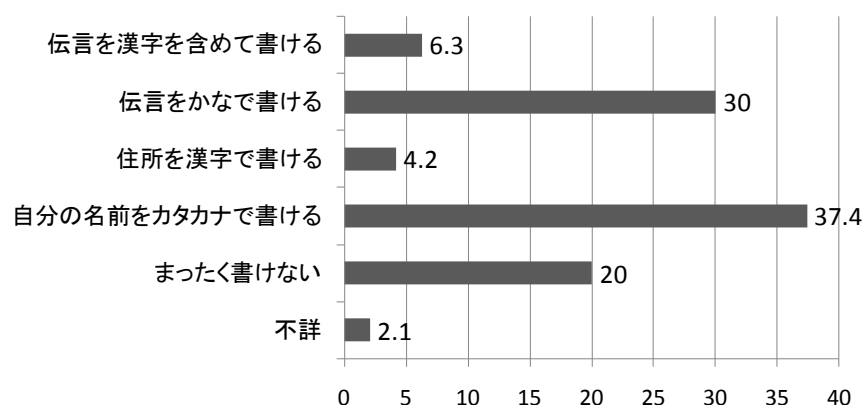
「ひらがな付きであれば市役所や学校からの通知（お知らせ）を読んで理解できる」のは 25.3%、「ひらがななしで市役所や学校からの通知（お知らせ）を読んで理解できる」のは 6.3%、「新聞を読むことができる」のは 4.7%であった。通常の日本語の文書をそのまま読めるのはわずか 1 割ほどであり、文書での通知にはルビ振り、やさしい日本語での表記など工夫が求められることがわかる。

図 2 日本語を読む力 (B 票 Q23、単位 : %)



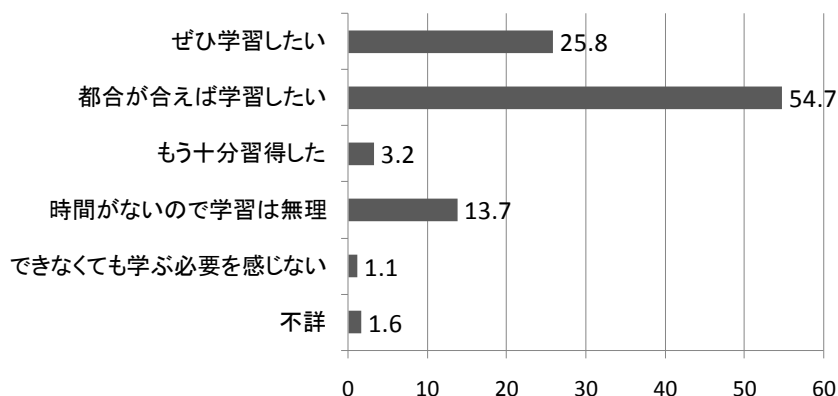
日本語能力の最後に日本語を書く力についての回答を紹介したい。この質問では分布が二極化している。「自分の名前をカタカナで書くことができる」との回答が 37.4%でもっとも多かった。「自分の住所を漢字で書くことができる」という選択肢は、決まった情報を漢字で書くことができるかどうかを知るために設定したが、これを選択した人は 4.2%でごく少数だった。決まった情報ではあるが、やはり漢字のバリアは高いと言える。次に伝言メモを書けるかどうかという観点から見ると、「仕事の伝言メモをひらがなやカタカナで書くことができる」との回答は 30.0%だった。さらに「仕事の伝言メモを漢字を含めて書くことができる」と回答した 6.3%と合計すると、自分から書き言葉としての日本語を出力できるのは 36.3%でほぼ 3 分の 1 になるが、日本人と同レベルの書く力を有して業務上の伝言メモを書けるのはまだ 1 割にも満たないことがわかる。

図3 日本語を読む力 (B 票 Q24、単位：%)



ではこれからの日本語学習希望についてはどうだろうか。図4は今後の日本語学習に対する希望について質問した結果である。もっとも多かったのは「自分の都合にあう機会があればぜひ学習したい」との回答で 54.7%がこれを選んだ。ただし、「自分の都合にあう機会」という条件に見合う学習機会の設定はなかなか困難である。実際には仕事のない休日であっても、疲れていたり遊びの約束があったりして日本語学習に時間を振り向けることが難しい場合が少なくない。一方、「ぜひ学習したい」という強い学習希望を示したのが 25.8%、ほぼ 4 人に 1 人であった。こう回答した人たちは何らかの強い動機を持っているはずだが、現時点ではその動機に見合う学習機会に出会えていないことがわかる。ニーズの明確化とニーズに合った学習機会の提供が求められよう。「時間の余裕がないので学習は無理」との現実的な回答も 13.7%あった。不安定な就労環境の下ではとにかく仕事優先で、日本語学習に振り向ける時間的余裕がなかなか確保できない人たちがいることがうかがえる。滞在の長期化が進むなか、すでに十分な日本語能力を身につけた人もかなりいるであろうと予測したが、「すでに習得しているのもう十分」との回答はわずか 3.2%に留まった。

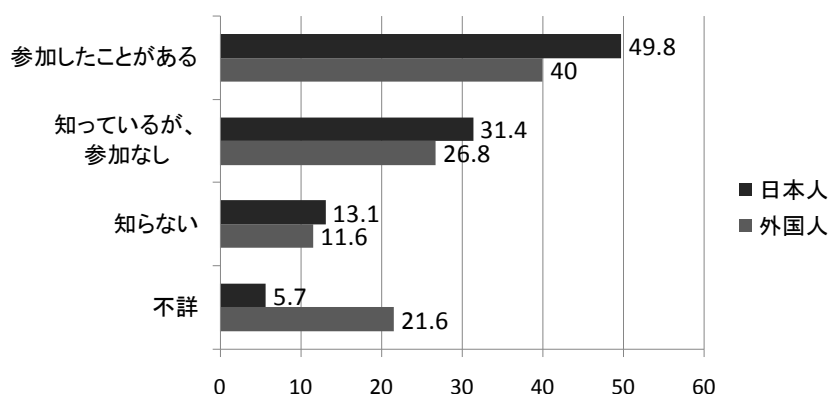
図4 今後の日本語の学習希望（B票 Q25、単位：％）



### 3. 地域での会合や催しへの参加

本調査では地域で行われる会合や催しについて、日本人居住者と外国人居住者の双方に対して同じ項目を提示して質問した。質問の対象となったのは、①自治会の役員に参加義務がある自治会の会合、②役員に限らず自治会の義務として位置づけられる草刈り、ごみひろい、③子ども向けの年中行事の手伝いとしての通学合宿（6月）、キャンプファイヤー（8月）、④地区をあげての年中行事としての地区運動会（9月第一日曜日）、地区祭り（10月第一土日）、地区文化祭（11月3日）、⑤多文化交流センター（及び敷地）で開催される東新横丁（毎月第3日曜日）、「こんにちは！」のイベント、⑥地域防災訓練（12月）であった。それらの項目について「1 参加したことがある」、「2 知っているが参加したことはない」、「3 知らない」という3つの選択肢を設けて回答してもらった。紙幅の制約からすべての催しについて回答結果をグラフ化して提示できないため、①～⑥の中からひとつずつ選択して以下に回答結果を紹介する（すべての催しに関する回答については巻末付録資料の単純集計表を参照）。

図5 自治会の会合への参加（A票問1A、B票 Q16A、単位：％）



まず①の自治会の会合についてみると、日本人も外国人も「参加したことがある」がもっとも多かった。日本人ではほぼ50%、外国人でも40%が参加経験があった。一方、外国

人は不詳が 21.6%と比率が高くなっている。これは「知らない」との回答とほぼ重なりと  
 考えてよいだろう。日本人でも「知っているが参加したことはない」が 31.4%いた。東新  
 町団地では十年以上前から外国人居住者も団地自治会に加わる形で自治会運営を図ったき  
 ため、現在でも自治会の会合に対する外国人の参加率は高いと言える。

次に自治会員として参加が義務づけられているごみひろいを取り上げる。自治会の会合  
 と同様、義務づけられ不参加の場合罰金もあるので、日本人も外国人も「参加したことが  
 ある」がもっとも多い。ただし、日本人は 75.5%なのに対し、外国人は 63.2%と少し比率  
 が低くなる。この場合も外国人回答者の「不詳」が 18.4%と多く、実質的にはごみひろい  
 のことを理解できていない外国人が一定数いることを推測させる。

図 6 ごみひろいへの参加 (A 票問 1C、B 票 Q16C、単位 : %)

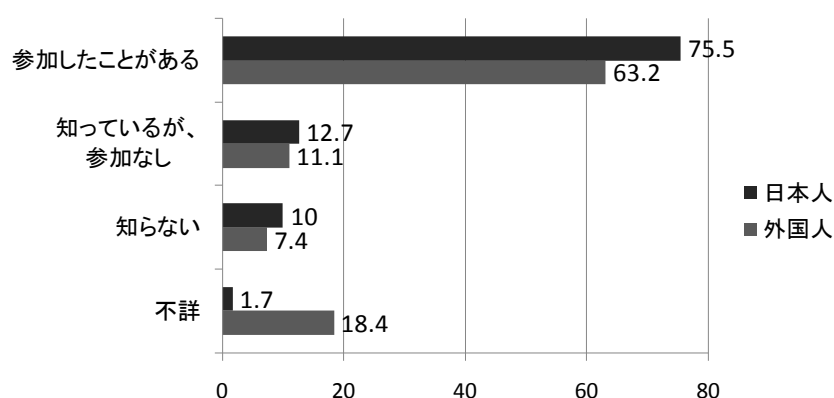
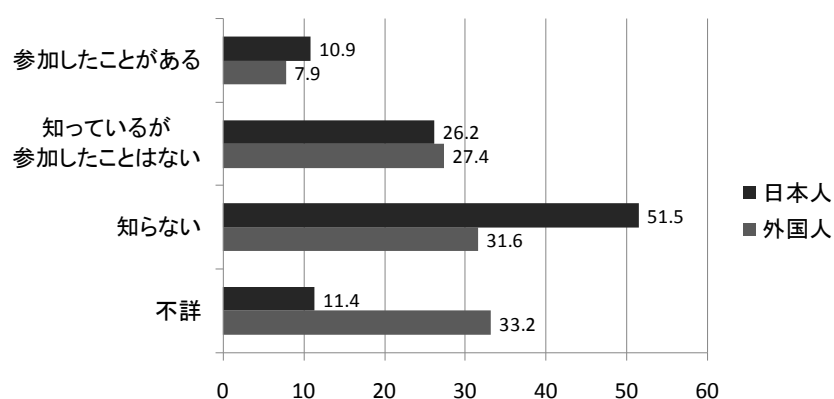


図 7 通学合宿への参加 (A 票問 1D、B 票 Q16D、単位 : %)



子ども向けの年中行事の手伝いとしての通学合宿は、毎年 6 月に南御厨地区の公民館で  
 二泊三日のプログラムとして行われる。小学校高学年の児童を対象としたこの行事では炊  
 き出し等で地域の大人たちがボランティアとして関わっている。ボランティアな活動であ  
 り、また子どもがいないと関わる必然性がないため、日本人でも「知らない」との回答が  
 51.5%でもっとも多い。外国人も 31.6%が「知らない」と回答している。参加したことが  
 ある人は日本人、外国人とも 1 割前後に留まっている。

参加がまったく任意でありながら、地域の結束強化に大きく寄与する地区運動会を取り上げ、参加状況を比較してみよう。図8に明らかなように、地区運動会については日本人と外国人で大きく参加状況に差が認められた。日本人ではほぼ半数が「参加したことがある」と回答しているのに対し、外国人は「参加したことがある」との回答は1割に満たない。「知らない」と「不詳」を合計すると、外国人の場合、61.6%とほぼ3分の2が地区運動会の存在自体を知らないものと思われる。

図8 地区運動会への参加（A票問1F、B票Q16F、単位：%）

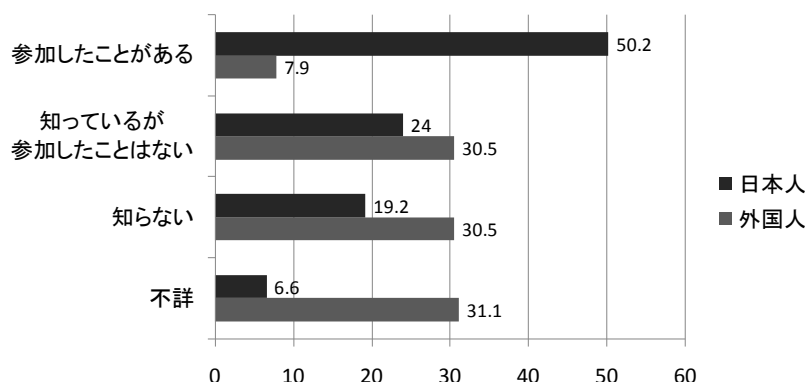
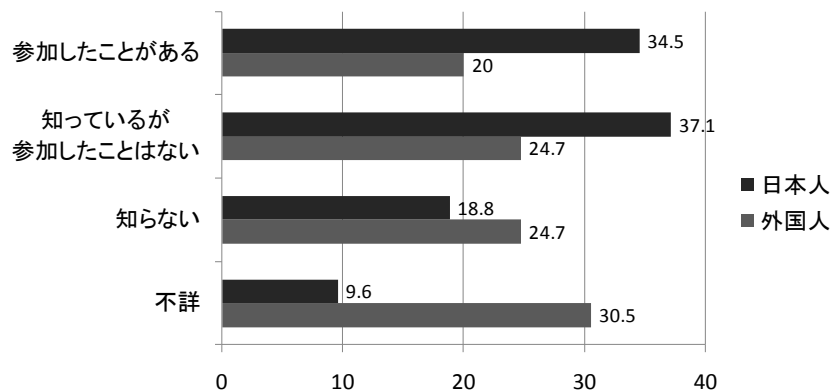


図9 東新横町への参加（A票問1I、B票Q16I、単位：%）



毎月第3日曜日に、団地に隣接する多文化交流センター及び敷地内の広場を会場に行われる東新横丁は、軽トラ市や模擬店、フリーマーケット等もあり、団地に賑わいをもたらしている。また、多文化交流センターの学習支援に通う子どもたちが踊りを披露したりする回には、その保護者たちが足を運ぶことも多い。図9はそのような定期的なイベントである東新横町への参加状況を示したものである。地区運動会同様、任意参加の催しではあるが、子どもが踊りを披露したりする機会でもあるため、外国人でも「参加したことがある」が20.0%に及んでいる。しかし日本人の参加はおしなべて少ないようで、「参加したことがある」が34.5%でほぼ3分の1、「知っているが参加したことはない」の37.1%と「知らない」の18.8%を合計すると55.9%が参加したことがないと回答している。



この部分の最後に地域防災訓練について参加状況を比較してみる。日本人も外国人も「参加したことがある」がもっとも多いが、日本人では 53.7% であるのに対し、外国人は 38.4% であり、日本人より 15 ポイントほど低い。「知っているが参加したことはない」人は日本人も外国人も 20% 程度であるが、外国人は不詳が 3 割近く、やはり地域防災訓練の存在そのものがよく知られていないことがうかがえる。

図 10 地域防災訓練への参加（A 票問 1K、B 票 Q16K、単位：％）

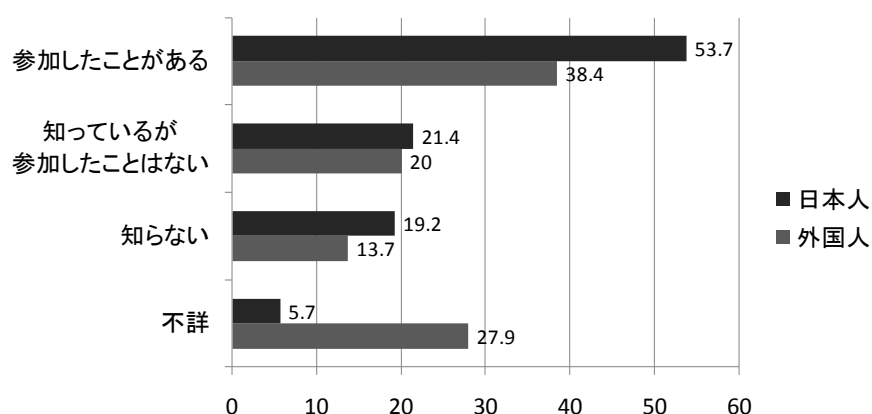
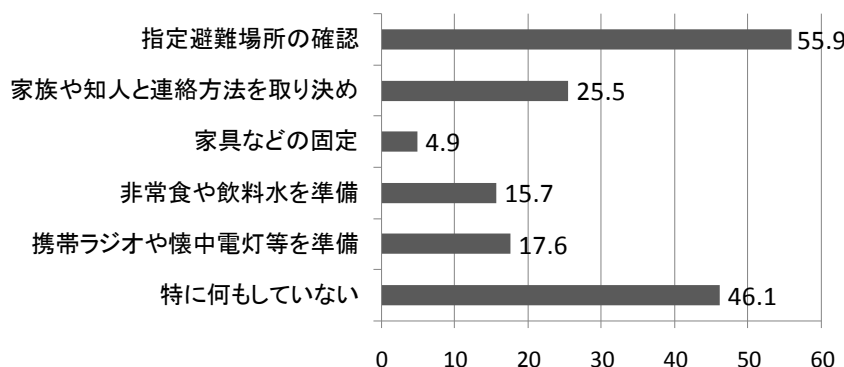


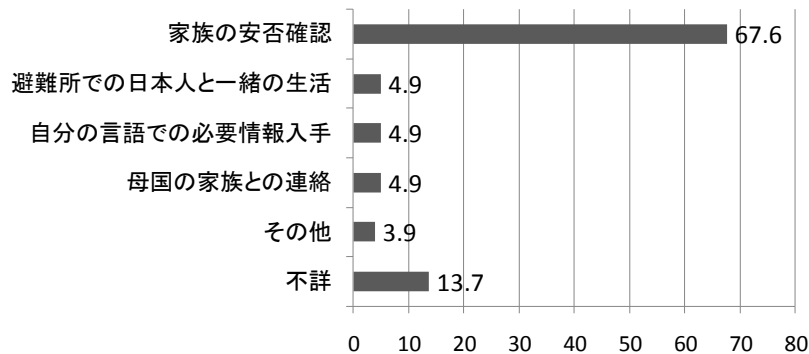
図 11 災害のための準備しているもの（C 票問 1、複数回答、単位：％）



この点と関連させて外国人世帯調査票（C 票）で質問した防災関連の項目についてここでまとめておこう。災害（地震、台風など）のために準備しているものを尋ねたところ、図 11 に明らかなとおり、指定避難場所の確認がもっとも多く 55.9% に達した。他方で「特に何もしていない」も 46.1% を占めており、防災意識の欠落も危惧される。非常食や飲料水の準備、携帯ラジオや懐中電灯の準備は、いずれもそれぞれ 15.7%、17.6% と 2 割を下回り、被災時には困難に直面することが予測される。

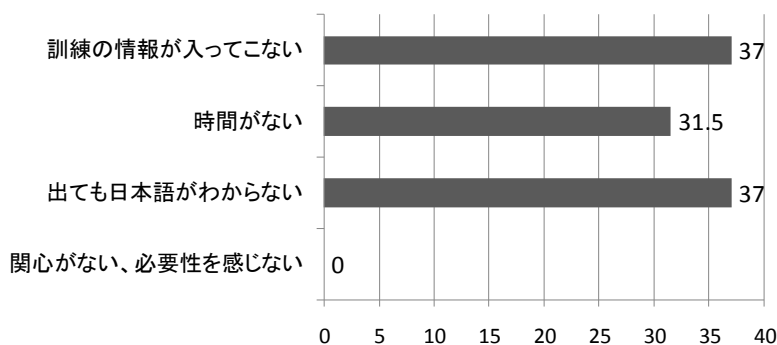
災害（地震、台風など）の発生時に一番心配なことを尋ねたところ、図 12 にあきらかなように、家族の安否確認と回答した人が 67.6% で、家族の安否確認が最大の関心事であることがわかる。他の選択肢を選んだ人はいずれも 5% 以下であった。

図 12 災害発生時の一番の心配事（C 票問 4、単位：％）



外国人世帯調査で地区防災訓練への参加について尋ねたところ、回答のあった 102 世帯のうち「ある」と「なし」がいずれも 48.0%ずつ、不詳が 3.9%であった。図 13 に示すように、不参加の理由としては、回答のあった 54 世帯を母数とすると、「訓練の情報が入っていない」が 37.0%、「時間がない」が 31.5%、「出ても日本語がわからない」が 37.0%であり、「関心がない、必要姓を感じない」という回答は一切なかった。情報伝達、時間（余暇時間）、日本語の壁の 3 つが防災訓練参加へのブレーキとなっていることがわかる。

図 13 地区防災訓練不参加の理由（C 票 Q3、複数回答、単位：％）



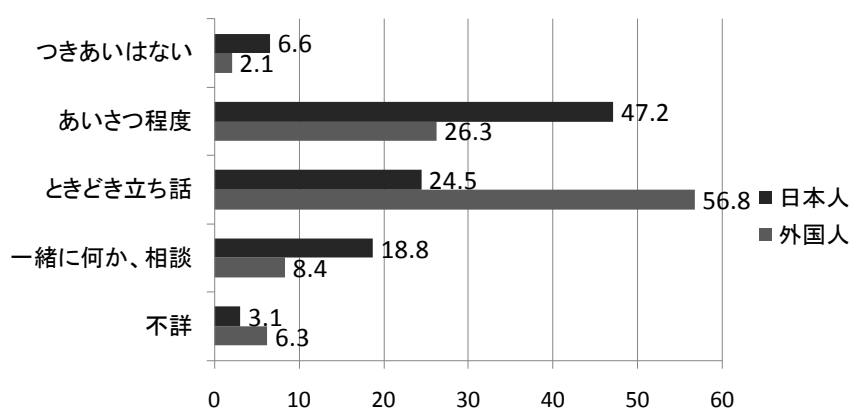
#### 4. 近隣とのつきあい

ここでは団地内の人間関係について、日本人個人調査と外国人個人調査を対比させて検討しよう。ここで紹介する質問項目と選択肢は 2002 年に焼津市の公営住宅で全戸調査を実施した際と同様である〔池上・福岡 2005〕。ここでは紙幅の都合で焼津調査との比較は行わないが、十数年の時間を挟んだ両調査の比較は今後の課題として興味深い。

まず同じ国の人とのつきあいについて比較してみる。すわなち日本人回答者は団地の日本人とのつきあいについて、外国人回答者は団地に住む同じ国籍の外国人とのつきあいについて回答してもらった。図 14 はその結果を示したものであるが、ここから次の三点を読み取ることができる。第一点は、日本人は外国人と比較してみた場合、全般的に浅いつきあいに留まっている人が多いことである。「あいさつ程度」が 47.2%でもっとも多く、「つ

きあいはない」との回答も 6.6%あった。第二点は、外国人は「ときどき立ち話」がもっとも多く 56.8%となっている点である。団地内での表面的現れだけを見ていると、外国人の方が同じ国の人同士で立ち話をしている様子が目立つので、日本人の多くは「団地内で外国人コミュニティができています」と思いがちである。しかし第三点として、外国人の場合、「一緒に何かしたり、相談したりする」ような深い関係にある人たちは意外に少ないことに注目すべきである。これら三点から導かれるのは、日本人はあいさつ程度の表面的なつきあいが多いのに対して、外国人は「ときどき立ち話」するようなより情報量の多いつきあいをしているが、「一緒に何かしたり、相談したりする」ような深い関係になることは少なく、「コミュニティができています」とは必ずしも言えないという点である。

図 14 団地に住む同国人とのつきあい（日本人 A 票問 2、外国人 B 票 Q17、単位：％）



同じ団地に住む同国人以外の外国人とのつきあいについては、同国人ほどの深い関係は認められなかった。図 15 に明らかなように、もっとも多いのはあいさつ程度で 48.9%だった。「ときどき立ち話」も 35.8%あったが、同国人との間のような比率の高さではなかった。外国人同士でも国籍が異なると比較的表面的なつきあいに終始していることがうかがえる。

図 15 団地に住む同国人以外の外国人とのつきあい（外国人 B 票 Q18、単位：％）

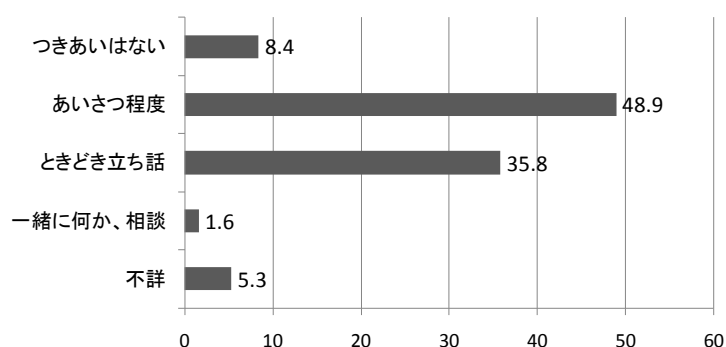
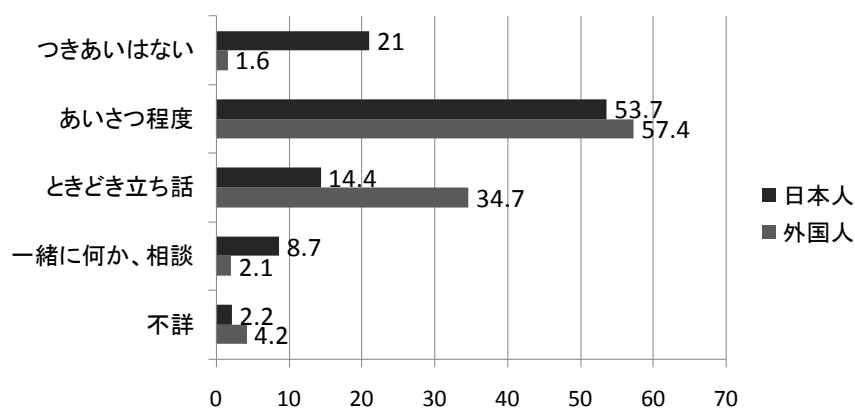


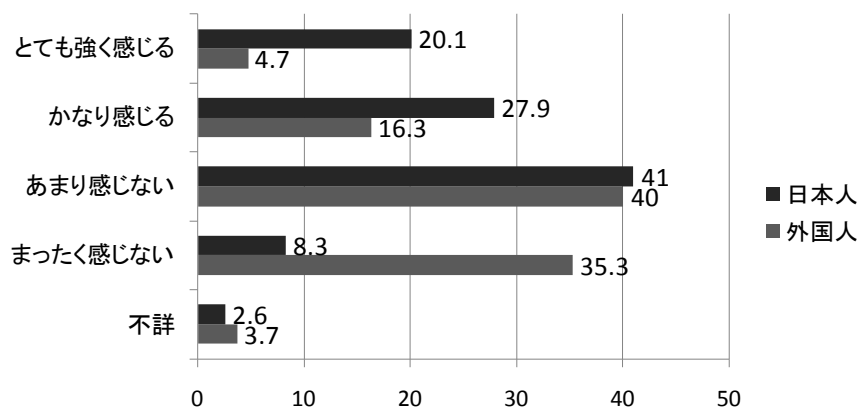
図 16 は日本人と外国人、相互のつきあいについて記したものである。この図からは次の三点を読み取ることができる。第一点は、日本人も外国人も「あいさつ程度」のつきあいが 5 割代でもっとも多くなっていることである。互いにあいさつ程度は交わしているという認識をしている人が半分程度いることになる。第二点は、その一方で認識のギャップが認められる点である。日本人の回答では、外国人とつきあいはないと感じている人が 2 割と多いが、外国人側は日本人とつきあいはないと感じている人はわずか 1.6% しかいない。また、「ときどき立ち話をしている」と捉えている日本人は 14.4% に留まるが、外国人側はその倍以上の 34.7% が「ときどき立ち話をしている」と認識している。第三点は、「一緒に何かしたり、相談したりする」ような深い関係があると認識している人は、日本人・外国人ともにごく一部にすぎないことである。リーマン・ショック以前にできていた団地内での多文化共生の関係（日本人と外国人が協働した活動等）が機能しなくなっているという磐田市長の認識を裏づけることになった。

図 16 団地に住む外国人と日本人とのつきあい(日本人 A 票問 3、外国人 B 票 Q19、単位: %)



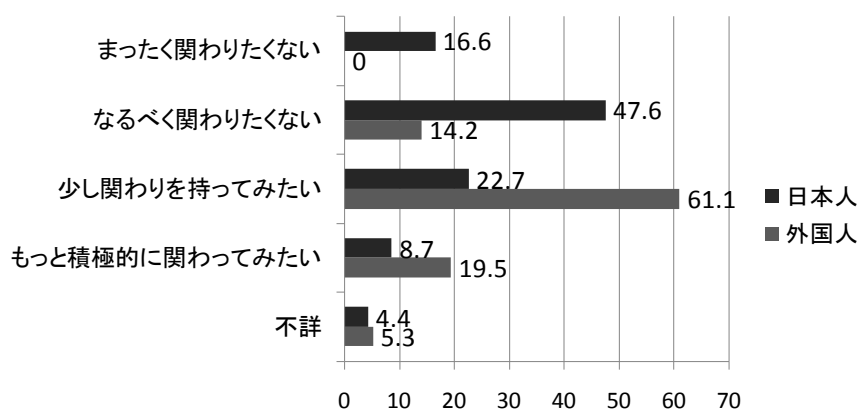
次に団地に住む日本人と外国人の間での人間関係の壁について尋ねた結果を図 17 に示す。日本人に対しては、「団地に住む外国人との間に人間関係の壁を感じますか」と質問し、外国人に対しては、「団地に住む日本人との間に人間関係の壁を感じますか」と質問した結果を対比して示した図である。ここにも大きな認識のギャップが認められる。「あまり感じない」との回答が日本人も外国人もほぼ 4 割でもっとも多いが、日本人は外国人との間に壁を感じる人が多い。「とても強く感じる」が 20.1%、「かなり感じる」が 27.9% で、両者を合計すると、ほぼ半数の 48.0% が外国人との間に壁を感じていることがわかる。その裏返しとして「まったく感じない」と回答した日本人は 8.3% に留まっている。一方、外国人は「とても強く感じる」は 4.7% と少なく、「かなり感じる」の 16.3% と合計しても日本人との間に壁を感じている人は 21.0% に過ぎず、日本人の 48.0% の半分以上となっている。外国人側は「まったく感じない」との回答が 35.3% と多く、日本人の方が外国人に対して人間関係の壁を感じる傾向が強いことが浮き彫りになった。

図 16 団地に住む外国人と日本人との間の人間関係の壁  
(日本人 A 票問 4、外国人 B 票 Q20、単位：%)



以上を踏まえた上で、団地内での今後の関係のあり方について尋ねた結果を検討しよう。この質問においても大きなギャップが認められる。日本人に対して「団地に住む外国人と今後どのような関係を持ちたいですか」と質問したところ、「なるべく関わりたくない」が 47.6%でもっとも多かった。「まったく関わりたくない」と強い拒否感を示した 16.6%と合計すると、64.2%が外国人との関わりに消極的姿勢を見せた。それに対して、外国人に対して「団地に住む日本人とこれからどのような関係を持ちたいですか」と質問したところ、「まったく関わりたくない」という回答はなく、「なるべく関わりたくない」も 14.2%に過ぎなかった。このように消極的姿勢を示す外国人はごく少数であることがわかる。他方で「少し関わりを持ってみたい」が 61.1%でもっとも多く、「もっと積極的に関わってみたい」も 19.5%に及んでいた。外国人の約 8 割が日本人との関わりに積極的姿勢を示していることがうかがえるのである。

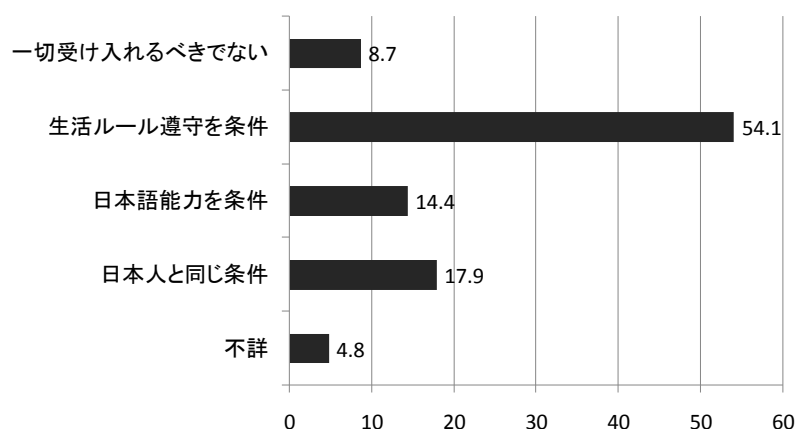
図 17 団地に住む外国人と日本人との間の今後の関係  
(日本人 A 票問 5、外国人 B 票 Q21、単位：%)



日本人に対して、団地における今後の外国人受け入れについて尋ねた結果が図 18 である。

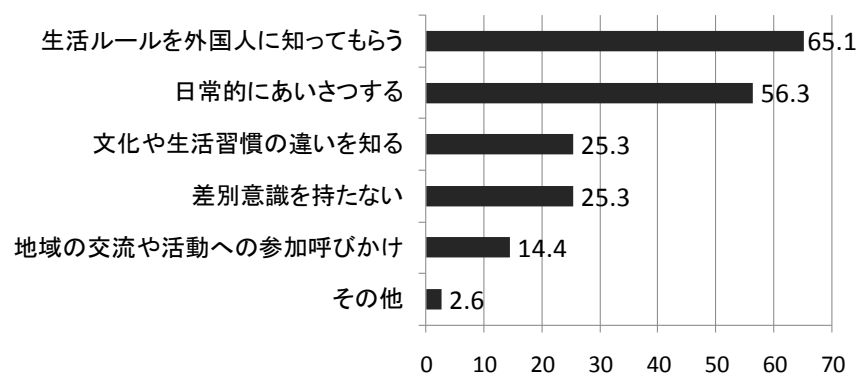
「日本人と同じ条件で受け入れればよい」は 17.9%で、他の人は何らかの条件設定を望んでいた。「生活ルール遵守を条件に受け入れればよい」が 54.1%でもっとも多く、「日本語能力を条件に受け入れればよい」と回答した 14.4%を大きく上回っていた。つまり、日本語能力の如何は問わないが、団地の生活ルールは守って欲しいというのが本音であろう。「一切受け入れるべきでない」という強い拒否は 8.7%であり、決して多数派ではない。

図 18 団地における外国人の受け入れ（日本人 A 票問 6、単位：％）



続けて日本人に対して尋ねたもうひとつの質問の結果を紹介したい。これは「外国人との相互理解を深めるために地域で必要なことは何ですか」という質問に対する回答である。三つまで選択できる形の複数回答とした結果が図 19 である。「生活ルールを外国人に知ってもらおう」が 65.1%でもっとも多かった。上記図 18 で「生活ルール遵守を条件」とする回答が 54.1%でもっとも多かったのと呼応している。また、「日常的にあいさつする」も 56.3%でそれに続いた。図 16 に示したように、日本人は外国人と「あいさつ程度」のつきあいはしていると回答した人がほぼ半数だったが、その重要性をここでも再確認できる。

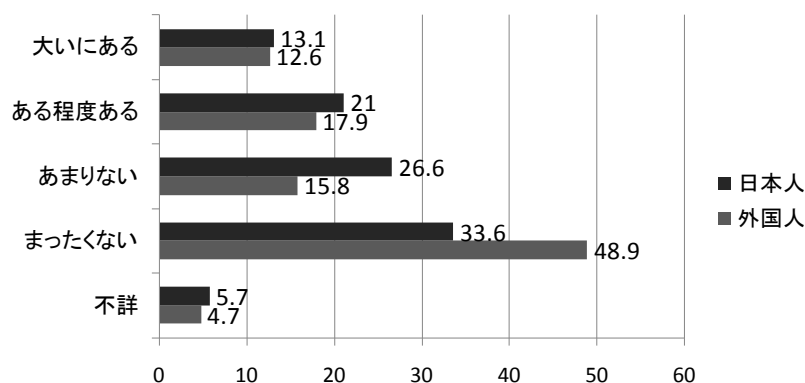
図 19 団地における外国人の受け入れ（日本人 A 票問 12、単位：％）



## 5. 今後の引越予定

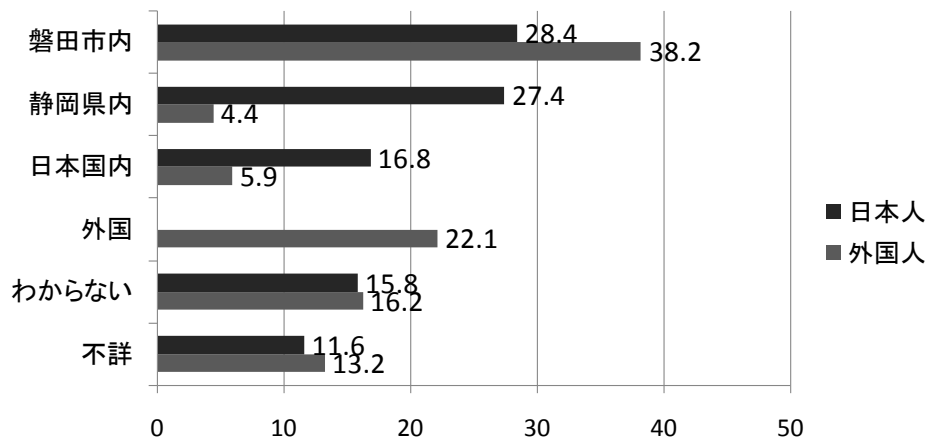
今後3年以内に東新町団地から引っ越す予定があるかどうかを尋ねた結果が図19である。「大いにある」と「ある程度ある」は引越する可能性がある人たちだが、両者の合計は日本人で34.1%、外国人で30.5%となっており、いずれも約3割が引っ越す可能性を視野に入れていた。しかし外国人はほぼ半数に近い48.9%が「まったくない」と回答しており、日本人も「まったくない」が33.6%でもっとも多かった。「あまりない」と「まったくない」の両者の合計は日本人では60.2%、外国人では64.7%で、ほぼ6割は今後も団地に留まることが予測される。

図19 今後3年間の団地からの引越予定（日本人A票問7、外国人B票Q43、単位：%）



今後3年間の引越予定が「大いにある」、「ある程度ある」と回答した人たちに引越予定先を尋ねたところ、図20に示すように、日本人・外国人とも磐田市内がもっとも多かった。日本人は磐田市内28.4%とほぼ同率の27.4%が静岡県内と回答しているが、外国人の場合、磐田市内は38.2%と多いものの、静岡県内は4.4%とごく少数に留まる。外国への帰国を想定しているのは22.1%であった。

図20 引越予定先（日本人A票問8 N=95、外国人B票Q44 N=68、単位：%）

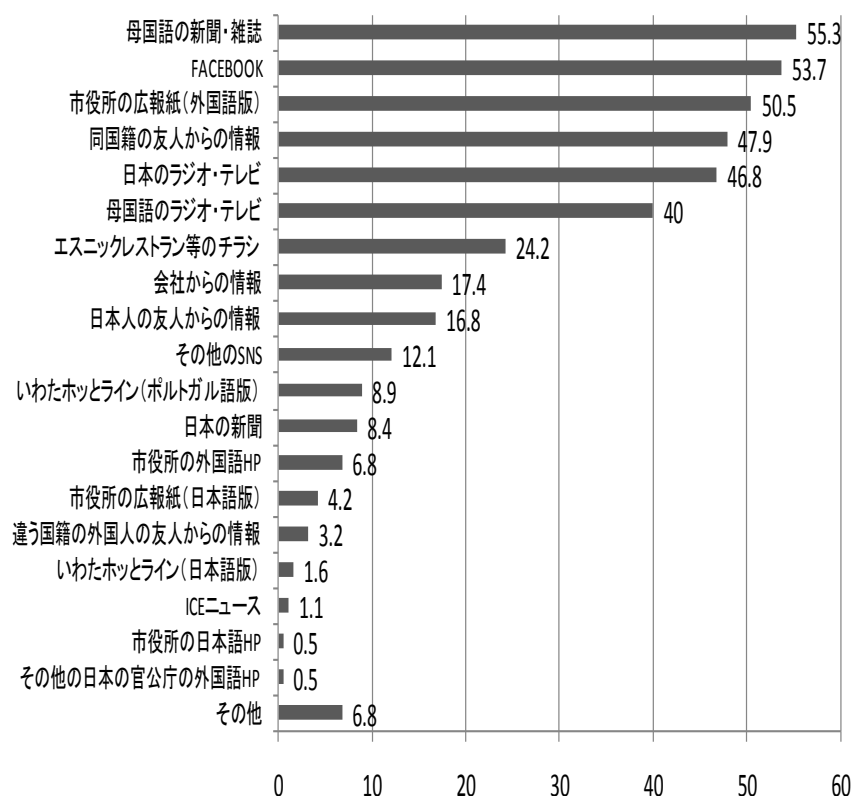


## 6. 生活情報の収集

生活情報をどのような手段によって入手しているかを質問した結果が図 21 である。当然のことながら入手手段は複数考えられるので5つまで選択できる複数回答とした。もっとも回答が多かったのは、母国語の新聞・雑誌で 55.3%を占めた。リーマンショック以前は複数のポルトガル語週刊新聞があったが、リーマンショック前後で淘汰され、現在ではポルトガル語活字メディアは月刊のフリーペーパーがブラジル雑貨店やブラジル料理のレストラン等に置かれていることが多い。

続いて FACEBOOK が 53.7%で多かった。FACEBOOK を通じて友人・知人等から情報を得ている人が多いことがわかる。市役所の広報紙（外国語版）も 50.5%で活用されているようすがわかる。団地の場合、外国人も原則として自治会に加入しており、広報いわたの外国語版が届くようになっている。手に届けば情報源として活用していることがわかったので、いかにして外国人市民（とくにポルトガル語版を読めるブラジル人市民）の手に広報のポルトガル語版を届けるかが課題となろう。

図 21 生活情報の入手方法（外国人 B 票 Q15、単位：％）



以下、同国籍の友人からの情報が 47.9%、日本のラジオ・テレビが 46.8%、母国語のラジオ・テレビが 40.0%となっている。40%以上が利用しているものを主な情報源とすれば、



日本のラジオ・テレビ以外はすべて母国語での情報収集となっている。逆に言えば、その中で日本のラジオ・テレビが日本語での情報収集源として重要な位置を占めていることがわかる。

スマートフォンを持っている外国人は少なくないが、市役所を含む日本の官公庁の外国語ホームページの利用はさほど多くはない。それらの中では、いわたホッとライン（ポルトガル語版）が 8.9%でもっとも多いが、市役所の外国語 HP は 6.8%、その他の日本の官公庁の外国語 HP は 0.5%と低迷している。FACEBOOK の利用は多いのであるから、FACEBOOK とうまく連動して HP 上の情報につなげる工夫が必要であろう。

## 7. 外国人対象の行政サービス

磐田市では外国人を対象とする多様な行政サービスが展開している。表 1 は外国人についてはそれらのサービスをどの程度認知し利用しているかを示し、日本人についてはそれを知っているかどうかを示したものである。

表 1 外国人対象の行政サービスの認知と利用(日本人 A 票問 13、外国人 C 票 Q5、単位：%)

	外国人				日本人
	利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない	不詳	知っている
市役所の外国人窓口	83.3	6.9	2.0	7.9	45.9
ポルトガル語版広報いわた	77.5	7.8	3.9	10.8	57.2
市HPポルトガル語版	25.5	22.5	29.4	22.5	23.1
「こんにちは！」親子遊び	36.3	30.4	16.7	16.7	28.8
「こんにちは！」の学習と遊び	33.3	34.3	18.6	13.7	16.6
「こんにちは！」の相談・情報提供	28.4	38.2	18.6	14.7	7.0
「こんにちは！」の中学生学習支援	29.4	34.3	21.6	14.7	8.7
「こんにちは！」の学び直し	22.5	33.3	25.5	18.6	6.6
磐田市国際交流協会の日本語教室	15.7	34.3	35.3	14.7	11.8
ごみ収集カレンダー外国語版	78.4	3.9	6.9	10.8	55.9

外国人の利用が多い上位三つは、市役所の外国人窓口が 83.3%、ごみ収集カレンダー外国語版が 78.4%、ポルトガル語版広報いわたが 77.5%となっている。これらについては日本人の認知度も高く、それぞれ 45.9%、55.9%、57.2%となっている。日本人の場合、市役所の外国人窓口に足を向けたことはなくても、団地内の生活では回覧板にポルトガル語版広報いわたが挟み込まれていたり、団地のごみ集積所にごみ収集カレンダー外国語版が掲示されていたりするので認知度が高いものと思われる。外国人世帯調査の C 票では、冒頭で「この調査票には家族についての質問があります。子どもがいる場合、子どものことが良くわかっている親が教えてください」と指示が記されている。そのため、多くの場合、母親が回答したものと思われる。子どものことが良くわかっている親が回答しているので、多文化交流センターで活動する「こんにちは！」の各種プログラムについての利用度や認知度も 3 割から 4 割に及んだと理解できる。

## 注

- (1) 南御厨地区の子どもたちが通う東部小学校や神明中学校は早くから外国人児童や外国人生徒の教育に積極的に取り組む学校として知られている。リーマンショック以前の磐田市教育委員会や東部小、神明中の取り組みについては池上〔2009〕を参照のこと。
- (2) 16歳以上のブラジル人、ペルー人を主な対象とする2006年の浜松市調査の回収率は、外国人登録分（無作為抽出による郵送法）で28.6%、外国人雇用企業経由分（企業が手渡し・回収）で59.2%、外国人学校経由分（学校が手渡し・回収）で65.4%、公立小学校経由分（学校が手渡し・回収）が65.4%、全体で48.5%であった〔池上・竹ノ下2008: 10〕。16歳以上のブラジル人のみを対象にポルトガル語の調査票を用いて実施した2007年の静岡県調査では、外国人登録（無作為抽出による郵送法）で28.2%、公立小中学校経由で56.3%、高等学校経由で25.3%、全体で35.3%であった〔池上 2009: 18〕。ブラジル、中国、フィリピン、ペルー、韓国・朝鮮、インドネシア、ベトナムの国籍者を対象に外国人登録情報からの無作為抽出による郵送法で実施した2009年の静岡県調査では、国籍による最高の29.2%（中国）から最低の20.2%（ベトナム）までの幅があるが、全体の回収率は25.1%だった〔静岡県県民部多文化共生室 2010: 2〕。
- (3) 多国籍の外国人を対象とした2009年の静岡県調査では、ルビ付き日本語調査票での回答が全体で21.2%であり、ブラジル人については13.9%となっていた〔静岡県県民部多文化共生室 2010: 2〕。今回の東新町団地2014調査では、それから5年が経過しており、単なるルビ付きではなく「やさしい日本語」に直した調査票だったが、やさしい日本語での回答はその半分以下の数字だった。その理由については今後のさらなる分析が必要である。

## 文献

- 池上重弘. 2008. 「浜松市における南米系外国人の日本語能力と今後の日本語学習支援」池上重弘編.『外国人市民と地域社会への参加ー2006年浜松市外国人調査の詳細分析ー』静岡文化芸術大学、54-70.
- 池上重弘. 2009. 「静岡県におけるブラジル人の日本語能力と求められる日本語学習機会」池上重弘編.『静岡県外国人労働実態調査の詳細分析報告書』静岡文化芸術大学、115-129.
- 池上重弘・竹ノ下弘久. 2008. 「浜松市に暮らす南米出身の外国人のプロフィールー2006年浜松市外国人調査の基本属性ー」池上重弘編.『外国人市民と地域社会への参加ー2006年浜松市外国人調査の詳細分析』静岡文化芸術大学、8-18.
- 池上重弘・福岡欣治. 2005. 「外国人居住者は地域コミュニティの担い手となり得るか？ー焼津市・T団地での調査からー」『静岡文化芸術大学研究紀要』5: 1-12.
- 外国人集住都市会議. 2015.『外国人集住都市会議 東京 2014 報告書』外国人集住都市会議.

静岡県県民部多文化共生室. 2010. 『静岡県多文化共生アンケート調査（日本人調査・外国人調査）報告書』

<https://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-140/documents/hyoushi.pdf>

(2016年3月15日最終閲覧)

島田めぐみ・谷部弘子・斎藤純男. 2007. 「日本語科目における言語行動目標の設定：Can-do-statements を利用して」『東京学芸大学紀要（総合教育科学系）』58: 495-505.

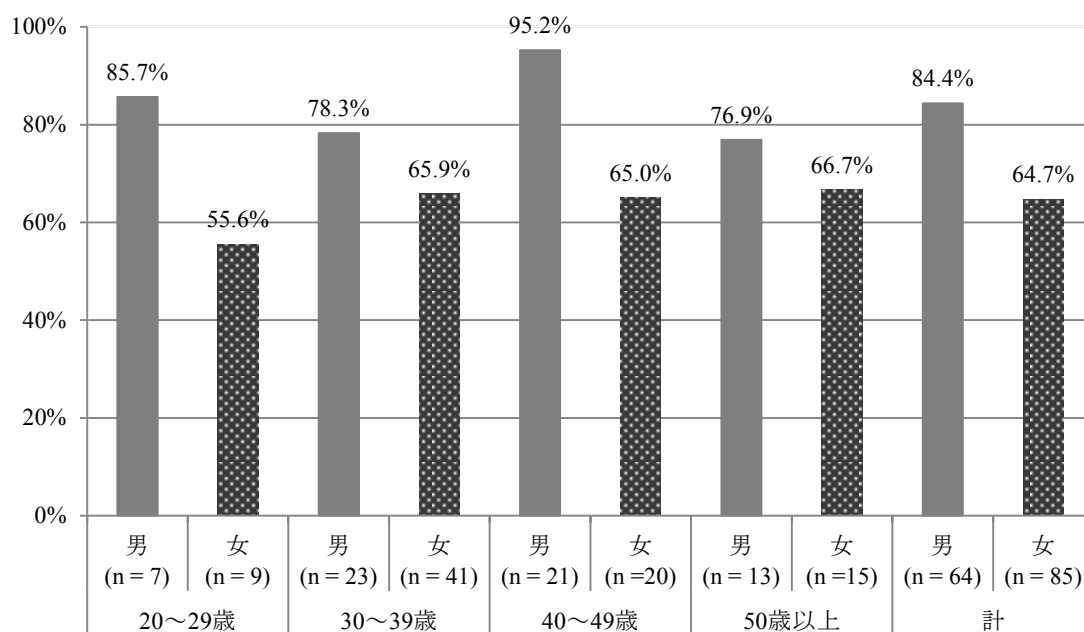
## 磐田市東新町団地における外国人居住者の就労状況

中川雅貴（国立社会保障・人口問題研究所）

2008 年秋のいわゆる「リーマンショック」に端を発した世界金融危機と、その後の日本経済の停滞、さらには輸出向け製造業を中心とする国内産業の再編と雇用環境の変化は、こうした部門を主要な雇用先としてきた在日ブラジル人をはじめとする外国人労働者の就労状況にも少なからず影響を与えていると考えられる。一方、日本国内に居住するブラジル人口については、2007 年末の 32 万人をピークにその総数が減少傾向にあるものの、その後も若年人口割合の増加―すなわち定住二世代の再生産―や「永住者」資格取得者の割合の増加―定住志向の高まり―といった傾向が続くなど、その構成にも変化がみられる。本章では、こうした在日ブラジル人をめぐる近年の変化を踏まえたうえで、間接雇用を通じた不安定な雇用状況のもとで、非熟練・非専門職労働に滞留する外国人労働者の典型的な例と考えられる日系ブラジル人をはじめとする東新町団地の外国人居住者の就労状況について分析する。

### 1. 就労状況ならびに雇用形態の概況

図 1. 男女・年齢階級別にみた就業者割合

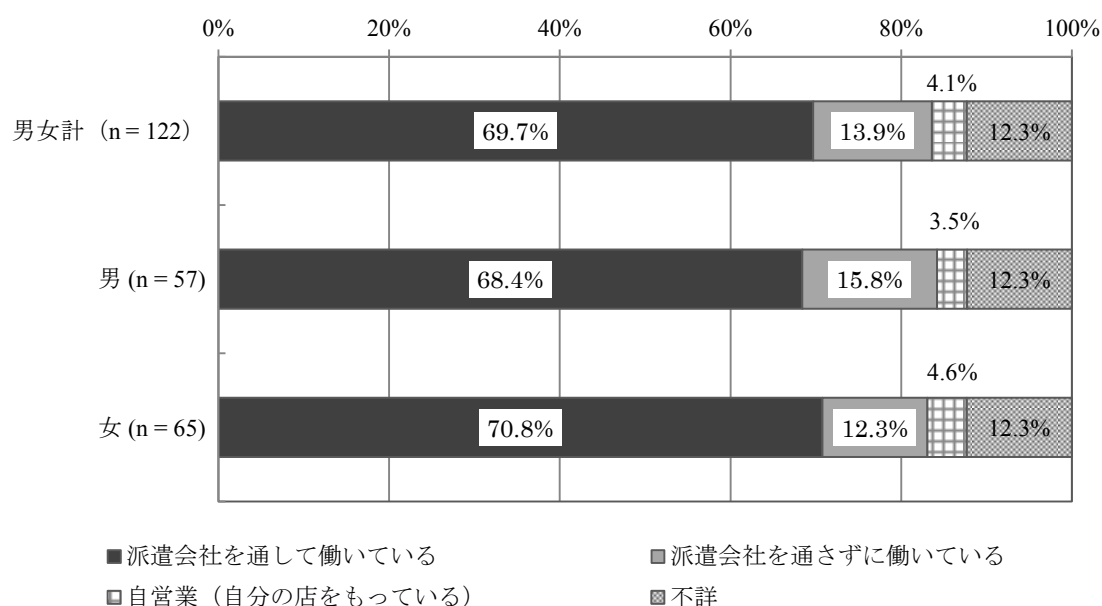


注：就業者割合は、「あなたは、今、仕事をしていますか？」との問いに「はい」と答えた者の割合。「就学中」および年齢不詳を除く。

図 1 は、「磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査」の外国人向け個人調査の 20 歳以上の回答者について、現在の就業状況を男女・年齢階級別に集計したものである。「あなたは、今、仕事をしていますか？」との問いに「はい」と答えた人の割合は、20 歳以上の男性全体で 84%、女性で 65%となっている。年齢階級別にみると、男性では 40 歳代で 95%以上と顕著に高いが、30 歳代および 50 歳以上では 80%を下回り、とくに 30 歳代の低い就業率は注目に値する。一方、女性の就業率については、30 歳代以降は年齢階級別の違いがほとんどみられないのが特徴といえる。

外国人向け個人調査票では、上記に該当する現在就業中の回答者を対象に、「今のあなたの仕事の形は次のどれですか？」(Q 2 7) という問いが設けられており、対象者は、「私の店を持っている」(自営業)、「派遣会社を通して働いている」、「派遣会社は通さないで、働いている」の 3 つの選択肢のなかから回答することになっている。集計対象となるサンプルサイズの制約上、男女・年齢階級別の集計結果を分析することは統計的に困難であるが、図 2 では、この設問に対する回答に基づき、現在就業中の回答者 (20 歳以上) について、その雇用形態を男女別に集計した。

図 2. 男女別にみた就業者の雇用形態



注：年齢不詳を除く。

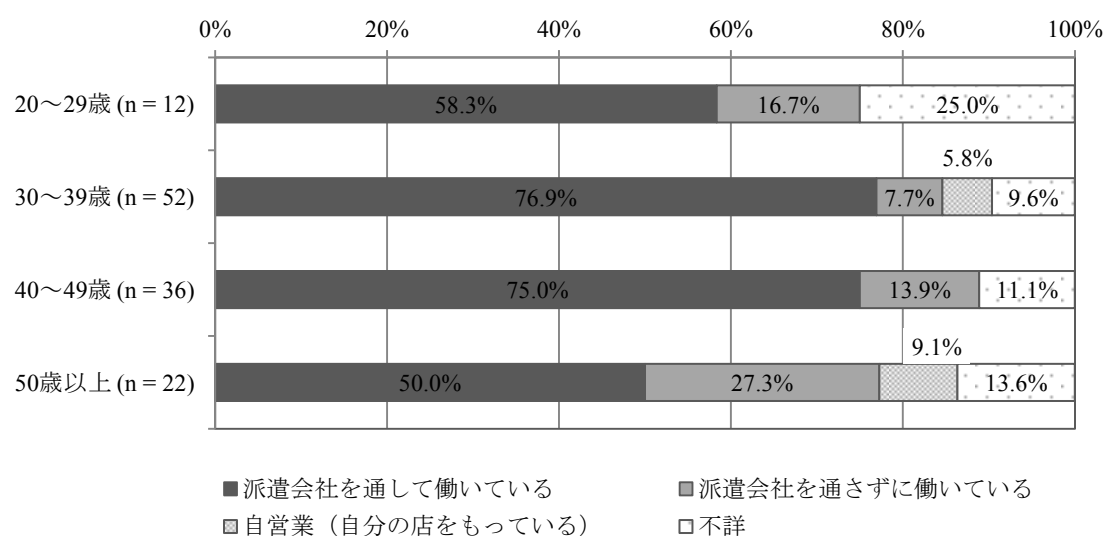
図 2 に示されるとおり、男女ともに、「派遣会社を通して働いている」と答えた人の割合が約 70%と最も高くなっており、男女別では女性のほうが若干高くなっている。こうした派遣会社を通じて就業する人の割合の高さは、日本国内における外国人労働者、とりわけ日系ブラジル人に関する従来の調査研究でたびたび指摘されてきた特徴である。しかしな

がら、その割合は、静岡県内で外国人住民を対象に実施された同様の調査結果と比較しても、若干低くなっていることがうかがえる。例えば、「2006年浜松市外国人調査」では、「派遣・請負」業者を通じた間接雇用契約で就労している回答者の割合は76%であった（池上編2008）。また、2007年に実施された「静岡県外国人労働実態調査」によると、ブラジル人就業者における非正規雇用の割合は85%（不詳を除く）に達していた（池上・イシカワ 2009）。

一方で、現在就業中の回答者のうち、派遣会社を通さずに働いている人の割合は、男性16%（不詳を除くと18%）、女性12%（不詳を除くと14%）と、従来の同様の調査と比較して高い割合となっている。なお、「派遣会社を通さずに働いている」と回答した就業者（男女計：17人）のうち、71%に相当する12人が「期間が決まっていない正規社員として働いている」と回答したが、これは全就業者数（男女計：123人）の1割未満であり、東新町団地における外国人居住者が、依然として不安定な雇用契約・就業状況に滞留していることがうかがえる。

図3は、こうした雇用形態について年齢階級別にみたものであるが、現在就業中の人のうち、派遣会社を通じて働いている人の割合は30代～40代のいわゆる「働き盛り」の年齢層で75%以上と最も高くなっている。ただし、40歳～49歳では、派遣会社を通さずに働いている人の割合が14%（不詳を除くと17%）と、やや高くなっている。そして、集計対象者数は少なくなるものの、50歳以上になると、派遣会社を通さずに働いている人の割合が27%（不詳を除くと34%）となり、自営業者の割合も9%（不詳を除くと11%）に上昇する。この集計結果より、東新町団地の外国人居住者のなかでも、日本での在留期間が比較的長期化していると思われる中高年層においては、非正規雇用から正規雇用への移行が一定の割合で起こっていることがうかがえる。

図3. 年齢階級別にみた就業者の雇用形態



注：年齢不詳を除く。

## 2. 非正規就業者と正規就業者の比較

表 1 は、就業者の現在の仕事に関する産業部門別分布を、「派遣会社を通して働いている」グループと「派遣会社を通さずに働いている」（自営業を含む）グループに分けて示したものである。雇用形態に関わらず、製造業が大半を占めており、その内訳は、自動車・バイク関連が全体の 65%と最も多い。これは、従来調査において見られた傾向とほぼ同じである<sup>1</sup>。全体の 24%を占める「その他製造業」については、ゴム関連、プラスチック、化学関連（化粧品）等、多岐に渡った。雇用形態別にみると、「派遣会社を通さずに働いている」グループにおいて製造業の割合がやや低下する一方で、サービス業の割合が高くなっており、産業部門別でみた就業状態の多様化が比較的進んでいると考えられる。

表 1. 雇用形態別にみた就業者の産業部門分布 \*

	総数 ** (n = 105)	派遣会社を通して働いている (n = 76)	派遣会社を通さずに働いている (n = 15)
製造業	97.1%	98.7%	93.3%
（自動車・バイク関連）	(64.8%)	(68.4%)	(60.0%)
（電機・電器関連）	(8.6%)	(7.9%)	(6.7%)
（その他製造業）	(23.8%)	(22.4%)	(26.7%)
サービス業	2.9%	1.3%	6.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%

\* 就業分野不詳を除く

\*\*雇用形態「不詳」および「自営業」を含む。

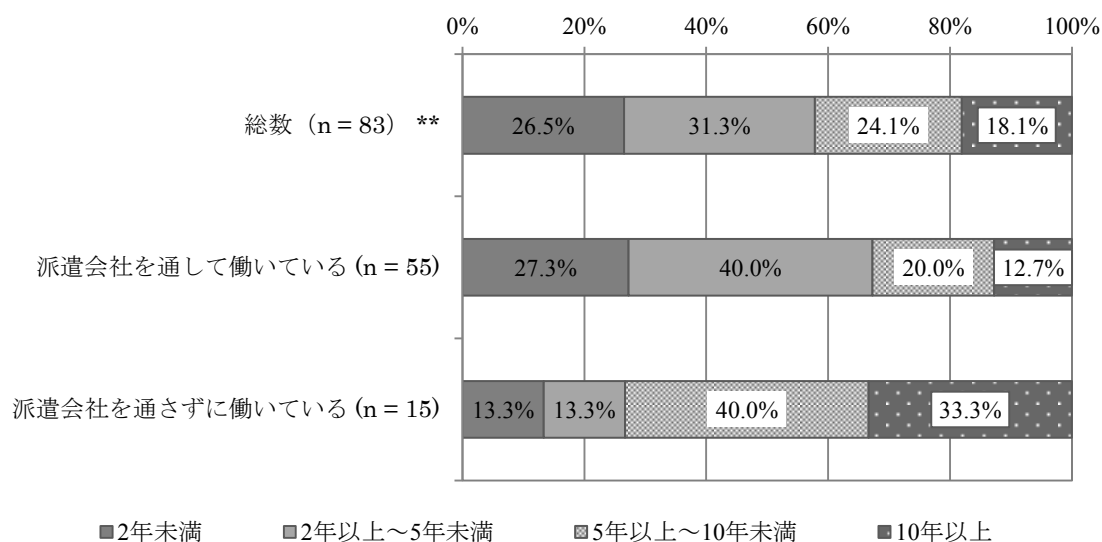
職種別では、外国人就業者の 91%が生産工程（「ものを作る・作業する」）に従事しているという集計結果になったが、派遣会社を通じて就業している外国人に限定すると、その割合は 94%であった。一方、派遣会社を通さずに従事している外国人就業者の職種をみると、生産工程従事者の割合は 79%に低下し、「事務職」や「専門・管理職」に従事する人も数名ではあるが確認されるなど、ここでも「派遣会社を通さずに働いている」グループにおける就業状態の多様化がみられた。

図 4 は、同様に「派遣会社を通して働いている」グループと「派遣会社を通さずに働いている」（自営業を含む）グループ別に、現在の職場での雇用期間について集計したものである。外国人向け個人調査票では、現在就業中の回答者を対象に、「今の仕事は何年くらい続けていますか？」という質問を設け、その年月を具体的に記入するようにたずねている。設問の対象者一すなわち現在就業中の人一全体で、回答の不詳割合が 34%と高くなってい

<sup>1</sup>たとえば、「2006 年浜松市外国人調査」によると、集計対象を「回答者本人」に限定した場合、就業先の産業部門について自動車関連製造業の占める割合は 60%であった（池上編 2008）。

る質問項目であるが、回答内容が判別できる調査対象者について、可能な限り雇用形態別の集計値を算出することにより、その就業状況の実態を確認することができる。具体的には、上記のとおり就業者の大部分を占める「派遣会社を通して働いている」グループでは、現在の仕事の継続期間が「2年以上～5年未満」が40%と最も多く、2年未満（27%）と合せると、現在の職場での雇用期間が5年未満の就業者の割合は67%となった。一方、「派遣会社を通さずに働いている」グループでは、「2年未満」「2年～5年未満」の割合がそれぞれ13%と顕著に低く、70%以上が「5年以上」となっていた。なお、現在の職場での雇用期間の平均は、「派遣会社を通して働いている」グループが4.6年、「派遣会社を通さずに働いている」グループが9.6年となっており、その差は2倍以上という結果になった。

図 4. 雇用形態別にみた現在の職場での雇用期間 \*



\* 雇用期間不詳を除く。

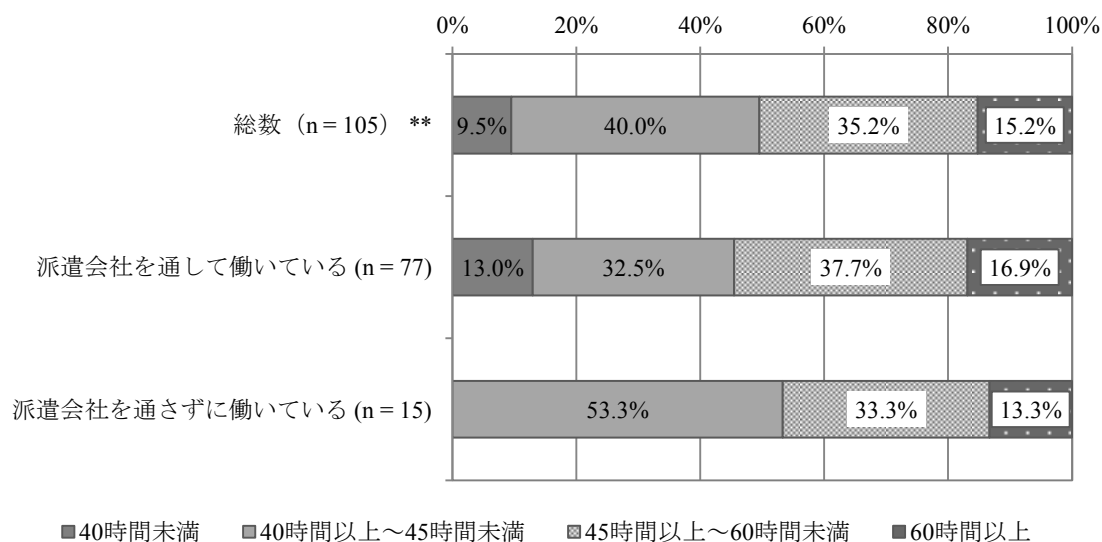
\*\*雇用形態「不詳」および「自営業」を含む。

派遣会社を通して働いている就業者と通さずに働いている就業者の働き方の違いは、一週間の就労期間にもみられる。図 5 は、前月の週平均就労時間に関する設問への回答結果を雇用形態別に集計したものであるが、派遣会社を通じて雇用されている就業者において就労時間が長くなる傾向がみられる。具体的には、週に45時間以上働いている人の割合が、派遣会社を通して働いているグループでは55%と半数を超えており、週に60時間以上働いているケースも17%にのぼった。一方、派遣会社を通さずに働いているグループでは、週に60時間以上働いている人の割合が13%に低下し、45時間未満の割合が50%を超えている。すなわち、雇用契約が不安定で賃金水準も比較的低いと考えられる派遣労働者の特徴として、長時間労働の傾向がみられる。なお、週当たりの就業時間が40時間未満のケースの割合が、「派遣会社を通して働いている」グループにおいて13%とやや高くなっているが、これは、とりわけ女性就業者のなかで、パート・アルバイトとして短時間就労に従事する



ケースが含まれるためであると考えられる。

図 5. 雇用形態別にみた週当たり就労時間 \*



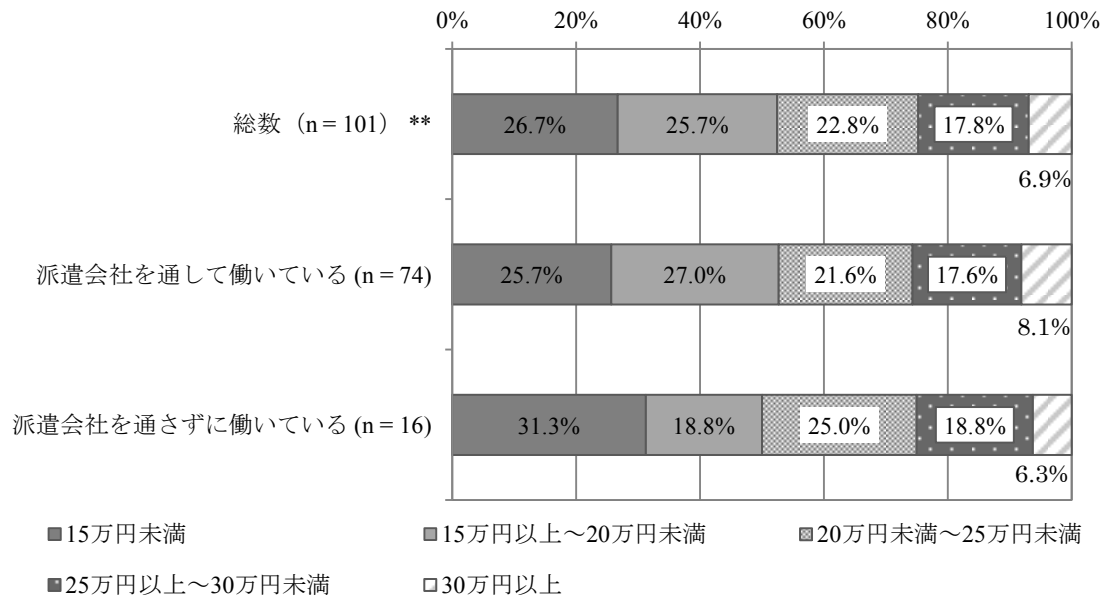
\* 就労時間不詳を除く。

\*\*雇用形態「不詳」および「自営業」を含む。

図 6 は、過去 3 ヶ月間の平均月額給与に関する質問への回答を 5 段階に分類し、派遣会社を通して働いている人と通さずに働いている人の分布を比較したものである。平均月給 15 万円未満の人の割合は、派遣会社を通して働いている人（26%）と通さずに働いている人（31%）の間で若干の開きがみられるが、平均月給 25 万円以上の割合は、いずれのグループにおいても 25～26%と、ほぼ同じ結果となっている。また、平均値をみても、派遣会社を通して働いているグループでは 190,310 円、通さずに働いているグループでは 190,750 とほぼ同じ水準となっており、この調査結果からは、両グループの間の給与水準に顕著な差は見られない。

ただし、派遣会社を通して働いている非正規就業者の給与水準は、基本的には就業時間数あるいは就業日数に依存するという点には注意が必要である。すなわち、派遣会社を通して働いているグループと通さずに働いているグループの月平均の給与水準に顕著な差がみられないとしても、派遣労働者の給与水準は、前掲の図 5 で示されたように、比較的長時間の就業によって維持されていることが示唆される。

図 6. 雇用形態別にみた月間収入の分布 \*



\* 月間収入不詳を除く。

\*\*雇用形態「不詳」および「自営業」を含む。

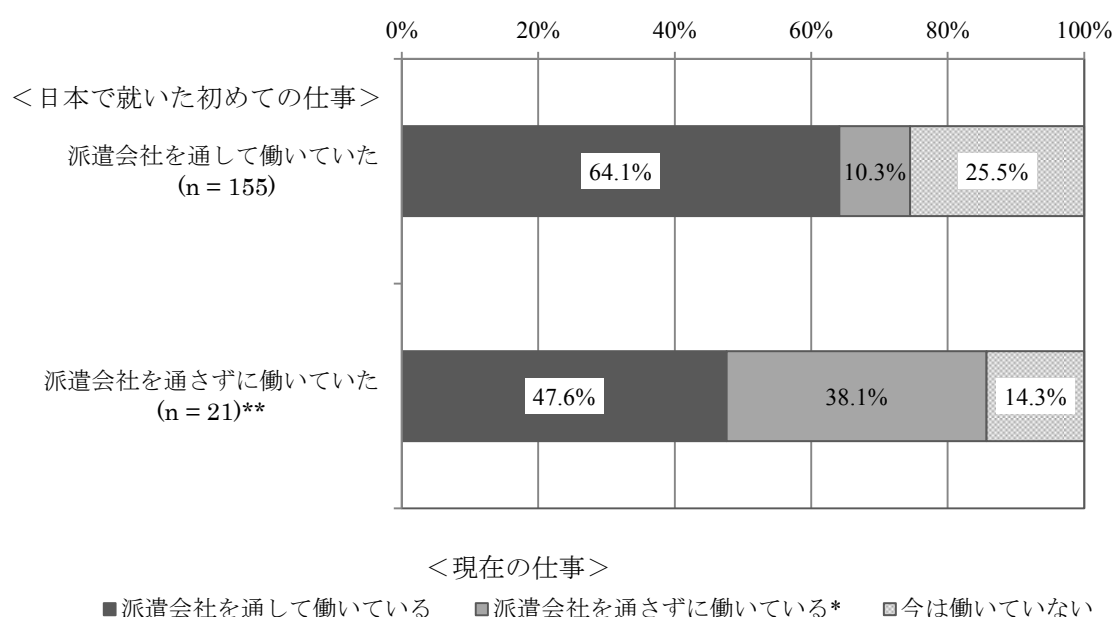
### 3. 雇用形態の変化とその関連要因

今回の外国人向け個人調査では、現在の就業状況に加えて、来日前の職業および来日して最初に就いた職業についての質問を設けている。すでに見てきたとおり、東新町団地における外国人居住者の現在の就業状況については、派遣会社を通じた非正規就業による製造業での非専門職・非熟練労働への従事者が大部分を占めることが確認される一方で、これまでに静岡県内で実施されてきた同様に調査と比較すると、派遣会社を通さずに就労している人が増加しているという新たな傾向も見られる。そこで、以下では、来日後の雇用形態の変化に着目し、派遣会社を通じた非正規就業から正規就業（自営業を含む）への移行とその関連要因について分析する。

図 7 では、20 歳以上の男女すべての回答者について、現在の雇用形態を、日本で初めて就いた仕事の雇用形態別に集計したものである。日本での初職が派遣会社を通じた非正規就業であった 155 人のうち、60%以上は現在も非正規就業に留まっているが、10%は派遣業者を介さない正規就業（自営業を含む）への移行を経験している。一方で、日本での初職が派遣会社を介さない正規就業であった場合でも、その半数近くが、現在は派遣会社を通じた非正規就業に従事していること、また、日本での初職が正規・非正規に関わらず、これまでに日本での就労経験があるケースでも、「今は働いていない」回答者が一定の割合で存在することは注目に値する。サンプル規模の制限のため、とりわけ「就業→未就業」の

ケースに該当する回答者の特徴を詳細に分析することは困難であるが、これまで、男女を問わず「就業目的のための来日」という動機およびそれに依拠した日本での就労行動によって画一的に特徴づけられることの多かった日系ブラジル人をはじめとする外国人の意識や行動が、多様化していることがうかがえる。

図 7. 日本での初職の雇用形態別にみた現在の雇用形態 \*

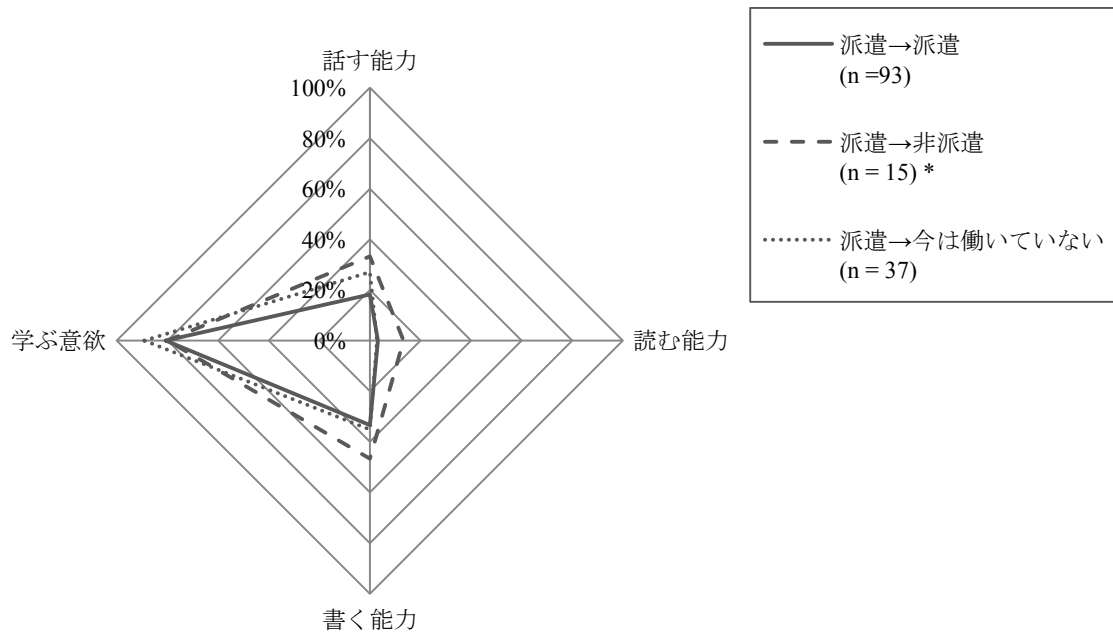


\* 日本での初職および現在の雇用形態「不詳」を除く。

\*\* 「自営業」を含む。

こうした非正規就業から正規就業への移行を経験した人の特徴を把握するために、図 7a～図 7d では、「日本語能力」「教育水準」「現在の仕事を得た方法（情報源）」「定住傾向」についての集計結果を、派遣会社を通じた非正規就業に留まっているグループおよび現在は非就業状態のグループと比較した結果を示した。これらの項目は、外国人労働者や移民の受け入れ国の労働市場における職業達成・経済的上昇の関連要因として国内外の研究でしばしば指摘されてきたものである。たとえば、Takenoshita (2013) は、2007 年の「静岡県外国人労働実態調査」によるデータを用いて、「ブラジルでの教育水準」および「日本における居住年数」が、ブラジル人労働者の日本における非正規就業から正規就業への移行と有意な関連をもつことを示している。ここでは、サンプル規模の制限により、Takenoshita (2013)で採用された手法と同じ多変量解析を実施することは困難であるが、以下に示す二変量分析（クロス集計）結果からも、従来の調査結果と共通する点および異なる点をいくつか指摘することができる。

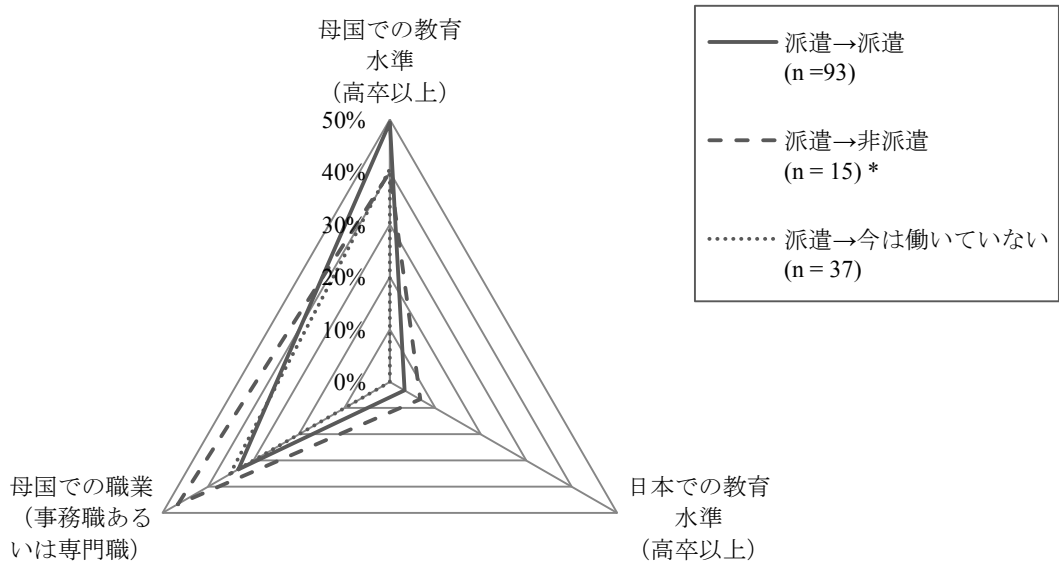
図 7a. 日本における雇用形態の変化と日本語能力および学習意欲



注：集計対象は日本における初職が非正規就業であった回答者のみ。

\*現在の雇用形態「自営業」を含む。

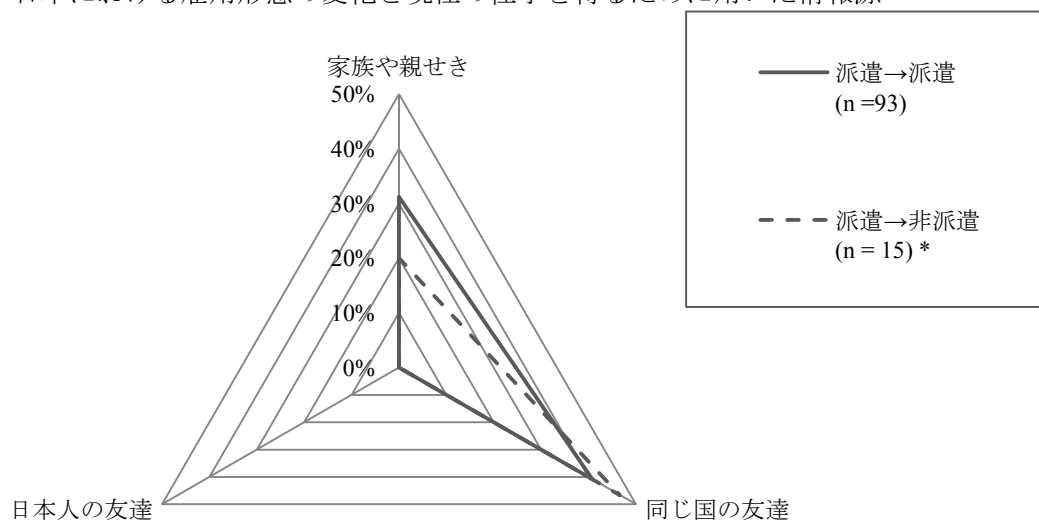
図 7b. 日本における雇用形態の変化と教育水準および職業経験



注：集計対象は日本における初職が非正規就業であった回答者のみ。

\*現在の雇用形態「自営業」を含む。

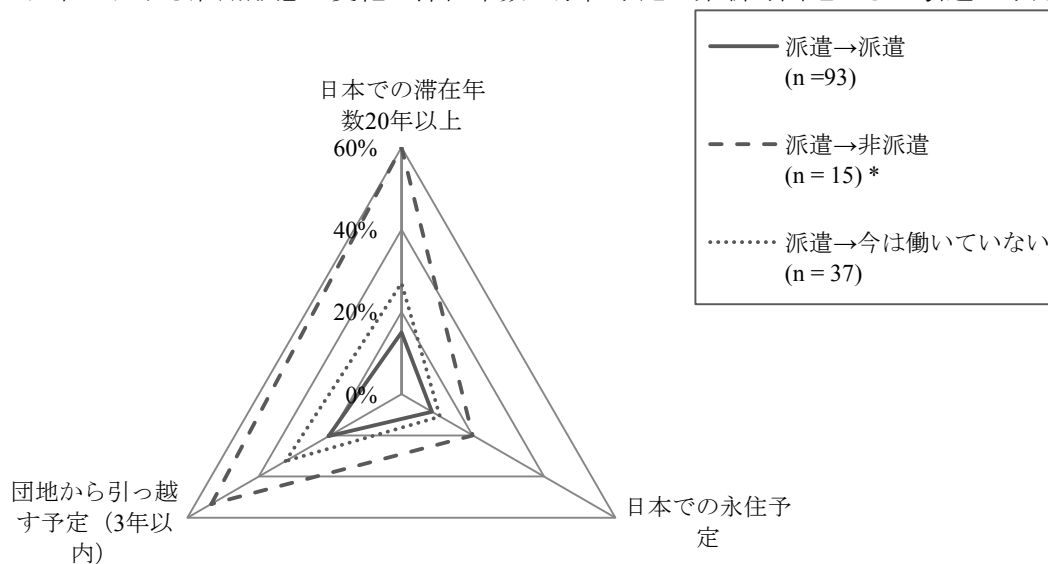
図 7c. 日本における雇用形態の変化と現在の仕事を得るために用いた情報源



注：集計対象は日本における初職が非正規就業であった回答者のみ。

\*現在の雇用形態「自営業」を含む。

図 7d. 日本における雇用形態の変化と滞在年数・永住予定・東新町団地からの引越し予定



注：集計対象は日本における初職が非正規就業であった回答者のみ。

\*現在の雇用形態「自営業」を含む。

まず、日本語能力については、Takenoshita (2013) では非正規就業から正規就業への移行との有意な関連は認められなかったが、今回の東新町団地調査では「話す能力」「読む能力」「書く能力」「学ぶ意欲」に分けた質問項目を設けることにより、日本語能力と雇用形態の変化の関連について、より詳細な知見が得られたと言える。外国人調査票では、日本語能力に関する上記の各項目について、回答者が5段階で自己評価できる選択肢を設けているが、図 7a では、それぞれの項目について上から2番目までの水準（「学ぶ意欲」以外は、いずれも5か4が該当／「学ぶ意欲」については1か2が該当）を選択した回答者の割合を、雇用形態の変化のパターン別に集計した。これによると、日本語に関するいずれの項目についても、正規就業への移行を経験したグループの値が高くなっているが、とくに「話す能力」および「読む能力」について、非正規就業に留まっているグループとの差が大きくなっている。「書く能力」が高い水準にある人の割合については、正規就業への移行を経験したグループで47%、非正規就業に留まっているグループで33%と、日本語能力に関する他の二項目と比較して、いずれのグループでも最も高い割合となっている。また、「学ぶ意欲」については、「これから日本語を勉強したいと思いますか？」との問いに対して「とても勉強したい」あるいは「いい機会があれば、とても勉強したい」と回答した人の割合が、いずれのグループにおいても80%を超えており、高い日本語学習意欲がうかがえる。

教育水準および職業経験については、正規就業での意向を経験したグループの特徴として、「母国での職業が事務職あるいは専門職」であった人の割合が高いことに加え、日本で高校卒業以上の教育を受けた人の割合が高いことが挙げられる（図 7b）。一方、母国での教育水準については、高卒以上の教育を受けた人の割合が、むしろ非正規就業に留まっているグループで高くなっている。この集計結果は、来日前に海外で受けた教育水準が、安定的な雇用への移行を含む日本の労働市場でのパフォーマンス（あるいは評価）に反映されないという従来の分析結果と整合的である。ただし、母国で高等学校卒業程度の教育を受けているかどうかは、来日時の年齢と強い相関をもつ—すなわち来日前の母国での教育水準が高ければ高いほど来日時の年齢も高くなる—ことが想定され、来日後の日本の労働市場における適応過程も含めて、その効果については慎重に吟味する必要がある。

今回の外国人調査票では、現在就業中の回答者に対して、「今の仕事はどうやって見つけましたか？」という問いが設けられ、設問の対象者は「家族や親せき」「同じ国の友達」「日本人の友達」「ハローワーク」「派遣会社」といった項目から該当するものすべてを選択することになっている。図 7c では、このうち、人的ネットワークに関する3項目—「家族や親せき」「同じ国の友達」「日本人の友達」—について、それぞれ選択した人の割合を、非正規就業に留まっているグループと正規就業に移行したグループの別に示した。（「今は働いていない」ケースについては、本設問の対象外）。いずれの場合も、「日本人の友達に教えてもらった」と答えた人は存在せず、外国人集住団地という居住空間の閉鎖性が、その居住者の求職行動にも反映されていることが示唆される。また、いずれのグループにおいても、「同じ国の友達に教えてもらった」と回答する人の割合が、すべての選択肢のなかで

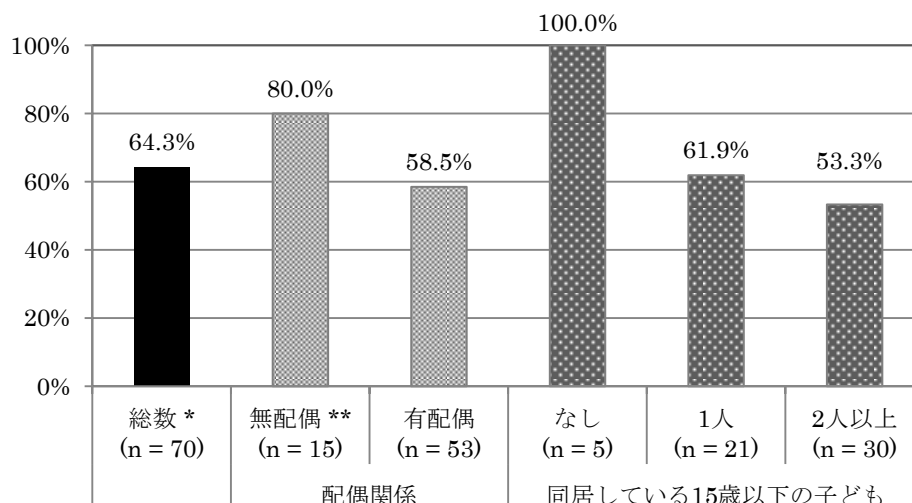
最も高くなっており、正規就業への移行に際しても、こうした外国人コミュニティにおける人的ネットワークというインフォーマルな資源が重要な役割を果たしていることがうかがえる。

こうした社会的・経済的機能をもつ居住空間としての外国人集住団地という視点に立つと、図 7d に示した「日本での滞在年数」「今後の移動可能性」および「日本での永住予定」という移動性向に関する項目と就業状況についても興味深い関連がみられる。正規就業に移行した一すなわち比較的安定的な雇用を獲得した一グループの特徴として、日本での滞在年数が長いという傾向は、従来の調査研究による知見と整合的であるが、加えて、「今後、団地から引っ越す予定がある」と回答した人の割合（「すごくある」「少しだけある」と回答した人の割合の総計）が、正規就業に移行したグループでは 60%と顕著に高くなっている。また、このグループでは、「日本で永住する予定がある」と回答した人の割合が 20%と比較的高くなっており、安定的な雇用の獲得—団地からの引っ越し—日本での永住といった一連のプロセスが相互に関連し合いながら、外国人の定住過程における一つのモデルケースとして確立されつつある実態がうかがえる。

#### 4. 女性の就業と家庭

本章の冒頭で、東新町団地の外国人居住者においても、男性と比較して女性の就業率が低いこと、30 歳代以降の女性の就業率については年齢階級別の違いがほとんどみられないことを確認した。ここでは、こうした女性の就業を規定する要因として、配偶関係および同居児の有無に着目し、その関連について検討する。

図 8. 配偶関係および同居児の有無でみた 20～49 歳女性の就業者割合



注：就業者割合は、「あなたは、今、仕事をしていますか？」との問いに「はい」と答えた者の割合。「就学中」および年齢不詳を除く。

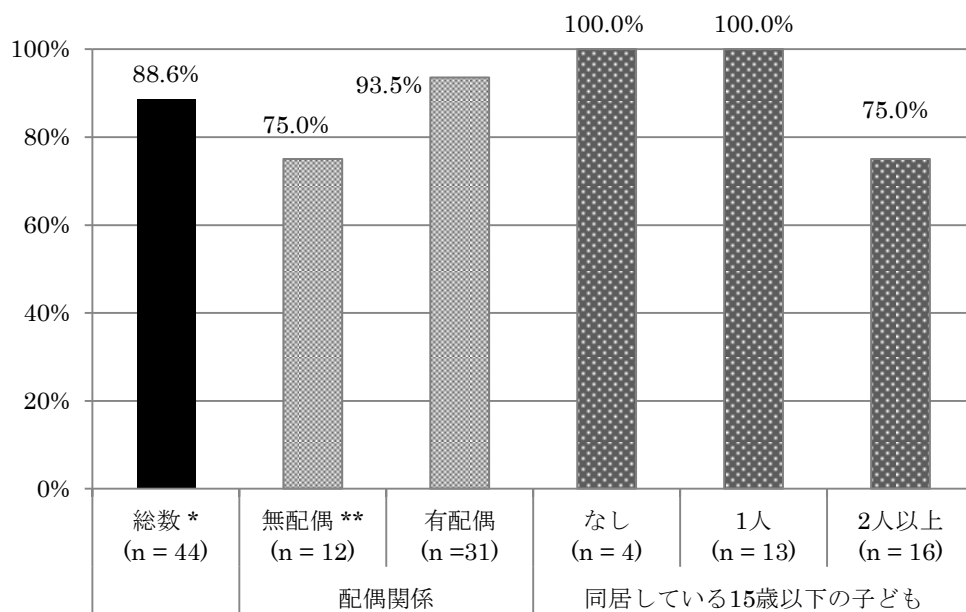
\*総数には「配偶関係」不詳および「同居している子どもの有無」不詳を含む。

\*\* 「無配偶」は「未婚」および「離別」「死別」の総数。

図8は、20歳代から40歳の女性の回答者について、配偶関係および同居している子供の数と就業状態の関連を示したものである。まず、配偶関係については、無配偶者（未婚および離死別の総数）における就業者割合が80%に対して、有配偶者ではその割合が60%以下と顕著な差が確認できる。図には示されていないが、男性については有配偶者であっても83%が就業中となっている集計結果と比較すると、結婚を契機とした仕事の中断が、東新町団地に居住する外国人女性においても、ある程度普遍的にみられるライフコースとして共有されていることが示唆される。さらに、子どもと同居していないグループではすべての女性が就業中であるのに対して、同居児数が1人の場合は就業者割合が62%、2人になると53%に低下し、同居している子ども数と就業率の間に負の相関が確認される。

さらに、現在就業中の20歳代から40歳の女性について、その配偶関係および子どもの数と雇用形態—すなわち派遣会社を通じた就業か否か—との関連を示したものが図9である。ここでは、配偶関係と派遣就業者割合との間に有意な関連が認められたが、集計対象数が限定されたこともあり、同居児数と雇用形態の間には明確な関連は認められなかった。

図9. 配偶関係および同居児の有無でみた20～49歳女性の派遣就業者割合



注：派遣規就業者は、現在就業中の回答者のうち、雇用形態について「派遣会社を通して働いている」と回答した者の割合。

\*総数には「配偶関係」不詳および「同居している子どもの有無」不詳を含む。

\*\*「無配偶」は「未婚」および「離別」「死別」の総数。

なお、調査時点で不就業状態であった20～49歳の有配偶女性（22人）のうち、「日本に



来て初めてやった仕事」について「派遣会社を通して働いた」と回答した割合は 96%に上った。また、15 歳以下の子どもと同居している 20～49 歳女性については、調査時点で不就業状態であって場合でも、全員が、日本における初職について、「派遣会社を通して働いた」と回答している。こうした集計結果からも、結婚・育児による就業の中断が、派遣会社を通じた不安定な就業状況にある外国人女性においても普遍的に観察される傾向であることが示唆される。家庭内の資源配分に関する視点から見た場合、このような有配偶女性の就業行動の規定要因および変化のプロセスについての関心が喚起されるが、日本人女性との比較を通じてその特徴を抽出しつつ、日本での定住および社会・経済的適応といった外国人が直面する課題を含む文脈において明らかにすることが今後の課題である。

#### 参考文献

- 池上重弘編（2008）『外国人市民と地域社会への参加—2006 年浜松市調査の詳細分析—』平成 19 年度静岡文化芸術大学文化政策学部長特別研究「多文化共生社会の実現に向けた静岡県西部地域からの情報発信」研究成果報告書。
- 池上重弘・イシカワエウニセアケミ編（2009）『静岡県外国人労働実態調査の詳細分析報告書』平成 20 年度静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科長特別研究「静岡県における多文化共生の実証的研究」研究成果報告書。
- Takenoshita, H. (2013) “Labour Market Flexibilisation and the Disadvantages of Immigrant Employment: Japanese-Brazilian Immigrants in Japan.” *Journal of Ethnic and Migration Studies*, Vol. 39, No. 7, 1177-1195.

## 出産・子育てをめぐるサポート・ネットワーク

### 千年よしみ（国立社会保障・人口問題研究所）

日本に居住する外国人は定住化が進んでいることから、日本で出産・子育てを経験するケースが増えている。例えば、厚生労働省の人口動態統計によると、父母ともに外国人の出生数は1995年の10,363から2013年の12,997へ17年間の間に2,634件増加している。その結果、父母共に外国人の出生が全出生に占める割合は、1995年の0.87%から1.25%へと増加している（国立社会保障・人口問題研究所2015a）。日本人夫婦の場合、出産・子育てに関して配偶者（夫）と同程度かそれ以上に多くのサポートを妻に提供しているのは、夫婦双方の親、特に妻の母親である（国立社会保障・人口問題研究所2011；2015b）。しかし、ニューカマーの外国籍住民の場合、その多くは夫婦の親を母国に残して来日していると思われるが、出産や子育てに際し、どのようなサポート・ネットワークを形成しているのだろうか。また、サポートの種類にも子育てに関する相談などの心理的サポート、実際に子どもの面倒を見てもらう世話的サポート、長期にわたる支援が必要とされる長期的サポート、短い期間に限り突然支援が必要となる短期的サポートなどの種類があるが、サポートの性質によって支援を受けることのできるネットワークは、どのように異なるのだろうか。また、日本人との子育てネットワークはどの程度あるのだろうか。最後に、誰にも支援を頼むことの出来ない「サポート無し」の人々は、どの程度存在しており、どのような特徴がみられるのだろうか。

本稿では、2014年に実施した「磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査」のデータを用いて、東新町団地に居住する外国人（主としてブラジル人）の出産・子育てをめぐるサポート・ネットワークについて実態を把握する。まず、東新町団地における結婚経験のある対象者の現在の婚姻状況を把握した上で、重要な子育てサポート提供者と思われる親の生存状況、居住地を検討する。そして、子育てに関わる心理的サポートや、子どもの保育、出産時の妻の世話など、出産・子育てにまつわる様々な場面において、東新町団地の外国人の夫婦がどこからどのようなサポートを得ているのか把握する。

なお、サポートのうち経済的な支援に関しては、すべての回答者を対象としたが、その他のサポートは夫婦間の問題や、出産・子育てに関連するサポートであるため、結婚経験のある対等者に限定して集計した。また、サンプル数が少ないため、細かい分類を用いた集計は行っていない。

#### 1. 結婚経験のある団地居住者の属性

結婚経験のある調査対象者は152人で平均年齢は41.1歳であり、結婚経験の無い者の平均年齢（24.0歳）よりもかなり上である。性別は、女性が56.7%、男性が43.3%である。結婚経験がある者には、現在も婚姻状態が持続している有配偶者と、離婚や死

別により現在は配偶者がいない離死別者に分けられる。今回の調査対象者では、92.1%が有配偶、7.9%が離死別者であった（図1）。また、結婚した国についてみると、日本が36.2%、外国が63.8%となっており、外国で結婚したケースの方が多い（図2）。また、夫婦の国籍をみると、同じ国籍同士の結婚が85.9%、国籍が違う夫婦が14.1%である（図3）。夫・妻の結婚回数についてみると、夫・妻ともに初めての結婚同士が69.6%、少なくとも1人が再婚のケースが30.4%である（図4）。

図1 婚姻状況

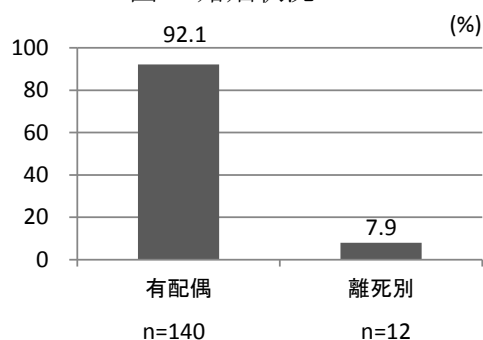


図2 結婚した国

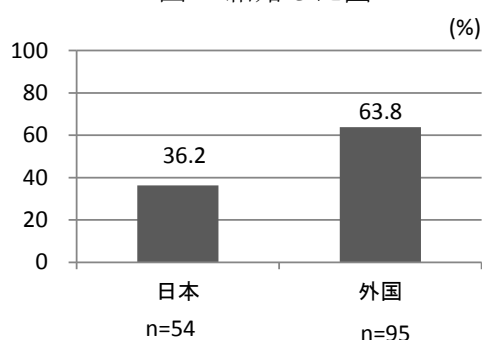


図3 夫・妻の国籍

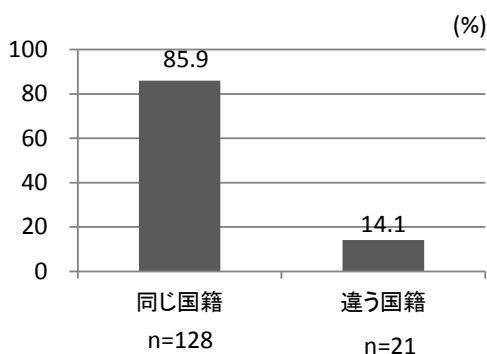
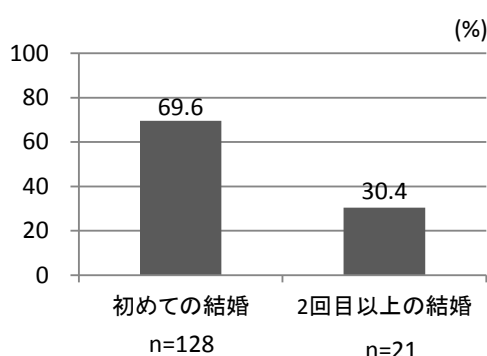


図4 夫・妻の結婚回数



## 2. 子育てに関するサポート提供者：夫婦の親

表1に、最も重要な子育てサポート提供者と考えられる親の生存割合と居住国を示す。サンプル数が少ないため、対象者の年齢別にみた親の生存割合は集計していない。表1によると、自分の親・配偶者の親にかかわらず、親の生存割合は父親が53%程度、母親が74~77%である。しかし親の居住国をみると、予想通り外国人夫婦の親の多くは国外に居住している。全体でみると、夫婦の母親のうち日本で居住しているのは1割程度、父親では1割を切る。生存している者に限定しても、日本に居住している親の割合

は、父親・母親にかかわらず概ね 14%程度と低い。従って、実際に子どもの面倒を見てもらうといった世話的な支援に関しては、親に頼れる外国籍住民の割合は低くなるだろう。

表 1 両親の生存割合と居住地

	自分の親		配偶者の親	
	父親の状況	母親の状況	父親の状況	母親の状況
総数	146	142	134	129
死亡	46.6	25.4	47.0	22.5
生存	53.4	74.6	53.0	77.5
日本に居住	9.6	10.6	7.5	10.9
海外に居住	43.8	64.1	45.5	66.7

注1) 結婚経験がある対象者に限定

### 3. 出産・子育てのサポート資源

第1節で、子育てや出産に関して多くの支援を期待できるとされる夫婦の親の状況について概観した。しかし、子育てのサポート資源には、夫婦の親だけでなく、配偶者、夫婦のきょうだいといった親族、友達や同僚、といった非親族のネットワーク、非親族についても、同じ団地の人といった近隣ネットワークもある。さらには保育園や学校の先生といった公的な施設の社会的資源も含まれる。特に、親や親しい親族が母国にいる可能性が高い外国籍の夫婦の場合には、親族からの支援よりも、同国人の友達、近所の人、といった非親族、及び保育園や小学校の先生といった社会的資源から多くのサポートを得ていることが予想される。

出産・子育てに関するサポートと言ってもその内容は幅広い。サポートには、日頃育児を担っている人の相談にのる心理的サポート、通常の育児の担い手に代わって子どもの世話をを行う世話的なサポートに分けられる。前者は、子育てをする人の悩みや困った時の相談相手になり、必要な情報を提供し、育児にかかわる不安や心配事を払拭するようなサポートである。後者は、いつ、どのくらいの期間そのサポートが必要とされるのか、前もってわからない突発的な支援、サポートが必要とされる期間や時期がある程度事前に判明している支援、長時間、長期間にわたって世話が必要とされる支援などに分けることができる。必要とされる支援の内容に応じて、通常育児を担っている者が支援を求める先を変えることも考えられる。

「磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査」では、日常的に直面する様々な支援の必要性に応じて、どこにサポートを求めるかを探るため、出産や子育ての状況を具体的に設定し、それぞれの場面で誰にサポートを頼むのかを最も重要な支援提供者（1位）、次に重要な支援提供者（2位）とあわせて尋ねた。状況設定は、① 経済的なサポート

(1. 経済的に困ったとき、頼りにする人)、② 心理的なサポート (2. 夫婦間で問題があるとき、相談する人、4. 出産や育児で困ったとき、相談する人、6. 子どもの友人問題で困ったとき、相談する人、7. 子どもの教育・進路を決めるとき、相談する人)、③ 子どもの世話をを行う世話的なサポート (3. 子どもが病気になったとき、頼りにする人、5. 自分が働きに出ているとき、子どもの世話をする人) の三つである。上記の設問に対し選択肢は 21 項目あるが、便宜上、表 2 に示すように 11 項目に分類する。

表 2 支援者の分類

分類	設問の選択肢
1. 配偶者	3) 結婚している相手
2. 親	4) 私の親、5) 結婚している相手の親
3. きょうだい	6) 私のきょうだい、7) 結婚している相手のきょうだい
4. その他親族	8) 私の子ども、9) その他の家族
5. 団地の人	10) 同じ団地に住む同じ国の人、11) 同じ団地に住む日本人
6. 教会の人	12) 教会の人
7. 同国人の友達	14) 同じ国の友達
8. 公的施設の人	16) 保育園や学校の先生、18) 市役所に行く
9. その他	13) 私の国にいる親せき・友達、15) 日本人の友達、17) ”ハケン会社”の担当の人、19) 多文化交流センターの人、20) その他
10. サポート無し	2) 相談しない、一人で何とかする、21) 相談できる人がいない
11. 経験無し	1) 経験がない

注) 設問の数字は、設問内の選択肢の番号。

表 3 にそれぞれの場面において、最も優先的に支援を頼む相手、表 4 では 2 番目に支援を頼む相手を示す。サンプル数が少ないため、男女別に集計を分けることはしていない。また、有配偶女性のみに限定して集計をすることもしていない。しかし、多くの項目が出産・子育てに関わるものであるため、「1. 経済的に困ったとき、頼りにする人」を除く 6 項目については、結婚経験がある男女に限定して集計を行った。

出産・子育てサポートに関して同じく様々な具体的場面を設定して、最も重要な支援提供者、2 番目に重要な支援提供者についてたずねている調査に、国立社会保障・人口問題研究所が 2013 年に実施した「第 5 回全国家庭動向調査」がある（国立社会保障・人口問題研究所 2015b）。この調査は、日本人の既婚女性を対象としており、設問の選択肢も今回の「磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査」と異なるため、単純に比較

することはできないが、「第5回全国家庭動向調査」の結果も参照しながら、磐田市東新町団地の外国籍住民の子育てサポート・ネットワークについてみていく。

まず、表3の結果をみると東新町団地の外国籍住民は、必要とされる支援の内容によって、様々なサポート資源から支援を受けていることがわかる反面、「サポート無し」の割合が支援の内容によっては比較的高いことがあげられる。例えば、「②夫婦間で問題があるとき、相談する人」については、約5分の1（20.2%）が「サポート無し」と回答している。また、「①経済的に困ったとき、頼りにする人」、「③子どもが病気になったとき、頼りにする人」、そして「④出産や育児で困ったとき、相談する人」の3項目についても、11～13%の対象者が、「サポート無し」と回答している。「サポート無し」の回答が一番低かったのは、「⑤自分が働きに出ているとき、子どもの世話をする人」で、2.3%であった。第5回全国家庭動向調査と比べると、圧倒的に外国籍住民で「サポート無し」の割合が高い。前者では項目にもよるが、「サポート無し」の割合は、高い項目でも1割は切っていた。集計対象が違うとはいえ、東新町団地の外国籍住民の「サポート無し」の割合は高い。

親族からのサポートと非親族からのサポートを比べてみると、「⑤自分が働きに出ているとき、子どもの世話をする人」を除いたほぼ全ての項目で、親族からのサポートが51～73%、非親族からのサポートが16～29%となっており、親族からのサポートが重要であることがわかる。一方、「⑤自分が働きに出ているとき、子どもの世話をする人」は、非親族からのサポートが57.0%、親族からのサポートが40.7%であり、非親族からのサポートが親族からのサポートを上回っている。表3によると「公的施設」の割合が45.3%と飛び抜けて高くなっており、これは保育園の役割が大きいことを示唆している。2000年代にしばしばみられたブラジル人による託児所や無認可の保育所の数が減ったことも影響しているであろう。また、「⑤自分が働きに出ているとき、子どもの世話をする人」で「サポート無し」の割合が特に低いのは、回答者に男性が含まれており、その場合には配偶者が面倒を見ることができるとためであろう。本報告書の中川による章にみられるように、本調査対象者では有配偶女性で就業率が比較的低く、子どもの面倒をみるために就業していない可能性が高い。現に、「配偶者」の割合が30.2%と高くなっている。

第1節でみたように夫婦の両親の多くは母国に居住していることから、親の役割は低くなることを予想したが、「①経済的に困ったとき、頼りにする人」と「②夫婦間で問題があるとき、相談する人」については、親の割合の方が配偶者よりも高い。具体的には、「①経済的に困ったとき、頼りにする人」では「親」が1位で31.7%に達しており、2位の「配偶者」の20.6%を上回っている。「第5回全国家庭動向調査」の結果でも、「親」が大きく「配偶者」を上回っていた。「配偶者」の割合が「親」よりも低くなる理由としては、今回の調査の場合、集計対象に男性も含まれるため配偶者の女性が働いていないケースもあり、その場合には経済的な支援を配偶者に期待出来ないこと、また、

当事者のみが経済的に困っているのではなく、夫婦で困っている可能性も考えられる。

「②夫婦間で問題があるとき、相談する人」についても、「親」の割合が18.0%、「配偶者」が11.2%となっており、「親」の方が「配偶者」よりも高い。「親」に次ぐのは「きょうだい」の15.7%、非親族の「教会の人」の14.6%であり、いずれも「配偶者」の11.2%よりも高い。この項目では、配偶者が問題の当事者であるため、相談しにくいということが挙げられる。ここで目立つのは何と言っても「サポート無し」が20.2%と非常に高いことである。少子高齢化という問題を抱えている日本では、つつい「子育て支援」の方に目を向けがちであるが、東新町団地に住む外国人にとっては、夫婦間に問題があった時の相談の方が、政策的な対応が必要とされている課題なのかもしれない。

一方、「配偶者」の役割が40%を超えて圧倒的に集中しているのは、「③子どもが病気になったとき、頼りにする人」、「⑥子どもの友人問題で困ったとき、相談する人」、「⑦子どもの教育・進路を決めるとき、相談する人」の3項目である。配偶者の割合は、それぞれ順番に47.1%、49.3%、そして58.6%に達している。「③子どもが病気になったとき、頼りにする人」は、急な場合が多いこと、病気であるため保育施設に預けられないことから、どうしても身内の親族に頼るケースも多くなるためであろう。「⑥子どもの友人問題で困ったとき、相談する人」では、「配偶者」に続いて「公的施設」の割合が18.7%と高くなっており、学校や保育園の先生に相談するケースが多いことが推察される。この項目に関しては、「経験無し」の割合が非常に高いことに注意する必要がある。「⑦子どもの教育・進路を決めるとき、相談する人」については、どの項目よりも配偶者への集中度が高いことが特徴である。今後の自分たちの生活や滞在予定にも関わることから、まず夫婦で話し合う必要があるためであろう。

サポートを求める先が比較的広範囲にわたるのは、「④出産や育児で困ったとき、相談する人」である。最も割合が高いのは「配偶者」であるが、最も高いにもかかわらず25.8%と4分の1程度である。次いで「親」が17.7%、「きょうだい」が13.9%、「サポート無し」が11.4%、「教会の人」が10.1%と、支援を求める先は比較的多様なのが特徴である。

上記をまとめると、夫婦の親は国外に居住しているにもかかわらず、経済的なサポートと夫婦間に問題があるときの精神的サポートに関しては、大きな役割を担っている。働きに出る時の子どもの世話に関しては、保育所の貢献が大きい。子どもが病気になった時の支援などの急を要するサポート、子どもの友達問題や進学に関する精神的なサポートでは、やはり配偶者の役割が重要であることが確認された。また、日本の夫婦に比べると親一辺倒ではなく、きょうだいや教会の人の役割も比較的大きいことが特徴であろう。出産・子育てに関する精神的サポートは、広範囲なソースから支援を受けており、また、サポートを得られていないのは、子育てに関する項目よりも、夫婦間の問題に関する項目であることがわかった。

表 3 出産、子育てをめぐるサポート資源：1 位

	① 経済的に困ったとき、頼りにする人		② 夫婦間で問題があるとき、相談する人		③ 子どもが病気になるったとき、頼りにする人		④ 出産や育児で困ったとき、相談する人		⑤ 自分が働きに出ているとき、子どもの世話をする人		⑥ 子どもの友人の問題で困ったとき、相談する人		⑦ 子どもの教育・進路を決めるとき、相談する人	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
サポート資源 総数	126	100.0	89	100.0	104	100.0	79	100.0	86	100.0	75	100.0	87	100.0
1. 親族からのサポート	89	70.6	46	51.7	70	67.3	51	64.6	35	40.7	48	64.0	64	73.6
配偶者	26	20.6	10	11.2	49	47.1	25	25.8	26	30.2	37	49.3	51	58.6
親	40	31.7	16	18.0	9	8.7	14	17.7	4	4.7	2	2.7	4	4.6
きょうだい	16	12.7	14	15.7	9	8.7	11	13.9	4	4.7	5	6.7	6	6.9
その他親族	7	5.6	6	6.7	3	2.9	1	1.3	1	1.2	4	5.3	3	3.4
2. 非親族からのサポート	21	16.7	25	28.1	20	19.2	19	24.1	49	57.0	22	29.3	20	23.0
団地の人	2	1.6	1	1.1	0	0.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0	0	0.0
教会の人	6	4.8	13	14.6	5	4.8	8	10.1	3	3.5	2	2.7	1	1.1
友達	4	3.2	7	7.9	5	4.8	3	3.8	2	2.3	4	5.3	4	4.6
公的施設	2	1.6	0	0.0	3	2.9	4	5.1	39	45.3	14	18.7	6	6.9
その他	7	5.6	4	4.5	7	6.7	4	5.1	4	4.7	2	2.7	9	10.3
3. サポート無し (経験無し)	16	12.7	18	20.2	14	13.5	9	11.4	2	2.3	5	6.7	3	3.4
(経験無し)	15	10.6	18	16.8	3	2.8	18	18.6	12	12.2	24	24.2	14	13.9

注1)「経済的に困ったとき、頼りにする人」以外は、全て、結婚経験がある人に限定

注2) 不詳を除いて集計

注3) 割合は、「経験無し」を除いた総数に対する比。「経験無し」の割合は、総数に「経験無し」を加えた実数に対する比。

注4) 割合の合計は四捨五入の関係で100にならないことがある。



表4 出産、子育てをめぐるサポート資源：2位

	① 経済的に困ったとき、頼りにする人		② 夫婦間で問題があるとき、相談する人		③ 子どもが病気になるったとき、頼りにする人		④ 出産や育児で困ったとき、相談する人		⑤ 自分が働きに出ているとき、子どもの世話をする人		⑥ 子どもの友人の問題で困ったとき、相談する人		⑦ 子どもの教育・進路を決めるとき、相談する人	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
サポート資源 総数	97	100.0	60	100.0	79	100.0	59	100.0	54	100.0	62	100.0	62	100.0
1. 親族からのサポート	59	60.8	29	48.3	29	36.7	29	49.2	26	48.1	23	37.1	26	41.9
配偶者	2	2.1	2	3.3	4	5.1	2	3.4	11	20.4	4	6.5	6	9.7
親	13	13.4	12	20.0	4	5.1	10	16.9	2	3.7	7	11.3	11	17.7
きょうだい	27	27.8	9	15.0	7	8.9	10	16.9	3	5.6	8	12.9	5	8.1
その他親族	17	17.5	6	10.0	14	17.7	7	11.9	10	18.5	4	6.5	4	6.5
2. 非親族からのサポート	29	29.9	22	36.7	36	45.6	28	47.5	23	42.6	34	54.8	31	50.0
団地の人	0	0.0	0	0.0	3	3.8	0	0.0	1	1.9	1	1.6	0	0.0
教会の人	5	5.2	6	10.0	8	10.1	4	6.8	3	5.6	5	8.1	4	6.5
友達	12	12.4	8	13.3	11	13.9	12	20.3	7	13.0	11	17.7	4	6.5
公的施設	0	0.0	0	0.0	3	3.8	7	11.9	8	14.8	10	16.1	15	24.2
その他	12	12.4	8	13.3	11	13.9	5	8.5	4	7.4	7	11.3	8	12.9
3. サポート無し (経験無し)	9	9.3	9	15.0	14	17.7	2	3.4	5	9.3	5	8.1	5	8.1
注1) 経済的に困ったとき、頼りにする人以外は、全て、結婚経験がある人に限定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注2) 不詳を除いて集計

注3) 割合の合計は四捨五入の関係で100にならないことがある。

逆にサポート資源として選択されていない相手を見ると、「団地の人」と「日本人の友達」が目立つ。「団地の人」には、同国人の人も日本人も含まれているが、たとえ同国人であっても団地内の出産・子育てに関するサポート・ネットワークは、無に等しいと言える。「日本人の友達」は「その他」に含まれているが、実数をみても非常に少なく、日本人とのネットワークについても非常に希薄であることがうかがえる。

表4は、2番目に支援を頼む相手の集計結果である。サンプル数が非常に少ないので、参考程度に掲載する。2番目に頼む相手になると、最重要の相手と比べて全般的に親族の割合が減少し非親族の割合が上昇する。親族では「配偶者」や「親」の割合が低下し、「きょうだい」や「その他親族」の割合が上昇する。非親族では「友達」の割合が全般的に高まる傾向がみられる。

「サポート無し」の割合が1位では「②夫婦間で問題があるとき、相談する人」が20.2%と飛び抜けて高かったが、2位についてもこの項目の「サポート無し」は15.0%と高かった。つまり、最初から相談できる相手がいない人が既に2割程度いるほか、とりあえず相談出来る相手が一人はいる人も、その次に頼れる人がいない、というケースが多いということを示している。2位についても「団地の人」の割合は低く、団地居住者の近隣ネットワークの低さを示唆している。

#### 4. サポートを得られないのは誰か

それでは、どのような属性の人々がサポートを得られないのであろうか。表5は、選択肢の第1位に「サポート無し」と回答した対象者を「サポート・ネットワーク無し」として分類し、個人の属性がサポート・ネットワークの有無によりどのように違うのか、比較したものである。すべての設問に対して「不詳」または「非該当」であった対象者は除いている。

統計的に有為な違いが出たのは、在留資格、最終学歴、そして日本滞在予定の三つであった。特に最終学歴による違いが大きい。まず「在留資格」であるが、永住者または日本国籍の者は、「サポート・ネットワークあり」が72.2%であるのに対し、それ以外の在留資格の場合は56.3%へ減少する。永住者・日本国籍保持者でサポート・ネットワークありの割合が高いのは、日本在留期間が長いせいかもしれない。最終学歴の違いによる分布をみると、学歴が高くなるほどサポート・ネットワークありの割合が上昇する。例えば、中学校卒ではサポート・ネットワークありの割合は40.7%と半数以下であるが、高校中退で72.7%、高校卒以上で78.7%と、中学校卒とそれ以上では大きな差がみられる。また、日本滞在予定についてもサポート・ネットワークの有無に大きな違いがみられた。永住予定者ではサポート・ネットワークありの割合は42.9%と半数以下である。滞在期間の目安がある対象者では、その割合は81.0%に跳ね上がる。永住は予定していないが、滞在期間について「わからない」と回答した対象者では、69.7%であり、永住予定者よりは高いものの、滞在期間の目安がある回答者よりは低いという非常に興味深い結果であった。

表 5 個人の属性別、サポート・ネットワークの有無

			(%)
	サポートネット ワークあり	サポートネット ワーク無し	N
性別			
女性	67.2	32.8	64
男性	68.8	31.3	48
在留資格**			
永住者・日本国籍以外	56.3	43.8	48
永住者・日本国籍	76.7	23.3	60
前住地			
磐田市内(団地含む)	65.8	34.2	76
磐田市以外	72.2	27.8	36
宗教			
宗教無し	75.0	25.0	16
カトリック	68.0	32.0	50
カトリック以外の宗教	64.4	35.6	45
最終学歴***			
中学卒	40.7	59.3	27
高校中退	72.7	27.3	22
高校卒以上	78.7	21.3	61
日本語能力(話す)			
全然話せない	70.0	30.0	20
簡単な話ならできる	72.3	27.7	65
説明ができる	57.1	42.9	28
日本語能力(読む)			
全然読めない	67.7	32.4	34
ひらがなが付いていれば読める	72.1	27.9	43
ひらがなが付いていなくても読める	63.9	36.1	36
就業状況			
仕事をしていない	65.5	34.5	29
仕事をしている	68.8	31.3	80
団地引っ越し予定			
予定なし	67.1	32.9	82
予定あり	73.3	26.7	30
日本滞在予定*			
永住	42.9	57.1	14
滞在期間の目安あり	81.0	19.1	21
滞在期間の目安なし	69.7	30.3	76
健康状態			
良くない	83.3	16.7	12
普通	62.8	37.2	43
良い	67.9	32.1	56
ストレスの有無			
ストレスを感じない	75.6	24.4	41
ストレスを感じる	63.9	36.1	72

注1) Q54の1位に、「1」か「21」を選択した場合、「サポートネットワーク無し」とした。

注2) 結婚経験ありの人に限定

注3) すべての回答が不詳か非該当を除く

注4) \*\* 5%水準で有意、\* 10%水準で有意

表 6 は、年齢、日本居住年数、磐田市居住年数、結婚持続年数の平均をサポート・ネットワークの有無別に集計したものである。すべての指標についてサポート・ネットワークがある人ほど平均値が高い傾向がみられるが、統計的に有意ではない。

表 6 サポート・ネットワークの有無別にみた滞在指標等の平均値

	サポートネット ワークあり	サポートネット ワーク無し
年齢	41.9	39.7
N	96	55
日本居住年数	14.9	13.5
N	96	55
磐田市居住年数	10.4	8.7
N	95	55
結婚持続年数	16.8	15.1
N	92	50

注1) Q54の1位に、「1」か「21」を選択した場合、「サポートネットワーク無し」とした。

注2) 結婚経験ありの人に限定

注3) すべての回答が不詳か非該当を除く

注4) \*\* 5%水準で有意、\* 10%水準で有意

以上の結果から、筆者が興味深く思ったのは最終学歴によるサポート・ネットワークの違いである。これまでのブラジル人の就業形態に関する研究では、ブラジル人の給与、就業形態（派遣、非派遣）、に教育レベルの違いは見られない、というのが通説であった。というのも、ブラジルでどのレベルの学歴を終えていようとも、たとえ母国で専門職に従事していても、日本に居住するブラジル人の大部分は派遣社員として工場での組み立てラインに従事するのが一般的であるためである。今回の結果は東新町団地の住民であり、且つ出産・子育てに関するサポート・ネットワークという限定的なサンプルではあるが、最終学歴による違いが出たことは注目に値する。就業形態や給与は同じであっても、サポート・ネットワークの有無が大きな違いを生むことによって、高学歴保持者は失業等のリスクに直面してもそれを回避しやすい状況にあるかもしれない。

また、日本滞在予定とサポート・ネットワークの有無に関する結果も非常に興味深い。ブラジル人の子どもたちの高校進学に大きなマイナス要因として作用しているのは、経済的要因以外には親の日本における滞在予定であった（Takenoshita et al 2014）。

Takenoshita らの分析結果によれば、親の日本滞在予定がはっきりしていない場合に、子どもが高校へ進学する可能性は低下していた。今回の結果についても、滞在の目安がはっきりしている場合にはサポート・ネットワークがある可能性は高くなるが、無い場合には低くなる。また、少数ではあるが永住予定者にサポート・ネットワークありの割合が低いことは気がかりである。本調査の個人票では、約半数の対象者の在留資格が永住者である。しかし「日本に永住するつもり」と回答した割合はわずかに 13%程度で

ある（巻末表参照）。日本での滞在予定がどのようなメカニズムでサポート・ネットワークにまで影響を及ぼし、なぜ永住予定だとサポート・ネットワークを持たない人が多いのか、今後、検討する必要があるだろう。

#### 参考文献

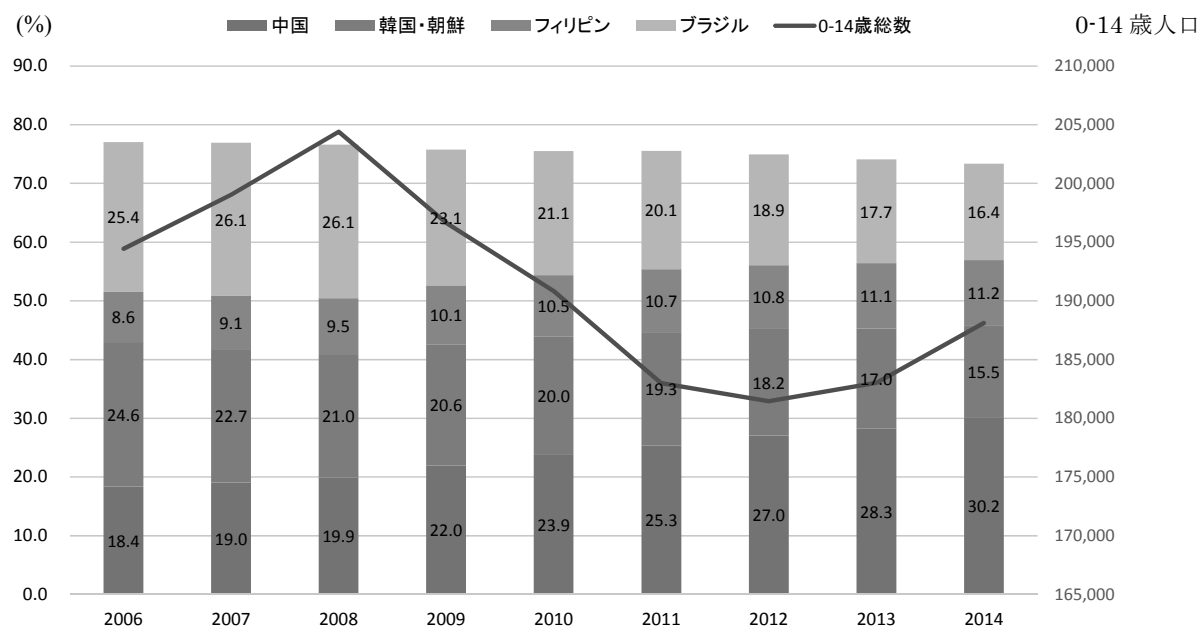
- 国立社会保障・人口問題研究所（2011）『第4回全国家庭動向調査（2008年社会保障・人口問題基本調査）現代日本の家族変動』調査研究報告資料第27号.
- 国立社会保障・人口問題研究所（2015a）『人口統計資料集』人口問題研究資料第333号.
- 国立社会保障・人口問題研究所（2015b）『第5回全国家庭動向調査（2013年社会保障・人口問題基本調査）現代日本の家族変動』調査研究報告資料第33号.
- Takenoshita, Hirohisa, Yoshimi Chitose, Shigehiro Ikegami, and Eunice Akemi Ishikawa. 2014. “Segmented Assimilation, Transnationalism, and Educational Attainment of Brazilian Migrant Children in Japan.” *International Migration* 52(2): 84-99.

## 東新町団地における外国人の子どもたち

千年よしみ（国立社会保障・人口問題研究所）

外国人の定住化の進展とともに、親と一緒に来日する子どもや、日本で生まれる外国籍の子どもたちの数も増え続けている。子どもの各国籍別の構成割合をみると、各国籍別の人口構成とは異なった傾向がみられる。例えば、2014 年末の在留外国人統計によれば、全在留外国人数 212 万人のうち中国人約 65 万人と全体の約 3 割を占め最も高い。次いで、韓国・朝鮮籍の 23.6%、ブラジルの 10.3%、フィリピンの 8.3%という順番になっている（法務省 2015）。一方、ほぼ義務教育修了までに相当する 0～14 歳の子どもに注目すると総数は 188,119 人に達している。そのうち中国人の 0-14 歳は 56,808 人で 30.2%を占めており、全人口構成割合とほぼ同レベルにある。韓国・朝鮮は 29,224 人で 15.5%を占めており、0-14 歳の子どもの割合は全人口に占める割合よりも低い。一方、ブラジル人とフィリピン人は子どもが占める割合が全人口に占める割合よりも高く、ブラジルが 30,838 人で 16.4%、そしてフィリピンが 21,136 人で 11.2%を占めている（図 1）。2006 年にはブラジル国籍の子どもは 49,446 人で 25.4%と 4 分の 1 弱を占めていた。その後、2008 年に 53,402 人で 26.1%と人数・割合ともにピークに達してのち減少傾向に転じ、2014 年には 16.4%となっている。それでもブラジル国籍が外国籍に占める割合は 10.3%であるから、ブラジル人は子どもの割合が高い。

図 1 国籍別 0-14 歳人口の割合

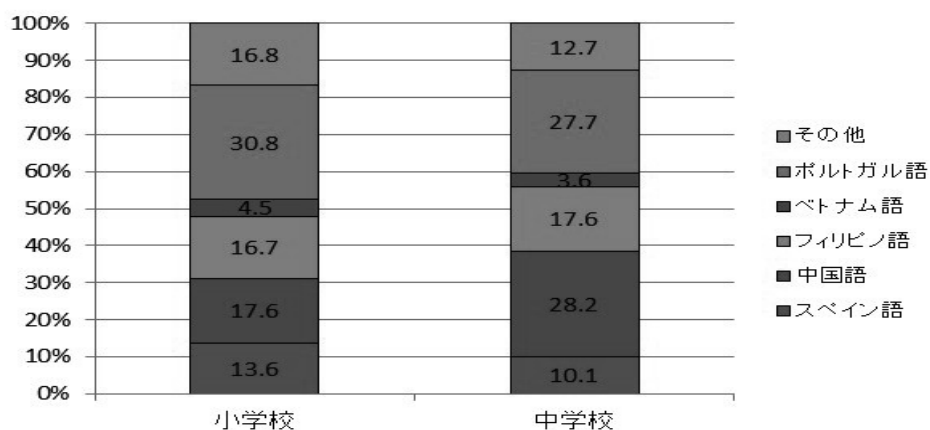


出所：法務省「在留外国人統計」各年

人口全体でみると、2014 年時点で韓国・朝鮮は中国に次いで 2 番目に人口が多いが、子ども人口はブラジルよりも少ない。これは、帰化による減少や日本での滞在が長いことから少子高齢化が韓国・朝鮮でも進んでいることの反映であろう。フィリピンの子どもの割合も人口全体と比べて高い。フィリピン人は女性の割合が高く、日本人男性と結婚するケースが多い。その場合、生まれた子どもは日本国籍となるが、男女が正式に結婚していないケースで日本人男性の認知が得られていない場合や離別した場合には子どもの国籍はフィリピンとなる。また、フィリピン人の場合には、結婚後にフィリピンに残してきた子どもを日本に呼び寄せ、一緒に暮らしているケースもある（宮島 2013）。

文部科学省の「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成 26 年度）」をみても、ブラジル人の子どもが占める割合は高い。日本語指導が必要な外国人児童生徒の数は小学校・中学校合わせて 2014 年には 26,693 人となっており、これは公立の小学校・中学校に在籍する外国人児童生徒 63,864 人の 41.8%を占めている（文部科学省 2015）。その中で、母語がポルトガル語である児童生徒の日本語指導が必要な割合は、小学校では要指導生徒の 30.8%、中学校では 27.7%と小・中を通じて約 3 割に達しており（図 2）、小学校では最も高く、中学校でも母語が中国語の生徒とほぼ同レベルにある。つまり、母語がポルトガル語（ほぼブラジル人と想定される）である児童生徒は、人口構成比で見ればそれほど高くないにもかかわらず、日本語に課題を抱える子どもの割合が高い。しかもこの調査は公立小学校・中学校に在籍する生徒のみを対象としており、外国人学校に在籍する生徒は含まれていない。また、「日本語指導が必要」と判断される基準が曖昧であるという指摘もなされており、日本語指導が必要と判断されていなくても教科学習についていける言語能力が備わっていると言い切ることはできない（池上 2001）。従って、日本語能力に付随する学力の不足や就学上の問題を抱えるブラジル人の子どもの割合は、この数字よりも高いと考えた方が妥当であろう。つまり、外国籍人口に占めるブラジル人の割合に反して、ブラジル人の子どもが就学上抱える問題のウェイトは高いと思われる。

図 2 日本語指導が必要な外国人児童生徒の母語別在籍状況（2014）



出所：文部科学省(2015)「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成 26 年度）」

これまでに義務教育年齢にある外国籍の子どもたちが直面する最も大きな課題として、不就学及び高校進学率の低さが挙げられてきた（太田・坪谷 2005；イシカワ 2005；佐久間 2006）。日本でホワイトカラー職に就くには、高校卒業は最低限必要な条件であり、特にブラジル人の場合、親のように工場で肉体労働に就きたくなければ、高校に進学するしか道はない。しかし、これまでブラジル人の子どもは日本語能力に付随する学力不足、クラスでのいじめ等の深刻な問題に直面してきている。また、教育現場における問題の他にも、家庭環境の影響も大きい（イシカワ 2005）。例えば、Ishikawa は、高校・大学進学を果たすためには、子どもが来日した年齢という要因の他に本人の努力はもちろんのことであるが、親の子どもの教育に対する関心の高さや家計の安定が重要な要因であると指摘している（2009）。

また、Takenoshita 他（2014）においても、本人の来日時の年齢の他、高校進学を果たすことのできたブラジル人生徒の親の特徴として、親の就業が安定していたこと、親自身の日本語能力が高いこと、日本とブラジルの間を頻繁に行き来するようなトランスナショナルな移動をあまりしていないことが影響していることを指摘している（Takenoshita et al. 2014）。さらに、親が長時間労働に従事しているために子どもを監視できる状態にないこと、子どもの宿題や勉強を見てあげられないこと、親自身がどのくらい日本に滞在するかの見通しが立っておらず先行きが不透明であること、という状況も関係するだろう（竹ノ下 2005）。

本稿は、2014 年に実施した「磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査」のデータを用いて、東新町団地に居住するブラジル人の子どもの状況と、子どもが置かれた家庭環境について実態を把握する。近年、地方の大規模団地に外国人が集住する現象が各地にみられるようになり、団地内の日本人居住者と外国人居住者との関係（池上 2001；都築 2003；稲葉他 2008）が注目されている。しかし、団地に居住する外国人の子どもに焦点を当てて実態を把握した報告は、見当たらない。

公営や都市機構の集合住宅は、入居条件さえ満たせば良いので民間のアパートやマンションと違い入居差別が無い。家賃も安く、敷金・礼金・仲介手数料も不要で経済的である。特定の団地に外国人が数世帯入居すると、噂が広まり次々と同じ国籍の外国人が入居し、外国人集住団地が生まれる傾向にある（稲葉 2009）。ブラジル人の場合は多くの人が人材派遣業者に雇われているため、初期のころは人材派遣業者が提供する宿舎に居住していた。しかし、仕事が無くなると宿舎を出なければならず、2007 年のリーマン・ショックの際には多くのブラジル人が住む家を失うという事態に陥った。業務請負業者を替わっても引越す必要の無い「広くて安い」住居は、ブラジル人にとっては一種の「安全保障」でもある（池上 2001）。団地側も、高度成長期に建設されたものの中には、立地条件が悪く建物・設備が老朽化しており、特に大規模団地では空き室発生率が高めの所が多い。そのため、入居もすぐ出来る場合が多い。こうして外国人の入居者が増えると共に、日本人は団地を敬遠し、団地が大規模であれば外国人の母語のみで生活できる環境が形成されていく（稲



葉 2009)。

ブラジル人が集住する団地に住んでいる場合、一軒家やマンションに住むのとは異なり、子ども達はブラジル人が多く集住する地域で育つことになる。このような団地に居住することは、一見エスニック・ネットワークが十分に発達し、そこからのサポートにアクセスしやすいように見える。その反面、団地に居住しているということは、経済状態が不安定であることが推察される。更に、地元の住民からは低所得者の吹き溜まりのような場所というラベルを貼られがちであり、現に反社会的な活動に走りがちなグループが居住している可能性も高い。このような団地に居住する子どもたちは、家族や友人とどのような関わり方をしているのだろうか。そして、団地に居住する親は子どもの将来に関してどのような希望を抱いており、子どもの教育に関してどのような問題を課題として挙げているのだろうか。

本章の分析は、各世帯に 1 通ずつ配布された世帯票のデータを元としている。各世帯の子どもに関しては、世帯票において同居する 0～15 歳の子どもに関する情報を最大 2 名まで記入してもらっている。子どもの情報には、性別、年齢、出生国、来日年、就園・就学状況、就園・就学先、子どもと夕食を食べる回数、子どもとの会話の言語が含まれる。また、各世帯について、行政から受けている支援、PTA への参加、日本の学校の習慣やルールに関しての情報源、子どもの遊び相手、子どもの将来に対する希望等についてもたずねている。本稿では子どもの立場から状況を把握することを目的としているため、世帯票データを子ども個人単位に置き換え、そこに世帯票のその他の情報、個人票から得られた親一人の情報をマッチさせており、その分析結果を提示する。子ども単位にデータを構築し直すことにより、得られる子どもの情報を全て有効に用いることができるという利点があるが、同じ世帯に子どもが 2 人いる場合には、その世帯の特徴にウエートが置かれる結果となることに留意する必要がある。また、子どものサンプル数は年齢が不詳のケースを除き、94 ケースと少ない。集計する変数やクロス表によっては 94 よりも更に少なくなるため、細かい分類を用いた集計は行わない。

## 1. 子どもがいる世帯の世帯構成

まず、子どもが属する世帯の構造から見ていこう。0 歳から 15 歳の子どもがいる世帯の平均世帯人員数は 4.0 人、子どもの数は 2.3 人、同居する子どもの数は 2.1 人、そして同居する 0 歳から 15 歳の子どもの数は 2.0 人となっている(表 1)。世帯人員の分布でも、やはり 4 人が最も多く全世帯の 43.0%を占めており、次いで 3 人が 23.7%である(表 2)。家族形態でみると(表 3)、二人親と子どもから成る核家族世帯が最も多く、75.3%で 4 分の 3 を占める。次いで、一人親と子どもから成る世帯が 18.3%を占めている。その他の世帯には、(1) 夫婦、子どもと夫婦の親から成る世帯、(2) 夫婦、子どもと夫婦の親、そして夫婦のきょうだいから成る世帯、(3) 世帯主、子どもと夫婦の親から成る世帯、そして(4) 世帯主、子どもと世帯主のきょうだいから成る世帯が含まれる。(3)と(4)は親やきょうだ

いと同居しているために、一人親世帯には分類されないが、子どもの親は一人であり、団地に住むブラジル人には一人親世帯が多いことが示唆される。

表 1 子どもがいる世帯の平均人員

	平均	N
世帯人員	4.0	93
子どもの数	2.3	93
同居する子どもの数	2.1	91
同居する子どもの数(0-15歳)	2.0	92

表 2 子どもがいる世帯の世帯人員分布

世帯人員	割合	N
2人	5.4	5
3人	23.7	22
4人	43.0	40
5人	17.2	16
6人	10.8	10
合計		93

表 3 子どもがいる世帯の家族形態

	割合	N
二人親と子ども	75.3	70
一人親と子ども	18.3	17
その他	6.5	6
合計		93

表 4 家族形態別、調査票記入者の性別

記入者情報	女	男	N
二人親と子ども	47.0	53.0	66
一人親と子ども	88.2	11.8	17
その他	83.3	16.7	6
			89

家族形態別に調査票記入者の性別をみたのが、表 4 である。二人親と子どもから成る世帯では、記入者である親の性別は女性 47.0%、男性 53.0%とほぼ男女半数に分かれている。しかし、一人親と子どもから成る世帯の場合、記入者である親の性別は、83.3%が女性、16.7%が男性であり、母子世帯が多いことがわかる。子どものサンプル数が少ないので確定的なことは言えないが、東新町団地における母子世帯に属する子どもの割合は高く、ひいては、子どもの貧困率も高いことが予想される。

## 2. 子どもがいる世帯の経済状況と行政からの支援の受給

世帯票では、過去 3 か月間の世帯の平均月収をきいている。子どもが属する家族形態別に平均世帯月収を示したのが図 3 である。全体で見れば 20 万未満の世帯は 16.9%であるが、一人親世帯では 20 万未満の世帯は 7 割強を占めており、一人親世帯の経済状況が特に厳しい状態にあることがわかる。二人親世帯では、30 万-40 万未満が 4 割強で最も高く、次いで 20 万-30 万未満が 4 分の 1 を占めている。そして、40 万以上の世帯が 3 割弱程度存在している。

それではどのくらいの子どもの行政から支援を受ける世帯に属しているのだろうか。行政からの支援に関する設問の選択肢には、(1) 児童手当、(2) 生活保護、(3) 母子家庭等自立支援給付金、(4) 要保護ないし準要保護児童生徒認定による就学援助費、(5) 受給し

ていない、が設けられており、当てはまるものすべてに○をつける形式になっている。児童手当は中学校修了までの国内に住所を有する児童で、夫婦と児童 2 人から成る世帯で所得制限が年収 960 万円と寛大であるため、多くの世帯が該当すると考えられる。母子家庭自立支援給付金は、母の主体的な能力開発の取り組みを支援することを目的としており、雇用保険の教育訓練給付の受給資格を有していない人が対象教育訓練を受講し、修了した場合、経費の 20%が支給される制度である。要保護ないし準要保護児童生徒認定による就学援助費は、経済的理由により就学困難な児童および生徒に対する学用品費、教科用図書費、修学旅行費等の補助である。

図 3 子どもがいる世帯の家族形態別、平均世帯月収

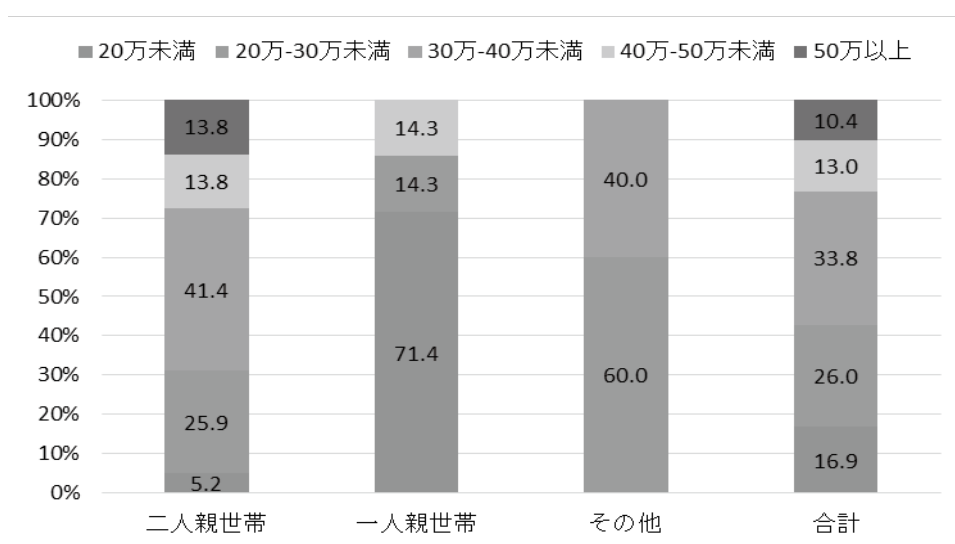
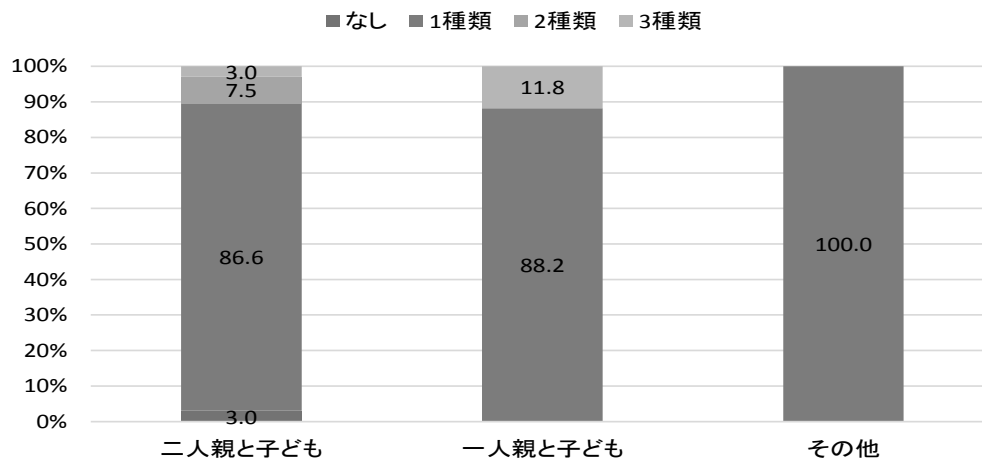


表 5 によると、予想通り児童手当は 95.5%とほぼ全ての子どもが受給している。一方、要保護ないし準要保護児童生徒認定による就学援助費を受給している世帯に属する子どもは 7.9%、次いで、母子家庭等自立支援給付金が 5.6%、生活保護受給世帯にいる子どもは 3.4%とわずかであった。家族形態別に受けている行政支援の種類数を集計した結果が、図 4 である。二人親世帯では 86.6%が 1 種類のための支援を受けており、そのほぼ全てが児童手当である。続いて 2 種類受給が 7.5%、受給無しが 3.0%、そして 3 種類以上支援を受けている世帯はゼロであった。一方、一人親世帯の子どもでは、1 種類が 88.2% (児童手当)、3 種類 (児童手当、母子家庭等自立支援給付金、要保護ないし準要保護児童生徒認定による就学援助費) 受給が 11.8%となっている。まったく支援を受けていない子ども、2 種類の支援を受けている一人親世帯はそれぞれゼロであった。その他の世帯の子どもについては、全世帯が 1 種類 (児童手当) を受給している。

表 5 行政からの支援の受給割合 (%)

行政からの支援	受給割合	N
児童手当	95.5	89
生活保護	3.4	89
母子家庭等自立支援給付金	5.6	89
要保護ないし準要保護児童生徒 認定による就学援助費	7.9	89

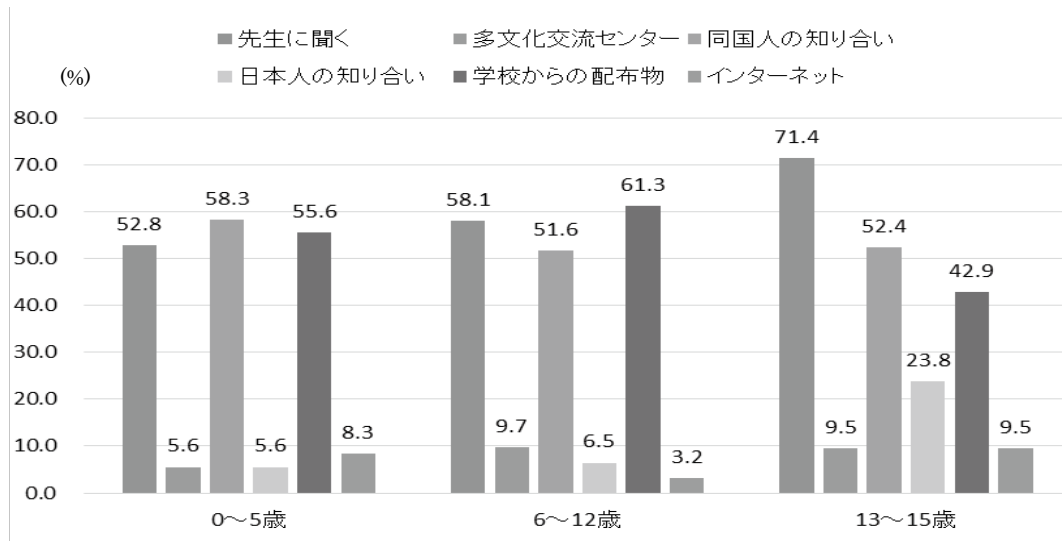
図 4 家族形態別行政からの支援受給数



### 3. 学校の習慣やルールについての情報源と PTA 参加状況

次に学校に関する情報をどこから入手しているかについて、子どもの年齢別に示したのが図 5 である。子どもの年齢は、ほぼ就学前に相当する 0-5 歳、小学校に相当する 6-12 歳、中学校に相当する 13-15 歳の 3 グループに分類した。図 5 によると、子どもの年齢が上昇するにつれ「先生に聞く」及び「日本人の知り合い」の割合が増加することがわかる。子どもが 0-5 歳では「先生に聞く」の割合は 52.8%と半数強であるが、6-12 歳では 58.1%と 6 割弱、13-15 歳では 71.4%と 7 割を超える。一方「日本人の知り合い」に聞く割合は、0-5 歳では 5.6%と 1 割にも満たないが、6-12 歳でも 6.5%、13-15 歳では 23.8%と急増激する。安定的に高いのは「同国人の知り合い」で、0-5 歳で 58.3%、6-12 歳で 51.6%、そして 13-15 歳で 52.4%と全ての年齢でほぼ半数を超えている。また、磐田市独自の取り組みである多文化交流センターも、0-5 歳では 5.6%であるが、小学校・中学校相当の年齢に達すると 10%弱に達するようになる。学校からの配布物は、就学前や小学校では 55%から 61%と多くの割合を占めているが、中学校に達すると 42.9%と半数を割る。

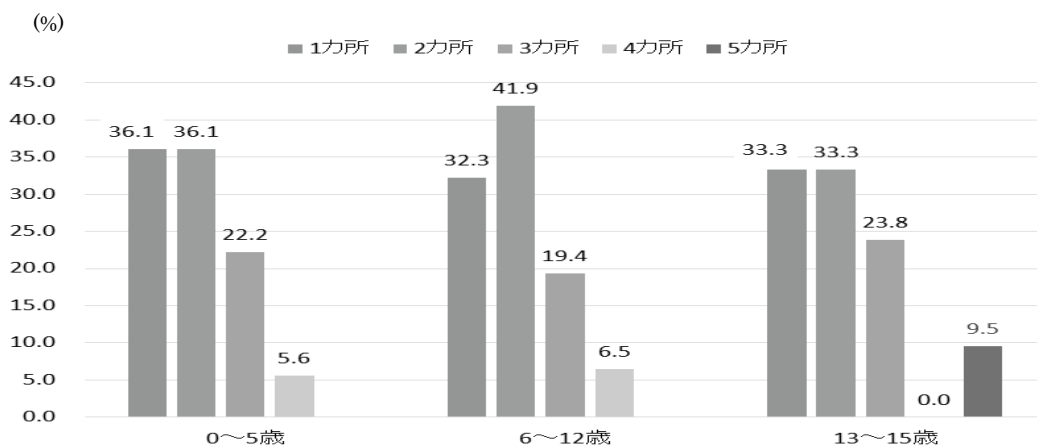
図 5 子どもの年齢別、学校に関する情報源



中学校になると「先生に聞く」や「日本人の知り合い」が上昇し「学校からの配布物」が減少するのは、学校からのお便りの日本語が難しくなってくること、受験や部活などの制度や仕組みが複雑で日本独自のものであることから、お便りに書かれていない背景や前提とされている知識が親に不足していること等があるのではないかと考えられる。

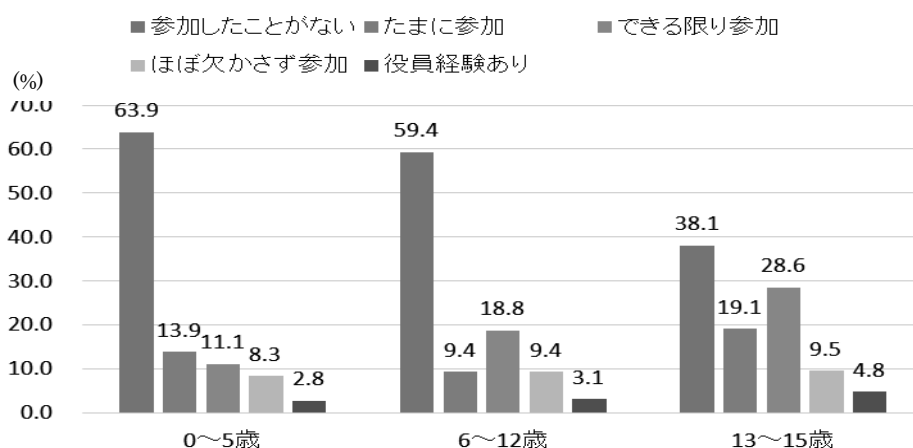
学校の習慣やルールに関する情報収集先の数について、子どもの年齢別に集計したものが、図 6 である。子どもが就学前の年齢である場合には、情報収集先が「1カ所」が 36.1%、「2カ所」が 36.1%であり、2カ所までで 72.2%とほぼ 4 分の 3 を占める。子どもが小学相当では「1カ所」が 32.3%であるが、「2カ所」が 41.9%と増加する。これが中学校相当になると、これまでゼロだった「5カ所」が 9.5%と約 1 割に達し、「1カ所」、「2カ所」がそれぞれ 33.3%となる。子どもが中学校になると、親はなるべく多くの情報源から情報を収集する傾向があることが読み取れる。

図 6 子どもの年齢別、学校に関する情報源数



それでは、親の PTA の参加状況は子どもの年齢の上昇と共にどのように変化するのであろうか。図 7 によると、子どもが中学校に入るまでは、親の PTA 参加率にあまり大きな変化はみられない。「参加したことがない」が最も高く、0-5 歳で 63.9%、6-12 歳で 59.4%と 6 割前後の親が PTA に参加したことがない。小学校に入ると「できる限り参加」が就学前に比べて増加するが、それでも 18.8%である。しかし、子どもが中学校に入ると、「参加したことがない」との回答は、38.1%に大きく減少し、「できる限り参加」との回答が 28.6%と増加する。「できる限り参加」、「ほぼ欠かさず参加」、そして「役員経験あり」を合計した割合は、0-5 歳では 22.2%、6-12 歳で 31.3%、そして 13-15 歳では 42.9%と徐々に増加する。子どもが中学校に入学すると、親の PTA 参加率、学校に関する情報収集源は大きく増加する。また、情報源の種類も「学校の配布物」から、「先生」や「日本人の知り合い」など、日本人と直接対面して収集する形へ変化することがわかる。受験や部活など日本独自の制度に子どもが関わることから、親もできる限り正確な情報を収集しようとしている姿勢が読み取れる。

図 7 子どもの年齢別、親の PTA 参加状況



#### 4. 子どもの属性と就学状況、進学への課題

次に子ども自身の特徴について把握する。子どもの性別を年齢別にみると（図 8）、全体としては男性が 51.7%、女性が 48.4%でとほぼ半数ずつに分かれ、0-5 歳、6-12 歳も同様である。しかし、13-15 歳については、男性が 28.6%、女性が 71.4%と女性の割合が顕著に高い。次に子どもの出生国を年齢別にみてみると（図 9）、子どもの年齢が低いほど日本生まれの割合が高くなっていることがわかる。日本生まれの子どもの割合は、13-15 歳では半分であるが、6-12 歳では 61.8%、そして 0-5 歳では 94.6%と 9 割を超える。就学前の子どもでは第二世代が主流となりつつある。これは、上の子どもは親と一緒に来日し、下の子どもが日本で生まれるケースが多いことや、子どもの年齢が低い層で親が日本で結婚した割合が高くなっていることが関係しているだろう（図 10）。

図 8 子どもの年齢別、子どもの性別

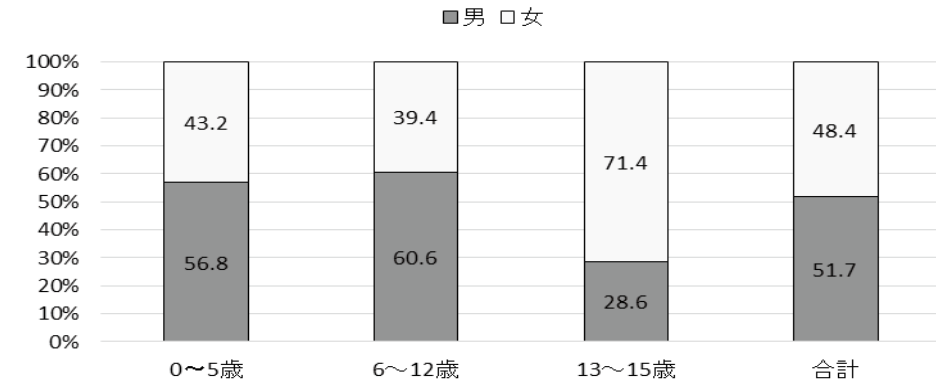


図 9 子どもの年齢別、子どもの出生国

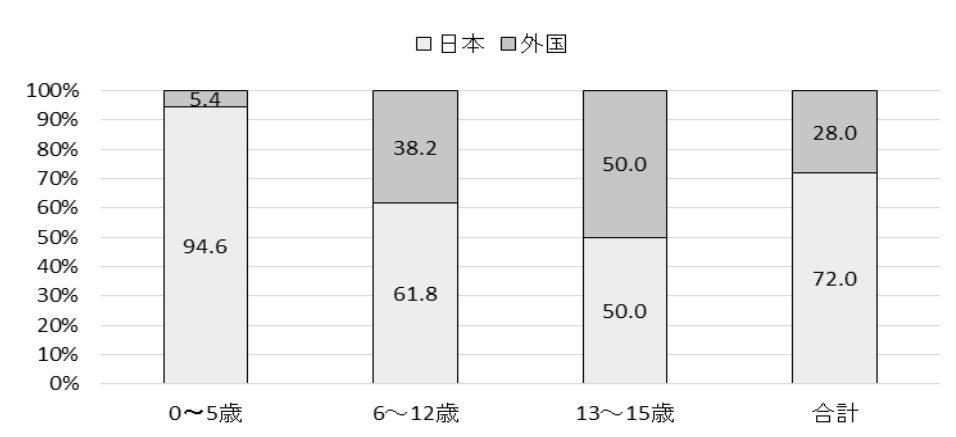
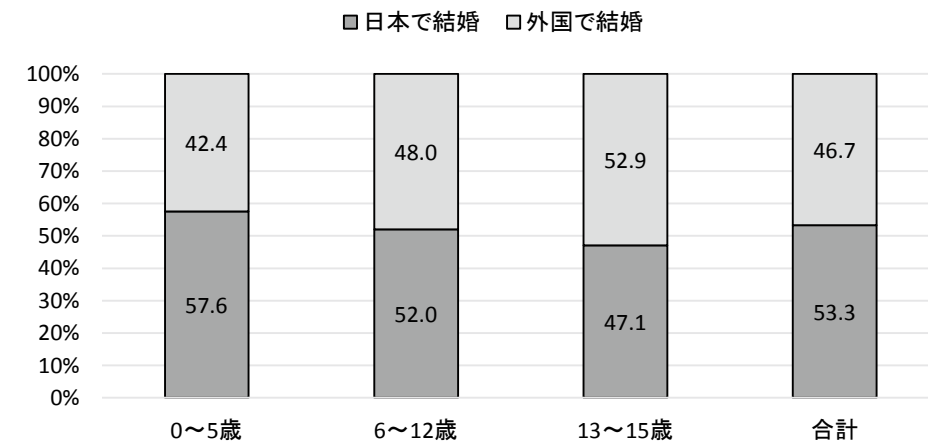
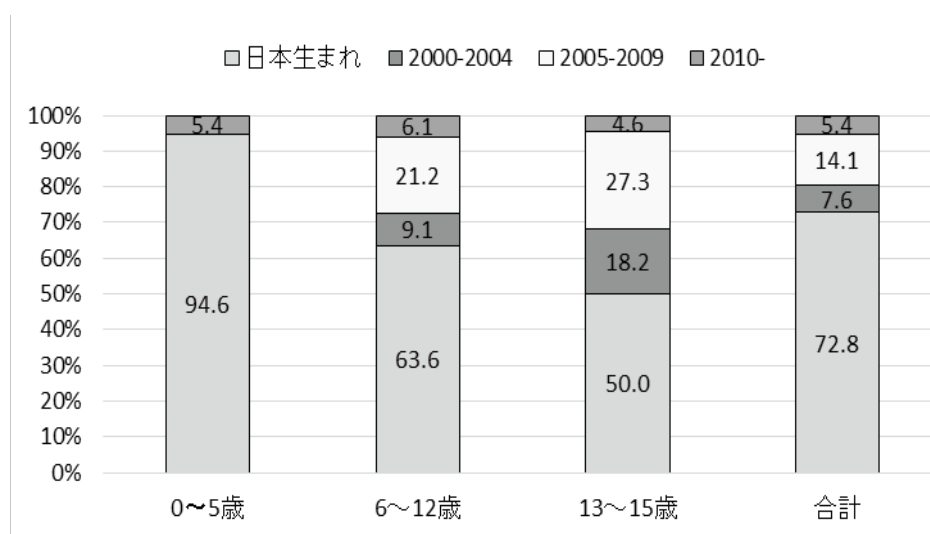


図 10 子どもの年齢別、親が結婚した国



それでは、外国で生まれた子どもの来日年はどのような分布になっているだろうか。図 11 によると 6-12 歳、13-15 歳どちらについても 2005-2009 年の間に来日した子どもの割合が最も高く、前者で 21.2%、後方で 27.3%である。次いで 2000-2004 年であり前者で 9.1%、後方で 18.2%となっている。2010 年以降の来日は減少しており、在留外国人統計とも一致する結果となっている。

図 11 子どもの年齢別、子どもの来日年



\*6-12 歳で、外国生まれの子どもで来日年が不詳のサンプルがあったため、図 9 の割合とは一致しない。

次に子どもの就学状況について示したのが図 12 である。小学校・中学校に相当する年齢では、9 割を超える子どもが就学している。6-12 歳で就学していない子どもは 6.1%いるが、年齢的なものと思われる。義務教育年齢にあたる 13-15 歳で就学していない子どもは 4.8%存在している。0-5 歳では親が働いていれば保育園に通学していると考えられるが、44.7%の子どもが保育園に行っておらず、2000 年初期の頃と比べると就学前で保育園に通学している子どもの割合は減少しているようである。

通園・通学している子どもの就園・就学先についてみると（図 13）、0-5 歳では 9 割近くが日本の保育園に通っている。残りの 1 割は外国人学校である。6-12 歳では日本の小学校が最も多く約 65%を占めており、日本の保育園が 14.3%、外国人学校が約 1 割、外国人学校の保育園・幼稚園が 7%という順番になっている。13-15 歳に達すると、日本の中学校が 63%で最も多く、外国人学校が約 2 割、日本の高校が 1 割、小学校が 5%である。13-15 歳では女子の割合が高いためか（図 8）、高校に通っているのは全て女子である。



図 12 子どもの年齢別、就学状況

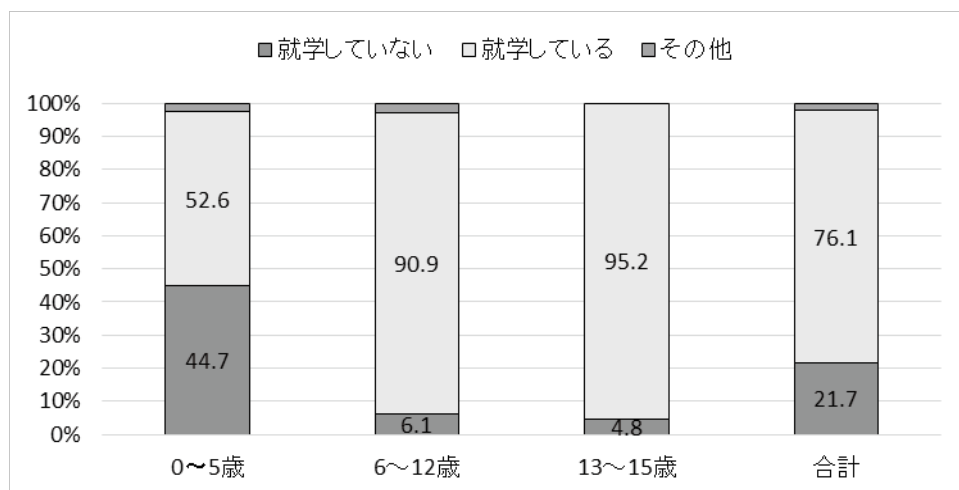
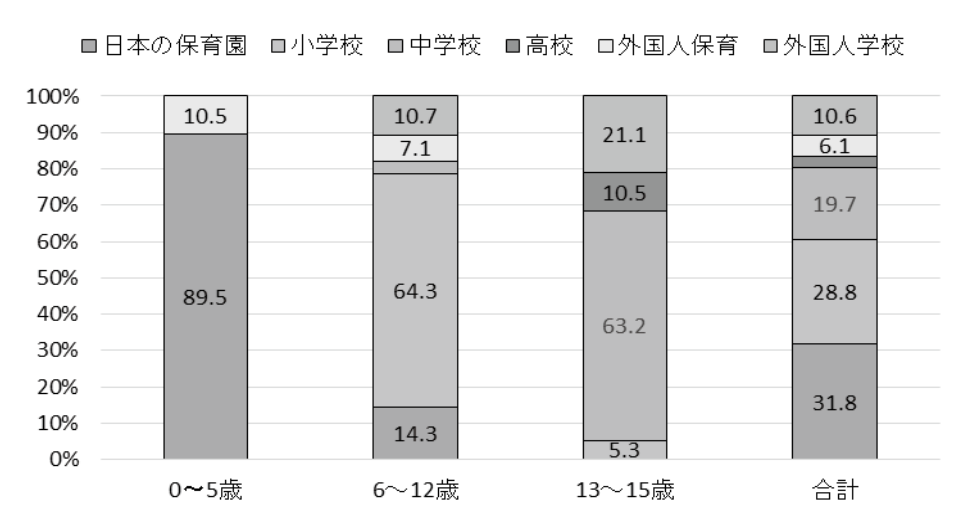
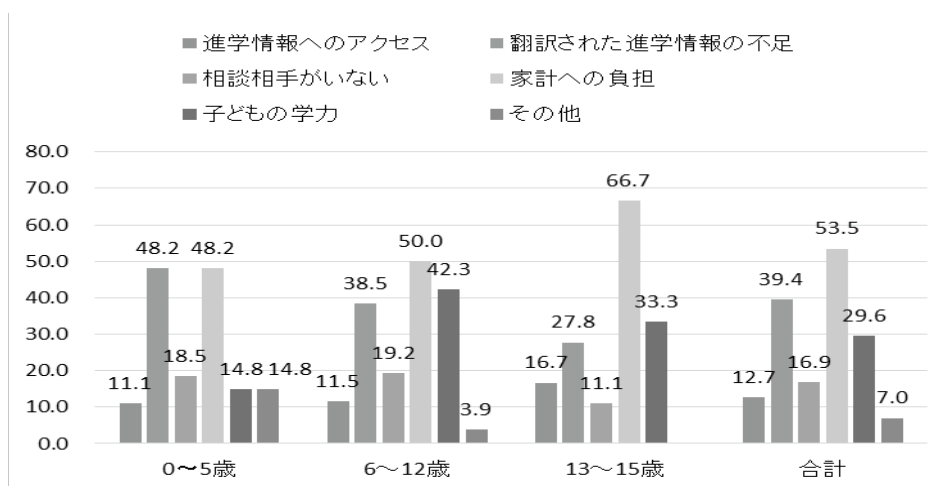


図 13 子どもの年齢別、通園・通学先



それでは、子どもの進学について親はどのような課題を抱えているのだろうか。子どもの進学についての課題を複数回答可で親に聞いた結果を子どもの年齢別に示したのが図 14 である。全ての年齢について最も高いのが「家計への負担が大きい」であり、0-5 歳では 5 割弱であるが 6-12 歳では 5 割、そして 13-15 歳では 67%と約 3 分の 2 を占める。就学前は、「翻訳された進学情報が不足」も 5 割弱と高いが、子どもが小学校相当・中学校相当になると「子どもの学力」と「翻訳された進学情報の不足」の 2 つが経済的負担に続く課題となっている。

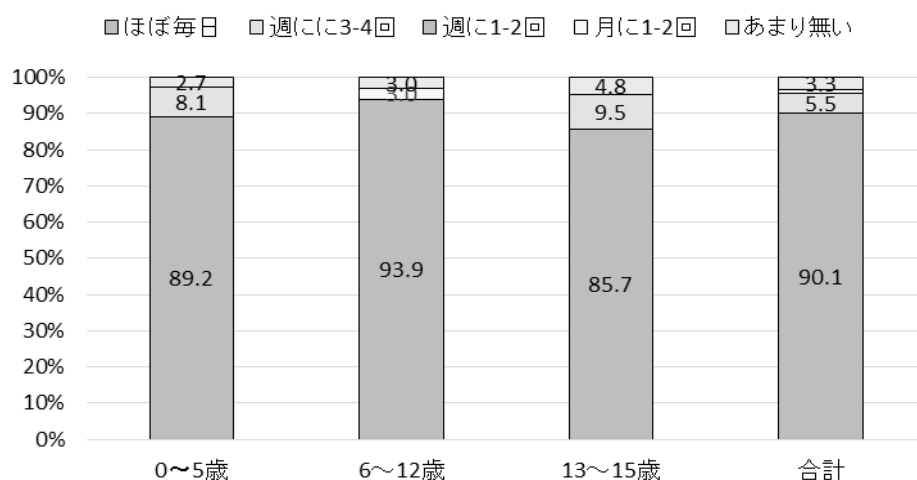
図 14 子どもの年齢別、進学への課題



## 5. 親との関わり方

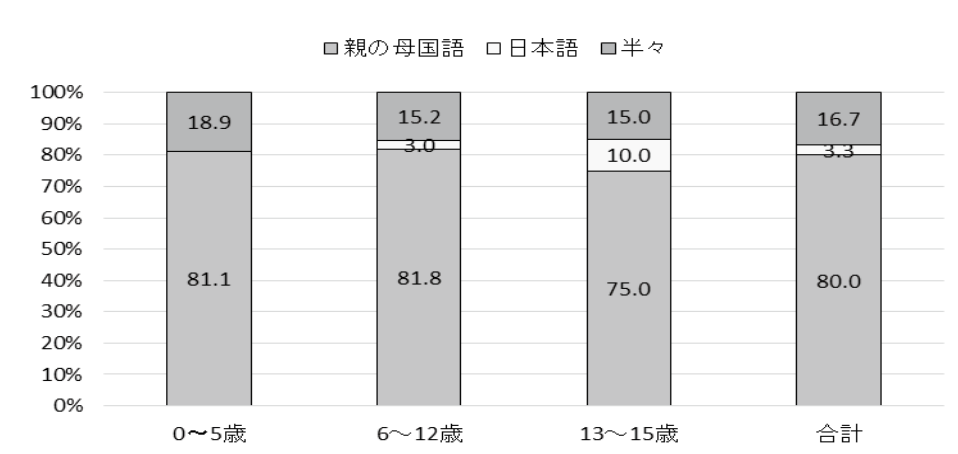
夕食を一緒にとる回数及び子どもとの会話言語は、子どもと親との関わりを見る指標として設問に含めた。親との夕食の回数を図 15 に示す。全体では 9 割が「ほぼ毎日」という結果になった。子どもの年齢が比較的低いため、全体としてみた場合に「ほぼ毎日」の割合が高く出る傾向にある。13～15 歳では「ほぼ毎日」の割合が 8 割台に減少し「週に 3-4 回」が 1 割弱に増加する。「あまり無い」と回答した割合も 5%程度に増加する。

図 15 子どもの年齢別、夕食を一緒にとる回数



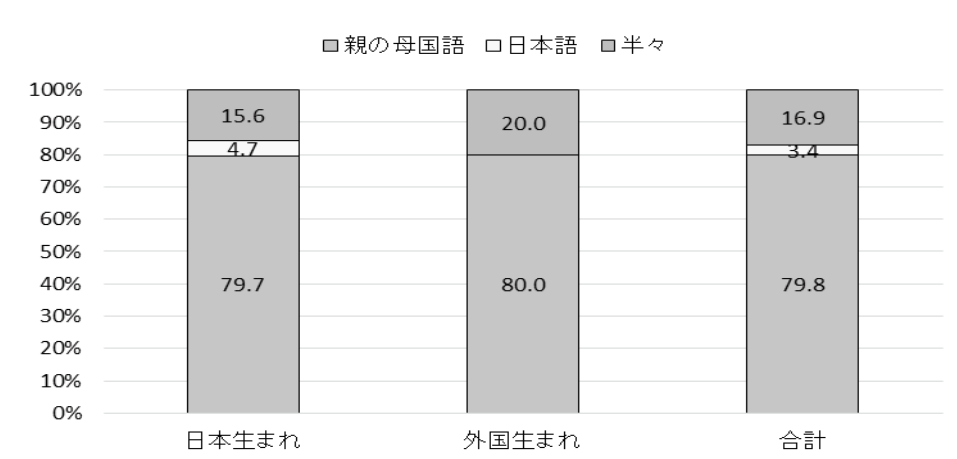
次に親と会話する時に使う言語についてみると（図 16）、8 割の子どもが「親の母国語」を用いており、次いで「両方の言語が半々で混ざる」が 15.7%である。「ほぼ日本語」の割合は 3%程度であり、非常に低い。これを子どもの年齢別にみると、0-5 歳、6-12 歳では全体的な傾向とほぼ同様であるが、13-15 歳になると「親の母国語」が 75.0%と若干減少する。「両方の言語が半々で混ざる」は 15.0%で他の年齢と大きな差はみられないが、「日本語」の割合が 1 割と大きく上昇する。

図 16 子どもの年齢別、親と会話する時に使う言語



それでは親との会話に用いる言語に、子どもが生まれた国は関係あるのだろうか。図 17 は、子どもが生まれた国別に親との会話に用いる言語を示したものである。「日本生まれ」の場合に「日本語」が 4.7%、「外国生まれ」の場合にはゼロという違いはあるが、全体的に生まれた国による大きな差は見られない。子どもの年齢の効果の方が大きいと考えられる（図 16）。

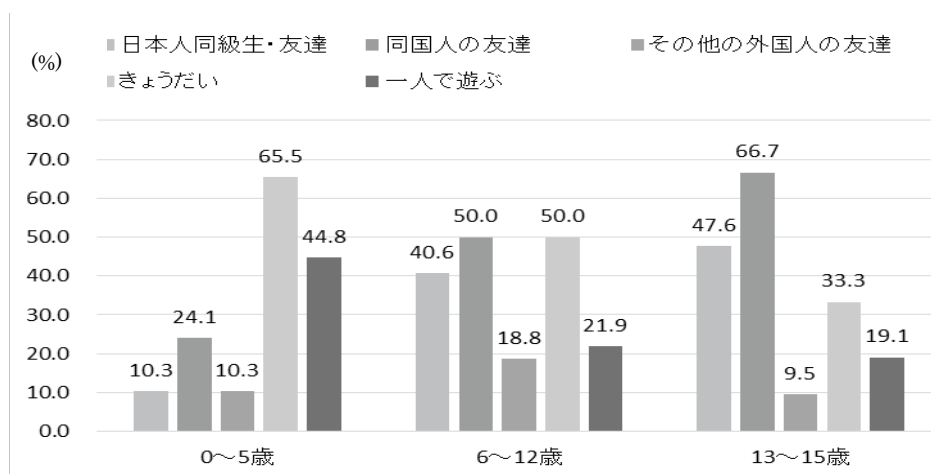
図 17 子どもの生まれた国別、親と会話する時に使う言語



## 6. 子どもの遊び相手

世帯票では、子どもの平日の遊び相手、週末の遊び相手について複数回答可能な形で聞いている。図 18 が平日の遊び相手、図 19 が週末の遊び相手の結果である。まず平日からみていくと、0-5 歳では「きょうだい」が 65.5%と最も高く、「一人で遊ぶ」が 44.8%、「同国人の友達」が 24.1%である。6-12 歳になると、「きょうだい」と「一人で遊ぶ」がそれぞれ 5 割、2 割程度に減少する一方、「同国人の友達」、「日本人同級生・友達」がそれぞれ 5 割、「その他の外国人の友達」も 18.8%と増加する。更に 13-15 歳に達すると「同国人の友達」が 66.7%、「日本人同級生・友達」も 47.6%と更に増加する。そして、「きょうだい」、「一人で遊ぶ」は 33.3%、19.1%に大きく低下する。

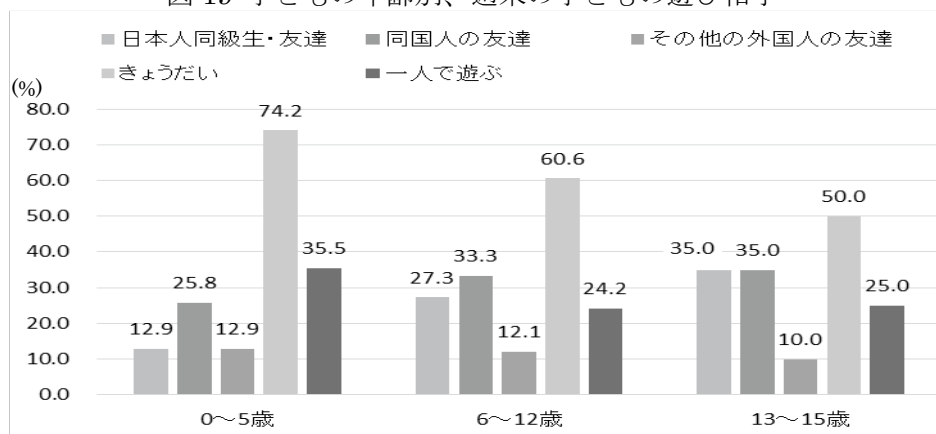
図 18 子どもの年齢別、平日の遊び相手



次に週末の遊び相手について各年齢階級別にみると（図 19）、0-5 歳では概ね平日のパターンを踏襲しているが、「一人で遊ぶ」の割合が平日よりも低く、その分「きょうだい」の割合が増加する傾向がみられる。普段、学校に行っていて昼間一緒に遊べないきょうだいと、週末には遊ぶことができるためであろう。次に 6-12 歳の週末の遊び相手をみると、平日と比べて「日本人同級生・友達」、「同国人の友達」の割合が低く「きょうだい」の割合が上昇する。13-15 歳についても、平日と比較すると「きょうだい」の割合が 33.3%から 5 割に上昇し、「日本人同級生・友達」と「同国人の友達」の割合が減少する。

平日・週末にかかわらず、子どもの年齢とともに「きょうだい」と「一人で遊ぶ」の割合は減少し、「日本人同級生・友達」と「同国人の友達」の割合が上昇する。どの年齢層でも、同国人の友達と遊ぶ割合の方が、日本人の友達と遊ぶ割合より高い。週末の遊び相手は、どの年齢についても「きょうだい」が最も高い。週末は家族と過ごすケースが多いためであろう。

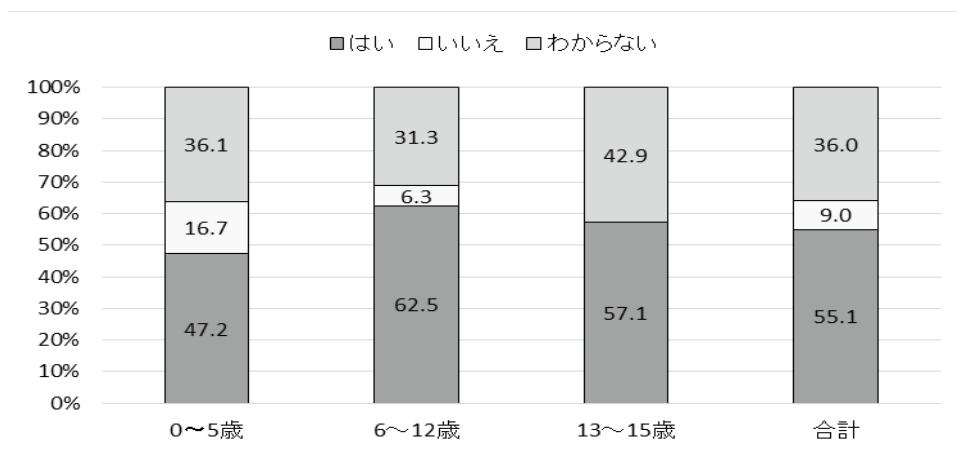
図 19 子どもの年齢別、週末の子どもの遊び相手



## 7. 子どもの将来に関わる親の希望

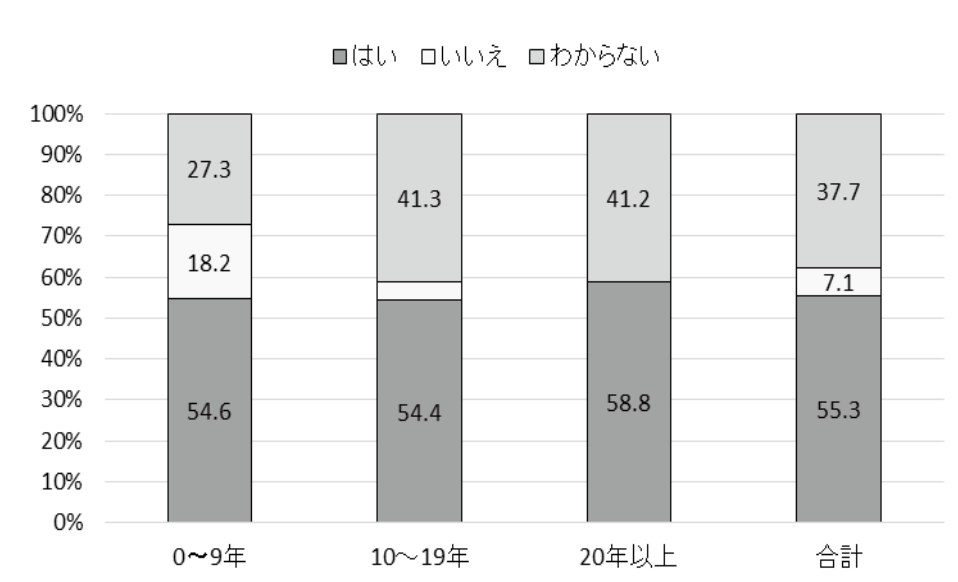
世帯票では、親が子どもに望む将来の居住国、学歴、希望する職業について聞いている。居住国に関しては、「あなたは子どもが将来も日本で生活することを希望しますか」という形で、子どもの将来の居住国に関する希望を聞いている。図 20 は、子どもの年齢別に親の希望を集計したものである。これをみると、子どもの年齢の上昇とともに、「いいえ」（子どもが日本で生活することを希望しない）という回答は減少することがわかる。たとえば、0-5 歳では、「いいえ」の割合は 16.7%であるが、6-12 歳では 6.3%と半分以上に減少し、13-15 歳ではゼロとなる。しかし、「はい」（日本で生活することを希望する）との回答が一律に上昇するわけではない。「はい」の割合は、それぞれの年齢ごとに 47.2%、67.5%、57.1%であり、子どもが 6-12 歳の時に最も高い。13-15 歳では、「わからない」が 42.9%に達し、最も高くなる。ブラジル人は、他の外国人と比べて今後の滞在予定は不明とする回答が高いことが恒常的に知られており、そのことが子どもの将来の居住国に関しても影響していると思われる。

図 20 子どもの年齢別、親は子どもに日本に居住することを希望するか



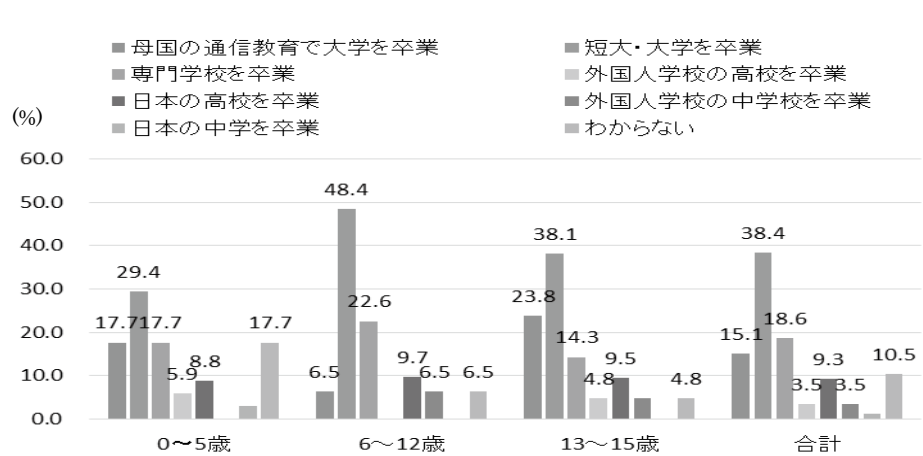
一方、記入者である親の日本滞在年数別に子どもの将来の居住国の希望について集計したところ、滞在年数が長いほど「いいえ」の回答が減少する（図 21）。例えば、滞在 0-9 年のグループでは、「いいえ」の割合は 18.2%であるが、10-19 年では 4.4%、そして滞在 20 年以上ではゼロになる。しかし、「わからない」の回答は滞在 0-9 年で 27.3%だったのが、10-19 年で 41.3%に急増し、20 年以上滞在してもその割合に変化はみられない。長期に滞在することで比較的経済的に安定している場合には「はい」と回答できるが、経済的に不安定な場合には「はい」とははっきり答えられずに「わからない」を選択するのかもしれない。

図 21 親の日本滞在年数別、親は子どもに日本に居住することを希望するか



次に親が子どもに希望する学歴について、子どもの年齢別にまとめたのが図 22 である。すべての年齢に共通して、子どもに「短大・大学を卒業」することを希望する親が最も高い。その割合は 0-5 歳で 3 割弱、6-12 歳で 5 割弱、13-15 歳で 4 割弱、全体では 4 割弱となっている。子どもが 0-5 歳とまだ小さいうちは、「短大・大学を卒業」に続いて「母国の通信教育で大学を卒業」、「専門学校を卒業」、「わからない」が 17.7%ずつで親の希望は分散しがちである。6-12 歳になると、「専門学校」が 23%弱で「短大・大学」に続く。しかし 13-15 歳になると「短大・大学を卒業」の後は「母国の通信教育で大学を卒業」が 24%に達し、続いて「専門学校」の 14.3%になる。大学受験の年齢が近づくにつれ、日本・外国にかかわらず「大学」は卒業してほしいという親の希望がはっきりしてくるためだろう。子どもの将来の居住国に関しては「わからない」の回答が高かったが、子どもの将来の学歴に関しては、大学（選択肢は短大と大学を一緒の分類にしたが、「母国の通信教育で大学を卒業」を希望する割合が高いことから、大学進学を希望する親が多いと思われる）卒業を希望する親の割合が高いことは明らかである。

図 22 親が希望する子どもの学歴



世帯票では、子どもが将来日本で就業する場合の職業についても、親の希望を聞いている（図 23）。子どもに望む学歴に比例して、ここでも親の希望は「専門職・管理職」に集中している。具体的には、0-5 歳で 79%、6-12 歳で 78%、そして 13-15 歳では 9 割を超える。親の多くが従事していると思われる「生産工程」はゼロ、「農業」、「専業主婦」についてもゼロであった。子どもの性別でみると（図 24）、親が子供に「専門職」を希望する割合は、男子の場合に女子である場合よりも高く（男子 86.8%、女子 75.0%）、その分「事務職」を希望する割合が女子の場合に高い（男子 10.5%、女子 20.0%）。しかし、それ以外に特に目立ったジェンダー間の差異はみられない。

図 23 子どもの年齢別、親が子どもに希望する将来の職業

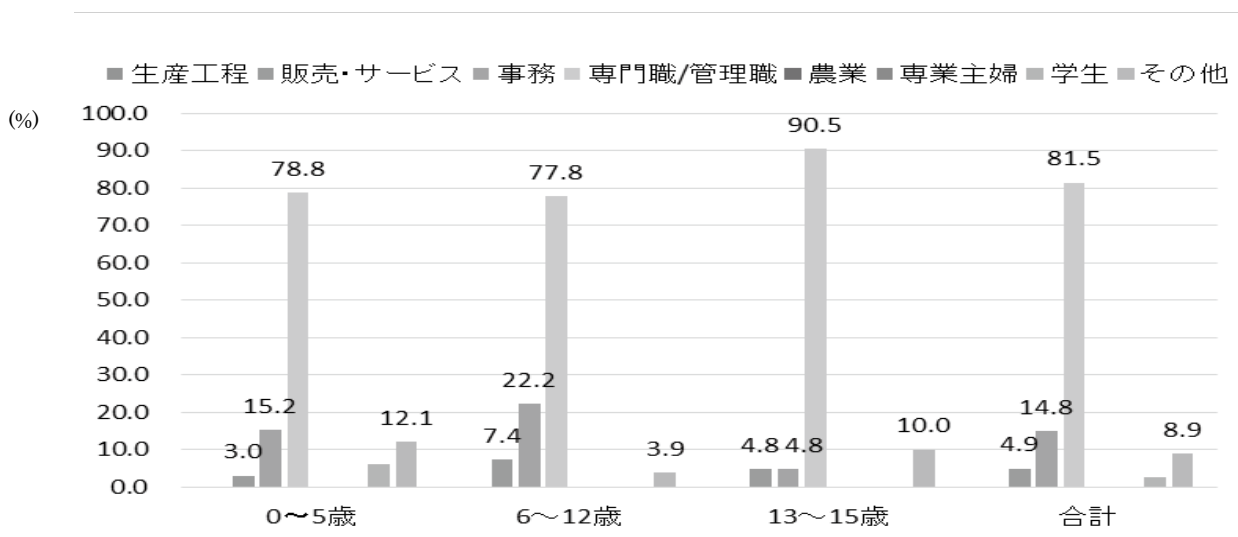
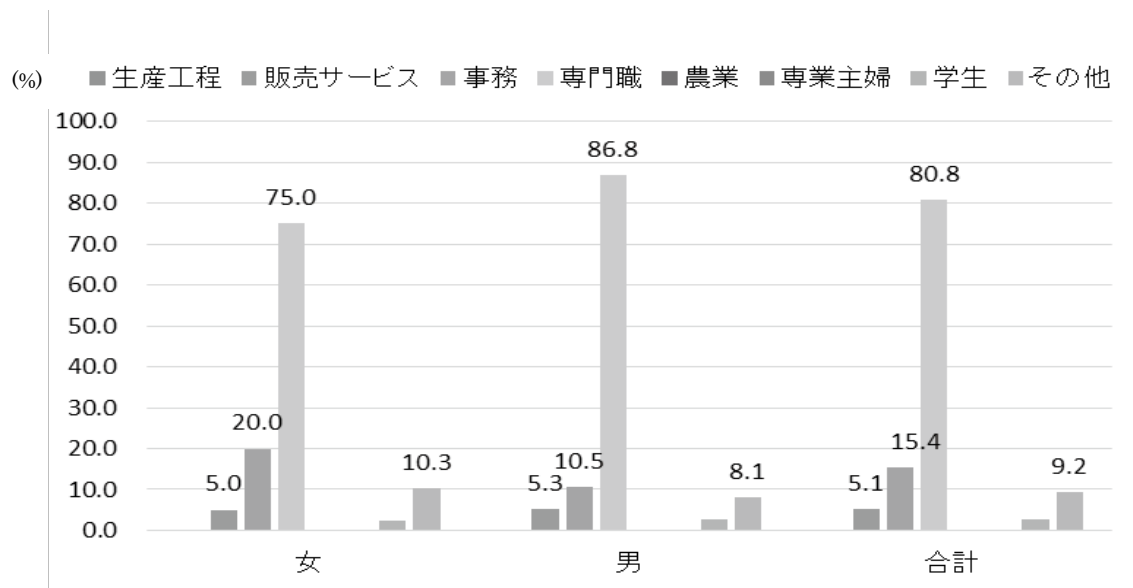


図 24 子どもの性別、親が子どもに希望する将来の職業



「ブラジル人の親は子どもの教育に関心が無い」という一般的なイメージとは異なり、調査の結果からは、多くの親が子どもに大学まで進学し、専門職・管理職についてほしいというはっきりした希望を抱いていることがわかった。親の子どもの教育に関する関心の高さは、本調査に付随するインタビューの結果からもうかがえる。

インタビューによると、多くの親はブラジルでの教育と日本の教育を比較し、ブラジルの教育レベルは下がっているため、子どもに日本で教育を受けさせたいと望んでいる。子どもの将来の夢を応援し、そのためには失業してもすぐ次の仕事を見つけ、経済的にサポートし続けたいと考えている。子どもが浜松への高校を希望している家族は、そのために団地から引っ越すことも考えている。

子どもが勉強する意欲を持つには親とのコミュニケーションが大切であるが、日本語が話せない親とポルトガル語が話せない子どもで成り立っている家庭もあり、親子のコミュニケーションが難しくなっているケースも多々あるようである。子どもとのコミュニケーションがうまく行っている親子は、子どものポルトガル語学習能力が高いように思われる。ある子どもの高校進学に熱心な家の親は、「娘にはまずポルトガル語の読み書きを学ばせた。家庭内の言語はすべてポルトガル語である。しかし、最近では語彙が増えているので、娘がたまにポルトガル語の単語がわからない時がある。その場合、親子で一緒にインターネットなどで検索する。小さな文法的な間違いも、その都度指摘している」というように、まずポルトガル語をきちんと学習させることに重きを置いている。ポルトガル語を学ぶことは、親とのコミュニケーションをはかるため、という理由もあるが、将来の就職に有利に働くため、ということも考えてのことである。

幾つかの研究の結果によれば (Ishikawa 2009; Takenoshita et al 2014)、親の日本で



の滞在予定の見通しの無さが子どもの進学にネガティブな影響を与えていることが示唆されている。本調査のインタビューに回答してくれた対象者は、子どもの教育に熱心な家族が多かったためか、子どもの教育を考えて帰国はしない、と明言したケースが多かった。経済的な理由で来日し、子どもに日本の学校へ行かせてみて日本の公教育の良さを痛感し、引き続き教育を受けさせるために日本での滞在年数が長くなるケースもあると思われる。

#### 参考文献

- 池上重弘 (2001) 『ブラジル人と国際化する地域社会』 明石書店
- イシカワ エウニセ アケミ (2005) 「家族は子どもの教育にどうかかわるか」 宮島喬・太田晴雄編『外国人の子どもと日本の教育：不就学問題と多文化共生の課題』 東京大学出版会, 77-96.
- 稲葉佳子、石井由香、五十嵐敦子、笠原秀樹、窪田亜矢、福本佳世、渡戸一郎 (2008) 「公営住宅における外国人居住に関する研究-外国人を受け入れたホスト社会側の対応と取り組みを中心に-」『住宅総合研究財団研究論文集』 35: 275-286.
- 稲葉佳子 (2009) 「外国人の住まいの現状」 川村千鶴子・近藤敦：中本博皓『移民政策へのアプローチ：ライフサイクルと多文化共生』 明石書店, 152-155.
- 太田晴雄・坪谷美欧子 (2005) 「学校に通わない子どもたち」 宮島喬・太田晴雄編『外国人の子どもと日本の教育：不就学問題と多文化共生の課題』 東京大学出版会, 17-36.
- 佐久間孝正 (2006) 『外国人の子どもの不就学』 勁草書房
- 竹ノ下弘久 (2005) 「「不登校」「不就学」をめぐる意味世界」 宮島喬・太田晴雄編『外国人の子どもと日本の教育：不就学問題と多文化共生の課題』 東京大学出版会, 119-138.
- 都築くるみ (2003) 「日系ブラジル人集住地域における生活世界と人間関係」 石井由香編著『移民の居住と生活：講座グローバル化する日本と移民問題第 II 期第 4 巻』 183-213.
- 法務省 (2015) 「在留外国人統計 (旧登録外国人統計)」 各年
- 宮島喬 (2013) 「外国人の子どもにみる三重の剥奪状態」『大原社会問題研究所雑誌』 No. 657: 3-18.
- 文部科学省 (2015) 「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」
- Ishikawa, Eunice Akemi. 2009. "The return of Japanese-Brazilian "next-generations": their post-1980s experiences in Japan" Pp.59-78 in *Return Migration of the Next Generations – 21<sup>st</sup> Century Transnational Mobility*, edited by Dennis Conway and Robert B. Potter. Ashgate.
- Takenoshita, Hirohisa, Yoshimi Chitose, Shigehiro Ikegami, and Eunice Akemi Ishikawa. 2014. "Segmented Assimilation, Transnationalism, and Educational Attainment of Brazilian Migrant Children in Japan." *International Migration* 52(2): 84-99.

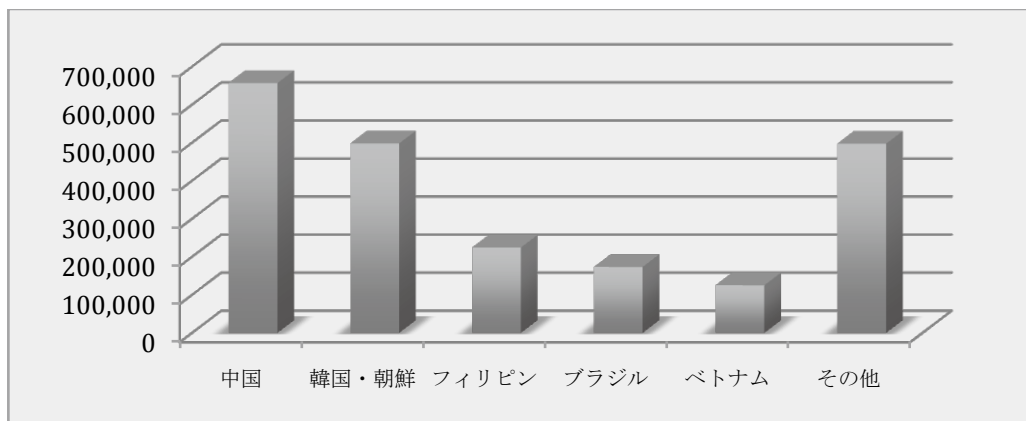
## 磐田市東新町団地外国人住民の声

イシカワ エウニセ アケミ（静岡文化芸術大学）

2014年に磐田市東新町団地で実施した調査で、そこに住む外国籍住民が団地内外で経験する日常的な状況から、様々な悩みや問題を抱えていることが確認された。例えば、日本における就労、住居環境をはじめ、言語によるコミュニケーションの問題があげられる。学校の規則や習慣が分からないため子どもの教育に不安があるという問題は、日本人であれば当たり前のことが分からないため、外国人には大きな問題に繋がることが多い。その一方で、子どもたちは家では親の母語（ポルトガル語、中国語、タガログ語など）で話し、学校では日本語で勉強し、日本語の方が流暢になっていくケースが多い。この現状は、この団地だけの特徴ではなく、在日外国人住民に共通する問題でもある。

近年、日本で駅周辺、役所や病院で、日本語以外の言語で書かれている表示をよく目にしたり、小・中学校でもブラジル人やフィリピン人の児童・生徒がいたりする状況が珍しくない。2014年現在、在日外国籍者は217万人であり、一番多いのが中国籍で65万人、次に韓国・朝鮮籍で50万人、そしてフィリピン籍が22万人である。また、10万人以上の人口では、ブラジル籍が17万人、ベトナム籍が12万人となっている（表1、図1）。上位の5つの国籍者が在日外国籍者全体の77%を占めており、ブラジルを除くとアジア出身者である。ただ、ブラジル国籍者のほとんどが日系人であるため、身体的特徴では他のアジア出身者と同様であるとも言える。

図1. 在日外国籍人口 2015



（法務省、2015）

表 1. 在日外国籍人口 2015

	2015 年 6 月
総数	2,172,892
中国	656,403
韓国・朝鮮	497,707
フィリピン	224,048
ブラジル	173,038
ベトナム	124,820
その他	496,876

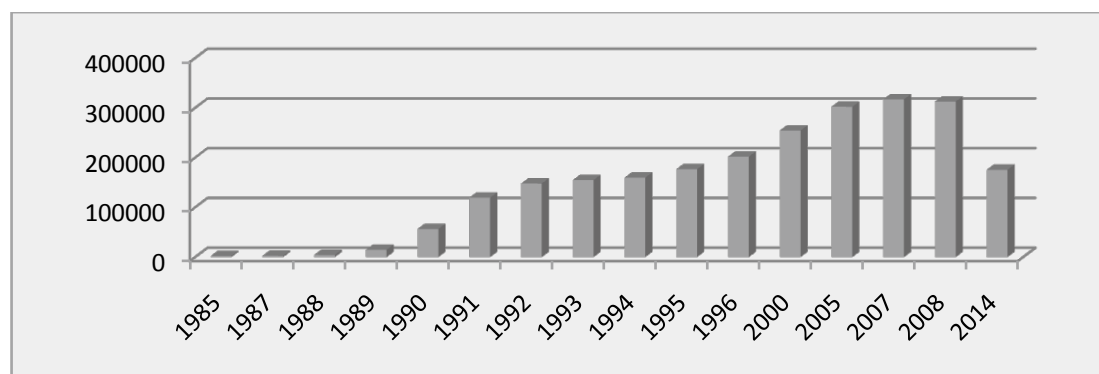
(法務省、2015)

在日ブラジル人に関して言えば、2008 年には 31 万人が日本に住んでいたが、現在では 17 万人に減少している（図 2、表 2）。

なぜブラジル人が日本に多く在住するようになったかといえば、まずは、日本の入管法により、日本人の配偶者及び子供・孫は親族関係の入国許可を受けることが可能になったためである。1990 年 6 月に「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が施行され、日系二世には「日本人の配偶者等」、そして日系三世には「定住者」の滞在資格が与えられるようになった。つまり、日本移民の子孫（3 世まで）であることを証明できれば、日本に滞在する資格が与えられ、なおかつ日本国内における活動に制限がない。

一方、ブラジルは海外に住む日系人人口が一番多い国である。ここでいう日系人とは日本からブラジルへ移民した一世をはじめ、世代にかかわらず、ブラジルで生まれ育った全ての日本人子孫のことを意味する。その人口は 1988 年現在、約 130 万人と推定されている（サンパウロ人文科学研究所、1988 年）。なお、ブラジルでは、国内の経済状況の悪化により、80 年代初めから、高収入を求めて海外へ出て行く動きが盛んになっていた（イシカワ、2003）。その時期、日系ブラジル人は日本へやってきたのである。結果的に、彼・彼女らは日本での工場や建設現場などにおける非熟練労働に携わるようになった。

図 2. 在日ブラジル国籍者 1985 年～2014 年



(法務省、1986～2015)

表 2. 在日ブラジル国籍者 1985年～2014年

年	人口		年	人口
1985	1,900		1994	159,619
1987	2,250		1995	176,440
1988	4,159		1996	201,795
1989	14,528		2000	254,394
1990	56,429		2005	302,080
1991	119,333		2007	316,967
1992	147,803		2008	312,582
1993	154,650		2014	175,410

(法務省、1986～2015)

本調査地である静岡県磐田市では、ブラジル国籍者は外国人人口の 58.9%を占めている（磐田市外国籍別人口、2015 年 12 月）。本磐田市東新町団地調査でも、回答者の 88%はブラジル国籍者であった。

日本でブラジル人が集中しているのは、自動車産業や製造業が盛んな地域であり、2014 年現在、愛知県（約 5 万人）、静岡県（約 2 万 6 千人）、岐阜県や群馬県（各県約 1 万人）、などである。これらの地域では、ブラジルレストランや雑貨屋、ブラジル人学校などが数多く見られる。しかし、日本ではブラジルのサンパウロ市にある日本人街の「リベルダーヂ地区」のように、集中したブラジル人街はない。

「リベルダーヂ地区」は、数年前まではブラジルの日本人街として知られていたが、日本人移民以外に中国人や韓国人移民の増加により、現在では東洋人街として知られるようになった。そこでは、日本・中国・韓国のレストラン、雑貨屋、旅行会社などが軒を連ねている。町を歩くと、日本語・中国語・韓国語を耳にすることも珍しくないし、東洋系の人が多く買い物をしている。もちろん、一般のブラジル人、つまり非東洋系のブラジル人も多くみかける。

日本の場合、多くのブラジル人が住んでいるのは、会社が準備する社宅や市町村にある公営住宅などであり、比較的分散している。近年では、一戸建てを購入する人もいるが、全体的にはまだ借家に住むブラジル人が多い。

しかし、現在ではブラジル人住民が集中している地域もあり、ブラジルタウンのように見える町も見られるようになった。これらの町では、ブラジル人は仕事場や家庭でポルトガル語のみを使用して生活をしており、日常生活で日本語を使う必要性がほとんどないほどである。例えば、静岡県の浜松市や磐田市が挙げられる。浜松市では人口 81 万人中、外国籍者が 2 万人弱在住しているが（人口の 2.5%）、その内 8 千人はブラジル国籍者である（2015 年）。磐田市では、人口 17 万人中、外国籍は 6 千人であり（人口の 3.6%）、そのうちブラジル国籍者は 3,639 人である。

これらの地域では、サンバ・カーニバルやサッカーなどのブラジル文化を紹介する多くのイベントが開催され、日本人との交流が図られている。しかし、残念ながら、まだブラジル人が日本の地域社会に溶け込み、安定した生活をし、日本人と仲良く暮らしているとは言い難い。ただ、ブラジル人が大規模で来日し始めた 90 年代当初と比較すれば、日本人とブラジル人は徐々に互いの文化を理解し合い、共生社会を築いて行こうとしている現状がうかがえる。

## 日本におけるブラジル人コミュニティ

ここではブラジルの日系人社会と日本におけるブラジル人コミュニティを区別する。ブラジルの日系人社会とは、ブラジルにおける日本からの移民とその子孫が100年以上かけて築き上げた社会である一方、日本におけるブラジル人コミュニティとは、日本におけるブラジル人ネットワークを指す。つまり、1990年以降に来日した日系人のネットワークを指し、その中でも個人ネットワークを重視している。来日している日系人の多くは、家族単位で来日している（夫婦、親子、兄弟、従兄弟などを含む広い意味の家族）特徴をもっている。

2014年の磐田市東新町団地で実施した調査では、公営住宅入居条件に家族同居という項目があるため、結果的に家族と一緒に住んでいる人がとほんどだが、以前筆者が行った調査でも、一般的に多くのブラジル人が家族と一緒に来日していることが確認できた。例えば、1994年に静岡県浜松市及び愛知県豊橋市でブラジル人労働者を対象に実施した直接面接調査で得た情報を紹介する。筆者が特に注目した点は、日系ブラジル人が来日する際、家族が同行している、もしくは家族の者がすでに来日していることであった（イシカワ、1996）。他の調査でも同じような傾向がみられる。例えば、1992年に群馬県太田市・大泉市、静岡県浜松市において来日している日系ブラジル人を対象にした調査があり、そこでは「家族と来日している」という者が60.2%であった（日本統計研究所、1993：12）。また、1993年に『静岡県浜松市における日系ブラジル・ペルー人を対象にした調査』では、家族全員及び家族の一員と共に来日したという者が80%であった（浜松市企画部国際交流室、1993, p. 68）。2014年に浜松市が実施した調査『浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態調査』でも、85%の外国人が家族と住んでいると答えている（浜松市企画調整部国際課、2014）。

これらの調査で、ブラジル人をはじめ、ほとんどの外国人（技能実習生を除く）は、来日する際に何らかの形で家族及び親戚と同行していると言えることから、2014年に磐田市東新町団地調査で得たデータは在日外国人、主に在日ブラジル人の全体的な特徴と共通していると言える。

## ブラジル人の日本での仕事及び住宅事情

ブラジル人が来日してから、仕事の内容や生活状況に不満を感じる場合、斡旋業者を離れて企業と直接契約をすることもある。しかし、最も多いのは、斡旋業者を代えることである。いずれにしても、ほとんどがブラジル人同士のネットワークを通して転職をしている。転職による移動範囲は日本全国に及ぶ。また、ある企業の条件が良い場合には、そこで働いているブラジル人が自分の家族や、友人の仕事の世話をすることも多く、一つの企業で働いている同胞人が皆親戚同士であったり、または、ブラジルで同じ地域の出身者であったりするケースが見られる。例えば、豊橋市在住の20代の日系三世の男性が働いている工場では10人のブラジル人が働いていて、そのうち、8人は親戚関係にあった（イシカワ、1996）。

来日するブラジル人の多くは、自動車関係の製造業及び建設業に携わる非熟練労働者として働いており、周りに同じ外国人が多く働いているのが一般的である。また、ブラジル人が住んでいる地域でも、やはりブラジル人が多い。これは、来日するブラジル人のほとんどが、来日直後から斡旋業者が用意した住まい、あるいは企業の寮（普通は斡旋業者や企業が借り上げたアパートである）に住んでいるためである。居住の条件は様々である。一般市場価格より安い家賃を払う一方、日本ではじめて会った他のブラジル人と一緒に住まなければならないこともあった。

ここで問題なのは、斡旋業者や企業の寮に住んでいることにより、ブラジル人が日本で生活する上で全面的に斡旋業者や会社に頼らなければならない一方的な依存関係状態である。このことにより、仕事や給料の面でもすべて斡旋業者や企業の言いなりにならなければならないことになる。もちろん、このようなかたちでの仕事や生活でも満足しているブラジル人は多くいる。まず家賃が安いということは短期的に貯金ができるというメリットがある。また、日本で個人的に一般のアパートを借りようと思っても、外国人ということで非常に難しい現状があるが、そのなかでも個人的に民間のアパートを借りている人も増えている。

豊橋市におけるブラジル人の生活の調査で見られた一つの特徴は、公営住宅への数多くの外国籍の住民の入居である。1994年9月1日現在で、市営住宅で68戸、県営住宅で280戸に外国人が居住しており、その大多数はブラジル国籍者であった。家賃の金額は入居者の所得や、建物の築年により違いはあるが、2K（6畳、4.5畳、K3畳）の場合で家賃が月7,500円程度、3DK（8畳、6畳、4.5畳、K6畳）の場合で月30,000円程度である。

公営住宅への居住は何を意味するかといえば、第一に家賃が安いということ、そして第二にブラジル人がある意味で斡旋業者や会社から自立することである。住むところを確保すれば、少なくとも一時的には生活面での安定を確保することに等しい。例えば、突然解雇されても、次の日から住む場所が無くなるという心配はない。したがって、このようにブラジル人が日本で一般の住宅に住むようになる傾向は、日本社会とのかかわりが一歩進んだという解釈が可能になり、また安定した生活が日本での長期滞在に大きく影響していると言えよう。さらに豊橋市及び浜松市において、公営住宅に関する情報が外国人の間に口コミで広がったことは、緊密なネットワークの存在を証明するものとして、注目すべきであろう。

## ブラジル人の家族滞在の背景

ブラジル人が家族単位で来日することの背景には、ブラジルから日本へ来るルートが反映しているといえる。まず、在日のブラジル人の多くは、最初は本国の斡旋業者を通して来日している。ほとんどの斡旋業者では日系ブラジル人もしくはブラジルへ移民した日本人（一世）の存在が見られる。また、日本へ働きに来るブラジル人を募集する業者（主に旅行業者）は、ブラジルの各地域における日系人のネットワークを利用している。例えば、来日した日系三世の女性の場合には、「ブラジルで父の知り合いのスズキ氏の紹介で日本へ来ました。父の知っている人だったので安心して来ました。妹や従兄弟と友達を含めて7人で来日しました」と言っている（イシカワ、1996）。つまり、ここでスズキ氏という人は、日系人を雇用する日本の企業と直接のつながりを持っているわけではなく、ブラジル側での斡旋に携わっている人物にすぎない。来日するブラジル人の中で、ブラジルでの日系人のネットワークを信頼し、日本へ来る決意をするケースが1994年の調査で約80%見られた。残りの20%の者は、来日の決意がすでに固まっていたため、知り合いが世話をするかどうかは関係なかったと語っている。しかし、来日の際、利用した斡旋業者はすべてブラジルにおける日系旅行業者であった。

ブラジルでの斡旋業者（旅行業者）の役割は、旅券、チケットなどを準備し、旅費を立て替えて日本へ大量の日系人を送り出すことである。日本へ到着すると、日本側の斡旋業者が待ち受けており、それぞれの業者に送り出す仕組みになっている。つまり、日系人が日本へ働きに来ようと思えば、斡旋業者が全部手配をするので日系人本人は準備の必要がない。来日してから、工場などで働きながら分割払いで旅費や手数料を払い戻すパターンが最も多く見られる。この仕組みで一番大きな問題

は、ブラジルで提示された条件と、実際日本へ来てからの条件が違うことである。例えば、「旅費が普通の値段より高く取られている」、「日本での仕事内容や給料がブラジルで約束されていたのとは違う」、「日本で家族が離ればなれにされた」等々である。

来日してからブラジル人同士が結婚するケースも多く見られる。そのため日本生まれのブラジル国籍の子どもが増加している（日本の国籍法は血統主義である）。すなわち、独身で来日し、日本で家族を形成することになる。また、最初は単身で来日していた人々（男女双方を含む）が配偶者、子どもなどを呼び寄せるケースも少なくない。最初は夫のみ、あるいは夫婦のみで来日していたのが、日本での生活が安定してくると、子どもをブラジルから呼び寄せ、日本の学校に通わせる。子どもが来日する、または日本で生まれるということは、親の生活パターンに変化を生じさせることになる。例えば、子どもがまだ小さい場合には、仕事をしていた妻が、子どものために仕事をやめる、あるいは子どもを保育園に預けて仕事をする。子どもが学齢期であれば、小中学校へ通わせ、夫婦ともに仕事に出る。しかし、子どもが日本でともに生活をするということになると、来日時の短期的に金を稼いでブラジルへ帰国するという目的を果たすことが困難になる。その理由として第一に、多くの場合に妻の方が仕事をやめる、あるいは子どものために仕事の時間を減らすなどによって家族全体の収入が減ること、第二に日本での日常生活にかかる費用が高くなることがあげられる。その上、2008年の日本での経済不況は、解雇、給料の減額などのかたちでブラジル人にも影響を及ぼした。したがって、当初の短期間日本で働くという目的から、やむをえず日本に長期的に居残るということに変わってきている。

## 子どもの教育、言語

在日ブラジル人家庭のほとんどでは、二言語、つまり、ポルトガル語と日本語が同時に使われている。親が日本語を使う家庭もみられるが、それは少数派であり、親たちが互いにポルトガル語で話し、子どもにもポルトガル語で話かけるのが一般的である。しかし、多くの子どもたちは、幼少時から日本の保育園に通い、そのまま日本の学校に進学するため、日本語の方が流暢になり、ポルトガル語を話さないケースが増えてきている。ここで留意すべきことは、日本の学校に通っているからと言って、日本人と同等のレベルの日本語能力を有しているとは限らないという点である（イシカワ、2009）。

多くの家庭では、子どもたちがどの言語を習得するかという大きな課題を抱えている。ポルトガル語と日本語のいずれかに重点を置くのか。親として、自分の母語であるポルトガル語を子に習得してもらいたい気持ちがある一方で、日本で生活する上で必要な日本語も習得させたいジレンマがある。

日本で生まれ育ったブラジル人の子どもにとって、親の母語がポルトガル語であるため、本人の母語もポルトガル語であると一般的に考えられる。しかし、移民家庭で育つ子どもたちの「母語」については、状況は複雑である。つまり、「母語はもともと母親が使う言語である」（『社会学辞典』1993）が、移民家庭の場合、単純にこの定義を当てはめることはできない。すなわち、家庭の中と外で使われている言語が同じ場合、その解釈は簡単であるが、移民家庭で生まれる子どもの第一言語は必ずしも親の母語であるとは言えなくなる。どちらかといえば、在住する国の公用語が子どもの母語になりつつあると言えよう。例えば、ブラジルで生まれ育った日本移民の第二世代以降の母語はポルトガル語になっており、日本語は外国語となっている。そのため、来日するほとんどの日系ブラジル人は、日本語が話せないの

である。

在日ブラジル人家庭で育った子どもたちは、日本社会で生きていくために、日本の公用語である日本語を自分たちの第一言語として使用しており、日本の学校に通う場合が多い。そのため、年齢に相当するポルトガル語運用能力を習得している子どもは皆無に等しい。一方、ブラジル人学校に通う子どもたちは、家でも学校でも公用語がポルトガル語であり、逆に日本で生活していても、日本語の習得に問題が見られる。テレビの影響などで日本語の会話能力はある場合と日本の学校からブラジル人学校へ転校した場合に、日本語が話せる子どももいるが、日本語が片言、もしくは全然出来ない子どもが多く見られる。

#### 東新町団地の住民の声（自由記述）

本調査回答者の内訳を見ると、日本人住民の 37% が 60 才以上であるが、外国人住民は 5 % にすぎない。また、日本人の 26% が 30～49 才であるのに対して、外国人住民は 63% も占めている。つまり、外国人世帯の大多数は子育て世帯であり、親のほとんどが仕事をしながら子育てをしていると言える。ここからも、団地内で起きるトラブルや意見の相違は日本人と外国人の違いだけでなく、世代間の違いから生じる問題としても考慮する必要がある。

また、日本在住 15 年以上が 25%、10 年以上が 48.4% を占めており、長期滞在している外国人が多い。そして、そのなかで子どもと同居している外国人家庭が 80% であった。

以下に、本調査で自由記述で意見を述べた人と、アンケート回答者の内、10 名がインタビューに応じて、コメントをした内容を紹介する。

外国人回答者の意見を、a) 子どもの教育、b) 親子関係、c) 仕事、d) 行政、e) 同胞とのつきあい、f) 日本人とのつきあい、g) 自治会、h) 団地について、i) 情報収集、j) 今後の予定、k) その他に分類して紹介する。そして、l) 日本人回答者の意見を最後に紹介する。

##### a) 子どもの教育

日本の学校に対して、好意的な印象を持っている外国人保護者が多かった。日本の教育の方がブラジルの教育より良いと思うため、日本に来たという意見があった一方、いじめや自閉症障害を持つ子どもに対して、日本の学校に不満を持つ親もいた。また、保護者をはじめ、回答者本人が日本の高校、大学に進学を望んでいる意見が目立った。

- ・ 来日の理由は日本の教育がブラジルより良いからである。日本では、ブラジルの学校にはない体育、音楽、水泳の授業がある。
- ・ 日本の教育を受けさせたい。勉強する環境が整っている。
- ・ 東部小学校で通訳がいて、とても助かる。
- ・ 3 才の娘の教育のため、再来日した。
- ・ 学校のお便りが翻訳されていて、学校のことが理解できる。
- ・ 日本の学校に感謝するだけ。とても良くしてもらっている。
- ・ 子どもには高校、専門学校を卒業してほしい。
- ・ いじめの問題があっても、学校は何もしない。
- ・ 学校の対応に不満。子どもが問題を抱えていて学校に連絡をしても、学校からは連絡が全くない。完全に見放されている感じ。



- ・息子はいじめの問題で、日本の学校に行かなかった時期がある。
- ・外国人児童生徒に日本語の指導が必要。
- ・日本の学校では子どもは障害ありと言われ、いじめを受けた。ブラジル人学校に転校してからは、障害なしと言われ、成績も良い。
- ・日本の学校では感情、感性、遊びこころを育むことが難しい。
- ・外国人児童への日本人教員の理解が欲しい。
- ・子どもが本当に学校の授業を理解しているか先生に見て欲しい。
- ・学校により、外国人の子どもへのサポートに差がある。
- ・自分は日本の大学に進学したいが、学費の問題がある。自分で学費を稼がないと行けない。日本語の問題も心配。
- ・子どもは日本の大学へ進学させたい。
- ・大学に進学したいが、経済的な理由で難しい。
- ・日本の学校の補助金制度について知らない。大学での奨学金等のことも知らない。
- ・学校内におけるわいせつ行為の問題について心配。
- ・幼稚園の先生が娘に無理矢理野菜を食べさせていた事例があった。夕方の4時に迎えに行ったら、娘はお昼からずっと座ったままだった。
- ・日本の幼稚園で日本の小学校に行けば苦勞するから、ブラジル人学校に行くことを勧められた。
- ・子どもの将来については、子どもには日本の高校を出て、親と同じ工場の仕事にはついてほしくないと言う。工場で働くのであれば、日本に意味が無いため、もし娘が高校受験に失敗したら、ブラジルに戻るつもりである。
- ・悪いブラジル人生徒がいると、そのイメージが全員に当てはめられてしまい、嫌である。
- ・娘には勉強を続けてほしいので、親として一生懸命働いて、お金を稼ぐ。また、奨学金や教育ローンについて調べている。
- ・18才の息子は、高校進学の際、先生やクラスメイトに進学は無理だと言われた。でも、高校進学して、今後は名古屋の専門学校に進学予定である。

#### b) 親子関係

親子関係に関しては主に家庭内の会話についての意見が多かった。外国人保護者のほとんどが日本語が分からないため、家庭内では親の母語のみを使用している。しかし、子どもたちは日本の学校に行き、日本語の方が流暢になっている様子がコメントから伺える。

- ・家庭内ではポルトガル語
- ・言語：ポルトガル語は家の中だけ、外では日本語
- ・小2の息子、家庭内ではポルトガル語だが、日本語の方が流暢。難しいことは日本語になってしまう。
- ・娘はポルトガル語の読み書きも出来るが、クラスメイトのブラジル人はあまりポルトガル語が出来ない。娘も日本語の方が流暢になり、ポルトガル語の語彙がわからないことが増えている。

#### c) 仕事

外国人のほとんどが男女を問わず、工場などで働く労働者であるが、子育て世代

の女性の場合に専業主婦であるケースがある。仕事に対する意見では、賃金の安さや労働契約について多かった。

- ・専業主婦。手作りスナックを売って家計を助ける。来日10年前でずっと働いていたが、0才の子どもがいるため、仕事をやめた。
- ・長男はブラジル人学校を卒業後、工場で勤務しているが、給料が低い。
- ・労働状況に不満。外国人は不利な状態。日本人と同じくしてほしい。
- ・お金を稼ぐため、一日5時間の残業は普通。今後、自国でビジネスを開業するため、日本では資金を稼ぐ目的。日本語を勉強する時間があれば、仕事がしたい。

#### d) 行政

外国人から行政への要望としては、税金や年金、そして助成金の情報がほしいことであった。そのなかで、税金が高いというコメントが多かった。

- ・行政に社会保険に加入している人の年金制度について説明が欲しい。外国人の場合、年金の受取権利について教えてほしい。
- ・がんになって、現在は回復し仕事をしているが、年金の情報が欲しい。
- ・税金が高い。
- ・住民税はなぜ高いのか。
- ・低所得の外国人にたいして、税金や補助金制度、支援策についてもっと情報が欲しい。

#### e) 同胞人とのつきあい

団地内をはじめ、地域社会で外国人が同胞とのつきあいは一般的には多くないことがうかがえた。逆に、あえて同胞人とはあまり関わりたくないという意見もあった。

- ・団地に住む同胞（ブラジル人）ともあまりつきあいはない。
- ・団地でも同胞との関わりが少ない。
- ・仕事や教会での付き合いはあるが、隣近所のネットワークは薄い。
- ・キリスト教会でブラジル人と交流。そこで、情報を得る。
- ・日本滞在18年。2004年にこの団地に引っ越し。娘が浜松の高校に進学すれば、引っ越し予定。団地にブラジル人が多くなってから、騒音の問題などが増えた。安いが、湿度、寒さ、ペンキのはがれの問題が多い。
- ・団地で問題を起こす同胞人に困っている。関係持ちたくない。

#### f) 日本人とのつきあい

団地内の日本人とのつきあいが少ないことがうかがえる。その理由としては、日本人から嫌われている様子があり、日本人とのつきあいは難しいと感じている人が多い。

- ・日本人が持つ外国人のイメージは悪い。でも、一人一人見てほしい。皆が悪いわけではない。
- ・近所とのトラブル。うるさい、子どもがうるさいと怒鳴られた。でも、夕

方4時に子どもが団地内広場で遊ぶのがうるさいとはおかしい。

- ・団地内の日本人とはあまり接点が無い。
- ・日本社会との接点は学校だけ。

#### g) 自治会

外国人回答者からは自治会には参加していないという意見が多かった。その理由としては、日本語のみのチラシだったり、自治会の行事に全て参加しないと祭りにも参加できなかったり、働く人には参加しづらいからである。また、日本語が分からないため、自治会の意味も良く理解してない現状があると言える。

- ・知らせが日本語であるため、参加しないことが多い。
- ・自治会に参加している。
- ・日本人と外国人へのイメージが不平等。会費を払わない外国人を批判するが、払わない日本人は批判しない。
- ・自治会に参加していない。
- ・自治会に参加している。ただ、地域の祭りに、稽古をしないと参加できないと断れ、参加できなかった。
- ・自治会に参加したことがない。お知らせは日本語とポルトガル語のみであるため、情報が伝わらない。
- ・自治会には会費を払っているいるが、参加はしていない。
- ・自治会に参加している。班長の経験あり。

#### h) 団地について

団地での生活に関して、隣近所とのつきあいや団地の建物の状態に関する不満が多かった。

- ・日本人の高齢者と子どもがいる外国人家族が同じ棟に住むのが問題。
- ・子どもは団地の敷地内で遊ぶ権利がある。
- ・建物のメンテナンスをしてほしい。
- ・団地の階段が滑りやすい。
- ・壁のペンキがはがれている。
- ・アパートのドアの開け閉めが難しい。音がする。
- ・団地内で、日本人と外国人の未成年者が喫煙している問題。子どもに悪影響なので、何とかしてほしい。
- ・ペット禁止だが、飼っている人がいる。
- ・子どもが遊べるスペースが欲しい。
- ・子どものプレイグラウンドを充実してほしい。

#### i) 情報収集

多くの外国人は日本語の理解力が低いいため、外国語での情報に頼っている。それは日本における外国語のメディア、インターネット、そして行政から外国語で出される情報である。また、日本の学校制度や進学に関する情報が足りないという意見もあった。

- ・情報はポルトガル語に頼る。
- ・テレビや新聞もポルトガル語のみ。
- ・日本のテレビも見るが、子どもに訳してもらう。
- ・団地内の情報は日本語とポルトガル語のみ。英語カタログ語が欲しい。
- ・教育に関する情報が足りない：高校入試の情報。そのシステム。近くには大学に進んだ人がいない。
- ・周りでは、大学に進学する人が少ない。
- ・定時制高校に行きたいが、その条件、手続きに関する情報が欲しい。

#### j) 今後の予定

本調査で、今後の日本での滞在予定として「わからない」と答えている外国人は63%であり、「永住するつもり」が14%であった。つまり、約80%は明確に本国への帰国を考えていないことがわかる。その理由のなかで、上記でも紹介したが、子どもの教育を日本で受けてほしいという考えが多いからだと言える。

- ・帰化も考えている。ブラジルへ戻る予定はなし。
- ・38歳の自分はブラジルに帰国したいが、中学生である娘のことを考えると、日本にとどまった方が良いと思う。日本の教育の方が良い。
- ・子どもの将来のため、日本に永住するつもり。

#### k) その他

子育て世代の悩みとして、仕事するため、子どもを預けるところがないことが多い。これは日本人にも共通する問題であるが、日本語が分からないことと、多くの外国人が工場で働いているため、労働時間が長いこともあって、問題はより深刻である。

また、病院、自然災害、日本語習得に関する意見もあったので紹介する。

- ・残業があるとき、子どもを預ける公共の場を紹介してほしい。「こんにちは」は17時まで。
- ・ブラジル人が経営する保育所に対し、行政の補助金が必要。
- ・日本の保育所で障害児の受け入れを増やすべきである。
- ・病院：自閉症に関する情報が欲しい。日本語できないため、情報収集が難しい。
- ・自然災害の心配。避難所の場所がどこか知らない。
- ・日本語コース：フレックス時間の日本語教室を開いてほしい
- ・日本人と外国人が交流するイベントを増やしてほしい。
- ・子どもが日本の学校に通っているのだから、日本人と仲良くしたい。

#### l) 日本人からの意見

本調査で日本人を対象にしたアンケートで、外国人との付き合いの難しさのなかで、やはり日本語の問題の指摘が多かった。そのため、コミュニケーションの問題があり、団地内のルールや自治会の情報が外国人に理解されない内容が多かった。

- ・外国人が増えて、自治会の役員選出が難しい。
- ・日本的なまちづくりが難しい。

- ・ゴミの出し方の問題。
- ・騒音の問題。
- ・外国人に自治会の役員をやってほしい。
- ・団地のルールを守り、自治会の活動に参加してほしい。
- ・外国人のイメージが悪い。騒音、不法投棄、など。
- ・ルールを守らない日本人もいるが、外国人にも多いことは事実。
- ・日本人とブラジル人、互いの文化を理解する必要。しかし、互いに相手を批判。

## まとめ

磐田市東新町団地に限らず、在日ブラジル人が来日する際、すでにネットワークが形成されていることが多く、日本では現在においても、彼らは外国人集団の中での仕事と生活をしていると言える。しかし、そのつながりは必ずしも住んでいる近所の同胞人ではない。逆に本団地に住むブラジル人同士の付き合いは薄く、互いに頼りにしている状況が見られなかった。ブラジル人の場合、はやり頼りにする同胞人は、日本にいる親族や友人、そしてブラジル人を雇っている斡旋業者である。

一見、ブラジル人コミュニティが形成されており、集団内でのつながりが強いと見られがちであるが、実は彼らの仕事や住宅環境にブラジル人が多いこと、またその環境から抜け出すための条件（経済的余裕、日本語能力、仕事や居住の確保など）が揃っていないことから、ブラジル人はその集団内で生活しているのである。

短期滞在（2～3年）の目的で来日した多くのブラジル人が、結婚、家族の呼び寄せ、子どもの出産などにより日本滞在が長期化しており、日本での生活に適応をせざるを得ない状況にある。しかし、その多くは、まだ日本語の能力は低く、労働環境も斡旋業者を通じた単純労働に携わっているケースがまだ多い。その一方で、日本の長期滞在に伴い、子どもたちが日本の学校に通い、親の母語より日本語の方が流暢になり、日本の高校や大学に進学している若者とこれから進学を考えている人が増えている。このような現状の中、今後も日本人と外国人が共生して行くためには、外国人の労働環境の改善や子どもたちの教育を保障することが大前提であろう。

## 参考文献

イシカワ、エウニセアケミ1996「日本における日系ブラジル人ネットワークの役割－浜松市・豊橋市の調査を中心に」『Sociology Today』（お茶の水社会学研究会）7。

———2003「ブラジル出移民の現状と移民政策の形成過程－多様な海外コミュニティとその支援への取り組み－」駒井洋（監督）小井土彰宏（編）『移民政策の国際比較』グローバル化する日本と移民問題 第一期第3巻、明石書店、pp. 245-282.

———2009「在日ブラジル人コミュニティにおけるブラジル人学校的作用—ブラジルにおけるエスニック学校との比較研究—」科研費(平成18年度～平成20年度)科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書、課題番号18330113)研究代表者:佐久間孝正『外国人児童・生徒の教育施設と自治体間格差の比較研

究』2009年3月、pp.71-84。  
磐田市外国籍別人口、27年12月。  
(<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/about/profile/toukei/tou001.php>)  
サンパウロ人文科学研究所(1988)『ブラジルにおける日系人人口調査報告書』  
『社会学辞典』1993)。  
日本統計研究所(法政大学)(1993.2)「日系ブラジル人就労・生活実態調査」  
『統計研究参考資料』N. 38。  
浜松市企画部国際交流室、喜多川豊宇(研究代表)『浜松市における外国人の生活  
実態・意識調査』委託先／東洋大学社会学部研究室、1993。  
浜松市企画調整部国際課、『浜松市における日本人市民及び外国人市民の意識実態  
調査』報告書、平成26年。  
静岡県県民部多文化共生室、『静岡県外国人労働実態調査(外国人調査)報告書』  
代表・池上重弘、イシカワ エウニセ、他(共著)、平成20年3月。  
法務省、「在留外国人統計」1986～2015のデータ。  
([http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei\\_ichiran\\_touroku.html](http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html))



# 磐田市東新町団地の 生活状況をめぐる調査

## 資料編

2014 年度実施

2016 年 3 月

静岡文化芸術大学





磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 A  
(日本人向け個人調査、2014 年 11 月実施 静岡文化芸術大学)

【1】地域での行事等への参加についておたずねします。

問 1 地域で行われる以下の会合や催しに参加したことがありますか。  
A～Kのそれぞれについて、1～3のいずれかひとつに○をつけてください。

自治会の会合

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	114	49.8	49.8	49.8
知っているが参加したこと はない	72	31.4	31.4	81.2
知らない	30	13.1	13.1	94.3
不詳	13	5.7	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

草刈り

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	135	59.0	59.0	59.0
知っているが参加したこと はない	44	19.2	19.2	78.2
知らない	36	15.7	15.7	93.9
不詳	14	6.1	6.1	100.0
合計	229	100.0	100.0	

ごみひろい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	173	75.5	75.5	75.5
知っているが参加したこと はない	29	12.7	12.7	88.2
知らない	23	10.0	10.0	98.3
不詳	4	1.7	1.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

通学合宿 (6月)

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	25	10.9	10.9	10.9
知っているが参加したこと はない	60	26.2	26.2	37.1
知らない	118	51.5	51.5	88.6
不詳	26	11.4	11.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	

キャンプファイヤー (8月)

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	25	10.9	10.9	10.9
知っているが参加したこと はない	58	25.3	25.3	36.2
知らない	118	51.5	51.5	87.8
不詳	28	12.2	12.2	100.0
合計	229	100.0	100.0	

地区運動会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	115	50.2	50.2	50.2
知っているが参加したこと はない	55	24.0	24.0	74.2
知らない	44	19.2	19.2	93.4
不詳	15	6.6	6.6	100.0
合計	229	100.0	100.0	

地区祭り

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	102	44.5	44.5	44.5
知っているが参加したこと はない	84	36.7	36.7	81.2
知らない	24	10.5	10.5	91.7
不詳	19	8.3	8.3	100.0
合計	229	100.0	100.0	

地区文化祭

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	91	39.7	39.7	39.7
知っているが参加したこと はない	65	28.4	28.4	68.1
知らない	55	24.0	24.0	92.1
不詳	18	7.9	7.9	100.0
合計	229	100.0	100.0	

東新橋丁

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	79	34.5	34.5	34.5
知っているが参加したこと はない	85	37.1	37.1	71.6
知らない	43	18.8	18.8	90.4
不詳	22	9.6	9.6	100.0
合計	229	100.0	100.0	

「こんにちは！」のイベント

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	16	7.0	7.0	7.0
知っているが参加したこと はない	53	23.1	23.1	30.1
知らない	135	59.0	59.0	89.1
不詳	25	10.9	10.9	100.0
合計	229	100.0	100.0	

地域防災訓練

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	123	53.7	53.7	53.7
知っているが参加したこと はない	49	21.4	21.4	75.1
知らない	44	19.2	19.2	94.3
不詳	13	5.7	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

【2】近隣の方々とのつきあいの程度についておたずねします。

問 2 団地に住む日本人とのつきあいはどの程度ですか。(○印はひとつ)

日本人住民とのつきあい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まったくつきあいはない	15	6.6	6.6	6.6
あいさつをする程度	108	47.2	47.2	53.7
ときどき立ち話をする程度	56	24.5	24.5	78.2
一緒に何かしたり相談した りする	43	18.8	18.8	96.9
不詳	7	3.1	3.1	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 3 団地に住む外国人とのつきあいはどの程度ですか。(○印はひとつ)

外国人住民とのつきあい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まったくつきあいはない	48	21.0	21.0	21.0
あいさつをする程度	123	53.7	53.7	74.7
ときどき立ち話をする程度	33	14.4	14.4	89.1
一緒に何かしたり相談した りする	20	8.7	8.7	97.8
不詳	5	2.2	2.2	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 4 団地に住む外国人との間に人間関係の壁を感じますか。(○印はひとつ)

外国人住民との壁

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
とても強く感じる	46	20.1	20.1	20.1
かなり感じる	64	27.9	27.9	48.0
あまり感じない	94	41.0	41.0	89.1
まったく感じない	19	8.3	8.3	97.4
不詳	6	2.6	2.6	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 5 団地に住む外国人と今後どのような関係を持ちたいですか。(○印はひとつ)

外国人住民との今後の関係

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まったく関わりたくない	38	16.6	16.6	16.6
なるべく関わりたくない	109	47.6	47.6	64.2
少し関わりを持ってみたい	52	22.7	22.7	86.9
もっと積極的に関わってみたい	20	8.7	8.7	95.6
不詳	10	4.4	4.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 6 団地における外国人の受け入れに関してどのようなにお考えですか。(○印はひとつ)

外国人住民の受け入れについて

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
一切受け入れるべきではない	20	8.7	8.7	8.7
生活ルールの順守を条件に受け入れればよい	124	54.1	54.1	62.9
日本語能力を条件に受け入れればよい	33	14.4	14.4	77.3
日本人と同じ条件で受け入れればよい	41	17.9	17.9	95.2
不詳	11	4.8	4.8	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 7 今後 3 年以内に東新町団地から引っ越しする予定はありますか。(○印はひとつ)

3年以内の引っ越し予定

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
大いにある	30	13.1	13.1	13.1
ある程度ある	48	21.0	21.0	34.1
あまりない	61	26.6	26.6	60.7
まったくない	77	33.6	33.6	94.3
不詳	13	5.7	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 8 上の問 7 で「1 大いにある」「2 ある程度ある」と答えた方に、さらにおたずねします。  
その場合、引っ越し予定先はどこですか。(○印はひとつ)

引っ越し予定先

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
磐田市内	27	11.8	28.4	28.4
静岡県内	26	11.4	27.4	55.8
日本国内	16	7.0	16.8	72.6
わからない	15	6.6	15.8	88.4
不詳	11	4.8	11.6	100.0
合計	95	41.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	134	58.5		
合計	229	100.0		

【 3 】外国人とのつきあいについておたずねします。

問 9 団地以外で外国人とのつきあいはありますか。(○印はひとつ)

団地外の外国人とのつきあい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
外国人の友人がいる	30	13.1	13.1	13.1
顔見知り程度のつきあいはある	52	22.7	22.7	35.8
ほとんどない	37	16.2	16.2	52.0
まったくない	98	42.8	42.8	94.8
不詳	12	5.2	5.2	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 1 0 上の問 9 で「1」または「2」を選択された方におたずねします。  
どのようなところでつきあいがありますか。(あてはまるもの全てに○)

仕事関係

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	49	21.4	48.0	48.0
あり	40	17.5	39.2	87.3
不詳	13	5.7	12.7	100.0
合計	102	44.5	100.0	
欠損値 システム欠損値	127	55.5		
合計	229	100.0		

学校

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	73	31.9	71.6	71.6
あり	16	7.0	15.7	87.3
不詳	13	5.7	12.7	100.0
合計	102	44.5	100.0	
欠損値	127	55.5		
合計	229	100.0		

子どもを通じた親同士

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	79	34.5	77.5	77.5
あり	10	4.4	9.8	87.3
不詳	13	5.7	12.7	100.0
合計	102	44.5	100.0	
欠損値	127	55.5		
合計	229	100.0		

趣味の活動

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	81	35.4	79.4	79.4
あり	8	3.5	7.8	87.3
不詳	13	5.7	12.7	100.0
合計	102	44.5	100.0	
欠損値	127	55.5		
合計	229	100.0		

ボランティア活動

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	84	36.7	82.4	82.4
あり	5	2.2	4.9	87.3
不詳	13	5.7	12.7	100.0
合計	102	44.5	100.0	
欠損値	127	55.5		
合計	229	100.0		

宗教関連

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	85	37.1	83.3	83.3
あり	4	1.7	3.9	87.3
不詳	13	5.7	12.7	100.0
合計	102	44.5	100.0	
欠損値	127	55.5		
合計	229	100.0		

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	71	31.0	69.6	69.6
あり	18	7.9	17.6	87.3
不詳	13	5.7	12.7	100.0
合計	102	44.5	100.0	
欠損値	127	55.5		
合計	229	100.0		

問 1 1 外国人との相互理解を深めるために参加したいものはありませんか。(あてはまるもの全てに○)

異文化体験講座

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	105	45.9	45.9	45.9
あり	50	21.8	21.8	67.7
不詳	74	32.3	32.3	100.0
合計	229	100.0	100.0	

海外の音楽や踊りなどに触れるイベント

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	126	55.0	55.0	55.0
あり	29	12.7	12.7	67.7
不詳	74	32.3	32.3	100.0
合計	229	100.0	100.0	

互いの言語を学習する講座

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	111	48.5	48.5	48.5
あり	44	19.2	19.2	67.7
不詳	74	32.3	32.3	100.0
有効	229	100.0	100.0	

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	97	42.4	42.4	42.4
あり	58	25.3	25.3	67.7
不詳	74	32.3	32.3	100.0
有効	229	100.0	100.0	

問 1 2 外国人との相互理解を深めるために地域に必要なことは何か。(○印は3つまで)

日常的にあいさつをする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
必要ではない	92	40.2	40.2	40.2
必要	129	56.3	56.3	96.5
不詳	8	3.5	3.5	100.0
有効	229	100.0	100.0	

差別意識を持たないようにする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
必要ではない	163	71.2	71.2	71.2
必要	58	25.3	25.3	96.5
不詳	8	3.5	3.5	100.0
有効	229	100.0	100.0	

文化や生活習慣の違いについて知る

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
必要ではない	163	71.2	71.2	71.2
必要	58	25.3	25.3	96.5
不詳	8	3.5	3.5	100.0
有効	229	100.0	100.0	

地域の交流や活動に参加を呼びかける

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
必要ではない	188	82.1	82.1	82.1
必要	33	14.4	14.4	96.5
不詳	8	3.5	3.5	100.0
有効	229	100.0	100.0	

生活する上でのルール等を外国人に知ってもらう

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
必要ではない	72	31.4	31.4	31.4
必要	149	65.1	65.1	96.5
不詳	8	3.5	3.5	100.0
有効	229	100.0	100.0	

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
必要ではない	215	93.9	93.9	93.9
必要	6	2.6	2.6	96.5
不詳	8	3.5	3.5	100.0
有効	229	100.0	100.0	

【4】外国人対象のサービス等についておたずねします。

問 1 3 以下のサービス等についてご存知ですか。

A～Jのそれぞれについて、1か2のいずれかひとつに○をつけてください。

市役所の外国人情報窓口

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	105	45.9	45.9	45.9
知らない	105	45.9	45.9	91.7
不詳	19	8.3	8.3	100.0
有効	229	100.0	100.0	

ポルトガル語広報いわた

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	131	57.2	57.2	57.2
知らない	79	34.5	34.5	91.7
不詳	19	8.3	8.3	100.0
合計	229	100.0	100.0	

磐田市ホームページポルトガル語版

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	53	23.1	23.1	23.1
知らない	153	66.8	66.8	90.0
不詳	23	10.0	10.0	100.0
合計	229	100.0	100.0	

「こんにちは！」親子遊び

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	66	28.8	28.8	28.8
知らない	144	62.9	62.9	91.7
不詳	19	8.3	8.3	100.0
合計	229	100.0	100.0	

「こんにちは！」学習と遊び

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	38	16.6	16.6	16.6
知らない	169	73.8	73.8	90.4
不詳	22	9.6	9.6	100.0
合計	229	100.0	100.0	

「こんにちは！」相談・情報提供

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	16	7.0	7.0	7.0
知らない	190	83.0	83.0	90.0
不詳	23	10.0	10.0	100.0
合計	229	100.0	100.0	

「こんにちは！」中学生学習支援

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	20	8.7	8.7	8.7
知らない	186	81.2	81.2	90.0
不詳	23	10.0	10.0	100.0
合計	229	100.0	100.0	

「こんにちは！」学び直し

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	15	6.6	6.6	6.6
知らない	191	83.4	83.4	90.0
不詳	23	10.0	10.0	100.0
合計	229	100.0	100.0	

磐田国際交流協会日本語教室

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	27	11.8	11.8	11.8
知らない	178	77.7	77.7	89.5
不詳	24	10.5	10.5	100.0
合計	229	100.0	100.0	

ごみ収集カレンダー外国語版

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
知っている	128	55.9	55.9	55.9
知らない	84	36.7	36.7	92.6
不詳	17	7.4	7.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 1 4 以下の言葉・考え方についてどの程度ご存知ですか。  
A～0のそれぞれについて、1～4のいずれかひとつに○をつけてください。

男女共同参画				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	よく知っている	23	10.0	10.0
	少しは知っている	46	20.1	30.1
	言葉だけは知っている	59	25.8	55.9
	知らない	88	38.4	94.3
	不詳	13	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

ユニバーサルデザイン

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	よく知っている	21	9.2	9.2
	少しは知っている	43	18.8	27.9
	言葉だけは知っている	59	25.8	53.7
	知らない	84	36.7	90.4
	不詳	22	9.6	100.0
合計	229	100.0	100.0	

多文化共生

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	よく知っている	23	10.0	10.0
	少しは知っている	43	18.8	28.8
	言葉だけは知っている	67	29.3	58.1
	知らない	77	33.6	91.7
	不詳	19	8.3	100.0
合計	229	100.0	100.0	

【5】最後にあなた自身のことについておたずねします。

問 1 5 あなたの性別を教えてください。

性別				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
女性	120	52.4	52.4	52.4
男性	102	44.5	44.5	96.9
有効	7	3.1	3.1	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 1 6 あなたの年齢はいくつですか。

age65				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
15-19	18	7.9	7.9	7.9
20-24	21	9.2	9.2	17.0
25-29	11	4.8	4.8	21.8
30-34	8	3.5	3.5	25.3
35-39	14	6.1	6.1	31.4
40-44	21	9.2	9.2	40.6
45-49	14	6.1	6.1	46.7
50-54	9	3.9	3.9	50.7
55-59	22	9.6	9.6	60.3
60-64	29	12.7	12.7	72.9
65-69	20	8.7	8.7	81.7
70-74	15	6.6	6.6	88.2
75-79	9	3.9	3.9	92.1
80-84	6	2.6	2.6	94.8
85-89	2	.9	.9	95.6
不詳	10	4.4	4.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	



問 1 7 現在あなたはどなたとお住まいですか。あてはまるものに○印をつけてください。

配偶者				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	106	46.3	46.3	46.3
あり	110	48.0	48.0	94.3
有効	13	5.7	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

子

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	132	57.6	57.6	57.6
あり	84	36.7	36.7	94.3
有効	13	5.7	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

親

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	166	72.5	72.5	72.5
あり	50	21.8	21.8	94.3
有効	13	5.7	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	176	76.9	76.9	76.9
あり	40	17.5	17.5	94.3
有効	13	5.7	5.7	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 1 8 あなたの配偶者（妻ないし夫）の国籍を教えてください。

配偶者の国籍

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本	145	63.3	63.3	63.3
ブラジル	4	1.7	1.7	65.1
その他	7	3.1	3.1	68.1
有効	1	.4	.4	68.6
不詳	72	31.4	31.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	

配偶者の国籍：二重国籍その1

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	156	68.1	68.1	68.1
不詳	72	31.4	31.4	99.6
有効	1	.4	.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	

配偶者の国籍：二重国籍その2

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	156	68.1	68.1	68.1
不詳	72	31.4	31.4	99.6
有効	1	.4	.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 1 9 磐田市での通算滞在年数は何年になりますか。

q19x				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-4	29	12.7	12.7	12.7
5-9	10	4.4	4.4	17.0
10-14	11	4.8	4.8	21.8
15-19	33	14.4	14.4	36.2
20-24	43	18.8	18.8	55.0
25-29	16	7.0	7.0	62.0
30-34	30	13.1	13.1	75.1
35-39	11	4.8	4.8	79.9
40-44	11	4.8	4.8	84.7
45-49	5	2.2	2.2	86.9
50-54	5	2.2	2.2	89.1
55-59	3	1.3	1.3	90.4
60-64	8	3.5	3.5	93.9
65-69	3	1.3	1.3	95.2
75-79	1	.4	.4	95.6
不詳	10	4.4	4.4	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 2 0 この団地での通算滞在年数は何年になりますか。

q20x				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-4	61	26.6	26.6	26.6
5-9	8	3.5	3.5	30.1
10-14	22	9.6	9.6	39.7
15-19	41	17.9	17.9	57.6
20-24	45	19.7	19.7	77.3
25-29	12	5.2	5.2	82.5
30-34	21	9.2	9.2	91.7
35-39	5	2.2	2.2	93.9
不詳	14	6.1	6.1	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 2 1 この団地に住む前はどこに住んでいましたか。(〇印はひとつ)

団地に住む前の住居				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
磐田市内	112	48.9	48.9	48.9
静岡県内	69	30.1	30.1	79.0
日本国内	29	12.7	12.7	91.7
不詳	19	8.3	8.3	100.0
合計	229	100.0	100.0	

問 2 2 あなたの現在の職業（職種）は次のどれにあたりますか。(〇印はひとつ)

現在の職業				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
生産工程・一般作業	67	29.3	29.3	29.3
販売・サービス	25	10.9	10.9	40.2
事務的職業	10	4.4	4.4	44.5
専門職・管理職	15	6.6	6.6	51.1
農業	1	.4	.4	51.5
有効	38	16.6	16.6	68.1
専業主婦	18	7.9	7.9	76.0
学生	41	17.9	17.9	93.9
その他	14	6.1	6.1	100.0
不詳	229	100.0	100.0	

問 2 3 東新町団地の地域づくりについてご意見・ご要望があれば、以下にご自由にお書きください。

これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

い わ た し  
磐 田 市  
か げ と じ ん び  
外国人向け 個人  
こ じ ん  
調査票、2014年11月 実施  
せ いか つ じ ゅ う き ょ う  
生活状況をめぐる 調査 B  
ち ょ う さ  
静岡文化芸術大学)

【1】あなたについての質問です。

Q1 あなたの性別を教えてください。

		性別		
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
女性	108	56.8	56.8	56.8
男性	80	42.1	42.1	98.9
有効 不詳	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q2 あなたは何歳ですか。  
なんさい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
15-19	17	8.9	8.9	8.9
20-24	4	2.1	2.1	11.1
25-29	14	7.4	7.4	18.4
30-34	38	20.0	20.0	38.4
35-39	35	18.4	18.4	56.8
40-44	27	14.2	14.2	71.1
45-49	17	8.9	8.9	80.0
50-54	13	6.8	6.8	86.8
55-59	8	4.2	4.2	91.1
60-64	5	2.6	2.6	93.7
65-69	4	2.1	2.1	95.8
70-74	1	.5	.5	96.3
不詳	7	3.7	3.7	100.0
合計	190	100.0	100.0	

1

Q3 あなたの国籍を教えてください。

		国 籍		
	度数	バーセント	有効バーセント	累積バーセント
	ブラジル	167	87.9	87.9
	ペルー	10	5.3	93.2
	フィリピン	3	1.6	94.7
有効	日本	3	1.6	96.3
	その他	2	1.1	97.4
	二重国籍	5	2.6	100.0
	合計	190	100.0	100.0

国籍：その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
非該当	188	98.9	98.9	98.9
有効	1	.5	.5	99.5
タイ	1	.5	.5	100.0
合計	190	100.0	100.0	

銷：二重

	度数	非該当	有効パーセント	無効パーセント	累積パーセント
有効					
ブラジル	3	1.6	1.6	98.9	98.9
中国	1	0.5	0.5	99.5	99.5
日本	1	0.5	0.5	100.0	100.0
合計	190	100.0	100.0		

**第二重圖**

図表：二重図表				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	非該当	186	97.9	97.9
	ブラジル。	1	0.5	0.5
	日本	3	1.6	1.6
	合計	190	100.0	100.0

2

Q 4 あなたが 生まれた国を 教えてください。

出生国				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ブラジル	167	87.9	87.9	87.9
ペルー	10	5.3	5.3	93.2
フィリピン	3	1.6	1.6	94.7
有効	6	3.2	3.2	97.9
日本	4	2.1	2.1	100.0
その他				
合計	190	100.0	100.0	

Q 5 あなたは 日系 何世ですか。

日系何世				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1世	5	2.6	2.6	2.6
2世	50	26.3	26.3	28.9
3世	75	39.5	39.5	68.4
4世	9	4.7	4.7	73.2
有効	49	25.8	25.8	98.9
非日系	2	1.1	1.1	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

Q 6 あなたの ビザ (日本に いるための 資格) は どれですか。

在留資格				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
永住者	100	52.6	52.6	52.6
日本人の配偶者等	17	8.9	8.9	61.6
定住者	55	28.9	28.9	90.5
有効	3	1.6	1.6	92.1
永住者の配偶者等	1	.5	.5	92.6
その他の在留資格	7	3.7	3.7	96.3
日本国籍	7	3.7	3.7	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

Q 7 はじめて 日本に 来たのは いつですか。 日本に 来た年を 書いてください。

q7x				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本生まれ	5	2.6	2.6	2.6
1985-89	6	3.2	3.2	5.8
1990-94	51	26.8	26.8	32.6
1995-99	35	18.4	18.4	51.1
有効	51	26.8	26.8	77.9
2000-04	30	15.8	15.8	93.7
2005-09	6	3.2	3.2	96.8
2010-14	6	3.2	3.2	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

Q 8 あなたは 何年 日本に 住んでいますか。(数字を 書いてください)

q8x				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-4	10	5.3	5.3	5.3
5-9	33	17.4	17.4	22.6
10-14	60	31.6	31.6	54.2
15-19	43	22.6	22.6	76.8
20-24	41	21.6	21.6	98.4
25-29	3	1.6	1.6	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 9 あなたは 何年 磐田市に 住んでいますか。(数字を 書いてください)

q9x				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-4	49	25.8	25.8	25.8
5-9	48	25.3	25.3	51.1
10-14	43	22.6	22.6	73.7
15-19	35	18.4	18.4	92.1
20-24	14	7.4	7.4	99.5
不詳	1	.5	.5	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 1 2 あなたが 一番 最後に 通った 学校について 教えてください。 あなたの国と日本で 一番 最後に 通った 学校を ひとつずつ 選んでください。

最終学歴：母国				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
母国の学校には通っていない	5	2.6	2.6	2.6
い				
中学校中退	26	13.7	13.7	16.3
中学校卒業	27	14.2	14.2	30.5
高校在学中	2	1.1	1.1	31.6
高校中退	35	18.4	18.4	50.0
高校卒業	63	33.2	33.2	83.2
大学・短大・専門学校在学中	3	1.6	1.6	84.7
大学・短大・専門学校中退	9	4.7	4.7	89.5
大学・短大・専門学校卒業	10	5.3	5.3	94.7
不詳	10	5.3	5.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

最終学歴：日本				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本の学校には通っていない	38	20.0	20.0	20.0
い				
中学校中退	3	1.6	1.6	21.6
中学校卒業	6	3.2	3.2	24.7
高校在学中	6	3.2	3.2	27.9
高校中退	5	2.6	2.6	30.5
高校卒業	2	1.1	1.1	31.6
大学・短大・専門学校卒業	2	1.1	1.1	32.6
不詳	128	67.4	67.4	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 1 0 東新町団地に 住む前は、どこに 住んでいましたか。

団地に住む前の居住地			
	度数	パーセント	累積パーセント
磐田市内（団地含む）	124	65.3	65.3
磐田市以外の静岡県内	41	21.6	86.8
静岡県以外の日本国内	15	7.9	94.7
外国	8	4.2	98.9
不詳	2	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0

Q 1 1 あなたの 宗教を 教えてください。

宗教			
	度数	パーセント	累積パーセント
ローマカトリック	85	44.7	44.7
その他のキリスト教	42	22.1	66.8
仏教	3	1.6	68.4
その他	29	15.3	83.7
特定の宗教を信仰していない	27	14.2	97.9
い			
不詳	4	2.1	100.0
合計	190	100.0	100.0

Q 1 3 あなたは 日本の 国籍を 取りたいと 思いますか。

帰化の意向			
	度数	パーセント	有効パーセント
はい	22	11.6	11.6
いいえ	149	78.4	90.0
有効	19	10.0	100.0
不詳			
合計	190	100.0	100.0

Q 1 4 「1 はい」と 答えた 理由を 教えてください。(○は いくつでも)

就職に有利			
	度数	パーセント	有効パーセント
なし	15	7.9	35.7
あり	15	7.9	35.7
有効	12	6.3	28.6
不詳			100.0
合計	42	22.1	100.0
欠損値 システム欠損値	148	77.9	
合計	190	100.0	

日本のパスポートがあると便利

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	19	10.0	45.2	45.2
あり	11	5.8	26.2	71.4
有効	12	6.3	28.6	100.0
不詳				
合計	42	22.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	148	77.9		
合計	190	100.0		

いつでも自由に日本に戻る

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	14	7.4	33.3	33.3
あり	16	8.4	38.1	71.4
有効	12	6.3	28.6	100.0
不詳				
合計	42	22.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	148	77.9		
合計	190	100.0		

【2】 社会との つながりについての 質問です。

Q 1 5 あなたは 生活の 情報を どうやって 手に 入れますか。(○は 5 つまで)

母国語のラジオ・テレビ

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	112	58.9	58.9	58.9
あり	76	40.0	40.0	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

母国語の新聞・雑誌

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	83	43.7	43.7	43.7
あり	105	55.3	55.3	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

エスニックレストラン・スーパーのチラシ

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	142	74.7	74.7	74.7
あり	46	24.2	24.2	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

日本のラジオ・テレビ

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	99	52.1	52.1	52.1
あり	89	46.8	46.8	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

日本の新聞

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	172	90.5	90.5	90.5
あり	16	8.4	8.4	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

## 日本人の友人からの情報

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	156	82.1	82.1	82.1
あり	32	16.8	16.8	98.9
有効	9	2	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## 同じ国籍の友人からの情報

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	97	51.1	51.1	51.1
あり	91	47.9	47.9	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## 自分とは違う国籍の外国人の友人からの情報

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	182	95.8	95.8	95.8
あり	6	3.2	3.2	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## 会社からの情報

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	155	81.6	81.6	81.6
あり	33	17.4	17.4	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## 市役所の広報紙（日本語版）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	180	94.7	94.7	94.7
あり	8	4.2	4.2	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## 市役所の広報紙（外国語版）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	92	48.4	48.4	48.4
あり	96	50.5	50.5	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## ICEニュース

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	188	98.9	98.9	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## 市役所の日本語HP

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	187	98.4	98.4	98.4
あり	1	.5	.5	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## 市役所の外国語HP

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	175	92.1	92.1	92.1
あり	13	6.8	6.8	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

## その他の日本の官公庁の外国語HP

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	187	98.4	98.4	98.4
あり	1	.5	.5	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

FACEBOOK

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	86	45.3	45.3	45.3
あり	102	53.7	53.7	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

その他のSNS

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	165	86.8	86.8	86.8
あり	23	12.1	12.1	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

いわたボツとライン（日本語版）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	185	97.4	97.4	97.4
あり	3	1.6	1.6	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

いわたボツとライン（ポルトガル語）

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	171	90.0	90.0	90.0
あり	17	8.9	8.9	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	175	92.1	92.1	92.1
あり	13	6.8	6.8	98.9
有効	2	1.1	1.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 1 6 あなたが <sup>す</sup>住んでいる <sup>まち</sup>町で <sup>あつ</sup>やる <sup>い</sup>集まりや <sup>い</sup>イベントに <sup>い</sup>行ったことが <sup>あ</sup>ありますか。  
A〜K の <sup>い</sup>それぞれについて、1〜3 の <sup>い</sup>どれか <sup>い</sup>ひとつに <sup>い</sup>〇を <sup>い</sup>つけてください。

自治会の会合

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	76	40.0	40.0	40.0
知っているけど、行ったこと	51	26.8	26.8	66.8
はない	22	11.6	11.6	78.4
知らない	41	21.6	21.6	100.0
有効	190	100.0	100.0	

車列り

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	77	40.5	40.5	40.5
知っているけど、行ったこと	40	21.1	21.1	61.6
はない	26	13.7	13.7	75.3
知らない	47	24.7	24.7	100.0
有効	190	100.0	100.0	

ごみひろい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	120	63.2	63.2	63.2
知っているけど、行ったこと	21	11.1	11.1	74.2
はない	14	7.4	7.4	81.6
知らない	35	18.4	18.4	100.0
有効	190	100.0	100.0	

選挙会合

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	15	7.9	7.9	7.9
知っているけど、行ったこと	52	27.4	27.4	35.3
はない	60	31.6	31.6	66.8
知らない	63	33.2	33.2	100.0
有効	190	100.0	100.0	



キャンプファイヤー

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	7	3.7	3.7	3.7
知っているけど、行ったこと	35	18.4	18.4	22.1
はない	83	43.7	43.7	65.8
知らない	65	34.2	34.2	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

地区運動会

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	15	7.9	7.9	7.9
知っているけど、行ったこと	58	30.5	30.5	38.4
はない	58	30.5	30.5	68.9
知らない	59	31.1	31.1	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

地区祭り

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	47	24.7	24.7	24.7
知っているけど、行ったこと	71	37.4	37.4	62.1
はない	15	7.9	7.9	70.0
知らない	57	30.0	30.0	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

地区文化祭

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	19	10.0	10.0	10.0
知っているけど、行ったこと	49	25.8	25.8	35.8
はない	54	28.4	28.4	64.2
知らない	68	35.8	35.8	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

東新橋丁

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	38	20.0	20.0	20.0
知っているけど、行ったこと	47	24.7	24.7	44.7
はない	47	24.7	24.7	69.5
知らない	58	30.5	30.5	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

「こんにちは！」のイベント

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	54	3.7	3.7	3.7
知っているけど、行ったこと	50	18.4	18.4	22.1
はない	31	43.7	43.7	65.8
知らない	55	34.2	34.2	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

地域防災訓練

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
参加したことがある	73	38.4	38.4	38.4
知っているけど、行ったこと	38	20.0	20.0	58.4
はない	26	13.7	13.7	72.1
知らない	53	27.9	27.9	100.0
不詳				
合計	190	100.0	100.0	

【3】近くに 住んでいる 人たちとの つきあいについての 質問です。

Q 17 団地に 住んでいる 人たちの つきあいは どのくらいですか。

団地に住む日本人とのつきあい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まったくつきあいはない	4	2.1	2.1	2.1
あいさつをする程度	50	26.3	26.3	28.4
ときどき立ち話をする程度	108	56.8	56.8	85.3
有効 一緒に何かしたり相談した りする	16	8.4	8.4	93.7
不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 18 団地に 住んでいる 他 の 国 の 人 と の つきあいは どのくらいですか。

団地に住む外国人以外の外国人とのつきあい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まったくつきあいはない	16	8.4	8.4	8.4
あいさつをする程度	93	48.9	48.9	57.4
ときどき立ち話をする程度	68	35.8	35.8	93.2
有効 一緒に何かしたり相談した りする	3	1.6	1.6	94.7
不詳	10	5.3	5.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 19 団地に 住んでいる 日本人との つきあいは どのくらいですか。

団地に住む日本人とのつきあい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まったくつきあいはない	3	1.6	1.6	1.6
あいさつをする程度	109	57.4	57.4	58.9
ときどき立ち話をする程度	66	34.7	34.7	93.7
有効 一緒に何かしたり相談した りする	4	2.1	2.1	95.8
不詳	8	4.2	4.2	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 20 団地に 住んでいる 日本人との 間に 人と 人との 関係の 壁を 感じますか。

団地に住む日本人との壁

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
とても強く感じる	9	4.7	4.7	4.7
かなり感じる	31	16.3	16.3	21.1
あまり感じない	76	40.0	40.0	61.1
まったく感じない	67	35.3	35.3	96.3
不詳	7	3.7	3.7	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 21 団地に 住んでいる 日本人と これから どのような 関係を 持ちたいですか。

団地に住む日本人と今後の関係

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
必要最小限のこと以外、なるべくかかわりたくない	27	14.2	14.2	14.2
少しかかわりを持ってみたい	116	61.1	61.1	75.3
有効 もっと積極的にかかわって みたい	37	19.5	19.5	94.7
不詳	10	5.3	5.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

【4】あなたの日本語能力についての質問です。

Q 2 2 あなたは日本語でどのくらい話せますか。

日本語での会話能力				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本語での会話はまったくできない	5	2.6	2.6	2.6
名前や出身地など、簡単な自己紹介ができる	32	16.8	16.8	19.5
自分の家族や国などについて簡単な質問に答えることができる	98	51.6	51.6	71.1
買い物をするときに自分の希望や条件を詳しく説明できる	38	20.0	20.0	91.1
自分の国の教育制度や政治制度を説明できる	13	6.8	6.8	97.9
不詳	4	2.1	2.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 2 3 あなたは日本語でどのくらい読めますか。

日本語を読む力				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本語はまったく読めない	53	27.9	27.9	27.9
カタカナやひらがなで書かれた国名や都市名を読むことができる	63	33.2	33.2	61.1
ひらがな付きであれば市役所や学校からの通知（お知らせ）を読んで理解できる	48	25.3	25.3	86.3
ひらがななしで市役所や学校からの通知（お知らせ）を読んで理解できる	12	6.3	6.3	92.6
新聞を読むことができる	9	4.7	4.7	97.4
不詳	5	2.6	2.6	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 2 4 あなたは日本語でどのくらい書けますか。

日本語を書く力				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本語はまったく書けない	38	20.0	20.0	20.0
自分の名前を書くことができる	71	37.4	37.4	57.4
自分の住所を漢字で書くことができる	8	4.2	4.2	61.6
仕事の伝言メモをひらがなやカタカナで書くことができる	57	30.0	30.0	91.6
仕事の伝言メモを漢字を含めて書くことができる	12	6.3	6.3	97.9
不詳	4	2.1	2.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 2 5 あなたはこれから日本語を勉強したいと思いますか。

今後の日本語学習希望				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ぜひ学習したい	49	25.8	25.8	25.8
自分の都合に合う機会があればぜひ学習したい	104	54.7	54.7	80.5
すでに習得しているのでもう充分	6	3.2	3.2	83.7
時間の余裕がないので学習は無理	26	13.7	13.7	97.4
日本語はできないが、学ぶ必要を感じない	2	1.1	1.1	98.4
不詳	3	1.6	1.6	100.0
合計	190	100.0	100.0	

【5】あなたの 今の 仕事についての 質問です。

Q 2 6 あなたは、今、仕事を していますか。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
はい	128	67.4	67.4	67.4
いいえ	47	24.7	24.7	92.1
有効	15	7.9	7.9	100.0
合計	190	100.0	100.0	

収入をとまなう仕事の有無

Q 2 7 今の あなたの 仕事の 形は 次の どれですか。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
自営業	7	3.7	4.8	4.8
ハケン会社 (給旋業者) を通して働いている	98	51.6	67.6	72.4
有効	23	12.1	15.9	88.3
ハケン会社 (給旋業者) を通さず働いている	17	8.9	11.7	100.0
不詳	145	76.3	100.0	
合計	45	23.7		
欠損値	190	100.0		
合計				

現在の仕事の形態

Q 2 8 上の Q 2 7で、「3」と 答えた 人は どのような 契約で 働いていますか。

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
期間を定めない正社員として雇用されている	24	12.6	41.4	41.4
期間を定めた契約社員として雇用されている	16	8.4	27.6	69.0
有効	7	3.7	12.1	81.0
パート・アルバイト職員として雇用されている	3	1.6	5.2	86.2
その他	8	4.2	13.8	100.0
不詳	58	30.5	100.0	
合計	132	69.5		
欠損値	190	100.0		
合計				

雇用形態

Q 2 9 今の 仕事は どうやって 見つけましたか。(〇は いくつでも)

家族や親戚を通じて

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	96	50.5	64.9	64.9
有効	41	21.6	27.7	92.6
不詳	11	5.8	7.4	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

同国人の友人を通じて

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	83	43.7	56.1	56.1
有効	54	28.4	36.5	92.6
不詳	11	5.8	7.4	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

日本人の友人を通じて

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	136	71.6	91.9	91.9
有効	1	.5	.7	92.6
不詳	11	5.8	7.4	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

ハローワークで

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	134	70.5	90.5	90.5
有効	3	1.6	2.0	92.6
不詳	11	5.8	7.4	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

民間のあっせん業者を通じて

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	101	53.2	68.2	68.2
あり	36	18.9	24.3	92.6
不詳	11	5.8	7.4	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

母国語で書かれた新聞や雑誌を見て

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	130	68.4	87.8	87.8
あり	7	3.7	4.7	92.6
不詳	11	5.8	7.4	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	128	67.4	86.5	86.5
あり	9	4.7	6.1	92.6
不詳	11	5.8	7.4	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

いま しごと ちやんねん つづ すうじ か  
Q30 今の 仕事は 何年くらい 続けていますか。(数字を 書いてください)  
ねん 年 かげつ 月

Q30X_MONTHSx				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1年未満	7	3.7	4.9	4.9
1年以上～2年未満	19	10.0	13.3	18.2
2年以上～3年未満	12	6.3	8.4	26.6
3年以上～5年未満	17	8.9	11.9	38.5
5年以上～10年未満	23	12.1	16.1	54.5
10年以上～15年未満	9	4.7	6.3	60.8
15年以上	8	4.2	5.6	66.4
不詳	48	25.3	33.6	100.0
合計	143	75.3	100.0	
欠損値	47	24.7		
合計	190	100.0		

まゑ つき へいきん しゅうかん はたら すうじ か  
Q31 前の 月は 平均して、1 週間に 何時間 働きましたか。(数字を 書いてください)  
じかん しゅう 時間／週

Q31				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
20時間未満	3	1.6	2.1	2.1
20時間以上～40時間未満	12	6.3	8.5	10.6
40時間以上～50時間未満	71	37.4	50.4	61.0
50時間以上	41	21.6	29.1	90.1
不詳	14	7.4	9.9	100.0
合計	141	74.2	100.0	
欠損値	49	25.8		
合計	190	100.0		

Q 3 2 あなたの 前の 3ヶ月間の 給料の 平均は 月に いくらくらいでしたか。  
(数字を 書いてください)

円/月

Q32xx				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
10万円未満	8	4.2	5.4	5.4
10万円以上～15万円未満	28	14.7	18.9	24.3
15万円以上～20万円未満	29	15.3	19.6	43.9
20万円以上～25万円未満	27	14.2	18.2	62.2
25万円以上～30万円未満	21	11.1	14.2	76.4
30万円以上	8	4.2	5.4	81.8
不詳	27	14.2	18.2	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

Q 3 3 今の 仕事は 何に 関係していますか。

現在の仕事				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
自動車・バイク関連	79	41.6	53.4	53.4
電気・電子製品関連	9	4.7	6.1	59.5
食品関連	5	2.6	3.4	62.8
その他	28	14.7	18.9	81.8
運輸・運送	1	.5	.7	82.4
販売	1	.5	.7	83.1
その他	3	1.6	2.0	85.1
不詳	22	11.6	14.9	100.0
合計	148	77.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	42	22.1		
合計	190	100.0		

Q 3 4 今の 仕事の 内容は 何ですか。

現在の職業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
生産工程・一般作業	118	62.1	77.6	77.6
販売・サービス	3	1.6	2.0	79.6
専門職・管理職	1	.5	.7	80.3
専業主婦	4	2.1	2.6	82.9
その他	9	4.7	5.9	88.8
不詳	17	8.9	11.2	100.0
合計	152	80.0	100.0	
欠損値 システム欠損値	38	20.0		
合計	190	100.0		

Q 3 5 今の 仕事の 労働 契約（働く 期間の 約束）は どのくらいですか。

労働契約期間

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1ヶ月	16	8.4	10.7	10.7
2ヶ月	21	11.1	14.1	24.8
3ヶ月	16	8.4	10.7	35.6
6ヶ月	5	2.6	3.4	38.9
1年以上	3	1.6	2.0	40.9
期間の定めはない	81	42.6	54.4	95.3
不詳	7	3.7	4.7	100.0
合計	149	78.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	41	21.6		
合計	190	100.0		

Q36 あなたの国へ1ヶ月平均してお金をいくくらい送っていますか。

母国への平均送金				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
していない	83	43.7	55.7	55.7
1万円未満/月	3	1.6	2.0	57.7
1万円以上.3万円未満/月	20	10.5	13.4	71.1
3万円以上.5万円未満/月	13	6.8	8.7	79.9
5万円以上/月	14	7.4	9.4	89.3
不詳	16	8.4	10.7	100.0
合計	149	78.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	41	21.6		
合計	190	100.0		

Q6あなたが日本に来てはじめてした仕事についての質問です。

Q37あなたが日本に来てはじめてやった仕事の形は次のどれですか。

日本に来て初めてした仕事の形態				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
自営業	2	1.1	1.1	1.1
ハケン会社（斡旋業者）を通して働いている	155	81.6	81.6	82.6
有効	19	10.0	10.0	92.6
不詳	14	7.4	7.4	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q38前のQ37で「3」と答えた人はどのような契約で働きましたか。

日本に来て初めてした仕事の雇用形態				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
期間を定めない正社員として雇用されている	13	6.8	31.0	31.0
期間を定めた契約社員として雇用されている	8	4.2	19.0	50.0
パート、アルバイト職員として雇用されている	8	4.2	19.0	69.0
不詳	13	6.8	31.0	100.0
合計	42	22.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	148	77.9		
合計	190	100.0		

Q39
 にほん
 日本に
 き
 来て、
 はじめ
 はじめて
 やった
 しごと
 仕事は
 どうやって
 み
 見つけたか。
 (○は
 いくつでも)

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	84	44.2	44.2	44.2
あり	94	49.5	49.5	93.7
有効 不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

現在の仕事の情報入手源：同国人の友人を通して

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	155	81.6	81.6	81.6
あり	23	12.1	12.1	93.7
有効 不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

日本人の友人を通して

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	175	92.1	92.1	92.1
あり	3	1.6	1.6	93.7
有効 不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

ハローワーク

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	175	92.1	92.1	92.1
あり	3	1.6	1.6	93.7
有効 不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

民間の斡旋業者を通じて

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	129	67.9	67.9	67.9
あり	49	25.8	25.8	93.7
有効 不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

母国語で書かれた新聞や雑誌を見て

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	171	90.0	90.0	90.0
あり	7	3.7	3.7	93.7
有効 不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

その他の手段を通じて

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	161	84.7	84.7	84.7
あり	17	8.9	8.9	93.7
有効 不詳	12	6.3	6.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
不詳	29	15.3	15.3	15.3
非該当	161	84.7	84.7	100.0
	190	100.0	100.0	



Q 4 0 日本に 来て はじめて やった 仕事は 何に 関係してましたか。

日本に来て初めてした仕事

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
自動車・バイク関連	97	51.1	51.1	51.1
電機・電子製品関連	22	11.6	11.6	62.6
食品関連	22	11.6	11.6	74.2
その他	14	7.4	7.4	81.6
販売	3	1.6	1.6	83.2
その他	2	1.1	1.1	84.2
不詳	30	15.8	15.8	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 4 1 日本に 来て はじめて やった 仕事の 内容は 何でしたか。

日本に来て初めてした仕事の職業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
生産工程・一般作業	161	84.7	84.7	84.7
販売・サービス	4	2.1	2.1	86.8
農業	1	.5	.5	87.4
専業主婦	1	.5	.5	87.9
学生	3	1.6	1.6	89.5
その他	5	2.6	2.6	92.1
不詳	15	7.9	7.9	100.0
合計	190	100.0	100.0	

【7】あなたが 日本に 来る 前に やっていた 仕事についての 質問です。

Q 4 2 日本に 来る 前は あなたの 国で どんな仕事を していましたか。

母国でしていた仕事の職業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
生産工程・一般作業	16	8.4	8.4	8.4
販売・サービス	41	21.6	21.6	30.0
事務的職業	22	11.6	11.6	41.6
専門職・管理職	10	5.3	5.3	46.8
農業	2	1.1	1.1	47.9
専業主婦	20	10.5	10.5	58.4
学生	36	18.9	18.9	77.4
その他	22	11.6	11.6	88.9
不詳	21	11.1	11.1	100.0
合計	190	100.0	100.0	

【8】これから 違う 町に 住む、国へ 帰る 予定に についての 質問です。

Q 4 3 これから 3 年の 間に、東新町団地から 引っ越す 予定は ありますか。

今後3年以内の引っ越し予定				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	大いにある	24	12.6	12.6
	ある程度ある	34	17.9	30.5
	あまりない	30	15.8	46.3
	まったくくない	93	48.9	95.3
	不詳	9	4.7	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 4 4 前のQ 4 3で「1 すごくある」、「2 少しだけある」と 答えた 人は、どこに 行く 予定ですか。

引っ越し予定先				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	磐田市内の別の地区	26	13.7	38.2
	静岡県内の別の市町	3	1.6	42.6
	日本国内の他の都道府県	4	2.1	48.5
	外国	15	7.9	70.6
	わからない	11	5.8	86.8
欠損値	不詳	9	4.7	100.0
	合計	68	35.8	100.0
	システム欠損値	122	64.2	
合計	190	100.0		

Q 4 5 これから 日本でのどのくらい 住む 予定ですか。				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	日本に永住するつもり	25	13.2	13.2
	今後10年以上	10	5.3	18.5
	今後3年以上10年未満	21	11.1	29.6
	今後1年以上3年未満	9	4.7	34.4
	今後1年未満	3	1.6	36.0
欠損値	あとどれくらい日本で生活 するかわからない	114	60.0	96.3
	不詳	7	3.7	100.0
	合計	189	99.5	100.0
合計	システム欠損値	1	.5	
		190	100.0	

【9】結婚している 相手との 関係についての 質問です。

Q 4 6 あなたは、今、結婚していますか。

婚姻状況				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	独身	29	15.3	15.3
	結婚している	139	73.2	88.4
	離別	11	5.8	94.2
	死別	1	.5	94.7
	不詳	10	5.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q 4 7 あなたは 結婚の 届（お知らせ）を 役所などに 出しましたか。

公的な結婚の届け出				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	届け出をした	141	74.2	87.0
	届け出をしていない	9	4.7	92.6
	不詳	12	6.3	100.0
	合計	162	85.3	100.0
	システム欠損値	28	14.7	
合計		190	100.0	

Q 4 8 あなたは どこで 結婚を しましたか。

結婚した国

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本	55	28.9	34.0	34.0
外国	96	50.5	59.3	93.2
不詳	11	5.8	6.8	100.0
合計	162	85.3	100.0	
欠損値	28	14.7		
合計	190	100.0		

Q 4 9 結婚した 相手と 何年 一緒に 住んでいますか。(数字を 書いてください)

q49x

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0-4	20	10.5	12.3	12.3
5-9	23	12.1	14.2	26.5
10-14	28	14.7	17.3	43.8
15-19	25	13.2	15.4	59.3
20-24	24	12.6	14.8	74.1
25-29	8	4.2	4.9	79.0
30-34	5	2.6	3.1	82.1
35-39	6	3.2	3.7	85.8
40-44	5	2.6	3.1	88.9
50-54	1	.5	.6	89.5
不詳	17	8.9	10.5	100.0
合計	162	85.3	100.0	
欠損値	28	14.7		
合計	190	100.0		

Q 5 0 今の 結婚は 何回目ですか。

初婚・再婚

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
夫・妻ともに初婚	104	54.7	64.2	64.2
夫は初婚、妻は再婚	19	10.0	11.7	75.9
夫は再婚、妻は初婚	12	6.3	7.4	83.3
夫・妻ともに再婚	15	7.9	9.3	92.6
不詳	12	6.3	7.4	100.0
合計	162	85.3	100.0	
欠損値	28	14.7		
合計	190	100.0		

Q 5 1 結婚した 相手の 国籍を 教えてください。

配偶者の国籍

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ブラジル	133	70.0	82.1	82.1
ペルー	5	2.6	3.1	85.2
フィリピン	3	1.6	1.9	87.0
日本	9	4.7	5.6	92.6
その他	1	.5	.6	93.2
不詳	11	5.8	6.8	100.0
合計	162	85.3	100.0	
欠損値	28	14.7		
合計	190	100.0		

Q 5 2 あなたの親の今の様子について教えてください。

父親の生存状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
死去	71	37.4	43.8	43.8
健在	76	40.0	46.9	90.7
有効	15	7.9	9.3	100.0
不詳	162	85.3	100.0	
合計	28	14.7		
欠損値 システム欠損値	190	100.0		
合計				

父親の年齢

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
40-44	1	.5	1.0	1.0
45-49	2	1.1	1.9	2.9
50-54	9	4.7	8.7	11.7
50-59	8	4.2	7.8	19.4
60-64	18	9.5	17.5	36.9
65-69	21	11.1	20.4	57.3
70-74	11	5.8	10.7	68.0
75-79	9	4.7	8.7	76.7
80-84	3	1.6	2.9	79.6
85-89	3	1.6	2.9	82.5
90-94	1	.5	1.0	83.5
不詳	17	8.9	16.5	100.0
合計	103	54.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	87	45.8		
合計	190	100.0		

父親との居住距離

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
同居	5	2.6	4.8	4.8
15分未満	5	2.6	4.8	9.5
15_30分未満	1	.5	1.0	10.5
30_60分未満	5	2.6	4.8	15.2
有効	2	1.1	1.9	17.1
1_3時間未満	2	1.1	1.9	19.0
3時間以上（日本国内）	74	38.9	70.5	89.5
国外	11	5.8	10.5	100.0
不詳	105	55.3		
合計	85	44.7		
欠損値 システム欠損値	190	100.0		
合計				

母親の生存状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
死去	38	20.0	23.5	23.5
健在	103	54.2	63.6	87.0
有効	21	11.1	13.0	100.0
不詳	162	85.3	100.0	
合計	28	14.7		
欠損値 システム欠損値	190	100.0		
合計				

母親の年齢

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
35-39	1	.5	.8	.8
40-44	3	1.6	2.3	3.1
45-49	1	.5	.8	3.8
50-54	13	6.8	10.0	13.8
50-59	18	9.5	13.8	27.7
60-64	26	13.7	20.0	47.7
65-69	15	7.9	11.5	59.2
70-74	14	7.4	10.8	70.0
75-79	10	5.3	7.7	77.7
80-84	8	4.2	6.2	83.8
85-89	3	1.6	2.3	86.2
90-94	1	.5	.8	86.9
不詳	17	8.9	13.1	100.0
合計	130	68.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	60	31.6		
合計	190	100.0		

母親との居住距離

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
同居	8	4.2	6.2	6.2
15分未満	6	3.2	4.7	10.9
30_60分未満	4	2.1	3.1	14.0
有効 3時間以上（日本国内）	1	.5	.8	14.7
国外	95	50.0	73.6	88.4
不詳	15	7.9	11.6	100.0
合計	129	67.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	61	32.1		
合計	190	100.0		

いま あなたの 結婚している 親の 様子について 教えてください。

配偶者の父親の生存状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
死去	65	34.2	40.1	40.1
有効 健在	73	38.4	45.1	85.2
不詳	24	12.6	14.8	100.0
合計	162	85.3	100.0	
欠損値 システム欠損値	28	14.7		
合計	190	100.0		

配偶者の父親の年齢

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
45-49	2	1.1	2.0	2.0
50-54	9	4.7	8.9	10.9
50-59	8	4.2	7.9	18.8
60-64	16	8.4	15.8	34.7
65-69	15	7.9	14.9	49.5
有効 70-74	6	3.2	5.9	55.4
75-79	7	3.7	6.9	62.4
80-84	2	1.1	2.0	64.4
90-94	1	.5	1.0	65.3
不詳	35	18.4	34.7	100.0
合計	101	53.2	100.0	
欠損値 システム欠損値	89	46.8		
合計	190	100.0		

配偶者の父親との居住距離

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
同居	2	1.1	2.0	2.0
15分未満	3	1.6	2.9	4.9
15_30分未満	1	.5	1.0	5.9
30_60分未満	4	2.1	3.9	9.8
有効	2	1.1	2.0	11.8
1_3時間未満	1	.5	1.0	12.7
3時間以上（日本国内）	65	34.2	63.7	76.5
国外	24	12.6	23.5	100.0
不詳	102	53.7	100.0	
合計	88	46.3		
システム欠損値	190	100.0		
欠損値				
合計				

配偶者の母親の生存状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
死去	29	15.3	17.9	17.9
健在	103	54.2	63.6	81.5
有効	30	15.8	18.5	100.0
合計	162	85.3	100.0	
システム欠損値	28	14.7		
欠損値	190	100.0		
合計				

配偶者の母親の年齢

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
40-44	2	1.1	1.5	1.5
45-49	3	1.6	2.2	3.7
50-54	11	5.8	8.1	11.9
50-59	13	6.8	9.6	21.5
60-64	24	12.6	17.8	39.3
65-69	12	6.3	8.9	48.1
70-74	10	5.3	7.4	55.6
75-79	13	6.8	9.6	65.2
80-84	4	2.1	3.0	68.1
85-89	1	.5	.7	68.9
90-94	2	1.1	1.5	70.4
不詳	40	21.1	29.6	100.0
合計	135	71.1	100.0	
システム欠損値	55	28.9		
欠損値	190	100.0		
合計				

配偶者の母親との居住距離

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
同居	2	1.1	1.5	1.5
15分未満	5	2.6	3.7	5.2
15_30分未満	1	.5	.7	5.9
30_60分未満	2	1.1	1.5	7.4
有効	5	2.6	3.7	11.1
3時間以上（日本国内）	90	47.4	66.7	77.8
国外	30	15.8	22.2	100.0
不詳	135	71.1	100.0	
合計	55	28.9		
システム欠損値	190	100.0		
欠損値				
合計				

【10】困ったときに相談する人、助けをお願いする人についての質問です。

Q 5 4 下の A~G のようなとき、これまで誰（どこ）に相談したり、助けてもらったりしましたか。次の 1 ~ 2 1 の 中から 2 つまで選んでください。

経済的に困った時、頼りにする人：1位				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	14	7.4	7.4	7.4
一人で解決するため、人には頼らない	20	10.5	10.5	17.9
配偶者	25	13.2	13.2	31.1
あなたの親	37	19.5	19.5	50.5
配偶者の親	2	1.1	1.1	51.6
あなたの兄弟	11	5.8	5.8	57.4
配偶者の兄弟	5	2.6	2.6	60.0
あなたの子供	3	1.6	1.6	61.6
その他の親戚	4	2.1	2.1	63.7
同じ団地に住む同国人	1	0.5	0.5	64.2
教会の人	5	2.6	2.6	66.8
同国人の同僚・友人	3	1.6	1.6	68.4
日本人の同僚・友人	1	0.5	0.5	68.9
ハケン会社の担当者	4	2.1	2.1	71.1
市役所の窓口	2	1.1	1.1	72.1
その他	2	1.1	1.1	73.2
頼る人がいない	2	1.1	1.1	74.2
不詳	49	25.8	25.8	100.0
合計	190	100.0	100.0	

経済的に困った時、頼りにする人：2位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	3			
一人で解決するため、人には頼らない	6			
配偶者	5			
あなたの親	11			
配偶者の親	3			
あなたの兄弟	27			
あなたの子供	6			
その他の親戚	11			
同じ団地に住む同国人	1			
教会の人	6			
母国にいる親戚・知り合い	4			
同国人の同僚・友人	13			
日本人の同僚・友人	2			
ハケン会社の担当者	5			
その他	1			
頼る人がいない	5			
不詳	81			
合計	190			

夫婦間で問題がある時、相談する人：1位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	25	13.2	13.2	13.2
一人で解決するため、人には頼らない	25	13.2	13.2	26.3
配偶者	8	4.2	4.2	30.5
あなたの親	22	11.6	11.6	42.1
あなたの兄弟	14	7.4	7.4	49.5
あなたの子供	2	1.1	1.1	50.5
その他の親戚	3	1.6	1.6	52.1
同じ団地に住む同国人	1	0.5	0.5	52.6
教会の人	13	6.8	6.8	59.5
母国にいる親戚・知り合い	3	1.6	1.6	61.1
同国人の同僚・友人	5	2.6	2.6	63.7
その他	1	0.5	0.5	64.2
頼る人がいない	1	0.5	0.5	64.7
不詳	67	35.3	35.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	100.0

自分や子供が病気になった時、頼りにする人：1位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	6	3.2	3.2	3.2
一人で解決するため、人には頼らない	21	11.1	11.1	14.2
配偶者	44	23.2	23.2	37.4
あなたの親	19	10.0	10.0	47.4
配偶者の親	2	1.1	1.1	48.4
あなたの兄弟	9	4.7	4.7	53.2
配偶者の兄弟	2	1.1	1.1	54.2
あなたの子供	1	0.5	0.5	54.7
その他の親戚	2	1.1	1.1	55.8
教会の人	5	2.6	2.6	58.4
同国人の同僚・友人	5	2.6	2.6	61.1
保育園や学校の先生	1	0.5	0.5	61.6
ハケン会社の担当者	2	1.1	1.1	62.6
市役所の窓口	1	0.5	0.5	63.2
その他	5	2.6	2.6	65.8
頼る人がいない	3	1.6	1.6	67.4
不詳	62	32.6	32.6	100.0
合計	190	100.0	100.0	100.0

夫婦間で問題がある時、相談する人：2位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	8	4.2	4.2	4.2
一人で解決するため、人には頼らない	9	4.7	4.7	8.9
配偶者	4	2.1	2.1	11.1
あなたの親	8	4.2	4.2	15.3
配偶者の親	4	2.1	2.1	17.4
あなたの兄弟	12	6.3	6.3	23.7
配偶者の兄弟	1	0.5	0.5	24.2
あなたの子供	3	1.6	1.6	25.8
その他の親戚	5	2.6	2.6	28.4
教会の人	6	3.2	3.2	31.6
母国にいる親戚・知り合い	4	2.1	2.1	33.7
同国人の同僚・友人	12	6.3	6.3	40.0
日本人の同僚・友人	1	0.5	0.5	40.5
その他	3	1.6	1.6	42.1
頼る人がいない	1	0.5	0.5	42.6
不詳	109	57.4	57.4	100.0
合計	190	100.0	100.0	100.0



自分や子供が病気になる時、頼りにする人：2位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	1	0.5	0.5	0.5
一人で解決するため、人には頼らない	6	3.2	3.2	3.7
配偶者	10	5.3	5.3	8.9
あなたの親	3	1.6	1.6	10.5
配偶者の親	2	1.1	1.1	11.6
あなたの兄弟	9	4.7	4.7	16.3
配偶者の兄弟	5	2.6	2.6	18.9
あなたの子供	5	2.6	2.6	21.6
その他の親戚	9	4.7	4.7	26.3
同じ団地に住む同国人	3	1.6	1.6	27.9
教会の人	9	4.7	4.7	32.6
同国人の同僚・友人	16	8.4	8.4	41.1
日本人の同僚・友人	1	0.5	0.5	41.6
保育園や学校の先生	2	1.1	1.1	42.6
ハケン会社の担当者	8	4.2	4.2	46.8
市役所の窓口	2	1.1	1.1	47.9
その他	4	2.1	2.1	50.0
頼る人がいない	1	0.5	0.5	50.5
不詳	94	49.5	49.5	100.0
合計	190	100.0	100.0	

45

出産や育児で困った時、相談する人：1位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	24	12.6	12.6	12.6
一人で解決するため、人には頼らない	9	4.7	4.7	17.4
配偶者	25	13.2	13.2	30.5
あなたの親	18	9.5	9.5	40.0
配偶者の親	2	1.1	1.1	41.1
あなたの兄弟	10	5.3	5.3	46.3
配偶者の兄弟	1	0.5	0.5	46.8
その他の親戚	1	0.5	0.5	47.4
教会の人	9	4.7	4.7	52.1
同国人の同僚・友人	3	1.6	1.6	53.7
保育園や学校の先生	1	0.5	0.5	54.2
市役所の窓口	3	1.6	1.6	55.8
その他	4	2.1	2.1	57.9
頼る人がいない	4	2.1	2.1	60.0
不詳	76	40.0	40.0	100.0
合計	190	100.0	100.0	

46

出産や育児で困った時、相談する人：2位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	6	3.2	3.2	3.2
一人で解決するため、人には頼らない	4	2.1	2.1	5.3
配偶者	2	1.1	1.1	6.3
あなたの親	9	4.7	4.7	11.1
配偶者の親	2	1.1	1.1	12.1
あなたの兄弟	14	7.4	7.4	19.5
配偶者の兄弟	4	2.1	2.1	21.6
その他の親戚	7	3.7	3.7	25.3
教会の人	4	2.1	2.1	27.4
同国人の同僚・友人	12	6.3	6.3	33.7
日本人の同僚・友人	1	0.5	0.5	34.2
保育園や学校の先生	7	3.7	3.7	37.9
市役所の窓口	1	0.5	0.5	38.4
多文化交流センターのスタッフ	2	1.1	1.1	39.5
その他	2	1.1	1.1	40.5
頼る人がいない	1	0.5	0.5	41.1
不詳	112	58.9	58.9	100.0
合計	190	100.0	100.0	

働きに出ている時、子供の世話をする人：1位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	19	10.0	10.0	10.0
一人で解決するため、人には頼らない	2	1.1	1.1	11.1
配偶者	26	13.7	13.7	24.7
あなたの親	7	3.7	3.7	28.4
あなたの兄弟	3	1.6	1.6	30.0
配偶者の兄弟	2	1.1	1.1	31.1
その他の親戚	1	0.5	0.5	31.6
同じ団地に住む同国人	1	0.5	0.5	32.1
教会の人	3	1.6	1.6	33.7
同国人の同僚・友人	1	0.5	0.5	34.2
保育園や学校の先生	43	22.6	22.6	56.8
多文化交流センターのスタッフ	2	1.1	1.1	57.9
その他	4	2.1	2.1	60.0
頼る人がいない	2	1.1	1.1	61.1
不詳	74	38.9	38.9	100.0
合計	190	100.0	100.0	

働きに出ている時、子供の世話をする人：2位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	4	2.1	2.1	2.1
一人で解決するため、人には頼らない	2	1.1	1.1	3.2
配偶者	11	5.8	5.8	8.9
あなたの親	1	0.5	0.5	9.5
配偶者の親	1	0.5	0.5	10.0
あなたの兄弟	5	2.6	2.6	12.6
配偶者の兄弟	1	0.5	0.5	13.2
あなたの子供	4	2.1	2.1	15.3
その他の親戚	6	3.2	3.2	18.4
同じ団地に住む同国人	1	0.5	0.5	18.9
教会の人	4	2.1	2.1	21.1
同国人の同僚・友人	8	4.2	4.2	25.3
保育園や学校の先生	8	4.2	4.2	29.5
多文化交流センターのスタッフ	1	0.5	0.5	30.0
その他	3	1.6	1.6	31.6
頼る人がいない	5	2.6	2.6	34.2
不詳	125	65.8	65.8	100.0
合計	190	100.0	100.0	

子供の友人問題で困った時、相談する人：1位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	31	16.3	16.3	16.3
一人で解決するため、人には頼らない	7	3.7	3.7	20.0
配偶者	37	19.5	19.5	39.5
あなたの親	8	4.2	4.2	43.7
あなたの兄弟	5	2.6	2.6	46.3
その他の親戚	4	2.1	2.1	48.4
教会の人	3	1.6	1.6	50.0
同国人の同僚・友人	4	2.1	2.1	52.1
保育園や学校の先生	15	7.9	7.9	60.0
その他	3	1.6	1.6	61.6
頼る人がいない	1	0.5	0.5	62.1
不詳	72	37.9	37.9	100.0
合計	190	100.0	100.0	

子供の友人問題で困った時、相談する人：2位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	6	3.2	3.2	3.2
一人で解決するため、人には頼らない	8	4.2	4.2	7.4
配偶者	5	2.6	2.6	10.0
あなたの親	6	3.2	3.2	13.2
配偶者の親	3	1.6	1.6	14.7
あなたの兄弟	10	5.3	5.3	20.0
配偶者の兄弟	1	0.5	0.5	20.5
その他の親戚	4	2.1	2.1	22.6
同じ団地に住む同国人	1	0.5	0.5	23.2
教会の人	5	2.6	2.6	25.8
同国人の同僚・友人	13	6.8	6.8	32.6
日本人の同僚・友人	2	1.1	1.1	33.7
保育園や学校の先生	11	5.8	5.8	39.5
市役所の窓口	1	0.5	0.5	40.0
多文化交流センターのスタッフ	3	1.6	1.6	41.6
その他	4	2.1	2.1	43.7
不詳	107	56.3	56.3	100.0
合計	190	100.0	100.0	

子供の教育・進路を決める時、相談する人：1位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	21	11.1	11.1	11.1
一人で解決するため、人には頼らない	5	2.6	2.6	13.7
配偶者	52	27.4	27.4	41.1
あなたの親	8	4.2	4.2	45.3
配偶者の親	1	0.5	0.5	45.8
あなたの兄弟	6	3.2	3.2	48.9
配偶者の兄弟	1	0.5	0.5	49.5
あなたの子供	1	0.5	0.5	50.0
その他の親戚	2	1.1	1.1	51.1
教会の人	1	0.5	0.5	51.6
母国にいる親戚・知り合い	3	1.6	1.6	53.2
同国人の同僚・友人	4	2.1	2.1	55.3
日本人の同僚・友人	1	0.5	0.5	55.8
保育園や学校の先生	6	3.2	3.2	58.9
市役所の窓口	1	0.5	0.5	59.5
多文化交流センターのスタッフ	2	1.1	1.1	60.5
その他	4	2.1	2.1	62.6
頼る人がいない	1	0.5	0.5	63.2
不詳	70	36.8	36.8	100.0
合計	190	100.0	100.0	

子供の教育・進路を決める時、相談する人：2位

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
経験が無い	3	1.6	1.6	1.6
一人で解決するため、人には頼らない	8	4.2	4.2	5.8
配偶者	9	4.7	4.7	10.5
あなたの親	13	6.8	6.8	17.4
あなたの兄弟	7	3.7	3.7	21.1
その他の親戚	4	2.1	2.1	23.2
教会の人	5	2.6	2.6	25.8
同国人の同僚・友人	6	3.2	3.2	28.9
日本人の同僚・友人	2	1.1	1.1	30.0
保育園や学校の先生	14	7.4	7.4	37.4
市役所の窓口	1	0.5	0.5	37.9
多文化交流センターのスタッフ	3	1.6	1.6	39.5
その他	4	2.1	2.1	41.6
頼る人がいない	2	1.1	1.1	42.6
不詳	109	57.4	57.4	100.0
合計	190	100.0	100.0	

【11】あなたの健康や、心配していることについての質問です。

Q55 あなたの今の健康（体の状態）は どうですか。

現在の健康状態				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
とても良い	47	24.7	24.7	24.7
まあ良い	50	26.3	26.3	51.1
普通	65	34.2	34.2	85.3
あまり良くない	20	10.5	10.5	95.8
不詳	8	4.2	4.2	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q56 あなたはこの1年の間に 悩みや ストレスを 感じましたか。

悩み事やストレスの有無				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まったくなかった	32	16.8	16.8	16.8
あまりなかった	43	22.6	22.6	39.5
たまにあった	77	40.5	40.5	80.0
良くあった	31	16.3	16.3	96.3
不詳	7	3.7	3.7	100.0
合計	190	100.0	100.0	

Q57 前の Q56で「3」、「4」と答えた人は 理由を 教えてください。（〇はいくでも）

家庭問題				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	60	31.6	50.8	50.8
あり	48	25.3	40.7	91.5
不詳	10	5.3	8.5	100.0
合計	118	62.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	72	37.9		
合計	190	100.0		

健康問題

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	83	43.7	70.3	70.3
あり	25	13.2	21.2	91.5
不詳	10	5.3	8.5	100.0
合計	118	62.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	72	37.9		
合計	190	100.0		

経済問題

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	64	33.7	54.2	54.2
あり	44	23.2	37.3	91.5
不詳	10	5.3	8.5	100.0
合計	118	62.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	72	37.9		
合計	190	100.0		

勤務問題

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	74	38.9	62.7	62.7
あり	34	17.9	28.8	91.5
不詳	10	5.3	8.5	100.0
合計	118	62.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	72	37.9		
合計	190	100.0		

男女問題

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	95	50.0	80.5	80.5
あり	13	6.8	11.0	91.5
不詳	10	5.3	8.5	100.0
合計	118	62.1	100.0	
欠損値 システム欠損値	72	37.9		
合計	190	100.0		

学校問題

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	102	53.7	86.4	86.4
有効	6	3.2	5.1	91.5
不詳	10	5.3	8.5	100.0
合計	118	62.1	100.0	
欠損値	72	37.9		
合計	190	100.0		

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	99	52.1	83.9	83.9
有効	9	4.7	7.6	91.5
不詳	10	5.3	8.5	100.0
合計	118	62.1	100.0	
欠損値	72	37.9		
合計	190	100.0		

Q 5 8    あなたが 困っていることや 役所などに お願いが あれば、下に 書いてください。

\* ヒアリング調査 (調査する人と 会って、話を する) に 答えても いいと 思う人は 下の 情報を 教えてください。12月の 終わりに 大学の 人が 電話を かけます。

名前：

部屋の 番号：

電話 番号：

話 ができる 曜日、時間：

磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査C

（外国人世帯調査、2014年11月実施 静岡文化芸術大学）

この調査票には、家族についての質問があります。子どもがいる場合、子どものことがよくわかっている親が教えてください。

【1】防災についての質問です。

Q 1 災害（地震、台風など）のために準備しているものを教えてください。（〇はいくつでも）

指定避難場所の確認			
	度数	パーセント	有効パーセント
なし	40	39.2	39.2
あり	57	55.9	95.1
有効	5	4.9	100.0
合計	102	100.0	100.0

家族や知人との連絡方法を決めている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	71	69.6	69.6	69.6
あり	26	25.5	25.5	95.1
有効	5	4.9	4.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

家具などの固定

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	92	90.2	90.2	90.2
あり	5	4.9	4.9	95.1
有効	5	4.9	4.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

非常食や飲料水を準備している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	81	79.4	79.4	79.4
あり	16	15.7	15.7	95.1
有効	5	4.9	4.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

携帯ラジオや懐中電灯等を準備している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	79	77.5	77.5	77.5
あり	18	17.6	17.6	95.1
有効	5	4.9	4.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

特に何もしていない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	50	49.0	49.0	49.0
あり	47	46.1	46.1	95.1
有効	5	4.9	4.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

Q 2 あなたが住んでいる町の防災訓練（地震などが起きた場合、何をすればいいのかを練習すること）に参加したことがありますか。

地域の防災訓練への参加の有無

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ある	49	48.0	48.0	48.0
ない	49	48.0	48.0	96.1
有効	4	3.9	3.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

Q 3 上の Q 2で「2 ない」と答えた人は理由を教えてください。(○はいくつでも)

訓練の情報が入ってこない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	30	29.4	55.6	55.6
あり	20	19.6	37.0	92.6
有効	4	3.9	7.4	100.0
不詳				
合計	54	52.9	100.0	
欠損値	48	47.1		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

時間が長い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	33	32.4	61.1	61.1
あり	17	16.7	31.5	92.6
有効	4	3.9	7.4	100.0
不詳				
合計	54	52.9	100.0	
欠損値	48	47.1		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

出ても日本語がわからない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	30	29.4	55.6	55.6
あり	20	19.6	37.0	92.6
有効	4	3.9	7.4	100.0
不詳				
合計	54	52.9	100.0	
欠損値	48	47.1		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

関心がない、必要性を感じない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	50	49.0	92.6	92.6
あり	4	3.9	7.4	100.0
有効				
不詳	54	52.9	100.0	
合計	48	47.1		
欠損値				
システム欠損値				
合計	102	100.0		

Q 4 災害(地震、台風など)が起きたときに一番心配していることは何ですか。(○はひとつだけ)

災害が発生したときに一番心配なこと

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
家族の安否を確認できるか	69	67.6	67.6	67.6
避難所で日本人と一緒に生活できるか	5	4.9	4.9	72.5
自分の言語で必要な情報を入手できるか	5	4.9	4.9	77.5
母国の家族と連絡がとれるか	5	4.9	4.9	82.4
その他	4	3.9	3.9	86.3
不詳	14	13.7	13.7	100.0
合計	102	100.0	100.0	

【2】市役所のサービスの利用についての質問です。

Q 5 下の市役所のサービスを使ったことがありますか。A～Jのそれぞれについて、1～3のどれかひとつに○をつけてください。

市役所の外国人窓口

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
利用したことがある	85	83.3	83.3	83.3
知っているが利用したことはない	7	6.9	6.9	90.2
知らない	2	2.0	2.0	92.2
不詳	8	7.9	7.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

ポルトガル語版広報いわた

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
利用したことがある	79	77.5	77.5	77.5
知っているが利用したことはない	8	7.8	7.8	85.3
知らない	4	3.9	3.9	89.2
不詳	11	10.8	10.8	100.0
合計	102	100.0	100.0	



磐田市ホームページ ガルトガル語版

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	26	25.5	25.5
	知っているが利用したこと	23	22.5	48.0
	はない	30	29.4	77.5
	知らない	23	22.5	100.0
	合計	102	100.0	100.0

多文化交流センター「こんにちは！」親子遊び

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	37	36.3	36.3
	知っているが利用したこと	31	30.4	66.7
	はない	17	16.7	83.3
	知らない	17	16.7	100.0
	合計	102	100.0	100.0

「こんにちは！」の学習と遊び

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	34	33.3	33.3
	知っているが利用したこと	35	34.3	67.6
	はない	19	18.6	86.3
	知らない	14	13.7	100.0
	合計	102	100.0	100.0

「こんにちは！」の相談・情報提供

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	29	28.4	28.4
	知っているが利用したこと	39	38.2	66.7
	はない	19	18.6	85.3
	知らない	15	14.7	100.0
	合計	102	100.0	100.0

「こんにちは！」の中学生学習支援

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
--	----	-------	---------	---------

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	30	29.4	29.4
	知っているが利用したこと	35	34.3	63.7
	はない	22	21.6	85.3
	知らない	15	14.7	100.0
	合計	102	100.0	100.0

「こんにちは！」の学び直し

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	23	22.5	22.5
	知っているが利用したこと	34	33.3	55.9
	はない	26	25.5	81.4
	知らない	19	18.6	100.0
	合計	102	100.0	100.0

磐田市国際交流協会の日本語教室

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	16	15.7	15.7
	知っているが利用したこと	35	34.3	50.0
	はない	36	35.3	85.3
	知らない	15	14.7	100.0
	合計	102	100.0	100.0

ごみ収集カレンダー-外国語版

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用したことがある	80	78.4	78.4
	知っているが利用したこと	4	3.9	82.4
	はない	7	6.9	89.2
	知らない	11	10.8	100.0
	合計	102	100.0	100.0

【3】あなたの家族についての質問です。

Q6 この家には何人住んでいますか。  
家に住んでいる人の人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1	4	3.9	3.9	3.9
2	17	16.7	16.7	20.6
3	31	30.4	30.4	51.0
4	29	28.4	28.4	79.4
5	11	10.8	10.8	90.2
6	6	5.9	5.9	96.1
不詳	4	3.9	3.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

Q7 この家に住んでいる人たちを、下から選んで、○を書いてください。

世帯主の配偶者				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	16	15.7	16.2	16.2
あり	80	78.4	80.8	97.0
不詳	3	2.9	3.0	100.0
合計	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
合計	102	100.0		

世帯主の子ども				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	10	9.8	10.1	10.1
あり	85	83.3	85.9	96.0
不詳	4	3.9	4.0	100.0
合計	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
合計	102	100.0		

世帯主のきょうだい				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	93	91.2	93.9	93.9
あり	2	2.0	2.0	96.0
不詳	4	3.9	4.0	100.0
合計	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
合計	102	100.0		

世帯主の親				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	91	89.2	91.9	91.9
あり	4	3.9	4.0	96.0
不詳	4	3.9	4.0	100.0
合計	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
合計	102	100.0		

世帯主の孫				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	94	92.2	94.9	94.9
あり	1	1.0	1.0	96.0
不詳	4	3.9	4.0	100.0
合計	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
合計	102	100.0		

配偶者の親				
	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	95	93.1	96.0	96.0
あり	4	3.9	4.0	100.0
不詳	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
合計	102	100.0		

配偶者のきょうだい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	94	92.2	94.9	94.9
あり	1	1.0	1.0	96.0
有効	4	3.9	4.0	100.0
不詳				
合計	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

その他の親族

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	95	93.1	96.0	96.0
あり	4	3.9	4.0	100.0
有効	99	97.1	100.0	
不詳				
合計	102	100.0		
欠損値	3	2.9		
システム欠損値				
合計				

非親族

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	95	93.1	96.0	96.0
あり	4	3.9	4.0	100.0
有効	99	97.1	100.0	
不詳				
合計	102	100.0		
欠損値	3	2.9		
システム欠損値				
合計				

Q 8 あなたの家の過去3ヶ月間の毎月の給料はいくらくらいですか。働いている人がたくさんいる場合は、それぞれの毎月の給料を含めた金額を書いてください。

(                      ) 円/月

98XX

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
20万円未満	14	13.7	13.7	13.7
20万円以上～30円未満	21	20.6	20.6	34.3
30万円以上～40万円未満	25	24.5	24.5	58.8
40万円以上～50万円未満	10	9.8	9.8	68.6
50万円以上～	9	8.8	8.8	77.5
不詳	23	22.5	22.5	100.0
合計	102	100.0	100.0	

【4】あなたの子どもについての質問です。

Q 9 あなたの家族には子どもが何人いますか。（子どもがいない人は、「いない」に○をつけてください。）

子どもの人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	4	3.9	3.9	3.9
1	26	25.5	25.5	29.4
2	37	36.3	36.3	65.7
3	20	19.6	19.6	85.3
4	8	7.8	7.8	93.1
5	2	2.0	2.0	95.1
不詳	5	4.9	4.9	100.0
合計	102	100.0	100.0	

Q10 そのうち、今も あなたと一緒に住んでいる子どもは 何人ですか。  
(子どもと一緒に住んでいない人は、「いない」に ○を つけてください。)

同居している子どもの人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	10	9.8	9.9	9.9
1	33	32.4	32.7	42.6
2	33	32.4	32.7	75.2
3	9	8.8	8.9	84.2
4	4	3.9	4.0	88.1
5	1	1.0	1.0	89.1
不詳	11	10.8	10.9	100.0
合計	101	99.0	100.0	
欠損値	1	1.0		
合計	102	100.0		

Q11 一緒に住んでいる子どものうち、0歳～15歳の子どもは 何人 いますか。  
同居している15歳までの子どもの人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	17	16.7	17.2	17.2
1	32	31.4	32.3	49.5
2	25	24.5	25.3	74.7
3	5	4.9	5.1	79.8
4	6	5.9	6.1	85.9
不詳	14	13.7	14.1	100.0
合計	99	97.1	100.0	
欠損値	3	2.9		
合計	102	100.0		

Q12 下からは あなたと一緒に住んでいる0歳～15歳の子どもは 何人 いますか。  
(子どもと一緒に住んでいない人は、「いない」に ○を つけてください。)

同居している子どもの人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
男性	30	29.4	35.7	35.7
女性	35	34.3	41.7	77.4
不詳	19	18.6	22.6	100.0
合計	84	82.4	100.0	
欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

同居している15歳までの子どもの人数

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	2	2.0	2.4	2.4
2	5	4.9	6.0	8.3
3	5	4.9	6.0	14.3
4	4	3.9	4.8	19.0
5	2	2.0	2.4	21.4
6	3	2.9	3.6	25.0
7	5	4.9	6.0	31.0
8	4	3.9	4.8	35.7
9	2	2.0	2.4	38.1
10	3	2.9	3.6	41.7
11	2	2.0	2.4	44.0
12	3	2.9	3.6	47.6
13	7	6.9	8.3	56.0
14	5	4.9	6.0	61.9
15	6	5.9	7.1	69.0
16	1	1.0	1.2	70.2
17	1	1.0	1.2	71.4
18	1	1.0	1.2	72.6
19	1	1.0	1.2	73.8
20	1	1.0	1.2	75.0
32	1	1.0	1.2	76.2
不詳	20	19.6	23.8	100.0
合計	84	82.4	100.0	
欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

一番上：出生地

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本	47	46.1	56.0	56.0
外国	19	18.6	22.6	78.6
不詳	18	17.6	21.4	100.0
合計	84	82.4	100.0	
システム欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

一番上：来日年

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本で生まれた	40	39.2	47.6	47.6
外国	26	25.5	31.0	78.6
不詳	18	17.6	21.4	100.0
合計	84	82.4	100.0	
システム欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

一番上：来日年

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1997	1	1.0	2.3	2.3
2000	1	1.0	2.3	4.5
2001	1	1.0	2.3	6.8
2002	3	2.9	6.8	13.6
2003	1	1.0	2.3	15.9
2004	1	1.0	2.3	18.2
2005	2	2.0	4.5	22.7
2006	1	1.0	2.3	25.0
2007	3	2.9	6.8	31.8
2008	4	3.9	9.1	40.9
2009	1	1.0	2.3	43.2
2011	2	2.0	4.5	47.7
2012	5	4.9	11.4	59.1
9999	18	17.6	40.9	100.0
合計	44	43.1	100.0	
システム欠損値	58	56.9		
合計	102	100.0		

一番上：就学状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まだ学校(保育園、幼稚園)に通っていない	9	8.8	10.7	10.7
学校(保育園、幼稚園)に通っている	49	48.0	58.3	69.0
学校を中退した	1	1.0	1.2	70.2
既に卒業した	4	3.9	4.8	75.0
不詳	21	20.6	25.0	100.0
合計	84	82.4	100.0	
システム欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

一番上：現在通っている学校

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本の保育園・幼稚園	13	12.7	15.9	15.9
日本の小学校	15	14.7	18.3	34.1
日本の中学校	14	13.7	17.1	51.2
日本の高校	3	2.9	3.7	54.9
外国人学校の保育園・幼稚園	3	2.9	3.7	58.5
外国人学校の小・中学校	3	2.9	3.7	62.2
その他	2	2.0	2.4	64.6
不詳	29	28.4	35.4	100.0
合計	82	80.4	100.0	
システム欠損値	20	19.6		
合計	102	100.0		

一番上：仕事についているか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
仕事についている	6	5.9	7.1	7.1
仕事についていたことはない	19	18.6	22.6	29.8
不詳	59	57.8	70.2	100.0
合計	84	82.4	100.0	
システム欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

一番上：一緒に夕食

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ほぼ毎日	56	54.9	66.7	66.7
週に3__4回	4	3.9	4.8	71.4
月に1__2回	1	1.0	1.2	72.6
あまり無い	3	2.9	3.6	76.2
不詳	20	19.6	23.8	100.0
合計	84	82.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

一番上：子どもとの会話

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
主に親の母国語	53	52.0	63.1	63.1
主に日本語	2	2.0	2.4	65.5
有効 両方の言語が半々で話さる	10	9.8	11.9	77.4
不詳	19	18.6	22.6	100.0
合計	84	82.4	100.0	
欠損値 システム欠損値	18	17.6		
合計	102	100.0		

二番目：性別

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
男性	23	22.5	39.7	39.7
女性	15	14.7	25.9	65.5
不詳	20	19.6	34.5	100.0
合計	58	56.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	44	43.1		
合計	102	100.0		

二番目：年齢

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	6	5.9	10.5	10.5
1	2	2.0	3.5	14.0
2	4	3.9	7.0	21.1
3	5	4.9	8.8	29.8
4	2	2.0	3.5	33.3
5	1	1.0	1.8	35.1
6	2	2.0	3.5	38.6
7	3	2.9	5.3	43.9
8	1	1.0	1.8	45.6
10	1	1.0	1.8	47.4
11	3	2.9	5.3	52.6
12	2	2.0	3.5	56.1
13	3	2.9	5.3	61.4
14	1	1.0	1.8	63.2
16	1	1.0	1.8	64.9
18	1	1.0	1.8	66.7
26	1	1.0	1.8	68.4
不詳	18	17.6	31.6	100.0
合計	57	55.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	45	44.1		
合計	102	100.0		

二番目：出生地

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本	25	24.5	43.9	43.9
外国	13	12.7	22.8	66.7
不詳	19	18.6	33.3	100.0
合計	57	55.9	100.0	
欠損値 システム欠損値	45	44.1		
合計	102	100.0		

二番目：来日年

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本で生まれた	26	25.5	45.6	45.6
外国	13	12.7	22.8	68.4
不詳	18	17.6	31.6	100.0
合計	57	55.9	100.0	
欠損値	45	44.1		
合計	102	100.0		

二番目：来日年

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
1998	1	1.0	3.2	3.2
2000	1	1.0	3.2	6.5
2002	1	1.0	3.2	9.7
2003	1	1.0	3.2	12.9
2005	1	1.0	3.2	16.1
2006	2	2.0	6.5	22.6
2007	1	1.0	3.2	25.8
2008	1	1.0	3.2	29.0
2011	1	1.0	3.2	32.3
2012	1	1.0	3.2	35.5
2013	1	1.0	3.2	38.7
2014	1	1.0	3.2	41.9
不詳	18	17.6	58.1	100.0
合計	31	30.4	100.0	
欠損値	71	69.6		
合計	102	100.0		

二番目：就学状況

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
まだ学校(保育園、幼稚園)に通っていない	13	12.7	22.8	22.8
学校(保育園、幼稚園)に通っている	22	21.6	38.6	61.4
在学しているが、休んでいる	1	1.0	1.8	63.2
学校を中退した	1	1.0	1.8	64.9
既に卒業した	2	2.0	3.5	68.4
不詳	18	17.6	31.6	100.0
合計	57	55.9	100.0	
欠損値	45	44.1		
合計	102	100.0		

二番目：現在通っている学校

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
日本の保育園・幼稚園	10	9.8	18.9	18.9
日本の小学校	6	5.9	11.3	30.2
日本の中学校	3	2.9	5.7	35.8
外国人学校の保育園・幼稚園	2	2.0	3.8	39.6
外国人学校の小・中学校	4	3.9	7.5	47.2
その他	2	2.0	3.8	50.9
不詳	26	25.5	49.1	100.0
合計	53	52.0	100.0	
欠損値	49	48.0		
合計	102	100.0		

二番目：仕事についているか

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
仕事についている	1	1.0	1.9	1.9
仕事についていたことはない	13	12.7	24.5	26.4
不詳	39	38.2	73.6	100.0
合計	53	52.0	100.0	
欠損値	49	48.0		
合計	102	100.0		

二番目：一緒に夕食

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
ほぼ毎日	34	33.3	60.7	60.7
週に3、4回	2	2.0	3.6	64.3
有効	1	1.0	1.8	66.1
あまり無い	19	18.6	33.9	100.0
不詳	56	54.9	100.0	
合計	46	45.1		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

二番目：子どもとの会話

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
主に親の母国語	27	26.5	47.4	47.4
主に日本語	1	1.0	1.8	49.1
有効	9	8.8	15.8	64.9
両方の言語が半々で混ざる	20	19.6	35.1	100.0
不詳	57	55.9	100.0	
合計	45	44.1		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

Q 13 国や役所などから援助を受けていますか。(〇はいくつでも)

児童手当

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	11	10.8	12.5	12.5
あり	59	57.8	67.0	79.5
有効	18	17.6	20.5	100.0
不詳	88	86.3	100.0	
合計	14	13.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

生活保護

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	68	66.7	77.3	77.3
あり	2	2.0	2.3	79.5
有効	18	17.6	20.5	100.0
不詳	88	86.3	100.0	
合計	14	13.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

母子家庭当自立支援給付金

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	66	64.7	75.0	75.0
あり	4	3.9	4.5	79.5
有効	18	17.6	20.5	100.0
不詳	88	86.3	100.0	
合計	14	13.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

要保護ないし準要保護児童生徒認定による就学奨励費

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	65	63.7	73.9	73.9
あり	5	4.9	5.7	79.5
有効	18	17.6	20.5	100.0
不詳	88	86.3	100.0	
合計	14	13.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

受給していない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	61	59.8	69.3	69.3
あり	9	8.8	10.2	79.5
有効	18	17.6	20.5	100.0
不詳	88	86.3	100.0	
合計	14	13.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				



Q 1 4 PTAに 参加したことは ありますか。(○はいくつでも)

参加したことがない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	30	29.4	34.5	34.5
あり	41	40.2	47.1	81.6
有効	16	15.7	18.4	100.0
不詳	87	85.3	100.0	
合計	15	14.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

たまに参加する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	63	61.8	72.4	72.4
あり	8	7.8	9.2	81.6
有効	16	15.7	18.4	100.0
不詳	87	85.3	100.0	
合計	15	14.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

できる限り参加するようにしている

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	60	58.8	69.0	69.0
あり	11	10.8	12.6	81.6
有効	16	15.7	18.4	100.0
不詳	87	85.3	100.0	
合計	15	14.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

ほぼ欠かさず参加している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	64	62.7	73.6	73.6
あり	7	6.9	8.0	81.6
有効	16	15.7	18.4	100.0
不詳	87	85.3	100.0	
合計	15	14.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

役員も経験したことがある

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	67	65.7	77.0	77.0
あり	4	3.9	4.6	81.6
有効	16	15.7	18.4	100.0
不詳	87	85.3	100.0	
合計	15	14.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

Q 1 5 日本の 学校の 習慣や ルールは どうやって 手に 入れますか。(○はいくつでも)

学校の先生

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	34	33.3	39.5	39.5
あり	35	34.3	40.7	80.2
有効	17	16.7	19.8	100.0
不詳	86	84.3	100.0	
合計	16	15.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

多文化交流センター「こんにちば」のスタッフ

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	64	62.7	74.4	74.4
あり	5	4.9	5.8	80.2
有効	17	16.7	19.8	100.0
不詳	86	84.3	100.0	
合計	16	15.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

同国人の知り合い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	36	35.3	41.9	41.9
あり	33	32.4	38.4	80.2
有効	17	16.7	19.8	100.0
不詳	86	84.3	100.0	
合計	16	15.7		
欠損値	102	100.0		
システム欠損値				
合計				

日本人の知り合い

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	62	60.8	72.1	72.1
あり	7	6.9	8.1	80.2
不詳	17	16.7	19.8	100.0
合計	86	84.3	100.0	
欠損値	16	15.7		
合計	102	100.0		

学校からの配布物

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	39	38.2	45.3	45.3
あり	30	29.4	34.9	80.2
不詳	17	16.7	19.8	100.0
合計	86	84.3	100.0	
欠損値	16	15.7		
合計	102	100.0		

インターネット

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	63	61.8	73.3	73.3
あり	6	5.9	7.0	80.2
不詳	17	16.7	19.8	100.0
合計	86	84.3	100.0	
欠損値	16	15.7		
合計	102	100.0		

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	55	53.9	64.0	64.0
あり	14	13.7	16.3	80.2
不詳	17	16.7	19.8	100.0
合計	86	84.3	100.0	
欠損値	16	15.7		
合計	102	100.0		

Q16 子どもの学校が終わった後、誰と遊びますか。(〇はいくつでも)

日本人の同級生・友達

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	42	41.2	50.6	50.6
あり	18	17.6	21.7	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

外国人の同級生・友達

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	34	33.3	41.0	41.0
あり	26	25.5	31.3	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

その他の外国人の同級生・友達

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	53	52.0	63.9	63.9
あり	7	6.9	8.4	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

きょうだい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	36	35.3	43.4	43.4
あり	24	23.5	28.9	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

一人

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	41	40.2	49.4	49.4
あり	19	18.6	22.9	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

Q 1 7 子どもは 休みの日は、誰と 遊びますか。(○はいくつでも)

日本人の同級生・友達

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	45	44.1	54.2	54.2
あり	15	14.7	18.1	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

同国人の同級生・友達

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	40	39.2	48.2	48.2
あり	19	18.6	22.9	71.1
不詳	24	23.5	28.9	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

その他の外国人の同級生・友人

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	53	52.0	63.9	63.9
あり	6	5.9	7.2	71.1
不詳	24	23.5	28.9	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

きょうだい

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	29	28.4	34.9	34.9
あり	30	29.4	36.1	71.1
不詳	24	23.5	28.9	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

一人

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	38	37.3	45.8	45.8
あり	21	20.6	25.3	71.1
不詳	24	23.5	28.9	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

Q 1 8 まだ学校に行っていない子どもは誰が世話をしていますか。(○はいくつでも)  
おじいちゃん、おばあちゃんなどの家族

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	55	53.9	66.3	66.3
あり	5	4.9	6.0	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

日本の保育園

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	42	41.2	50.6	50.6
あり	18	17.6	21.7	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
システム欠損値				
合計	102	100.0		

日本の幼稚園

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	57	55.9	68.7	68.7
あり	3	2.9	3.6	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

ブラジル人が経営する託児所

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	56	54.9	67.5	67.5
あり	4	3.9	4.8	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

家にいる

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	41	40.2	49.4	49.4
あり	19	18.6	22.9	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

学齢期前の子どもはいない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	44	43.1	53.0	53.0
あり	16	15.7	19.3	72.3
不詳	23	22.5	27.7	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

【5】子どもの将来についての質問です。

Q19 あなたは、子どもが大人になっても日本に住んでほしいですか。  
子どもの将来（日本での生活）への希望

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
はい	34	33.3	38.6	38.6
いいえ	9	8.8	10.2	48.9
わからない	30	29.4	34.1	83.0
不詳	15	14.7	17.0	100.0
合計	88	86.3	100.0	
欠損値	14	13.7		
合計	102	100.0		

Q20 あなたは、子どもにどこまで学校を卒業してほしいですか。（○はいくつでも）

日本の中学校を卒業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	60	58.8	70.6	70.6
あり	10	9.8	11.8	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

外国人学校の中学校段階を卒業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	63	61.8	74.1	74.1
あり	7	6.9	8.2	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

日本の高等学校を卒業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	52	51.0	61.2	61.2
あり	18	17.6	21.2	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

外国人学校の高等学校段階を卒業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	66	64.7	77.6	77.6
あり	4	3.9	4.7	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

専門学校を卒業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	49	48.0	57.6	57.6
あり	21	20.6	24.7	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

短大・大学を卒業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	44	43.1	51.8	51.8
あり	26	25.5	30.6	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

母国の通信教育で大学を卒業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	60	58.8	70.6	70.6
あり	10	9.8	11.8	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

わからない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	61	59.8	71.8	71.8
あり	9	8.8	10.6	82.4
不詳	15	14.7	17.6	100.0
合計	85	83.3	100.0	
欠損値	17	16.7		
合計	102	100.0		

Q 2 1 子どもが 次の 学校に 進むときの 問題は 何ですか。(○はいくつでも)

日本の進学情報にアクセスできない

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	47	46.1	56.6	56.6
あり	9	8.8	10.8	67.5
不詳	27	26.5	32.5	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		

翻訳された進学情報が不足している

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	34	33.3	41.0	41.0
あり	22	21.6	26.5	67.5
不詳	27	26.5	32.5	100.0
合計	83	81.4	100.0	
欠損値	19	18.6		
合計	102	100.0		



農業

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	61	59.8	74.4	74.4
有効	21	20.6	25.6	100.0
合計	82	80.4	100.0	
欠損値	20	19.6		
合計	102	100.0		

専業主婦

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	61	59.8	74.4	74.4
有効	21	20.6	25.6	100.0
合計	82	80.4	100.0	
欠損値	20	19.6		
合計	102	100.0		

学生

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	60	58.8	73.2	73.2
あり	1	1.0	1.2	74.4
有効	21	20.6	25.6	100.0
合計	82	80.4	100.0	
欠損値	20	19.6		
合計	102	100.0		

その他

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
なし	53	52.0	64.6	64.6
あり	7	6.9	8.5	73.2
有効	22	21.6	26.8	100.0
合計	82	80.4	100.0	
欠損値	20	19.6		
合計	102	100.0		

Q23 <sup>こ</sup>子どものことで <sup>こ</sup>困っていることや <sup>やくしよ</sup>役所などに <sup>ねが</sup>お願いがあれば、<sup>した</sup>下に <sup>か</sup>書いてください。

これで <sup>しつもん</sup>質問は <sup>お</sup>終わります。ありがとうございました。



2014年11月7日

東新町団地(県営・公団)にお住まいの皆様へ

## 静岡文化芸術大学は磐田市との 協働により、以下の通り、団地 にお住まいの皆様を対象にした アンケート調査を行います。

ぜひご協力ください。

### ▶いつやるの？

2014年11月11日(火)～25日(火)

### ▶だれが答えるの？

団地にお住まいの16歳以上の方(高校生も含む)

### ▶どうやって答えるの？

大学生が戸別訪問し、アンケート用紙をお届けします。  
(外国人の方には、ポルトガル語、スペイン語、  
英語、やさしい日本語の調査票を用意)  
その数日後に、アンケートを受け取りにまいります。

### ▶何のために調べるの？

調査結果をもとに、多様な文化的背景を持った  
人たちが団地で共に暮らしやすくなるための  
提言をまとめます。

研究代表者：文化政策学部教授 池上重弘



静岡新聞2014年8月2日(金)



7/Nov/2014

For the residents of the TOSHINCHO housing complex (Provincial/KODAN)

## The Shizuoka University of Art and Culture, in cooperation with the Iwata City Office, will administer a questionnaire to the residents of the TOSHINCHO housing complex

We count on your understanding and cooperation.

### ▶When?

From November 11th to 25th, 2014

### ▶Who will answer?

The residents above 16 years (including students of High School/KOKO)

### ▶How to answer?

University students will visit the apartments individually to hand in the questionnaires. (We have prepared questionnaires in Portuguese, Spanish, English and Easy Japanese for foreign residents.) After a few days we will return to collect the questionnaires.

### ▶What is the aim of the research?

Based on the results of the research, we will formulate a recommendation with the aim of further improving the cohabitation of people of different cultural backgrounds living in the housing complex.

Research coordinator: Professor Ikegami Shigehiro



Shizuoka Shimbun  
2/Aug/2014



7/11/2014

Para os moradores do conjunto habitacional TOSHINCHO  
(Provincial/KODAN)

## A Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka, em parceria com a Prefeitura de Iwata, aplicará um questionário aos moradores do conjunto habitacional TOSHINCHO.

Contamos com a sua compreensão e colaboração.

### ▶Quando?

Entre os dias 11 a 25 de novembro de 2014

### ▶Quem irá responder?

Os moradores acima de 16 anos (inclui estudantes do Ensino Médio/KOKO)

### ▶Como responder?

Universitários visitarão os apartamentos individualmente para entregar os questionários. (Para os moradores estrangeiros, preparamos questionários em Português, Espanhol, Inglês e Japonês Fácil.) Depois de alguns dias, retornaremos para coletar os questionários.

### ▶Qual é o objetivo da pesquisa?

Com os resultados da pesquisa, formularemos uma recomendação com o objetivo de melhorar a convivência de pessoas de diversas origens culturais no conjunto habitacional.

Coordenador da pesquisa: Prof. Ikegami Shigehiro



Jornal Shizuoka, 2/8/2014



7/11/2014

Para los moradores del conjunto habitacional TOSHINCHO  
(Provincial/KODAN)

## La Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka, en asociación con la municipalidad de Iwata, aplicará un cuestionario a los moradores del conjunto habitacional TOSHINCHO

Contamos con su comprensión y colaboración.

### ▶¿Cuándo?

Entre los días 11 a 25 de noviembre de 2014

### ▶¿Quién va a responder?

Los moradores que tienen más de 16 años (incluye estudiantes de la secundaria superior/KOKO)

### ▶¿Cómo responder?

Universitarios visitarán los apartamentos individualmente para entregar los cuestionarios. (Para los moradores extranjeros, preparamos cuestionarios en Portugués, Español, Inglés y Japonés Fácil.) Después de algunos días, regresaremos para recoger los cuestionarios.

### ▶¿Cual es el objetivo de la investigación?

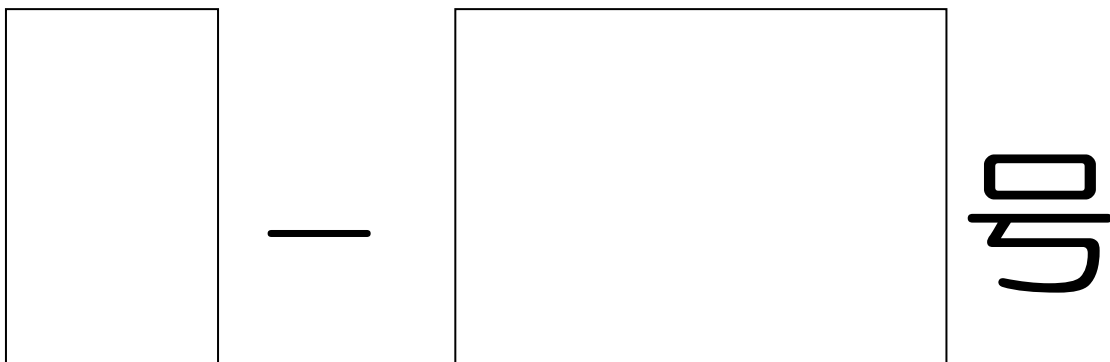
Con base en los resultados de la investigación, formularemos una recomendación con el objetivo de mejorar la convivencia de personas de diversas orígenes culturales en el conjunto habitacional.

Coordinador de la investigación: Prof. Ikegami Shigehiro



Shizuoka Shimbun  
2/8/2014





【日本語】

この調査は、静岡文化芸術大学と磐田市が協働でおこなうものです。  
提出の際は、同封の白い封筒に調査票を入れてご提出ください。  
皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【やさしい日本語】

この調査は、静岡文化芸術大学と磐田市が協力しておこなうものです。  
アンケートを出す時は、白い封筒の中に入れてください。  
みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

【Português】

Esta pesquisa está sendo realizada pela Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka em colaboração com a Prefeitura de Iwata.  
Na hora de entregar o questionário, por favor coloque-o no envelope branco.  
Contamos com a sua compreensão e colaboração.

【Español】

Esta investigación está siendo llevada a cabo por la Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka en asociación con la Municipalidad de Iwata.  
En el momento de entrega del cuestionario, por favor póngalo en el sobre blanco.  
Contamos con su comprensión y colaboración.

【English】

This research is being conducted by the Shizuoka University of Art and Culture in cooperation with the Iwata City Office.  
When submitting the questionnaire, please put it in the enclosed white envelope.  
We count on your understanding and cooperation.

磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 A  
(日本人向け個人調査票)

調査実施：静岡文化芸術大学  
(実施代表者：池上重弘)

調査へのご協力をお願い

1. この調査は、磐田市で特に外国人居住率が高い東新町団地において、住民の生活や意識等を把握し、より良い地域づくりのために団地の管理団体や磐田市に提言することを目的としています。

2. 本調査では、東新町の県営住宅および公団住宅に住む 16 歳以上の方を対象としています。

3. この調査票は個人用です。16 歳以上の方はひとり 1 部お答えください。

4. アンケート回答者のプライバシーを最大限に尊重します。アンケート結果は、統計的に分析されます(「女性で、この設問への回答者は-%」などといった形式で結果は記述されます)ので、分析結果から回答者個人が特定されることはありません。ご回答いただいたアンケートは、静岡文化芸術大学において厳重に管理します。

5. このアンケートの趣旨、内容、回収方法等に関するお問い合わせは、以下にお願いいたします。

静岡文化芸術大学 地域連携室

上田ナナシー直美 電話：053-457-6105

日本語／ポルトガル語／スペイン語／英語

月曜日～金曜日、10:00～17:00

同封のボールペンは回答くださる方へのお礼です。アンケートご記入の際にどうぞご利用ください。

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答方法にとくに指示がない場合、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。
- 鉛筆または黒・青のペン・ボールペンで記入してください。
- 記入終了後、もう一度、記入間違いや記入漏れがないかどうかお確かめください。
- 回答に迷う場合は、あなたのお気持ちやお考えにできるだけ近いものをお選びください。
- 調査票にご記入の後、お届け時の封筒に入れて、調査員が再訪問した際に渡してください。  
11月25日(火)までに調査員が受け取れなかった場合は、お手数ですが、11月30日(日)までに階段ごと、あるいはフロアごとの役員さんのお宅に届けてください。後日、大学側で回収します。

磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 A  
(日本人向け個人調査、2014 年 11 月実施 静岡文化芸術大学)

【1】地域での行事等への参加についておたずねします。

問 1 地域で行われる以下の会合や催しに参加したことがありますか。  
A～K のそれぞれについて、1～3 のいずれかひとつに○をつけてください。

	1 参加したこと がある	2 知っているが 参加したこと はない	3 知らない
A 自治会の会合	1	2	3
B 草刈り	1	2	3
C ごみひろい	1	2	3
D 通学合宿 (6 月)	1	2	3
E キャンプファイヤー (8 月)	1	2	3
F 地区運動会 (9 月第一日曜日)	1	2	3
G 地区祭り (10 月第一土日)	1	2	3
H 地区文化祭 (11 月 3 日)	1	2	3
I 東新横丁 (毎月第 3 日曜日)	1	2	3
J 「こんにちは！」のイベント	1	2	3
K 地域防災訓練 (12 月)	1	2	3

【2】近隣の方々のつきあいの程度についておたずねします。

問 2 団地に住む日本人とのつきあいはどの程度ですか。(○印はひとつ)  
1 まったくつきあいはない 3 ときどき立ち話をする程度  
2 あいさつをする程度 4 一緒に何かしたり相談したりする

問 3 団地に住む外国人とのつきあいはどの程度ですか。(○印はひとつ)  
1 まったくつきあいはない 3 ときどき立ち話をする程度  
2 あいさつをする程度 4 一緒に何かしたり相談したりする

問 4 団地に住む外国人との間に人間関係の壁を感じますか。(○印はひとつ)  
1 とても強く感じる 3 あまり感じない  
2 かなり感じる 4 まったく感じない

問 5 団地に住む外国人と今後どのような関係を持ちたいですか。(○印はひとつ)

- 1 まったく関わりたいくない
- 2 必要最小限のこと以外、なるべく関わりたいくない
- 3 少し関わりを持ってみたい
- 4 もっと積極的に関わってみたい

問 6 団地における外国人の受け入れに関してどのような考えですか。(○印はひとつ)

- 1 一切受け入れるべきではない
- 2 外国人の日本語能力は問わないが、生活ルールの遵守を条件に受け入れられたい
- 3 外国人については一定程度の日本語能力を条件に受け入れられたい
- 4 日本人も外国人も区別なく、同じ入居条件で受け入れられたい

問 7 今後3年以内に東新町団地から引っ越す予定はありますか。(○印はひとつ)

- |          |          |      |
|----------|----------|------|
| 1 大いにある  | 3 あまりない  | 問 9へ |
| 2 ある程度ある | 4 まったくない |      |

問 8 上の問7で「1 大いにある」「2 ある程度ある」と答えた方に、さらにおたずねします。

その場合、引っ越し予定先はどこですか。(○印はひとつ)

- 1 磐田市内の別の地区
- 2 静岡県内の別の市町
- 3 日本国内の他の都道府県
- 4 外国(国名: )
- 5 わからない

【3】外国人とのつきあいにについておたずねします。

問 9 団地以外で外国人とのつきあいはありますか。(○印はひとつ)

- |                  |          |       |
|------------------|----------|-------|
| 1 外国人の友人がいる      | 3 ほとんどない | 問 11へ |
| 2 顔見知り程度のつきあいはある | 4 まったくない |       |

問 10 上の問9で「1」または「2」を選択された方におたずねします。

どのようなところでつきあいがありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 職場や取引先など仕事関係で
- 2 学校で
- 3 子どもを通じた親同士の交流で
- 4 趣味の活動で
- 5 ボランティア活動で
- 6 教会など宗教関連の機会で
- 7 その他( )

問 11 外国人との相互理解を深めるために参加したいものはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 異文化体験講座(各国の伝統芸能や食事などを体験する講座)
- 2 海外の音楽や踊りなどに触れるイベント
- 3 互いの言語を学習する講座
- 4 その他( )

問 12 外国人との相互理解を深めるために地域に必要なことは何ですか。(○印は3つまで)

- 1 日常的にあいさつをする
- 2 差別意識を持たないようにする
- 3 文化や生活習慣の違いについて知る
- 4 地域の交流や活動に参加を呼びかける
- 5 生活する上でのルール等を外国人等に知ってもらう
- 6 その他( )

【4】外国人対象のサービス等についておたずねします。

問 13 以下のサービス等についてご存知ですか。

A～Jのそれぞれについて、1か2のいずれかひとつに○をつけてください。

	1 知っている	2 知らない
A 市役所の外国人情報窓口	1	2
B ボルトガル語版広報いわた	1	2
C 磐田市ホームページ ボルトガル語版	1	2
D 多文化交流センター「こんにちは！」親子遊び(月～金 10時～12時)	1	2
E 「こんにちは！」の学習と遊び(登録制、月～金 14時～17時)	1	2
F 「こんにちは！」の相談・情報提供(日曜午後はボルトガル語対応)	1	2
G 「こんにちは！」の中学生学習支援(水、金の夜)	1	2
H 「こんにちは！」の学び直し	1	2
I 磐田国際交流協会の日本語教室	1	2
J ごみ収集カレンダー-外国語版	1	2

問 14 以下の言葉・考え方についてどの程度ご存知ですか。

A～Cのそれぞれについて、1～4のいずれかひとつに○をつけてください。

	1 よく知っている	2 少しは知っている	3 言葉だけは知っている	4 知らない
A 男女共同参画	1	2	3	4
B ユニバーサルデザイン	1	2	3	4
C 多文化共生	1	2	3	4

【5】最後にあなた自身のことについておたずねします。

問 15 あなたの性別を教えてください。

1. 女性
2. 男性

問 1 6 あなたの年齢はいくつですか。  
( ) 歳

問 1 7 現在あなたはどなたとお住まいですか。あてはまるもの全てに○印をつけてください。

- 1 配偶者 (妻ないし夫)
- 3 親
- 2 子
- 4 その他 ( )

問 1 8 あなたの配偶者 (妻ないし夫) の国籍を教えてください。

- 1 日本
- 4 フィリピン
- 2 ブラジル
- 5 その他 ( )
- 3 ペルー
- 6 二重国籍 ( ) と

問 1 9 磐田市での通算滞在年数は何年になりますか。

( ) 年

問 2 0 この団地での通算滞在年数は何年になりますか。

( ) 年

問 2 1 この団地に住む前はどこに住んでいましたか。(○印はひとつ)

- 1 磐田市内 (この団地を含む)
- 3 静岡県以外の日本国内
- 2 磐田市以外の静岡県内
- 4 外国 ( )

問 2 2 あなたの現在の職業 (職種) は次のどれにあたりますか。(○印はひとつ)

- 1 生産工程・一般作業 (製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者)
- 2 販売・サービス (店主、店員、セールスマン、給仕、接客など)
- 3 事務的職業 (事務員、銀行員など)
- 4 専門職・管理職 (エンジニア、看護師、介護福祉士、ヘルパー、教員、通訳、管理職など)
- 5 農業
- 6 専業主婦
- 7 学生
- 8 その他 (具体的に )

問 2 3 東新町団地の地域づくりについてご意見・ご要望があれば、以下にご自由にお書きください。

これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 B  
(外国人向け個人調査票)

調査実施：静岡文化芸術大学  
(実施代表者：池上重弘)

調査へのご協力をお願い

1. この調査は、磐田市で特に外国人居住率が高い東新町団地において、住民の生活や意識等を把握し、より良い地域づくりのために団地の管理団体や磐田市に提言することを目的としています。
2. 本調査では、東新町の県営住宅およびUR住宅に住む16歳以上の方を対象としています。
3. この調査票は個人用です。16歳以上の方はひとり1部お答えください。調査票は外国語版とやさしい日本語版をお配りしています。内容はいずれも同じです。どちらか答えやすい方で回答してください。
4. アンケート回答者のプライバシーを最大限に尊重します。アンケート結果は、統計的に分析されます(「女性で、この設問への回答者は-％」などといった形式で結果は記述されます)ので、分析結果から回答者個人が特定されることはありません。ご回答いただいたアンケートは、静岡文化芸術大学において厳重に管理します。
5. このアンケートの趣旨、内容、回収方法等に関するお問い合わせは、以下にお願いいたします。

静岡文化芸術大学 地域連携室  
上田ナナシー直美 電話：053-457-6105  
日本語／ポルトガル語／スペイン語／英語  
月曜日～金曜日、10:00～17:00

同封のボールペンは回答くださる方へのお礼です。アンケートご記入の際にどうぞご利用ください。

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答方法にとくに指示がない場合、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。
- 鉛筆または黒・青のペン・ボールペンで記入してください。
- 記入終了後、もう一度、記入間違いや記入漏れがないかどうかお確かめください。
- 回答に迷う場合は、あなたのお気持ちやお考えにできるだけ近いものをお選びください。
- 調査票にご記入の後、お届け時の封筒に入れて、調査員が再訪問した際に渡してください。11月25日(火)までに調査員が受け取れなかった場合は、お手数ですが、11月30日(日)までに階段ごと、あるいはフロアごとの役員さんのお宅に届けてください。後日、大学側で回収します。

磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 B 日本語オリジナル版  
(外国人個人調査、2014年11月実施 静岡文化芸術大学)

【1】最初にあなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。

1. 女性      2. 男性

問2 あなたの年齢はいくつですか。

(      ) 歳

問3 あなたの国籍を教えてください。

- 1 ブラジル      4 日本  
2 ペルー      5 その他 (      )  
3 フィリピン      6 二重国籍 (      ) と

問4 あなたの出生国を教えてください

- 1 ブラジル      4 日本  
2 ペルー      5 その他 (      )  
3 フィリピン

問5 あなたは日系何世ですか。

- 1 1世      4 4世  
2 2世      5 非日系  
3 3世

問6 あなたの在留資格は何ですか。

- 1 永住者      4 永住者の配偶者等  
2 日本人の配偶者等      5 その他の在留資格 (      )  
3 定住者      6 日本国籍

問7 初めて来日したのはいつですか。来日年を記入してください。

日本生まれの方は「日本生まれ」に○をつけてください。

(      ) 年      /      日本生まれ

問8 日本での通算滞在年数は何年になりますか。(数字を記入してください)

(      ) 年

問9 磐田市での通算滞在年数は何年になりますか。(数字を記入してください)

(      ) 年

問 10 この団地（東新町の団地）に住む前はどこに住んでいましたか。

- 1 磐田市内（この団地を含む）
- 2 磐田市以外の静岡県内
- 3 静岡県以外の日本国内
- 4 外国（ ）

問 11 あなたの信仰する宗教は何ですか。

- 1 ローマカトリック
- 2 その他のキリスト教
- 3 イスラーム
- 4 仏教
- 5 その他（ ）
- 6 特定の宗教を信仰していない

問 12 あなたの最終学歴を教えてください。

母国での学歴と日本での学歴の両方について、あてはまるものをひとつずつ答えてください。

母国での学歴 (ブラジル、ペルー、フィリピン等)	日本での学歴
1 母国の学校には通っていない	1 日本の学校には通っていない
2 中学校中退	2 中学校中退
3 中学校卒業	3 中学校卒業
4 高校在学中	4 高校在学中
5 高校中退	5 高校中退
6 高校卒業	6 高校卒業
7 大学・短大・専門学校在学中	7 大学・短大・専門学校在学中
8 大学・短大・専門学校中退	8 大学・短大・専門学校中退
9 大学・短大・専門学校卒業	9 大学・短大・専門学校卒業

問 13 あなたは帰化（日本国籍を取得）する意向はありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ →問 15へ

問 14 上の問 13 で「1 はい」の場合、その理由は何か。

- 1 就職に有利
- 2 日本のパスポートがあると便利
- 3 いつでも自由に日本に戻れる
- 4 その他（ ）

【2】社会との関わりについておたずねします。

問 15 あなたは生活に関する情報をどのように入手していますか。（主なものを5つまで回答可）

- 1 母国語のラジオ・テレビ
- 2 母国語の新聞・雑誌
- 3 エスニックレストラン・スーパーのチラシ
- 4 日本のラジオ・テレビ
- 5 日本の新聞
- 6 日本人の友人からの情報
- 7 同じ国籍の友人からの情報
- 8 自分とは違う国籍の外国人の友人からの情報
- 9 会社からの情報
- 10 市役所の広報紙（日本語版）
- 11 市役所の広報紙（外国語版）
- 12 ICE ニュース
- 13 市役所の日本語 HP
- 14 市役所の外国語 HP
- 15 その他日本の官公庁の外国語 HP
- 16 Facebook
- 17 その他 SNS（Twitter、Line 等）
- 18 いわたホッとライン（日本語版）
- 19 いわたホッとライン（ポルトガル語版）
- 20 その他（ ）

問 16 地域で行われる以下の会合や催しに参加したことがありますか。

A～Kのそれぞれについて、1～3のいずれかひとつに○をつけてください。

	1 参加した ことがある	2 知っている が参加したこと はない	3 知らない
A 自治会の会合	1	2	3
B 草刈り	1	2	3
C ごみひろい	1	2	3
D 通学合宿（6月）	1	2	3
E キャンプファイヤー（8月）	1	2	3
F 地区運動会（9月第一日曜日）	1	2	3
G 地区祭り（10月第一土日）	1	2	3
H 地区文化祭（11月3日）	1	2	3
I 東新横丁（毎月第3日曜日）	1	2	3
J 「こんにちは！」のイベント	1	2	3
K 地域防災訓練（12月）	1	2	3

【3】近隣の方々とのつきあいの程度についておたずねします。

- 問17 団地に住む同国人とのつきあいはどの程度ですか。
- まったくつきあいはない
  - あいさつをする程度
  - ときどき立ち話をする程度
  - 一緒に何かしたり相談したりする
- 問18 団地に住む同国人以外の外国人とのつきあいはどの程度ですか。
- まったくつきあいはない
  - あいさつをする程度
  - ときどき立ち話をする程度
  - 一緒に何かしたり相談したりする
- 問19 団地に住む日本人とのつきあいはどの程度ですか。
- まったくつきあいはない
  - あいさつをする程度
  - ときどき立ち話をする程度
  - 一緒に何かしたり相談したりする
- 問20 団地に住む日本人との間に人間関係の壁を感じますか。
- とても強く感じる
  - かなり感じる
  - あまり感じない
  - まったく感じない
- 問21 団地に住む日本人と今後どのような関係を持ちたいですか。
- まったくかわりたくない
  - 必要最小限のこと以外、なるべくかわりたくない
  - 少しかわりを持ってみたい。
  - もっと積極的にかわってみたい

【4】あなたの日本語の能力についておたずねします。

- 問22 日本語での会話能力について教えてください。
- 日本語での会話はまったくできない
  - 名前や出身地など、簡単な自己紹介ができる
  - 自分の家族や国などについて簡単な質問に答えることができる
  - 買い物をするときに自分の希望や条件を詳しく説明できる
  - 自分の国の教育制度や政治制度を説明できる
- 問23 日本語を読む力について教えてください。
- 日本語はまったく読めない
  - カタカナやひらがなで書かれた国名や都市名を読むことができる
  - ひらがな付きであれば市役所や学校からの通知（お知らせ）を読んで理解できる
  - ひらがななしで市役所や学校からの通知（お知らせ）を読んで理解できる
  - 新聞を読むことができる
- 問24 日本語を書く力について教えてください。
- 日本語はまったく書けない
  - 自分の名前をカタカナで書くことができる
  - 自分の住所を漢字で書くことができる
  - 仕事の伝言メモを、ひらがなやカタカナで書くことができる
  - 仕事の伝言メモを、漢字を含めて書くことができる
- 問25 今後、日本語を学習したいと思いますか。
- ぜひ学習したい
  - 自分の都合にあらう機会があればぜひ学習したい
  - すでに習得しているのでもう十分
  - 時間の余裕がないので学習は無理
  - 日本語はできないが、学ぶ必要を感じない

【5】 あなたの現在の仕事についておたずねします。

- 問26 現在、収入をともなう仕事をしていますか。

1 はい → 以下の問27から順番に答えてください。

2 いいえ → 問37に進んでください。
- 問27 現在の仕事の形態について教えてください。

1 自営業 → 問29へ

2 “ハケン会社”（幹旋業者）を通して働いている → 問29へ

3 “ハケン会社”（幹旋業者）を通さずに働いている
- 問28 上の問27で「3」と答えた方は、どのような雇用形態で働いていますか。

1 期間を定めない正規社員として雇用されている

2 期間を定めた契約社員として雇用されている

3 パート・アルバイト職員として雇用されている

4 その他（ ）
- 問29 現在の仕事についてどのような情報を得ましたか。（あてはまるものすべてに○）

1 家族や親戚を通じて

2 同国人の友人を通じて

3 日本人の友人を通じて

4 ハローワークで

5 民間のあっせん業者を通じて

6 母国語で書かれた新聞や雑誌を見て

7 その他の手段を通じて（具体的に ）
- 問30 現在の仕事はどのくらいの期間続けていますか。（数字を記入してください）

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_ヵ月
- 問31 先月は平均して週に何時間働きましたか。（数字を記入してください）

\_\_\_\_\_時間／週
- 問32 あなたの過去3ヵ月間の平均月給はいくらでしたか。（数字を記入してください）

\_\_\_\_\_円／月

- 問33 現在の仕事はどのような業界ですか。

製造業

1 自動車・バイク関連

2 電機・電子製品関連

3 食品関連

4 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

サービス業

5 運輸・運送

6 飲食・宿泊業

7 販売

8 清掃・警備

9 介護・福祉

10 その他（具体的に\_\_\_\_\_）
- 問34 現在の仕事はどのような職業ですか。

1 生産工程・一般作業（製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者）

2 販売・サービス（店主、店員、セールスマン、給仕、接客など）

3 事務的職業（事務員、銀行員など）

4 専門職・管理職（エンジニア、看護師、介護福祉士、ヘルパー、教員、通訳、管理職など）

5 農業

6 専業主婦

7 学生

8 その他（具体的に\_\_\_\_\_）
- 問35 現在の労働契約の期間はどれくらいですか。

1 1ヵ月

2 2ヵ月

3 3ヵ月

4 6ヵ月

5 1年以上

6 期間の定めはない
- 問36 母国への送金は、1ヵ月平均だとどれくらいですか。

1 していない

2 1万円未満／月

3 1万円以上～3万円未満／月

4 3万円以上～5万円未満／月

5 5万円以上／月





【9】配偶者との関係についておたずねします。

問46 あなたは現在、結婚していますか。

- 1 独身 → 問54へ
- 2 結婚している
- 3 離別
- 4 死別

「2」、「3」、「4」に回答した人は、以下の問47～問53に回答してください。  
離別や死別した方は、もっとも最近の結婚についてお答えください。

問47 公的な結婚の届を出しましたか。

- 1 届け出をした
- 2 届け出をしていない

問48 あなたはどこで結婚しましたか。

- 1 日本
- 2 外国 (国名： )

問49 一緒に暮らし始めて何年くらいになりますか。(数字を記入してください)  
( ) 年

問50 夫婦の初婚・再婚の別についてお知らせください。

- 1 夫・妻ともに初婚
- 2 夫は初婚、妻は再婚
- 3 夫は再婚、妻は初婚
- 4 夫・妻ともに再婚

問51 配偶者の国籍をお知らせください。

- 1 ブラジル
- 2 ベルー
- 3 フィリピン
- 4 日本
- 5 その他 ( )
- 6 二重国籍 ( と )

問52 現在のあなた自身のご両親についてうかがいます。

	自分の父親	自分の母親
状況	1 死去 2 健在	1 死去 2 健在
年齢	( ) 歳	( ) 歳
あなたの住まいからの時間 (よく使う交通手段でかかる時間を答え てください)	1 同居 2 15分未満 3 15～30分未満 4 30～60分未満 5 1～3時間未満 6 3時間以上 (日本国内) 7 国外	1 同居 2 15分未満 3 15～30分未満 4 30～60分未満 5 1～3時間未満 6 3時間以上 (日本国内) 7 国外

問53 現在のあなたの配偶者のご両親についてもうかがいます。

	配偶者の父親	配偶者の母親
状況	1 死去 2 健在	1 死去 2 健在
年齢	( ) 歳	( ) 歳
あなたの住まいからの時間 (よく使う交通手段でかかる時間を答え てください)	1 同居 2 15分未満 3 15～30分未満 4 30～60分未満 5 1～3時間未満 6 3時間以上 (日本国内) 7 国外	1 同居 2 15分未満 3 15～30分未満 4 30～60分未満 5 1～3時間未満 6 3時間以上 (日本国内) 7 国外

【10】困った時に相談する人、頼りにする人についておたずねします。

問54 次の1～7のような時、これまでだれ（どこ）に相談したり手助けを頼んだりしましたか。  
優先順位の高い順に2つまで、下の選択肢から選んで答えてください。

選択肢	
1. 経験が無い	12. 教会の人
2. 誰にも頼らない、一人で解決する	13. 母国にいる親戚・知り合い
3. 配偶者	14. 同国人の同僚・友人
4. あなたの親	15. 日本人の同僚・友人
5. 配偶者の親	16. 保育園や学校の先生
6. あなたのきょうだい	17. “ハケン会社”の担当者
7. 配偶者のきょうだい	18. 市役所の窓口
8. あなたの子ども	19. 多文化交流センターのスタッフ
9. その他の親戚	20. その他
10. 同じ団地に住む同国人	21. 頼る人がいない
11. 同じ団地に住む日本人	

回答例：

経済的に困ったとき、一番頼りにするのが自分の親で、二番目に頼りにするのが自分のきょうだいである場合は、選択肢リストを参考に以下のように回答してください。

- |   |                                     |          |          |
|---|-------------------------------------|----------|----------|
| 1 | 経済的に困ったとき、頼りにする（した）のはどれですか。         | 1 位（ 3 ） | 2 位（ 5 ） |
| 1 | 経済的に困ったとき、頼りにする（した）のはどれですか。         | 1 位（ ）   | 2 位（ ）   |
| 2 | 夫婦間で問題があるとき、相談する（した）のはどれですか。        | 1 位（ ）   | 2 位（ ）   |
| 3 | 自分や子どもが病気になったとき、頼りにする（した）のはどれですか。   | 1 位（ ）   | 2 位（ ）   |
| 4 | 出産や育児で困ったとき、だれに相談しますか（しましたか）。       | 1 位（ ）   | 2 位（ ）   |
| 5 | あなたが働きに出ているとき、子どもの世話をする（した）のはどれですか。 | 1 位（ ）   | 2 位（ ）   |
| 6 | 子どもの友人問題で困ったとき、だれに相談しますか（しましたか）。    | 1 位（ ）   | 2 位（ ）   |
| 7 | 子どもの教育・進路を決めるとき、相談する（した）のはどれですか。    | 1 位（ ）   | 2 位（ ）   |

【11】健康状態や心配事についておたずねします。

問55 あなた現在の健康状態はいかがですか。

- 1 とても良い  
2 まあ良い  
3 普通  
4 あまり良くない  
5 悪い

問56 あなたは、この1年の間に悩み事やストレスを感じたことはありましたか。

- |   |          |   |        |
|---|----------|---|--------|
| 1 | まったくなかった | 3 | たまにあった |
| 2 | あまりなかった  | 4 | よくあった  |

問57 上の問56で「3」、「4」の場合、どのような事柄が原因ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 家庭問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病など）
- 2 健康問題（自分の病気の悩み、身体への悩みなど）
- 3 経済問題（倒産、事業不振、借金、失業など）
- 4 勤務問題（転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働など）
- 5 男女問題（失恋、夫婦関係、結婚をめぐる悩みなど）
- 6 学校問題（いじめ、学業不振、教師との人間関係など）
- 7 その他（

問58 困っていることや行政に望むことがあれば、以下に自由に書いてください。

\* 個別のヒアリング調査に応じてもよいという方は、以下の情報をお知らせください。  
ヒアリングをお願いする場合、12月末までにこちらから連絡を入れます。

氏 名 : \_\_\_\_\_  
 部屋番号 : \_\_\_\_\_  
 電話番号 : \_\_\_\_\_  
 都合のいい曜日、時間帯 : \_\_\_\_\_



Q 8 あなたは 何年 日本に 住んでいますか。(数字を 書いてください)

( ) 年

Q 9 あなたは 何年 磐田市に 住んでいますか。(数字を 書いてください)

( ) 年

Q 10 東新町団地に 住む前は、どこに 住んでいましたか。

- 磐田市の 他の 場所 (この団地も入る)
- 磐田市ではないが、静岡県の 他の 市町
- 静岡県ではないが、日本の 他の 県
- 外国 ( )

Q 11 あなたの 宗教を 教えてください。

- ローマカトリック
- その他の キリスト教
- イスラーム
- 仏教
- その他 ( )
- 決まった宗教は ない

Q 12 あなたが 一番 最後に 通った 学校について 教えてください。あなたの国と 日本で 一番 最後に 通った 学校を ひとつずつ 選んでください。

あなたの国で 最後に 通った 学校	日本で 最後に 通った 学校
1 私の国の 学校には 通っていない	1 日本の 学校には 通っていない
2 中学校が 終わる前に やめた	2 中学校が 終わる前に やめた
3 中学校を 卒業した	3 中学校を 卒業した
4 高校に 通っている	4 高校に 通っている
5 高校が 終わる前に やめた	5 高校が 終わる前に やめた
6 高校を 卒業した	6 高校を 卒業した
7 大学・専門学校に 通っている	7 大学・専門学校に 通っている
8 大学・専門学校が 終わる前に やめた	8 大学・専門学校が 終わる前に やめた
9 大学・専門学校を 卒業した	9 大学・専門学校を 卒業した

Q 13 あなたは 日本の 国籍を 取りたいと 思いますか。

1 はい 2 いいえ → Q 15に 行ってください

Q 14 「1 はい」と 答えた 理由を 教えてください。(Oは いくつでも)

- 仕事を 見つけるときに 役に立つ
- 日本の パスポートが あると 便利
- いつでも 自由に 日本に 帰れる
- その他 ( )

【2】社会との つながりについての 質問です。

Q 15 あなたは 生活の 情報を どうやって 手に 入れますか。(Oは 5つまで)

- 私の 国の 言葉の ラジオ・テレビ
- 私の 国の 言葉の 新聞・雑誌
- 私の 国の 人が やっている レストランや スーパーにある チラシ
- 日本の ラジオ・テレビ
- 日本の 新聞
- 日本人の 友達から 教えてもらう
- 同じ 国の 友達から 教えてもらう
- 私とは 違う 国の 友達から 教えてもらう
- 会社から 教えてもらう
- 市役所からの お知らせ (日本語で 書かれているもの)
- 市役所からの お知らせ (外国語で 書かれているもの)
- ICE ニュース
- 市役所の 日本語で 書かれている ホームページ
- 市役所の 外国語で 書かれている ホームページ
- その他の 日本の 役所の 外国語で 書かれている ホームページ
- Facebook
- その他の SNS (Twitter、Line など)
- いわたのホッとライン (日本語で 書かれているもの)
- いわたのホッとライン (ポルトガル語で 書かれているもの)
- その他 ( )

Q 16 あなたが住んでいる町でやる集まりやイベントに行ったことがありませんか。  
A～Kのそれぞれについて、1～3のどれか ひとつに Oを つけてください。

	1 行ったことがある	2 知っているけど、行ったことはない	3 知らない
A 自治会の集まり	1	2	3
B くさかり	1	2	3
C ごみひろい	1	2	3
D 通学 合宿 (6月)	1	2	3
E キャンプ ファイヤー (8月)	1	2	3
F 運動会 (9月)	1	2	3
G お祭り (10月)	1	2	3
H 文化祭 (11月)	1	2	3
I 東新横丁	1	2	3
J 「こんにちは！」のイベント	1	2	3
K 防災訓練 (12月)	1	2	3

【3】近くに 住んでいる 人たちの つきあひについての 質問です。

Q 17 団地に 住んでいる 同じ 国の 人との つきあひは どのくらいですか。

- 1 全然 つきあっていない
- 2 あいさつをする くらい
- 3 ときどき 立ったままで 話を する くらい
- 4 一緒に 何かする、相談する

Q 18 団地に 住んでいる 他の 国の 人との つきあひは どのくらいですか。

- 1 全然 つきあっていない
- 2 あいさつをする くらい
- 3 ときどき 立ったままで 話を する くらい
- 4 一緒に 何かする、相談する

Q 19 団地に 住んでいる 日本人との つきあひは どのくらいですか。

- 1 全然 つきあっていない
- 2 あいさつをする くらい
- 3 ときどき 立ったままで 話を する くらい
- 4 一緒に 何かする、相談する

Q 20 団地に 住んでいる 日本人との 間に 人と 人との 関係の 壁を 感じますか。

- 1 とても 強く 感じる
- 2 たくさん 感じる
- 3 あまり 感じない
- 4 全然 感じない

Q 21 団地に 住んでいる 日本人と これから どのような 関係を 持ちたいですか。

- 1 全然 関係を 持ちたくない
- 2 必要でなければ、関係を 持ちたくない
- 3 少しだけ 関係を 持ってみたい
- 4 もっと たくさん 関係を 持ってみたい

【4】あなたの 日本語能力についての 質問です。

Q 22 あなたは 日本語で どのくらい 話せますか。

- 1 日本語では 全然 話せない
- 2 名前や 生まれた 国などの 話が できる
- 3 家族や 国などの 質問に 答えられる
- 4 買い物をするときに 私の ほしいものの 説明が できる
- 5 私の 国の 教育や 政治について 話すことが できる

Q 23 あなたは 日本語で どのくらい 読めますか。

- 1 日本語では 全然 読めない
- 2 カタカナや ひらがなで 書かれた 国や 都市の 名前が 読める
- 3 ひらがなが ついていければ、市役所や 学校からの お知らせが 読める
- 4 ひらがなが ついていなくても、市役所や 学校からの お知らせが 読める
- 5 新聞が 読める

Q 24 あなたは 日本語で どのくらい 書けますか。

- 1 日本語では 全然 書けない
- 2 私の 名前を カタカナで 書ける
- 3 私の 住所を 漢字で 書ける
- 4 仕事で 人から 言われたことを ひらがなや カタカナで 書ける
- 5 仕事で 人から 言われたことを 漢字でも 書ける

Q 25 あなたは これから 日本語を 勉強したいと 思いますか。

- 1 とても 勉強したい
- 2 いい 機会があれば、とても 勉強したい
- 3 日本語は もう勉強したので 今のままで いい
- 4 時間が ないので、勉強が できない
- 5 日本語は できないけど、勉強を しなくても いい と思う

【5】あなたの 今の 仕事についての 質問です。

Q 26 あなたは、今、仕事を していますか。

- 1 はい → 次の Q 27 から 答えてください
- 2 いいえ → Q 37 に 行ってください

Q 27 今の あなたの 仕事の 形は 次の どれですか。

- 1 私の 店を 持っている → Q 29 に 行ってください
- 2 “ハケン会社”を通して、働いている → Q 29 に 行ってください
- 3 “ハケン会社”は 通さないで、働いている

Q 28 上の Q 27 で、「3」と 答えた 人は どのような 契約で 働いていますか。

- 1 期間が 決まっている 正規社員として 働いている
- 2 期間が 決まっている 契約社員として 働いている
- 3 パート・アルバイトとして 働いている
- 4 その他 ( )

Q 29 今の 仕事は どうやって 見つめましたか。(Oは いくつでも)

- 1 家族や 親せきに 教えてもらった
- 2 同じ 国の 友達に 教えてもらった
- 3 日本人の 友達に 教えてもらった
- 4 ハローワークに 行った
- 5 ハケン会社を 通して
- 6 私の 国の 言葉で 書かれている 新聞や 雑誌で 見つけた
- 7 その他 (どこ・どうやって: )

Q 30 今の 仕事は 何年くらい 続けていますか。(数字を 書いてください)

年 月 日

Q 31 前の 月は 平均して、1 週間に 何時間 働きましたか。(数字を 書いてください)

時間/週

Q 32 あなたの 前の 3ヶ月間の 給料の 平均は 月に いくらくらいでしたか。  
(数字を 書いてください)

円/月

Q 33 今の 仕事は 何に 関係していますか。

ものを つくる 仕事

- 1 自動車・バイクなどを つくる
- 2 電気に 関係するものを つくる
- 3 食べものを つくる
- 4 その他 ( )

サービスをする 仕事

- 5 ものや 人を 運ぶ
- 6 レストランや ホテルなどで 働く
- 7 ものを 売る
- 8 掃除をする、ガードマン
- 9 お年よりや 子どもの 世話を する
- 10 その他 ( )

- Q34 今の仕事の内容は、何ですか。
- 1 ものをつくる・作業する(つくる、直す、運ぶ、家をたてる、工事を する)
  - 2 ものを売る・サービスする(店を持つ、店で働く、ものを売る、人を世話する)
  - 3 事務に 関係する(事務所で働く、銀行で働く など)
  - 4 専門の仕事・人の 管理をする(エンジニア、看護師、介護福祉士、ヘルパー、先生、通訳、人の 管理をする など)
  - 5 田畑で 植物(米や 野菜など)をとる
  - 6 主婦(家で 家事をする)
  - 7 学生
  - 8 その他( )

Q35 今の仕事の労働契約(働く期間の約束)は どのくらいですか。

- 1 1ヶ月
- 2 2ヶ月
- 3 3ヶ月
- 4 6ヶ月
- 5 1年より 上
- 6 期間は 決まっていない

Q36 あなたの国へ1ヶ月 平均して お金を いくくらい 送って いますか。

- 1 お金は 送っていない
- 2 1万円より 下/月
- 3 1万円より 上～3万円より 下/月
- 4 3万円より 上～5万円より 下/月
- 5 5万円より 上/月

【6】あなたが 日本に 来て はじめてした 仕事についての 質問です。

Q37 あなたが 日本に 来て はじめて やった 仕事の 形は 次の どれですか。

- 1 一人で 私の 店を 開いた → Q39に 行ってください
- 2 “ハケン会社”を通して、働いた → Q39に 行ってください
- 3 “ハケン会社”を 通さないで、働いた → Q38に 行ってください

Q38 前の Q37で「3」と 答えた 人は どのような 契約で 働きましたか。

- 1 期間が 決まっていない 正規社員として 働いた
- 2 期間が 決まっている 契約社員として 働いた
- 3 パート・アルバイトとして 働いた
- 4 その他( )

Q39 日本に 来て、はじめて やった 仕事は どうやって 見つけましたか。

(Oは いくつでも)

- 1 家族や 親せきに 教えてもらった
- 2 同じ 国の 友達に 教えてもらった
- 3 日本人の 友達に 教えてもらった
- 4 ハローワークに 行った
- 5 ハケン会社を通して
- 6 私の 国の 言葉で 書かれている 新聞や 雑誌で 見つけた
- 7 その他(どこ・どうやって: )

Q40 日本に 来て はじめて やった 仕事は 何に 関係して いましたか。

ものをつくる 仕事

- 1 自動車・バイクなどをつくる
- 2 電気に 関係するものをつくる
- 3 食べものをつくる
- 4 その他( )

サービスをする 仕事

- 5 ものや 人を 運ぶ
- 6 レストランや ホテルなどで 働く
- 7 ものを 売る
- 8 掃除をする、ガードマン
- 9 お年よりや 子どもの 世話を する
- 10 その他( )



Q 4 4 前のQ 4 3で「1 すごくある」、「2 少しだけある」と 答えた 人は、どこに  
行く 予定ですか。

- 1 霧田市の 他の 場所 ( )  
2 静岡県の 他の 市町 ( )  
3 日本の 他の 県 ( )

Q 4 5 これから 日本で どのくらい 住む 予定ですか。

- 1 日本に 永住する 予定  
2 10年より 長い  
3 3年より 長い ~ 10年よりは 短い  
4 1年より 長い ~ 3年より 短い  
5 1年より 短い  
6 わからない

【9】結婚している 相手との 関係についての 質問です。

Q 4 6 あなたは、今、結婚していますか。

- 1 結婚していない → Q 5 4へ 行ってください

- 2 結婚している  
3 結婚した 相手と 別れた  
4 結婚した 相手が 亡くなった

「2」、「3」、「4」と 答えた 人は 下の Q 4 7 ~ Q 5 3を 答えてください。  
「3」、「4」と 答えた 人は 一番 近い 結婚について 教えてください。

Q 4 7 あなたは 結婚の 届 (お知らせ) を 役所などに 出しましたか。

- 1 出した  
2 出さなかった

Q 4 8 あなたは どこで 結婚を しましたか。

- 1 日本  
2 外国 (国の名前: )

Q 4 1 日本に 来て はじめて やった 仕事の 内容は 何でしたか。

- 1 ものを つくる・作業する (つくる、直す、運ぶ、家を たてる、工事を する)  
2 ものを 売る・サービスする (店を 持つ、店で 働く、ものを 売る、人を 世話する)  
3 事務に 関係する (事務所で 働く、銀行で 働く など)  
4 専門の 仕事・人の 管理を する (エンジニア、看護師、介護福祉士、ヘルパー、先生、通訳、人の 管理をする など)

- 5 田畑で 植物 (米や 野菜など) を とる  
6 主婦 (家の 家事をする)  
7 学生  
8 その他 ( )

【7】あなたが 日本に 来る 前に やっていた 仕事についての 質問です。

Q 4 2 日本に 来る 前は あなたの 国で どんな仕事を していましたか。

- 1 ものを つくる・作業する (つくる、直す、運ぶ、家を たてる、工事を する)  
2 ものを 売る・サービスする (店を 持つ、店で 働く、ものを 売る、人を 世話する)  
3 事務に 関係する (事務所で 働く、銀行で 働く など)  
4 専門の 仕事・人の 管理を する (エンジニア、看護師、介護福祉士、ヘルパー、先生、通訳、人の 管理をする など)

- 5 田畑で 植物 (米や 野菜など) を とる  
6 主婦 (家の 家事をする)  
7 学生  
8 その他 ( )

【8】これから 違う 町に 住む、国へ 帰る 予定についての 質問です。

Q 4 3 これから 3年の 間に、東新町団地から 引っ越す 予定は ありますか。

- 3 あまりない  
4 全然ない

Q 4 4へ 行ってください

Q 4 9 結婚した 相手と 何年 一緒に 住んでいますか。(数字を 書いてください)

( ) 年

Q 5 0 今の 結婚は 何回目ですか。

- 1 夫も妻も はじめての 結婚  
2 夫は はじめての 結婚、妻は 2回目より 上の 結婚  
3 夫は 2回目より 上の 結婚、妻は はじめての 結婚  
4 夫も妻も 2回目より 上の 結婚

Q 5 1 結婚した 相手の 国籍を 教えてください。

- 1 ブラジル 4 日本  
2 ベルレー 5 その他 ( )  
3 フィリピン 6 二つの 国籍 ( ) と

Q 5 2 あなたの 親の 今の 様子について 教えてください。

	わたしの 父	わたしの 母
	1 亡くなった 2 生きている	1 亡くなった 2 生きている
何歳ですか。	( ) 歳	( ) 歳
あなたの 家からの 時間は どのくらい ですか。 (よく 行く 方法で かかる 時間を 教えてください)	1 一緒に 住んでいる 2 15分より 下 3 15～30分 4 30～60分 5 1～3時間 6 3時間より 上 (日本の中) 7 外国にいる	1 一緒に 住んでいる 2 15分より 下 3 15～30分 4 30～60分 5 1～3時間 6 3時間より 上 (日本の中) 7 外国にいる

Q 5 3 今の あなたの 結婚している 相手の 親の 様子について 教えてください。

	結婚している 相手の 父	結婚している 相手の 母
	1 亡くなった 2 生きている	1 亡くなった 2 生きている
何歳ですか。	( ) 歳	( ) 歳
あなたの 家からの 時間は どのくらい ですか。 (よく 行く 方法で かかる 時間を 教えてください)	1 一緒に 住んでいる 2 15分より 下 3 15～30分 4 30～60分 5 1～3時間 6 3時間より 上 (日本の中) 7 外国にいる	1 一緒に 住んでいる 2 15分より 下 3 15～30分 4 30～60分 5 1～3時間 6 3時間より 上 (日本の中) 7 外国にいる

【10】困ったときに 相談する人、助けを お願いする 人についての 質問です。

Q 5 4 下の A～Gのようなとき、これまで 誰 (どこ) に 相談したり、助けてもらったり しましたか。次の 1～21の 中から 2つまで 選んでください。

相談する・助けを お願いする人 (場所)	
1. 経験が ない	12. 教会の 人
2. 相談しない、一人で 何とかする	13. 私の 国に いる 親せき・友達
3. 結婚している 相手	14. 同じ 国の 友達
4. 私の 親	15. 日本人の 友達
5. 結婚している 相手の 親	16. 保育園や 学校の 先生
6. 私の きょうだい	17. “ハケン会社”の 担当の 人
7. 結婚している 相手の きょうだい	18. 市役所に行く
8. 私の 子ども	19. 多文化交流センターの 人
9. その他の 家族	20. その他
10. 同じ 団地に 住む 同じ 国の 人	21. 相談できる 人が いない
11. 同じ 団地に 住む 日本人	

こた きた べい かい こと ばん たす ねが おや  
答え方(例)：お金に 困ったとき、1番に 助けを お願いするのが あなたの 親で、  
2番目に お願いするのが あなたの きょうだいなら、下のよう に 書いてください。

こま たす ねが  
1 お金に 困ったとき、助けを お願いする(した) のは 誰ですか。  
1番 ( 4 ) 2番 ( 6 )

- 1 お金に 困ったとき、助けを お願いする(した) のは 誰ですか。  
おつと つま あいだ もんだい ねが だれ  
1番 ( ) 2番 ( )
- 2 夫と 妻の 間で 問題が あるとき、相談する(した) のは 誰ですか。  
おつと つま ねが だれ  
1番 ( ) 2番 ( )
- 3 あなたの 子どもが 病気に なったとき、助けを お願いする(した) のは 誰ですか。  
おつと つま ねが だれ  
1番 ( ) 2番 ( )
- 4 子どもを 産んだときや 世話することで 困ったとき、誰に 相談しますか(しましたか)。  
おつと つま ねが だれ  
1番 ( ) 2番 ( )
- 5 あなたが 働いているとき、子どもの 世話を する(した) のは 誰ですか。  
おつと つま ねが だれ  
1番 ( ) 2番 ( )
- 6 子どもの 友達の問題で 困ったとき、誰に 相談しますか(しましたか)。  
おつと つま ねが だれ  
1番 ( ) 2番 ( )
- 7 子どもの 教育や 次の 学校のことを 決めるとき、相談する(した) のは 誰ですか。  
おつと つま ねが だれ  
1番 ( ) 2番 ( )

【11】あなたの 健康や、心配していることについての 質問です。

Q55 あなたの 今の 健康(体)の 状態は どうですか。

- 1 とてもよい 4 あまりよくない  
2 まあよい 5 わるい  
3 ふつう

Q56 あなたは この1年の 間に 悩みや ストレスを 感じましたか。

- 1 全然 感じなかった  
2 あまり 感じなかった

3 たまに 感じた  
4 たくさん 感じた

Q57へ 行ってください

まえ こと ひと りゆう おし  
Q57 前の Q56で「3」、「4」と答えた人は 理由を 教えてください。(Oはいくでも)

- 1 家族の問題(家族の 仲がよくない、子どもの 世話、家族の 世話 など)  
かぞく もんだい かぞく なか せわ こ せわ かぞく せわ
- 2 健康の問題(私の 病気の 体 悩み など)  
けんこう もんだい わたし びやうき たい かね しごと
- 3 お金の問題(会社が つぶれた、お金を 借りた、仕事が なくなった など)  
かね もんだい かいや つかぬ かね かり かね しごと
- 4 仕事の問題(仕事を 変えた、仕事の 人との 関係がよくない、長い時間 働く など)  
しごと もんだい しごと ひと かんけい なが じかん はたら
- 5 男女の問題(失恋、夫と 妻の 関係、結婚に 関係する 悩み など)  
おんな ひと もんだい しふれん ふうと つま かんけい けっこん かんけい かね
- 6 学校の問題(いじめ、勉強が うまく いかない、先生との 関係がよくない など)  
がっこう もんだい いじめ べんきやう せんせい かんけい
- 7 その他 ( )  
ほか

こま やくしよ ねが した か  
Q58 あなたが 困っていることや 役所などに お願いがあれば、下に 書いてください。

\*ヒアリング 調査(調査する人と 会って、話を する)に 答えても いいと 思う人は  
した じやうほう ちやうき ちやうき ひと せわ こと せわ おも ひと  
下の 情報を 教えてください。12月の 終わりに 大学の 人が 電話を かけます。

なまえ  
名前： \_\_\_\_\_  
へ や ばんごう  
部屋の 番号： \_\_\_\_\_  
でんわ ばんごう  
電話 番号： \_\_\_\_\_  
はなし じやうび じかん  
話 ができる 曜日、時間： \_\_\_\_\_

(B) Questionário sobre a vida cotidiana no  
Conjunto Habitacional Toshincho da Cidade de Iwata  
(Pesquisa Individual / Estrangeiros)

Realização: Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka  
(Coordenador da pesquisa: Shigehiro Ikegami)

Solicitação de colaboração para a pesquisa

1. A pesquisa tem como objetivo compreender a vida cotidiana e a opinião dos moradores do conjunto habitacional Toshincho. Com base nos resultados, formularemos **uma recomendação que será entregue às entidades administrativas do conjunto habitacional e à Prefeitura de Iwata** para o fortalecimento do desenvolvimento da região.
2. O público-alvo desta pesquisa são **todos os moradores do conjunto habitacional Toshincho – provincial e kodan – acima de 16 anos**.
3. Este questionário é individual. Pedimos que cada pessoa acima de 16 anos responda um questionário. **Estamos distribuindo os questionários em línguas estrangeiras e japonês fácil, mas o conteúdo é o mesmo.** Responda no idioma que achar mais fácil.
4. Respeitamos ao máximo a privacidade dos respondentes. Os resultados serão analisados estatisticamente (“neste item, x% das mulheres...”), por isso **os respondentes não serão identificados individualmente a partir dos resultados**. A Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka guardará rigorosamente os questionários respondidos.
5. Para mais informações sobre o objetivo, conteúdo e método de coleta do questionário:  
Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka – Divisão de Relações Comunitárias  
Nancy Naomi Ueda Tel. 053-457-6105 - Segunda a Sexta das 10:00 às 17:00  
Atendimento em japonês, português, espanhol e inglês

A caneta confida no envelope é um agradecimento por favor utilize-a na hora de responder.

[Instruções para preenchimento]

- **Caso não haja nenhuma especificação na pergunta, circule apenas uma alternativa correspondente.**
- Preencha com lápis ou caneta preta/azul.
- Após terminar, verifique se não há erro de preenchimento ou item sem resposta.
- Em caso de dúvida, escolha a alternativa que mais reflete seus sentimentos ou opiniões.
- Após o preenchimento do questionário, coloque-o no envelope em que foi distribuído e entregue aos pesquisadores quando eles retornarem ao conjunto habitacional. Caso o questionário não seja recolhido até o dia **25 de novembro** (terça-feira), leve-o até a residência do representante da sua escada ou andar até o dia **30 de novembro** (domingo). A universidade irá recolhê-los posteriormente.

(B) Questionário sobre a vida cotidiana no  
Conjunto Habitacional Toshincho da Cidade de Iwata

(Pesquisa Individual/Estrangeiros - Novembro de 2014 - Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka)

[1] DADOS PESSOAIS

1-Sexo: 1 Feminino 2 Masculino

2-Idade: ( ) anos

3-Qual é a sua nacionalidade?

- |   |            |   |             |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | Brasileira | 4 | Japonesa    |
| 2 | Peruana    | 5 | Outra ( )   |
| 3 | Filipina   | 6 | Dupla ( e ) |

4-Qual é o seu país de nascimento?

- |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | Brasil    | 4 | Japão     |
| 2 | Peru      | 5 | Outro ( ) |
| 3 | Filipinas |   |           |

5-Qual é o seu grau de descendência japonesa?

- |   |            |   |                                |
|---|------------|---|--------------------------------|
| 1 | 1ª geração | 4 | 4ª geração                     |
| 2 | 2ª geração | 5 | Não sou descendente de japonês |
| 3 | 3ª geração |   |                                |

6-Que tipo de visto você possui?

- |   |                          |   |                                       |
|---|--------------------------|---|---------------------------------------|
| 1 | Permanente               | 4 | Cônjuge/filho de residente permanente |
| 2 | Cônjuge/filho de japonês | 5 | Outro tipo de visto ( )               |
| 3 | Residente                | 6 | Tenho nacionalidade japonesa          |

7-Em que ano você veio ao Japão pela primeira vez?

- |   |                   |   |                |
|---|-------------------|---|----------------|
| 1 | Vim no ano de ( ) | 2 | Nasci no Japão |
|---|-------------------|---|----------------|

8-No total, há quanto tempo você mora no Japão? (Preencha o número de anos)

Moro há ( ) anos

9-No total, há quanto tempo você mora na Cidade de Iwata?

(Preencha o número de anos)

Moro há ( ) anos

10- Onde você morava antes de se mudar para este conjunto habitacional?

- 1 Em outro lugar dentro da cidade de Iwata (inclui este conjunto habitacional)
- 2 Em outra cidade, dentro da Província de Shizuoka
- 3 Em outra província no Japão, sem ser Shizuoka
- 4 No exterior (País: )

11- Qual é a sua religião?

- 1 Catolicismo
- 2 Outra religião cristã
- 3 Islamismo
- 4 Budismo
- 5 Outra ( )
- 6 Não sigo nenhuma religião específica

12- Qual é o seu nível de escolaridade? Escolha uma alternativa sobre o seu nível de escolaridade tanto no Brasil como no Japão. Se você nunca foi à escola no Brasil, ou no Japão, circule a alternativa 1 “Não frequentei escolas no Brasil (ou no Japão)”.

Escolaridade no Brasil		Escolaridade no Japão	
1 Não frequentei escolas no Brasil		1 Não frequentei escolas no Japão	
2 Ensino Fundamental (Ginásio) Incompleto		2 CHUGAKKO Incompleto	
3 Ensino Fundamental (Ginásio) Completo		3 CHUGAKKO Completo	
4 Estou cursando o Ensino Médio		4 Estou cursando o KOKO	
5 Ensino Médio (Colegial) Incompleto		5 KOKO Incompleto	
6 Ensino Médio (Colegial) Completo		6 KOKO Completo	
7 Estou cursando Universidade/ Faculdade de Curta Duração/ Escola Profissionalizante		7 Estou cursando DAIGAKU/ TANKI-DAIGAKU/ SENMON-GAKKOU	
8 Estou cursando Universidade/ Faculdade de Curta Duração/ Escola Profissionalizante	Incompleto	8 DAIGAKU/ TANKI-DAIGAKU/ SENMON-GAKKOU	Incompleto
9 Estou cursando Universidade/ Faculdade de Curta Duração/ Escola Profissionalizante	Completo	9 DAIGAKU/ TANKI-DAIGAKU/ SENMON-GAKKOU	Completo

13- Você tem a intenção de se naturalizar japonês (obter a nacionalidade japonesa)?

- 1 Sim
- 2 Não
- Vá para a questão número 15

14- Qual é o motivo de você ter respondido “sim” na pergunta anterior?

(Circule todas as alternativas correspondentes)

- 1 É vantajoso no emprego
- 2 É prático ter o passaporte japonês
- 3 Posso voltar ao Japão livremente sempre que quiser
- 4 Outro ( )

[2] QUESTÕES SOBRE O CONTEXTO SOCIAL

15- Como você obtem informações relacionadas ao dia a dia? (Circule até 5 alternativas)

- 1 Rádio e televisão em português
- 2 Jornais e revistas em português
- 3 Panfletos em restaurantes e supermercados brasileiros
- 4 Rádio e televisão japonesa
- 5 Jornais japoneses
- 6 Informações de amigos japoneses
- 7 Informações de amigos brasileiros
- 8 Informações de amigos de outras nacionalidades
- 9 Informações da empresa onde trabalho
- 10 Boletim Informativo da Prefeitura (em japonês)
- 11 Boletim Informativo da Prefeitura (em português)
- 12 ICE news
- 13 Site eletrônico da Prefeitura (em japonês)
- 14 Site eletrônico da Prefeitura (em português)
- 15 Site eletrônico de outras repartições públicas do Japão (em japonês)
- 16 Facebook
- 17 Outras redes sociais (Twitter, Line, etc)
- 18 Iwata Hot Line (em japonês)
- 19 Iwata Hot Line (em português)
- 20 Outros ( )

16- Você já participou das reuniões e eventos que ocorrem na sua região?

Para cada um dos itens de A a K abaixo, circule uma alternativa de 1 a 3.

	1- Participei	2- Conheço, mas nunca participei	3- Não conheço
A Reunião da Associação de Moradores	1	2	3
B Capinação	1	2	3
C Mutirão de limpeza	1	2	3
D Acampamento escolar	1	2	3
E Fogueira	1	2	3
F Festival Esportivo da região (TAIIKUSAI)	1	2	3
G Festival da região (MATSURI)	1	2	3
H Festival Cultural da região (BUNKASAI)	1	2	3
I Feira com barracas (em caminhonetes) (TOSHIN YOKOCHO)	1	2	3
J Eventos do “KONNICHWA!”	1	2	3
K Treinamento Regional contra Desastres Naturais	1	2	3

**[3] QUESTÕES SOBRE O RELACIONAMENTO COM OS VIZINHOS**

**17-Como você se relaciona com os brasileiros que residem neste conjunto habitacional?**

- 1 Não me relaciono
- 2 Só cumprimento
- 3 Às vezes troco algumas palavras, em um encontro casual
- 4 Faço atividades junto, peço conselhos

**18-Como você se relaciona com os outros estrangeiros (sem incluir os japoneses) que residem neste conjunto habitacional?**

- 1 Não me relaciono
- 2 Só cumprimento
- 3 Às vezes troco algumas palavras, em um encontro casual
- 4 Faço atividades junto, peço conselhos

**19-Como você se relaciona com os japoneses que residem neste conjunto habitacional?**

- 1 Não me relaciono
- 2 Só cumprimento
- 3 Às vezes troco algumas palavras, em um encontro casual
- 4 Faço atividades junto, peço conselhos

**20-Você sente alguma barreira no relacionamento com os japoneses que residem neste conjunto habitacional?**

- 1 Sinto muito fortemente
- 2 Sinto bastante
- 3 Não sinto muito
- 4 Não

**21-Como você gostaria de se relacionar com os japoneses deste conjunto habitacional daqui em diante?**

- 1 Não quero me relacionar de modo algum
- 2 Fora o mínimo necessário, prefiro não me relacionar
- 3 Gostaria de me relacionar um pouco
- 4 Quero me relacionar mais ativamente

**[4] QUESTÕES SOBRE O CONHECIMENTO DA LÍNGUA JAPONESA**

**22-Qual é a sua fluência na conversação em japonês?**

- 1 Não consigo falar nada em japonês
- 2 Consigo me apresentar brevemente dizendo o meu nome, país de origem, etc
- 3 Consigo responder perguntas fáceis sobre mim, minha família, meu país, etc
- 4 Consigo explicar detalhadamente minhas preferências na hora de fazer compras
- 5 Consigo explicar o sistema educacional, o sistema político, etc, do meu país

**23-Qual é a sua capacidade de leitura em japonês?**

- 1 Não consigo ler nada em japonês
- 2 Consigo ler nomes de países e cidades escritos em HIRAGANA e KATAKANA
- 3 Consigo ler e entender avisos da prefeitura, escola, etc, com HIRAGANA
- 4 Consigo ler e entender avisos da prefeitura, escola, etc, mesmo sem HIRAGANA
- 5 Consigo ler jornais japoneses

**24-Qual é a sua capacidade de escrita em japonês?**

- 1 Não consigo escrever nada em japonês
- 2 Consigo escrever meu nome em KATAKANA
- 3 Consigo escrever meu endereço em KANJI
- 4 Consigo escrever mensagens de trabalho em HIRAGANA e KATAKANA
- 5 Consigo escrever mensagens de trabalho em KANJI

**25-Daqui em diante, você pensa em aprender o japonês?**

- 1 Sim, quero aprender sem falta
- 2 Sim, quero aprender se houver uma oportunidade conveniente para mim
- 3 Acho que já aprendi o suficiente
- 4 Não poderei aprender por falta de tempo
- 5 Não falo o japonês, e não sinto a necessidade de aprender

[5] QUESTÕES SOBRE O SEU TRABALHO ATUAL

26-Atualmente, você realiza algum trabalho remunerado?

- 1 Sim → Responda a todas as questões abaixo, na ordem  
2 Não → Vá para a questão número 37

27- Qual é o formato do seu trabalho atual?

- 1 Autônomo → Vá para a questão número 29  
2 Contratado(a) via empreiteira → Vá para a questão número 29  
3 Contratado(a) sem passar por empreiteira

28-Para os que circularam a alternativa “3” acima, qual é o formato do seu emprego?

- 1 Funcionário(a) efetivo(a) sem período determinado (SEIKI SHAIN)  
2 Funcionário(a) por período determinado (KEIYAKU SHAIN)  
3 Funcionário(a) de meio período ou ARUBAITO )  
4 Outro ( )

29-Como você obteve informações sobre o emprego atual?

(Circule todas as alternativas correspondentes)

- 1 Por meio de familiares e parentes  
2 Por meio de amigos brasileiros  
3 Por meio de amigos japoneses  
4 Na HELLO WORK  
5 Por meio de empreiteira  
6 Vendo jornais e revistas em português )  
7 De outro modo (Especificar: )

30-Há quanto tempo você trabalha no seu emprego atual?

Há \_\_\_\_\_ anos e \_\_\_\_\_ meses

31-No mês passado, você trabalhou em média quantas horas por semana?

(Preencha o número)

\_\_\_\_\_ horas / semana

32-Quanto foi a média do seu salário mensal nos últimos 3 meses?

(Preencha o número)

\_\_\_\_\_ ienes / mês

33-Qual é o ramo da empresa onde você trabalha?

INDÚSTRIA

- 1 Automóveis / motos / etc  
2 Eletrônicos  
3 Alimentos  
4 Outro (Especificar: \_\_\_\_\_)

PRESTAÇÃO DE SERVIÇOS

- 5 Transporte  
6 Restaurante, hotel  
7 Vendas  
8 Limpeza / vigilância  
9 Assistência a idosos, assistência social  
10 Outro (Especificar: \_\_\_\_\_)

34-Qual é a profissão que você exerce atualmente?

- 1 Operário / técnico (produção, conserto, transporte, construção, etc)  
2 Vendas / prestação de serviços (proprietário, vendedor, balconista, atendente, etc)  
3 Trabalho de escritório (funcionário de escritório, bancário, etc)  
4 Trabalho especializado / gerência (engenheiro, enfermeiro, assistente social, HELPER, professor, intérprete, administrador, etc)

- 5 Agricultor  
6 Do lar  
7 Estudante  
8 Outro (Especificar: \_\_\_\_\_)

35-Qual é a duração aproximada do seu contrato de trabalho atual?

- 1 1 mês  
2 2 meses  
3 3 meses  
4 6 meses  
5 1 ano ou mais  
6 Não há período determinado

36-Qual é o valor mensal médio das remessas de dinheiro que você envia ao Brasil?

- 1 Não envio remessas de dinheiro ao Brasil  
2 Até 9.999 ienes / mês  
3 Entre 10.000 ienes e 29.999 ienes / mês  
4 Entre 30.000 ienes e 49.999 ienes / mês  
5 Mais de 50.000 ienes / mês

[6] QUESTÕES SOBRE O SEU PRIMEIRO TRABALHO NO JAPÃO

37- Qual foi o formato do seu primeiro trabalho no Japão?

- 1 Autônomo → Vá para a questão número 39  
2 Contratado(a) via empreiteira → Vá para a questão número 39  
3 Contratado(a) sem passar por empreiteira

38- Para os que circularam a alternativa “3” acima, qual era o formato do seu emprego?

- 1 Funcionário(a) efetivo(a) sem período determinado (SEIKI SHAIN)  
2 Funcionário(a) por período determinado (KEIYAKU SHAIN)  
3 Funcionário(a) de meio período ou ARUBAITO  
4 Outro ( )

39- Como você obteve informações sobre o seu primeiro emprego no Japão?

(Circule todas as alternativas correspondentes)

- 1 Por meio de familiares e parentes  
2 Por meio de amigos brasileiros  
3 Por meio de amigos japoneses  
4 Na HELLO WORK  
5 Por meio de empreiteira  
6 Vendo jornais e revistas em português  
7 De outro modo (Especificar: )

40- Qual era o ramo da empresa do seu primeiro emprego no Japão?

INDÚSTRIA

- 1 Automóveis / motos / etc  
2 Eletrônicos  
3 Alimentos  
4 Outro (Especificar: )

PRESTAÇÃO DE SERVIÇOS

- 5 Transporte  
6 Restaurante, hotel  
7 Vendas  
8 Limpeza / vigilância  
9 Assistência a idosos, assistência social  
10 Outro (Especificar: )

41- Qual foi a profissão que você exerceu no seu primeiro emprego no Japão?

- 1 Operário / técnico (produção, conserto, transporte, construção, etc)  
2 Vendas / prestação de serviços (proprietário, vendedor, balconista, atendente, etc)  
3 Trabalho de escritório (funcionário de escritório, bancário, etc)  
4 Trabalho especializado / gerência (engenheiro, enfermeiro, assistente social, HELPER, professor, intérprete, administrador, etc)  
5 Agricultor  
6 Do lar  
7 Estudante  
8 Outro (Especificar: )

[7] QUESTÃO SOBRE O SEU TRABALHO NO BRASIL ANTES DE VIR AO JAPÃO

42- Qual era a profissão que você exercia no Brasil antes de vir ao Japão?

- 1 Operário / técnico (produção, conserto, transporte, construção)  
2 Vendas / prestação de serviços (proprietário, vendedor, balconista, atendente, etc)  
3 Trabalho de escritório (funcionário de escritório, bancário, etc)  
4 Trabalho especializado / gerência (engenheiro, enfermeiro, assistente social, HELPER, professor, intérprete, administrador, etc)  
5 Agricultor  
6 Do lar  
7 Estudante  
8 Outro (Especificar: )

[8] QUESTÕES SOBRE MUDANÇA DE RESIDÊNCIA E RETORNO AO BRASIL

43- Você planeja se mudar deste conjunto habitacional nos próximos 3 anos?

- 1 Sim, bastante  
2 Sim, um pouco  
3 Não muito  
4 Não

Vá para a questão número 45

44- Para os que circularam as alternativas “1” ou “2”, para onde você planeja se mudar?

- 1 Outra região dentro da Cidade de Iwata 4 Exterior (País: )  
2 Outra cidade na Província de Shizuoka 5 Não sei  
3 Outra província dentro do Japão

45- Quanto tempo você planeja viver no Japão daqui em diante?

- 1 Permanentemente 4 Entre 1 e 2 anos  
2 Mais de 10 anos 5 Menos de 1 ano  
3 Entre 3 e 9 anos 6 Não sei quanto tempo ficarei no Japão



[9] QUESTÕES SOBRE A SUA RELAÇÃO COM O(A) ESPOSO(A)

46-Você está casado no momento?

1 Não, estou solteiro(a) → Vá para a questão número 54

2 Sim

3 Não, estou separado(a)

4 Não, sou viúvo(a)

Para aqueles que circularam as alternativas “2”, “3” ou “4”, responda às questões de 47 a 53.  
Para aqueles que estão separados ou são viúvos, responda sobre o seu último casamento.

47-O seu casamento está registrado em algum órgão público?

- 1 Sim, está registrado
- 2 Não, não está registrado

48-Em qual país você se casou?

- 1 No Japão
- 2 No exterior (País: )

49-Há quanto tempo vocês moram juntos? (Preencha o número)

Há ( ) anos

50-É o primeiro casamento de vocês?

- 1 Sim, é o primeiro casamento de ambos
- 2 É o primeiro casamento do esposo e o segundo (ou terceiro, etc) da esposa
- 3 É o segundo (ou terceiro, etc) casamento do esposo e o primeiro da esposa
- 4 Não, é o segundo (ou terceiro, etc) casamento de ambos

51-Qual é a nacionalidade do(a) seu(sua) esposo(a)?

- 1 Brasileira
- 2 Peruana
- 3 Filipina
- 4 Japonesa
- 5 Outra ( ) e
- 6 Dupla nacionalidade ( )

52-Qual é a condição atual dos seus pais?

	MEU PAI	MINHA MÃE
Condição	<div><div>1 Falecido</div><div>2 Está vivo</div></div>	<div><div>1 Falecida</div><div>2 Está viva</div></div>
Idade	( ) anos	( ) anos
Tempo que leva da sua casa (Com o meio de transporte mais utilizado)	<div><div>1 Mora junto</div><div>2 Menos de 15 minutos</div><div>3 Entre 15 e 29 minutos</div><div>4 Entre 30 e 59 minutos</div><div>5 Entre 1 e 3 horas</div><div>6 Mais de 3 horas</div><div>(Dentro do Japão)</div><div>7 Mora no exterior</div></div>	<div><div>1 Mora junto</div><div>2 Menos de 15 minutos</div><div>3 Entre 15 e 29 minutos</div><div>4 Entre 30 e 59 minutos</div><div>5 Entre 1 e 3 horas</div><div>6 Mais de 3 horas</div><div>(Dentro do Japão)</div><div>7 Mora no exterior</div></div>

53- Qual é a condição atual dos pais do(a) seu(sua) esposo(a)?

	PAI DO(A) ESPOSO(A)	MÃE DO(A) ESPOSO(A)
Condição	<div><div>1 Falecido</div><div>2 Está vivo</div></div>	<div><div>1 Falecida</div><div>2 Está viva</div></div>
Idade	( ) anos	( ) anos
Tempo que leva da sua casa (Com o meio de transporte mais utilizado)	<div><div>1 Mora junto</div><div>2 Menos de 15 minutos</div><div>3 Entre 15 e 29 minutos</div><div>4 Entre 30 e 59 minutos</div><div>5 Entre 1 e 3 horas</div><div>6 Mais de 3 horas</div><div>(Dentro do Japão)</div><div>7 Mora no exterior</div></div>	<div><div>1 Mora junto</div><div>2 Menos de 15 minutos</div><div>3 Entre 15 e 29 minutos</div><div>4 Entre 30 e 59 minutos</div><div>5 Entre 1 e 3 horas</div><div>6 Mais de 3 horas</div><div>(Dentro do Japão)</div><div>7 Mora no exterior</div></div>

[10] QUESTÕES SOBRE AS PESSOAS PARA QUEM VOCÊ PEDE AJUDA

54-Nas situações de A a G abaixo, para quem (onde) você pede conselhos ou ajuda?

Escolha até duas das alternativas de 1 a 21 abaixo, em ordem prioritária.

ALTERNATIVAS	
1	Nunca passei por isso
2	Não peço ajuda, pois resolvo sozinho(a)
3	Esposo(a)
4	Meus pais
5	Pais do(a) meu(minha) esposo(a)
6	Meus irmãos
7	Irmãos do(a) meu(minha) esposo(a)
8	Meus filhos
9	Outros parentes
10	Brasileiros do conjunto habitacional
11	Japoneses do conjunto habitacional
12	Pessoas da igreja
13	Parentes e amigos no Brasil
14	Colegas e amigos brasileiros
15	Colegas e amigos japoneses
16	Professores do maternal, escola, etc
17	TANTOSHA da empreiteira
18	Balcão da Prefeitura
19	Centro de Intercâmbio Multicultural
20	Outros
21	Não tenho ninguém para me ajudar

EXEMPLO DE RESPOSTA (Item A)

Se tenho problemas financeiros, em 1º lugar, peço ajuda para os **meus pais**; e em 2º lugar, peço ajuda para os **meus irmãos**. Nesse caso, a resposta seria:

A Quando você tem problemas financeiros, para quem você pede(pediu) ajuda?  
1º lugar ( 4 ) 2º lugar ( 6 )

- A Quando você tem problemas financeiros, para quem você pede(pediu) ajuda?  
1º lugar ( ) 2º lugar ( )
- B Quando você tem problemas no casamento, para quem você pede(pediu) conselhos?  
1º lugar ( ) 2º lugar ( )
- C Quando você ou seu filho fica doente, para quem você pede(pediu) ajuda?  
1º lugar ( ) 2º lugar ( )
- D Quando você tem problemas de parto ou de criação de filhos, para quem você pede(pediu) conselhos?  
1º lugar ( ) 2º lugar ( )
- E Quando você sai para trabalhar, quem cuida(cuidou) do(a) seu(sua) filho(a)?  
1º lugar ( ) 2º lugar ( )
- F Quando seu(sua) filho(a) tem problemas com os amigos, para quem você pede(pediu) conselhos?  
1º lugar ( ) 2º lugar ( )
- G Na hora de decidir sobre a educação/prosseguimento dos estudos do(a) seu(sua) filho(a), para quem você pede(pediu) conselhos?  
1º lugar ( ) 2º lugar ( )

[11] QUESTÕES SOBRE A SUA SAÚDE E MOTIVOS DE PREOCUPAÇÕES

55-Como está sua saúde no momento?

- 1 Muito boa 4 Não está muito boa  
2 Boa 5 Ruim  
3 Normal

56-Nesse último ano você teve preocupações ou sentiu estresse?

- 1 Não 3 Sim, algumas vezes  
2 Não muito 4 Sim, bastante

57-Para aqueles que circularam as alternativas “3” ou “4” acima, qual foi o motivo?

(Circule todas as alternativas correspondentes)

- 1 Problema familiar (diferenças familiares, criação de filhos, cuidado de familiares, etc)  
2 Problema de saúde (preocupação com minha doença, corpo, etc)  
3 Problema financeiro (falência, inatividade dos negócios, dívida, desemprego, etc)  
4 Problema no trabalho (transferência, inatividade no trabalho, relações humanas no trabalho, trabalho por longas horas, etc)  
5 Problemas entre homem e mulher (desilusão amorosa, problema de casal, preocupação com casamento, etc)  
6 Problemas de escola (DIME, inatividade nos estudos, relações humanas com os professores, etc)  
7 Outro ( )

58-Escreva abaixo suas preocupações ou pedidos/sugestões para a administração pública.

Podemos ligar para você para agendar uma entrevista individual? Caso sim, por favor, preencha as informações abaixo. Entraremos em contato até o final de dezembro de 2014.

Nome completo: \_\_\_\_\_

Número do apartamento: \_\_\_\_\_

Número do telefone: \_\_\_\_\_

Dia da semana, horário disponível: \_\_\_\_\_

Muito obrigado pela sua colaboração!

(B) Cuestionario sobre la vida cotidiana en el  
Conjunto Habitacional Toshincho de la Ciudad de Iwata  
(Investigación Individual / Extranjeros)

Realización: Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka  
(Coordinador de la investigación: Shigehiro Ikegami)

Solicitud de colaboración para la investigación

1. El objeto de la investigación es comprender la vida cotidiana y la opinión de los moradores del conjunto habitacional Toshincho. Con base en los resultados, formularemos **una recomendación y la entregaremos a las entidades administrativas del conjunto habitacional y a la Prefectura de Iwata** visando el fortalecimiento del desenvolvimiento de la región.
2. El público objetivo de esta investigación son **todos los moradores del conjunto habitacional Toshincho – provincial y kodan – mayores de 16 años**.
3. Este cuestionario es individual. Pedimos que cada persona mayor de 16 años responda un cuestionario. **Estamos distribuyendo los cuestionarios en lenguas extranjeras y japoneses fácil, pero el contenido es el mismo.** Responda en el idioma que tenga más facilidad.
4. Respetamos al máximo la privacidad de los respondientes. Los resultados serán analizados estadísticamente ("en este ítem, x% de las mujeres..."), por eso **los respondientes no serán identificados individualmente a partir de los resultados**. La Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka guardará rigurosamente los cuestionarios respondidos.
5. Para más informaciones sobre el objetivo, contenido y método de colecta del cuestionario:  
Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka – División de Relaciones Comunitarias  
Nancy Naomi Ueda Tel. 053-457-6105 - Lunes a Viernes de las 10:00 a las 17:00  
Atendimiento en japonés, portugués, español e inglés

El bolígrafo que está adentro del sobre es un agradecimiento, por favor lo utilice en la hora de responder.

[ Instrucciones para llenar ]

- **Caso no haya ninguna especificación en la pregunta, circule apenas una alternativa correspondiente.**
- Llene con lápiz o bolígrafo de tinta negra/azul.
- Después de terminar, verifique si no hay erro o ítem sin respuesta.
- En caso de duda, escoja la alternativa que más refleja sus sentimientos o opiniones.
- Después de llenar el cuestionario, ponga dentro del sobre en que fue distribuido y entregue a los investigadores cuando ellos retornen al conjunto habitacional. Caso el cuestionario no sea recogido hasta el día **25 de noviembre** (martes), lo entregue para el representante de su piso hasta el día **30 de noviembre** (domingo). La universidad lo recogerá después.

(B) Cuestionario sobre la vida cotidiana en el  
Conjunto Habitacional Toshincho de la Ciudad de Iwata  
(Investigación Individual/Extranjeros - Noviembre de 2014 - Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka)

[1] DATOS PERSONALES

- 1-Sexo:** 1 Femenino 2 Masculino
- 2-Edad:** ( ) años
- 3-¿Cuál es su nacionalidad?**  
1 Brasileña 4 Japonesa  
2 Peruana 5 Otra ( )  
3 Filipina 6 Doble ( y )
- 4-¿Cuál es su país de nacimiento?**  
1 Brasil 4 Japón  
2 Perú 5 Otro ( )  
3 Filipinas
- 5-¿Cuál es su grado de descendencia japonesa?**  
1 1ª generación 4 4ª generación  
2 2ª generación 5 No soy descendiente de japonés  
3 3ª generación
- 6-¿Qué tipo de visa tiene usted?**  
1 Permanente 4 Cónyuge/hijo de residente permanente  
2 Cónyuge/hijo de japonés 5 Otro tipo de visto ( )  
3 Residente 6 Tengo nacionalidad japonesa
- 7-¿En qué año usted vino a Japón por la primera vez?**  
1 Vine en el año de ( ) 2 Nací en Japón
- 8-¿En el total, hace cuánto tiempo usted vive en Japón?** (Llene el número de años)  
Vivo hace ( ) años
- 9-¿En el total, hace cuánto tiempo usted vive en la Ciudad de Iwata?**  
(Llene el número de años)  
Vivo hace ( ) años

10-¿Dónde usted vivía antes de mudarse para este conjunto habitacional?

- 1 En otro lugar adentro de la ciudad de Iwata (incluye este conjunto habitacional)
- 2 En otra ciudad, adentro de la Provincia de Shizuoka
- 3 En otra provincia de Japón, sin ser Shizuoka
- 4 En el exterior (País: )

11-¿Cuál es su religión?

- 1 Catolicismo
- 2 Otra religión cristiana
- 3 Islamismo
- 4 Budismo
- 5 Otra ( )
- 6 No sigo ninguna religión específica

12-¿Cuál es su grado de escolaridad? Escoja una alternativa sobre el grado de escolaridad tanto en Perú como en Japón. Si usted nunca ha ido a escuelas en Perú, o en Japón, circule la alternativa 1 "No frecuenté escuelas en Perú (o en Japón)".

Escolaridad en Perú		Escolaridad en Japón	
1 No frecuenté escuelas en Perú		1 No frecuenté escuelas en Japón	
2 Secundaria Incompleto		2 CHUGAKKO Incompleto	
3 Secundaria Completo		3 CHUGAKKO Completo	
4 Estoy cursando la Secundaria Superior		4 Estoy cursando el KOKO	
5 Secundaria Superior Incompleto		5 KOKO Incompleto	
6 Secundaria Superior Completo		6 KOKO Completo	
7 Estoy cursando Universidad/ Facultad de Corta Duración/ Escuela Técnica		7 Estoy cursando DAIGAKU/ TANKI-DAIGAKU/ SENMON-GAKKO	
8 Universidad/ Facultad de Corta Duración/ Escuela Técnica	Incompleto	8 DAIGAKU/ TANKI-DAIGAKU/ SENMON-GAKKO	Incompleto
9 Universidad / Facultad de Corta Duración/ Escuela Técnica	Completo	9 DAIGAKU/ TANKI-DAIGAKU/ SENMON-GAKKO	Completo

13-¿Usted tiene la intención de naturalizarse japonés (obtener la nacionalidad japonesa)?

- 1 Sí 2 No → Ir para la cuestión número 15

14-¿Cuál es el motivo de usted tener respondido "sí" en la pregunta anterior?

(Circule todas las alternativas correspondientes)

- 1 Es ventajoso en el empleo
- 2 Es práctico tener el pasaporte japonés
- 3 Puedo regresar al Japón libremente siempre que quiero
- 4 Otro ( )

[2] CUESTIONES SOBRE EL CONTEXTO SOCIAL

15-¿Cómo usted obtiene informaciones relacionadas al día a día?

(Circule hasta 5 alternativas)

- 1 Radio y televisión en español
- 2 Periódicos y revistas en español
- 3 Folletos en restaurantes y supermercados peruanos
- 4 Radio y televisión japonesa
- 5 Periódicos japoneses
- 6 Informaciones de amigos japoneses
- 7 Informaciones de amigos peruanos
- 8 Informaciones de amigos de otras nacionalidades
- 9 Informaciones de la empresa donde trabajo
- 10 Boletín Informativo de la Municipalidad (en japonés)
- 11 Boletín Informativo de la Municipalidad (en portugués)
- 12 ICE news
- 13 Sitio web de la Municipalidad (en japonés)
- 14 Sitio web de la Municipalidad (en portugués, inglés)
- 15 Sitio web de otras reparticiones públicas de Japón (en japonés)
- 16 Facebook
- 17 Otras redes sociales (Twitter, Line, etc)
- 18 Iwata Hot Line (en japonés)
- 19 Iwata Hot Line (en portugués)
- 20 Otros ( )

16-¿Usted ya participaste de las reuniones y eventos que ocurren en su región?

Para cada uno de los ítemes de A a K abajo, circule una alternativa de 1 a 3.

	1-Participé	2- Conozco, pero nunca participé	3- No conozco
A Reunión de la Asociación de Moradores	1	2	3
B Escarda	1	2	3
C Recoger basura	1	2	3
D Campamiento Escolar	1	2	3
E Hoguera	1	2	3
F Festival Deportivo de la región (TAIKUSAI)	1	2	3
G Festival de la región (MATSURI)	1	2	3
H Festival Cultural de la región (BUNKASAI)	1	2	3
I Feria con barracas (en camionetas) (TOSHIN YOKOCHO)	1	2	3
J Eventos del "KONNICHIIWA!"	1	2	3
K Preparación Regional contra Desastres Naturales	1	2	3

[3] CUESTIONES SOBRE EL RELACIONAMIENTO CON LOS VECINOS

17-¿Cómo usted se relaciona con los peruanos que residen en este conjunto habitacional?

- 1 No me relaciono
- 2 Solo saludo
- 3 A veces troco algunas palabras, en un encuentro casual
- 4 Hago actividades junto, pido consejos

18-¿Cómo usted se relaciona con los otros extranjeros (sin incluir los japoneses) que residen en este conjunto habitacional?

- 1 No me relaciono
- 2 Solo saludo
- 3 A veces troco algunas palabras, en un encuentro casual
- 4 Hago actividades junto, pido consejos

19-¿Cómo usted se relaciona con los japoneses que residen en este conjunto habitacional?

- 1 No me relaciono
- 2 Solo saludo
- 3 A veces troco algunas palabras, en un encuentro casual
- 4 Hago actividades junto, pido consejos

20-¿Usted siente alguna barrera en el relacionamiento con los japoneses que residen en este conjunto habitacional?

- 1 Siento mucho fuertemente
- 2 Siento bastante
- 3 No siento mucho
- 4 No

21-¿Cómo usted gustaría de relacionarse con los japoneses de este conjunto habitacional de aquí en adelante?

- 1 No quiero me relacionar de modo algún
- 2 Afuera el mínimo necesario, prefiero no me relacionar
- 3 Gustaría de me relacionar un poco
- 4 Quiero me relacionar más activamente

[4] CUESTIONES SOBRE EL CONOCIMIENTO DE LA LENGUA JAPONESA

22-¿Cuál es su fluencia en la conversación en japonés?

- 1 No puedo hablar nada en japonés
- 2 Puedo presentarme brevemente diciendo mi nombre, país de origen, etc
- 3 Puedo responder preguntas fáciles sobre mí, mi familia, mi país, etc
- 4 Puedo explicar detalladamente mis preferencias en la hora de hacer compras
- 5 Puedo explicar el sistema educacional, el sistema político, etc, de mi país

23-¿Cuál es su capacidad de lectura en japonés?

- 1 No puedo leer nada en japonés
- 2 Puedo leer nombres de países y ciudades escritos en HIRAGANA y KATAKANA
- 3 Puedo leer y entender avisos de la ciudad, escuela, etc, con HIRAGANA
- 4 Puedo leer y entender avisos de la ciudad, escuela, etc, mismo sin HIRAGANA
- 5 Puedo leer periódicos japoneses

24-¿Cuál es su capacidad de escrita en japonés?

- 1 No puedo escribir nada en japonés
- 2 Puedo escribir mi nombre en KATAKANA
- 3 Puedo escribir mi dirección en KANJI
- 4 Puedo escribir mensajes de trabajo en HIRAGANA y KATAKANA
- 5 Puedo escribir mensajes de trabajo en KANJI

25-¿De aquí en adelante, usted piensa en aprender el japonés?

- 1 Sí, quiero aprender sin falta
- 2 Sí, quiero aprender se haber una oportunidad conveniente para mí
- 3 Creo que ya aprendí lo suficiente
- 4 No podré aprender por falta de tiempo
- 5 No hablo el japonés, y no siento la necesidad de aprender

[5] CUESTIONES SOBRE SU TRABAJO ACTUAL

26-¿Actualmente, usted realiza algún trabajo remunerado?

- 1 Sí → Responda todas las cuestiones abajo, en orden  
2 No → Ir para la cuestión número 37

27-¿Cuál es el formato de su trabajo actual?

- 1 Autónomo → Ir para la cuestión número 29  
2 Contratado(a) vía contratista → Ir para la cuestión número 29

3 Contratado(a) sin pasar por contratista

28-¿Para los que circularon la alternativa "3" arriba, cuál es el formato de su empleo?

- 1 Funcionario(a) efectivo(a) sin período determinado (SEIKI SHAIN)  
2 Funcionario(a) por período determinado (KEIYAKU SHAIN)  
3 Funcionario(a) de medio período o ARUBAITO  
4 Otro ( )

29-¿Cómo usted obtuvo informaciones sobre el empleo actual?

(Circule las alternativas correspondientes)

- 1 Por medio de familiares y parientes  
2 Por medio de amigos peruanos  
3 Por medio de amigos japoneses  
4 En la HELLO WORK  
5 Por medio de la contratista  
6 Viendo periódicos y revistas en español  
7 De otro modo (Especificar: )

30-¿Hace cuánto tiempo usted trabaja en su empleo actual?

Hace \_\_\_\_\_ años y \_\_\_\_\_ meses

31-¿En el mes pasado, usted trabajó en promedio de cuantas horas por semana?

(Llene el número)

\_\_\_\_\_ horas / semana

32-¿Cuánto fue la media de su salario mensual en los últimos 3 meses?

(Llene el número)

\_\_\_\_\_ ienes / mes

33-¿Cuál es el ramo de la empresa donde usted actualmente trabaja?

INDUSTRIA

- 1 Automóviles / motos / etc  
2 Electrónicos  
3 Alimentos  
4 Otro (Especificar: \_\_\_\_\_)

PRESTACIÓN DE SERVICIOS

- 5 Transporte  
6 Restaurante, hotel  
7 Ventas  
8 Limpieza / vigilancia  
9 Asistencia a ancianos, asistencia social  
10 Otro (Especificar: \_\_\_\_\_)

34-¿Cuál es la profesión que usted ejerce actualmente?

- 1 Operario / técnico (producción, reparación, transporte, construcción, etc)  
2 Ventas / prestación de servicios (propietario, empleado de ventas, atención al público, etc)  
3 Trabajo de oficina (funcionario de oficina, bancario, etc)  
4 Trabajo especializado / gerencia (ingeniero, enfermero, asistente social, HELPER, profesor, intérprete, administrador, etc)  
5 Agricultor  
6 Ama de casa  
7 Estudiante  
8 Otro (Especificar: \_\_\_\_\_)

35-¿Cuál es la duración aproximada de su contrato de trabajo actual?

- 1 1 mes  
2 2 meses  
3 3 meses  
4 6 meses  
5 1 año o más  
6 No hay período determinado

36-¿Cuál es el valor mensual medio de las remesas de dinero que usted envía a Perú?

- 1 No envió remesas de dinero a Peru  
2 Hasta 9.999 ienes / mes  
3 Entre 10.000 ienes e 29.999 ienes / mes  
4 Entre 30.000 ienes e 49.999 ienes / mes  
5 Más de 50.000 ienes / mes

[6] CUESTIONES SOBRE SU PRIMER TRABAJO EN JAPÓN

37-¿Cuál fue el formato de su primer trabajo en Japón?

- 1 Autónomo → Ir para la cuestión número 39
- 2 Contratado(a) vía contratista → Ir para la cuestión número 39
- 3 Contratado(a) sin pasar por contratista

38-¿Para los que circularon la alternativa "3" arriba, cuál era el formato de su empleo?

- 1 Funcionario(a) efectivo(a) sin período determinado (SEIKI SHAIN)
- 2 Funcionario(a) por período determinado (KEIYAKU SHAIN)
- 3 Funcionario(a) de medio período o ARUBAITO
- 4 Otro ( )

39-¿Cómo usted obtuvo informaciones sobre su primer empleo en Japón?

(Circule las alternativas correspondientes)

- 1 Por medio de familiares y parientes
- 2 Por medio de amigos peruanos
- 3 Por medio de amigos japoneses
- 4 En la HELLO WORK
- 5 Por medio de la contratista
- 6 Viendo periódicos y revistas en español
- 7 De otro modo (Especificar: )

40-¿Cuál era el ramo de la empresa de su primer empleo en Japón?

INDUSTRIA

- 1 Automóviles / motos / etc
- 2 Electrónicos
- 3 Alimentos
- 4 Otro (Especificar: )

PRESTACIÓN DE SERVICIOS

- 5 Transporte
- 6 Restaurante, hotel
- 7 Ventas
- 8 Limpieza / vigilancia
- 9 Asistencia a ancianos, asistencia social
- 10 Otro (Especificar: )

41-¿Cuál fue la profesión que usted ejerció en su primer empleo en Japón?

- 1 Operario / técnico (producción, reparación, transporte, construcción, etc)
- 2 Ventas / prestación de servicios (propietario, empleado de ventas, atención al público, etc)
- 3 Trabajo de oficina (funcionario de oficina, bancario, etc)
- 4 Trabajo especializado / gerencia (ingeniero, enfermero, asistente social, HELPER, profesor, intérprete, administrador, etc)
- 5 Agricultor
- 6 Ama de casa
- 7 Estudiante
- 8 Otro (Especificar: )

[7] CUESTIÓN SOBRE SU TRABAJO EN PERÚ ANTES DE VENIRSE A JAPÓN

42-¿Cuál era la profesión que usted ejercía en Perú antes de venirse a Japón?

- 1 Operario / técnico (producción, reparación, transporte, construcción, etc)
- 2 Ventas / prestación de servicios (propietario, empleado de ventas, atención al público, etc)
- 3 Trabajo de oficina (funcionario de oficina, bancario, etc)
- 4 Trabajo especializado / gerencia (ingeniero, enfermero, asistente social, HELPER, profesor, intérprete, administrador, etc)
- 5 Agricultor
- 6 Ama de casa
- 7 Estudiante
- 8 Otro (Especificar: )

[8] CUESTIONES SOBRE MUDANZA DE RESIDENCIA Y RETORNO A PERÚ

43-¿Usted planea mudarse de este conjunto habitacional en los próximos 3 años?

- 1 Sí, bastante
- 2 Sí, un poco
- 3 No mucho
- 4 No

Ir para la cuestión número 45

44-¿Para los que circularon las alternativas "1" o "2", para dónde usted planea mudarse?

- 1 Otra región adentro de la Ciudad de Iwata
- 2 Otra ciudad en la Provincia de Shizuoka
- 3 Otra provincia adentro de Japón
- 4 Exterior (País: )
- 5 No sé

45-¿Cuánto tiempo usted planea vivir en Japón de aquí en adelante?

- 1 Permanentemente
- 2 Más de 10 años
- 3 Entre 3 y 9 años
- 4 Entre 1 y 2 años
- 5 Menos de 1 año
- 6 No sé cuánto tiempo quedaré en Japón

[9] CUESTIONES SOBRE LA RELACIÓN CON SU ESPOSO(A)

46-¿Usted está casado en el momento?

1 No, estoy soltero(a) → Ir para la cuestión número 54

2 Sí

3 No, estoy separado(a)

4 No, soy viudo(a)



Para aquellos que circularon las alternativas "2", "3" o "4", responda las cuestiones de 47 a 53.  
Para aquellos que están separados o son viudos, responda sobre su último casamiento.

47-¿Su casamiento está registrado en algún órgano público?

- 1 Sí, está registrado
- 2 No, no está registrado

48-¿En cuál país usted se casó?

- 1 En Japón
- 2 En el exterior (País: )

49-¿Hace cuánto tiempo ustedes viven juntos? (Llene el número)

Hace ( ) años

50-¿Es el primer casamiento de ustedes?

- 1 Sí, es el primer casamiento de ambos
- 2 Es el primer casamiento del esposo y el segundo (o tercero, etc) de la esposa
- 3 Es el segundo (o tercero, etc) casamiento del esposo y el primer de la esposa
- 4 No, es el segundo (o tercero, etc) casamiento de ambos

51-¿Cuál es la nacionalidad de su esposo(a)?

- 1 Brasileña
- 2 Peruana
- 3 Filipina
- 4 Japonesa
- 5 Otra ( )
- 6 Doble nacionalidad ( ) y ( )

52-¿Cuál es la condición actual de sus padres?

	MI PADRE	MI MADRE
Condición	<div>1 Fallecido</div> <div>2 Está vivo</div>	<div>1 Fallecida</div> <div>2 Está viva</div>
Edad	( ) años	( ) años
Tiempo que lleva de su casa (Con el medio de transporte más utilizado)	<div>1 Vive junto</div> <div>2 Menos de 15 minutos</div> <div>3 Entre 15 y 29 minutos</div> <div>4 Entre 30 y 59 minutos</div> <div>5 Entre 1 y 3 horas</div> <div>6 Más de 3 horas (Adentro de Japón)</div> <div>7 Vive en el exterior</div>	<div>1 Vive junto</div> <div>2 Menos de 15 minutos</div> <div>3 Entre 15 y 29 minutos</div> <div>4 Entre 30 y 59 minutos</div> <div>5 Entre 1 y 3 horas</div> <div>6 Más de 3 horas (Adentro de Japón)</div> <div>7 Vive en el exterior</div>

53- ¿Cuál es la condición actual de los padres de su esposo(a)?

	PADRE DEL(DE LA) ESPOSO(A)	MADRE DEL(DE LA) ESPOSO(A)
Condición	<div>1 Fallecido</div> <div>2 Está vivo</div>	<div>1 Fallecida</div> <div>2 Está viva</div>
Edad	( ) años	( ) años
Tiempo que lleva de su casa (Con el medio de transporte más utilizado)	<div>1 Vive junto</div> <div>2 Menos de 15 minutos</div> <div>3 Entre 15 y 29 minutos</div> <div>4 Entre 30 y 59 minutos</div> <div>5 Entre 1 y 3 horas</div> <div>6 Más de 3 horas (Adentro de Japón)</div> <div>7 Vive en el exterior</div>	<div>1 Vive junto</div> <div>2 Menos de 15 minutos</div> <div>3 Entre 15 y 29 minutos</div> <div>4 Entre 30 y 59 minutos</div> <div>5 Entre 1 y 3 horas</div> <div>6 Más de 3 horas (Adentro de Japón)</div> <div>7 Vive en el exterior</div>



**[10] CUESTIONES SOBRE LAS PERSONAS PARA QUIÉN USTED PIDE AYUDA**

**54-¿En las situaciones de A a G abajo, para quién(dónde) usted pide consejos o ayuda?** Escoja hasta dos de las alternativas de 1 a 21 abajo, en orden prioritaria.

ALTERNATIVAS	
1	Nunca pasé por eso
2	No pido ayuda, pues resuelvo solo(a)
3	Esposo(a)
4	Mis padres
5	Padres de mi esposo(a)
6	Mis hermanos
7	Hermanos de mi esposo(a)
8	Mis hijos
9	Otros parientes
10	Peruanos del conjunto habitacional
11	Japoneses del conjunto habitacional
12	Personas de la iglesia
13	Parientes y amigos en Perú
14	Compañeros y amigos peruanos
15	Compañeros y amigos japoneses
16	Profesores del primario, escuela, etc
17	TANTOSHA de la contratista
18	Ventanilla de la municipalidad
19	Centro de Intercambio Multicultural
20	Otros
21	No tengo a nadie para ayudarme

**EXEMPLO DE RESPUESTA (Ítem A)**  
Si tengo problemas financieros, **en 1er lugar**, pido ayuda para **mis padres**; y **en 2º lugar**, pido ayuda para **mis hermanos**. En este caso, la respuesta sería:  
A *¿Cuándo usted tiene **problemas financieros**, para **quién** usted pide(pidió) ayuda?*  
1er lugar ( 4 )    2º lugar ( 6 )

- A ¿Cuándo usted tiene problemas financieros, para quién usted pide(pidió) ayuda?

1er lugar (    )    2º lugar (    )

B ¿Cuándo usted tiene problemas en el casamiento, para quién usted pide(pidió) consejos?

1er lugar (    )    2º lugar (    )

C ¿Cuándo usted o su hijo se enferma, para quién usted pide(pidió) ayuda?

1er lugar (    )    2º lugar (    )

D ¿Cuándo usted tiene problemas de parto o de criación de hijos, para quién usted pide(pidió) consejos?

1er lugar (    )    2º lugar (    )

E ¿Cuándo usted sale para trabajar, quién cuida(cuidó) de su hijo(a)?

1er lugar (    )    2º lugar (    )

F ¿Cuándo su hijo(a) tiene problemas con los amigos, para quién usted pide(pidió) consejos?

1er lugar (    )    2º lugar (    )

G ¿En la hora de decidir sobre la educación/proseguimiento de los estudios de su hijo(a), para quién usted pide(pidió) consejos?

1er lugar (    )    2º lugar (    )

**[11] CUESTIONES SOBRE SU SALUD Y MOTIVOS DE PREOCCUPACIONES**

**55-¿Cómo está su salud en el momento?**

- 1 Muy buena                      4 No está muy buena

2 Buena                            5 Mal

3 Normal

**56-¿En este último año usted tuvo preocupaciones o sentimiento de estrés?**

- 1 No                                      3 Sí, algunas veces

2 No mucho                            4 Sí, bastante

**57-¿Para aquellos que circularon las alternativas "3" o "4" arriba, cuál fue el motivo?** (Circule todas las alternativas correspondientes)

- 1 Problema familiar (diferencias familiares, cuidar de los hijos, cuidado de familiares, etc)

2 Problema de salud (preocupaciones con mi enfermedad, cuerpo, etc)

3 Problema financiero (falencia, inactividad de los negocios, deuda, desempleo, etc)

4 Problema en el trabajo (transferencia, inactividad en el trabajo, relaciones humanas en el trabajo, trabajo por largas horas, etc)

5 Problemas entre hombre y mujer (desilusión amorosa, problema de casal, preocupación con el casamiento, etc)

6 Problemas de escuela (IIJME, inactividad en los estudios, relaciones humanas con los profesores, etc)

7 Otro (    )

**58-Escriba abajo sus preocupaciones o pedidos/sugerencias para la administración pública.**

Podemos llamar para usted para marcar una entrevista individual? Caso sí, por favor, llene las informaciones abajo. Entraremos en contacto hasta el final de diciembre de 2014.

Nombre completo: \_\_\_\_\_

Número del apartamento: \_\_\_\_\_

Número del teléfono: \_\_\_\_\_

Día de la semana, horario disponible: \_\_\_\_\_

Muchas gracias por su colaboración!

(B) Questionnaire on the living conditions at the Toshincho Housing Complex in Iwata City  
(Individual Survey/ Foreigners)

Execution: Shizuoka University of Art and Culture  
(Research coordinator: Shigehiro Ikegami)

Request for cooperation to the survey

- 1. The survey aims to understand the daily life and opinions of the residents of the Toshincho Housing Complex. Based on the results, we will formulate a recommendation and hand it in to the administrative bodies of the housing complex and the Iwata City Office for the further development of the region.
- 2. The target of the survey are all residents of the Toshincho housing complex – prefectural and kodan – above 16 years.
- 3. This is an individual questionnaire. We request that each person above 16 years answer one questionnaire. There are versions of the questionnaire in foreign languages and easy Japanese, but the content is the same. Answer in the language you feel most comfortable with.
- 4. We have the utmost respect for the privacy of the respondents. The results will be analysed statistically (“in this item, x% of the women...”), therefore the respondents will not be identified individually from the results. The Shizuoka University of Art and Culture will rigorously store the completed questionnaires.
- 5. For more information about the purpose, content and method of collection of the survey:  
Shizuoka University of Art and Culture – Community Relations Division  
Nancy Naomi Ueda Tel. 053-457-6105 Monday to Friday, 10:00 to 17:00  
Japanese, Portuguese, Spanish and English

The ballpoint pen inside the envelope is a thank-you gift, please use it to answer the questions.

[Instructions for filling ]

- If there is no specification in the question circle only one corresponding alternative.
- Fill in with a pencil or black/blue ballpoint pen.
- After you finish, verify if there are no errors or items without an answer.
- In case of doubt, choose the alternative that most reflects your feelings or opinions.
- After filling in the questionnaire, put it in the envelope in which it was delivered and hand it to the researchers when they come back to the housing complex. If the questionnaire is not collected until 25th November (Tuesday), take it to the apartment of the administrator of your staircase or floor until 30th November (Sunday). The university will collect it at a later date.

(B) Questionnaire on the living conditions at the Toshincho Housing Complex in Iwata City  
(Individual Survey/Foreigners – November 2014 – Shizuoka University of Art and Culture)

[ 1 ] PERSONAL DATA

- 1-Gender: 1 Female 2 Male
- 2-Age: ( ) years
- 3-What is your nationality?  
1 Brazilian 4 Japanese  
2 Peruvian 5 Other ( )  
3 Filipino 6 Dual ( and )
- 4-In which country were you born?  
1 Brazil 4 Japan  
2 Peru 5 Other ( )  
3 Philippines
- 5-Of which generation of Japanese descent are you?  
1 First generation 4 Fourth generation  
2 Second generation 5 I am not a Japanese descent  
3 Third generation
- 6-What is your resident status?  
1 Permanent 4 Spouse/child of permanent resident  
2 Spouse/child of Japanese 5 Other ( )  
3 Resident 6 I have Japanese nationality

7-In which year did you come to Japan for the first time?

- 1 I came in ( ) 2 I was born in Japan

8-In total, how long have you been living in Japan? (Fill in the number of years)

For ( ) years

9-In total, how long have you been living in Iwata City? (Fill in the number of years)

For ( ) years

10-Where did you live before moving into this housing complex?

- 1 In another place within Iwata City (includes this housing complex)  
2 In another city, within Shizuoka Prefecture  
3 In another prefecture within Japan, other than Shizuoka  
4 Abroad (Country: )

11-What is your religion?

- 1 Catholicism 4 Buddhism  
2 Other Christian religion 5 Other ( )  
3 Islam 6 I do not follow a specific religion

12-What is the highest level of education you have completed? Choose one alternative about your level of education in both your home country and in Japan. If you have never attended school in your home country, or in Japan, circle the alternative 1 "I did not attend school in my home country (or in Japan)".

In your home country		In Japan
1 I did not attend school in my home country	1 I did not attend school in Japan	
2 I did not complete Junior High School	2 I did not complete CHUGAKKO	
3 I completed Junior High School	3 I completed CHUGAKKO	
4 I am attending High School	4 I am attending KOKO	
5 I did not complete High School	5 I did not complete KOKO	
6 I completed High School	6 I completed KOKO	
7 I am attending University / a Short term College / a Professional School	7 I am attending DAIGAKU / TANKI-DAIGAKU / SENMON-GAKKOU	
8 I did not complete University / a Short term College / a Professional School	8 I did not complete DAIGAKU / TANKI-DAIGAKU / SENMON-GAKKOU	
9 I completed University / a Short term College / a Professional School	9 I completed DAIGAKU / TANKI-DAIGAKU / SENMON-GAKKOU	

13-Do you intend to become a naturalized citizen of Japan? (to obtain Japanese nationality)

- 1 Yes 2 No → Go to question number 15

14-What is the reason for answering "yes" in the question above?

(Circle all corresponding alternatives)

- 1 It is beneficial in terms of jobs  
2 It is practical to have a Japanese passport  
3 I can freely come back to Japan whenever I want  
4 Other ( )

[2] QUESTIONS ABOUT THE SOCIAL CONTEXT

15-How do you acquire information related to your daily life? (Circle up to 5 alternatives)

- 1 Radio and television in my native language  
2 Newspapers and magazines in my native language  
3 Flyers in ethnic restaurants and supermarkets related to my home country  
4 Japanese radio and television  
5 Japanese newspapers  
6 Information from Japanese friends  
7 Information from friends from my country  
8 Information from friends of other nationalities  
9 Information from the company I work for  
10 Information Bulletin from the City Office (in Japanese)  
11 Information Bulletin from the City Office (in other languages)  
12 ICE news  
13 Website of the City Office (in Japanese)  
14 Website of the City Office (in other languages)  
15 Website of other Japanese public administrations (in Japanese)  
16 Facebook  
17 Other social networks (Twitter, Line, etc)  
18 Iwata Hot Line (in Japanese)  
19 Iwata Hot Line (in other languages)  
20 Other ( )

16-Have you participated in any of the meetings and events of your region?

For each of the items below from A to K, circle one alternative from 1 to 3.

	1- Yes, I have participated	2- I know, but I never participated	3- I don't know
A Resident Association Meeting	1	2	3
B Mowing	1	2	3
C Picking up trash	1	2	3
D School camping	1	2	3
E Camp Fire	1	2	3
F Physical Education Fest (TAIKUSAI)	1	2	3
G Community Festival (MATSURI)	1	2	3
H Cultural Community Festival (BUNKASAI)	1	2	3
I Outdoor bazaar (TOSHIN YOKOCHO)	1	2	3
J Events at "KONNICHWA!"	1	2	3
K Local Natural Disaster Prevention Training	1	2	3

### [3] QUESTIONS ABOUT YOUR RELATION WITH THE NEIGHBOURS

#### 17-How do you relate to people of your nationality who live in this housing complex?

- 1 I do not relate to them
- 2 I only exchange courtesies
- 3 Sometimes I talk to them, in a casual encounter
- 4 We do activities together, I ask for advice

#### 18-How do you relate to other foreigners (not including Japanese) who live in this housing complex?

- 1 I do not relate to them
- 2 I only exchange courtesies
- 3 Sometimes I talk to them, in a casual encounter
- 4 We do activities together, I ask for advice

#### 19-How do you relate to the Japanese who live in this housing complex?

- 1 I do not relate to them
- 2 I only exchange courtesies
- 3 Sometimes I talk to them, in a casual encounter
- 4 We do activities together, I ask for advice

#### 20-Do you feel any barrier in the relation with the Japanese who live in this housing complex?

- 1 Yes, very strongly
- 2 Yes, strongly
- 3 Not much
- 4 No

#### 21-From now on, how would you like to relate to the Japanese who live in this housing complex?

- 1 I do not want to relate to them in any way
- 2 Except for the minimum necessary, I prefer not to relate to them
- 3 I would like to relate to them a little
- 4 I want to relate to them more actively

### [4] QUESTIONS ABOUT THE JAPANESE LANGUAGE ABILITY

#### 22-What is your fluency in Japanese conversation?

- 1 I cannot speak Japanese at all
- 2 I can introduce myself briefly saying my name, country of origin, etc
- 3 I can answer easy questions about me, my family, my country, etc
- 4 I can explain in detail my preferences when I go shopping
- 5 I can explain the educational system, the political system, etc, of my home country

#### 23-What is your ability of reading in Japanese?

- 1 I cannot read anything in Japanese
- 2 I can read names of countries and cities written in HIRAGANA and KATAKANA
- 3 I can read and understand information from the city office, school, etc, with HIRAGANA
- 4 I can read and understand information from the city office, school, etc, even without HIRAGANA
- 5 I can read Japanese newspapers

#### 24-What is your ability of writing in Japanese?

- 1 I cannot write anything in Japanese
- 2 I can write my name in KATAKANA
- 3 I can write my address in KANJI
- 4 I can write work-related messages in HIRAGANA and KATAKANA
- 5 I can write work-related messages in KANJI

#### 25-From now on, do you intend to learn Japanese?

- 1 Yes, I want to learn for sure
- 2 Yes, I want to learn if there is a convenient opportunity for me
- 3 I think I have already learned enough
- 4 I will not be able to learn it because I do not have time
- 5 I do not speak Japanese, and I do not feel the need to learn it

[5] QUESTIONS ABOUT YOUR CURRENT JOB

26-Currently, do you have any paid employment?

- 1 Yes → Answer all questions below, in order  
2 No → Go to question number 37

27- What is the format of your current job?

- 1 Self-employed → Go to question number 29  
2 Hired through a contractor → Go to question number 29  
3 Hired directly (not through a contractor)

28-For those who circled alternative "3" above, what is the format of your current job?

- 1 Regular employee without a determined period of contract (SEIKI SHAIN)  
2 Contract employee (KEIYAKU SHAIN)  
3 Part time employee or ARUBAITO  
4 Other ( )

29-How did you obtain information about your current job?

(Circle the corresponding alternatives)

- 1 Through family members and relatives  
2 Through friends of the same nationality  
3 Through Japanese friends  
4 At HELLO WORK  
5 Through a contractor  
6 Reading newspapers and magazines in my native language  
7 Other (Specify: )

30-How long have you been working at your current job?

For \_\_\_\_\_ years and \_\_\_\_\_ months

31-Last month, how many hours per week did you work on average? (Fill in the number)

\_\_\_\_\_ hours / week

32-How much was your average monthly salary in the past 3 months? (Fill in the number)

\_\_\_\_\_ yen / month

33-What is the industry of the company where you currently work?

MANUFACTURE

- 1 Automobiles / motorcycles / etc  
2 Electronics  
3 Food  
4 Other (Specify: \_\_\_\_\_)

SERVICES

- 5 Transportation  
6 Restaurants, hotel  
7 Sales  
8 Cleaning / security  
9 Elderly care, social assistance  
10 Other (Specify: \_\_\_\_\_)

34-What is your current profession?

- 1 Worker / technician (production, repair, transport, construction, etc)  
2 Sales / services (owner, salesperson, receptionist, clerk, etc)  
3 Office work (office employee, bank clerk, etc)  
4 Specialized work / management (engineer, nurse, social worker, caretaker, teacher, interpreter, manager, etc)  
5 Agriculture  
6 Housekeeper  
7 Student  
8 Other (Specify: \_\_\_\_\_)

35-What is the approximate period of contract of your current job?

- 1 1 month  
2 2 months  
3 3 months  
4 6 months  
5 1 year or more  
6 There is no fixed period

36-What is the average amount of the overseas remittances you send to your home country?

- 1 I do not send remittances to my home country  
2 Up to 9,999 yen / month  
3 Between 10,000 yen and 29,999 yen / month  
4 Between 30,000 yen and 49,999 yen / month  
5 More than 50,000 yen / month

**[6] QUESTIONS ABOUT YOUR FIRST JOB IN JAPAN**

**37-What was the format of your first job in Japan?**

- 1 Self-employed → Go to question number 39
- 2 Hired through a contractor → Go to question number 39
- 3 Hired directly (not through a contractor)

**38-For those who circled alternative "3" above, what was the format of your job?**

- 1 Regular employee without a determined period of contract (SEIKI SHAIN)
- 2 Contract employee (KEIYAKU SHAIN)
- 3 Part time employee or ARUBAITO
- 4 Other ( )

**39-How did you obtain information about your first job in Japan?**

(Circle the corresponding alternatives)

- 1 Through family members and relatives
- 2 Through friends of the same nationality
- 3 Through Japanese friends
- 4 AT HELLO WORK
- 5 Through a contractor
- 6 Reading newspapers and magazines in my native language
- 7 Other (Specify: )

**40-What was the industry of the company of your first job in Japan?**

**MANUFACTURE**

- 1 Automobiles / motorcycles / etc
- 2 Electronics
- 3 Food
- 4 Other (Specify: )

**SERVICES**

- 5 Transportation
- 6 Restaurants, hotel
- 7 Sales
- 8 Cleaning / security
- 9 Elderly care, social assistance
- 10 Other (Specify: )

**41-What was your occupation in your first job in Japan?**

- 1 Worker / technician (production, repair, transport, construction, etc)
- 2 Sales / services (owner, salesperson, receptionist, clerk, etc)
- 3 Office work (office employee, bank clerk, etc)
- 4 Specialized work / management (engineer, nurse, social worker, caretaker, teacher, interpreter, manager, etc)
- 5 Agriculture
- 6 Housekeeper
- 7 Student
- 8 Other (Specify: )

**[7] QUESTION ABOUT YOUR WORK BEFORE COMING TO JAPAN**

**42-What was your occupation in your home country before coming to Japan?**

- 1 Worker / technician (production, repair, transport, construction, etc)
- 2 Sales / services (owner, salesperson, receptionist, clerk, etc)
- 3 Office work (office employee, bank clerk, etc)
- 4 Specialized work / management (engineer, nurse, social worker, caretaker, teacher, interpreter, manager, etc)
- 5 Agriculture
- 6 Housekeeper
- 7 Student
- 8 Other (Specify: )

**[8] QUESTIONS ABOUT CHANGING ADDRESS AND RETURNING TO YOUR HOME COUNTRY**

**43-Do you plan to move from this housing complex in the next 3 years?**

- |                      |            |                          |
|----------------------|------------|--------------------------|
| 1 Yes, highly likely | 3 Not much | Go to question number 45 |
| 2 Yes, a little      | 4 No       |                          |

**44-For those who circled alternatives "1" or "2", where do you plan to move to?**

- 1 To another town within Iwata City
- 2 To another city within Shizuoka Prefecture
- 3 To another prefecture within Japan
- 4 Abroad (Country: )
- 5 I do not know

**45-How long do you plan to live in Japan from now on?**

- 1 Permanently
- 2 More than 10 years
- 3 Between 3 and 9 years
- 4 Between 1 and 2 years
- 5 Less than 1 year
- 6 I do not know how long I will stay in Japan

[9] QUESTIONS ABOUT YOUR RELATION WITH YOUR SPOUSE

46-Are you married at the moment?

1 No, I am single → Go to question number 54

- 2 Yes
- 3 No, I am separated
- 4 No, I am widowed

For those who circulated alternatives "2", "3" or "4", answer the questions from 47 to 53.  
For those who are separated or widowed, answer about your last marriage.

47-Is your marriage registered in a public organization?

- 1 Yes, it is registered
- 2 No, it is not registered

48-In which country did you marry?

- 1 In Japan
- 2 Abroad (Country: )

49-How long have you been living together? (Fill in the number)

For ( ) years

50-Is it the first marriage for both of you?

- 1 Yes, it is the first marriage for both of us
- 2 It is the first marriage of the husband and the second (or third, etc) marriage of the wife
- 3 It is the second (or third, etc) marriage of the husband and the first marriage of the wife
- 4 No, it is the second (or third, etc) marriage for both of us

51-What is the nationality of your spouse?

- 1 Brazilian
- 2 Peruvian
- 3 Filipino
- 4 Japanese
- 5 Other ( )
- 6 Dual nationality ( and )

52-What is the current condition of your parents?

	MY FATHER	MY MOTHER
Condition	<div>1 Deceased</div> <div>2 Alive</div>	<div>1 Deceased</div> <div>2 Alive</div>
Age	( ) years	( ) years
Time from your house (By the most used means of transportation)	<div>1 Lives together</div> <div>2 Less than 15 minutes</div> <div>3 Between 15 and 29 minutes</div> <div>4 Between 30 and 59 minutes</div> <div>5 Between 1 and 3 hours</div> <div>6 More than 3 hours (Within Japan)</div> <div>7 Lives abroad</div>	<div>1 Lives together</div> <div>2 Less than 15 minutes</div> <div>3 Between 15 and 29 minutes</div> <div>4 Between 30 and 59 minutes</div> <div>5 Between 1 and 3 hours</div> <div>6 More than 3 hours (Within Japan)</div> <div>7 Lives abroad</div>

53-What is the current condition of the parents of your spouse?

	THE FATHER OF MY SPOUSE	THE MOTHER OF MY SPOUSE
Condition	<div>1 Deceased</div> <div>2 Alive</div>	<div>1 Deceased</div> <div>2 Alive</div>
Age	( ) years	( ) years
Time from your house (By the most used means of transportation)	<div>1 Lives together</div> <div>2 Less than 15 minutes</div> <div>3 Between 15 and 29 minutes</div> <div>4 Between 30 and 59 minutes</div> <div>5 Between 1 and 3 hours</div> <div>6 More than 3 hours (Within Japan)</div> <div>7 Lives abroad</div>	<div>1 Lives together</div> <div>2 Less than 15 minutes</div> <div>3 Between 15 and 29 minutes</div> <div>4 Between 30 and 59 minutes</div> <div>5 Between 1 and 3 hours</div> <div>6 More than 3 hours (Within Japan)</div> <div>7 Lives abroad</div>

**【10】 QUESTIONS ABOUT THE PEOPLE YOU ASK FOR HELP**

**54-In the situations from A to G below, who (where) do you ask for help or advice?**

Choose up to two alternatives from 1 to 21 below, in order of priority.

ALTERNATIVES	
1 It has never happened to me	12 People from church
2 I do not ask for help, I solve it by myself	13 Relatives and friends in my home country
3 Spouse	14 Colleagues and friends of my nationality
4 My parents	15 Colleagues and Japanese friends
5 My spouse's parents	16 Teachers of the kindergarten, school, etc
6 My brothers	17 Contractor's TANTOSHA
7 My spouse's brothers	18 City Office counter
8 My children	19 Multicultural Exchange Center
9 Other relatives	20 Others
10 People of my nationality in the housing complex	21 I do not have anyone to help me
11 Japanese people in the housing complex	

EXAMPLE OF ANSWER (Item A)

If I have financial problems, **in 1<sup>st</sup> place**, I ask for the help of **my parents**; and **in 2<sup>nd</sup> place**, I ask for the help of **my brothers**. In this case, the answer would be:

A When you have financial problems, who do you ask(asked) for help?  
1<sup>st</sup> place ( 4 ) 2<sup>nd</sup> place ( 6 )

A When you have financial problems, who do you ask(asked) for help?

1<sup>st</sup> place ( ) 2<sup>nd</sup> place ( )

B When you have problems in your marriage, who do you ask(asked) for help?

1<sup>st</sup> place ( ) 2<sup>nd</sup> place ( )

C When you or your child gets sick, who do you ask(asked) for help?

1<sup>st</sup> place ( ) 2<sup>nd</sup> place ( )

D When you have problems in child-bearing or childcare, who do you ask(asked) for help?

1<sup>st</sup> place ( ) 2<sup>nd</sup> place ( )

E When you go out to work, who takes(took) care of your child?

1<sup>st</sup> place ( ) 2<sup>nd</sup> place ( )

F When your child has problems with his/her friends, who do you ask(asked) for advice?

1<sup>st</sup> place ( ) 2<sup>nd</sup> place ( )

G When you have to decide on your child's education/education continuance, who do you ask(asked) for advice?

1<sup>st</sup> place ( ) 2<sup>nd</sup> place ( )

**【11】 QUESTIONS ABOUT YOUR HEALTH AND INQUIETUDES**

**55-How is your health at the moment?**

- 1 Very good 4 Not very good  
2 Good 5 Bad  
3 Normal

**56-In the past year did you have any worries or did you feel any stress?**

- 1 No 3 Yes, a few times  
2 Not much 4 Yes, a lot

**57-For those who circled alternatives "3" or "4" above, what was the reason?**

(Circle all corresponding alternatives)

- 1 Family problem (family differences, childcare, care of family members, etc)  
2 Health problem (concerns with my illness, body, etc)  
3 Financial problem (bankruptcy, business inactivity, debt, unemployment, etc)  
4 Problem at work (transfer, professional inactivity, human relations at work, long hours of work, etc)  
5 Problems between men and women (broken heart, couple's problems, concerns with marriage, etc)  
6 School problems (bullying, inactive schooling, human relations with the teachers )  
7 Other ( )

**58-Write below your concerns or requests/suggestions for the public administration.**

Can we call you to make an appointment for an individual interview? If you agree, please, fill in the information below. We will contact you until the end of December 2014.

Full name: \_\_\_\_\_  
Apartment number: \_\_\_\_\_  
Telephone number: \_\_\_\_\_  
Available week day, time: \_\_\_\_\_

*Thank you very much for you cooperation!*



磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 C  
(外国人向け世帯調査票)

調査実施：静岡文化芸術大学  
(実施代表：池上重弘)

調査へのご協力をお願い

- 1 この調査票は、外国籍の方を含む世帯用です。
- 2 世帯の中に 1 人でも外国籍の方が含まれる場合、お届けした封筒に世帯調査票が入っています。
- 3 調査票は外国語版とやさしい日本語版がありますが、内容は同じです。  
どちらか答えやすい方で回答し、1 部だけ提出してください。
- 4 この調査票は子どもに関する質問が多数含まれていますので、国籍にかかわらず、お子さんについてよく把握している方に回答をお願いします。
- 5 このアンケートの趣旨、内容、回収方法等に関するお問い合わせは、以下  
にお願いいたします。

静岡文化芸術大学 地域連携室  
上田ナンシー直美 電話：053-457-6105  
日本語／ポルトガル語／スペイン語／英語  
月曜日～金曜日、10:00～17:00

磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 C 日本語オリジナル版  
(外国人世帯調査、2014 年 11 月実施 静岡文化芸術大学)

この調査票は世帯で一部だけ、世帯主の方、あるいは、子どもがいる場合は子ども  
のことが良く分かっている保護者が回答してください。

【1】防災についておたずねします。

問 1 災害に備えて行っていることをあげてください。(○はいくつでも)

- 1 指定避難所を確認している
- 2 家族や知人との連絡方法を決めている
- 3 家具などを固定し倒れないようにしている
- 4 非常食や飲料水を準備している
- 5 携帯ラジオや懐中電灯等を準備している
- 6 特に何もしていない

問 2 地域の防災訓練には参加したことがありますか。

- 1 ある → 問 4へ
- 2 ない

問 3 上の問 2 で「2 ない」と回答した方は、その理由を教えてください。(○はいくつでも)

- 1 訓練の情報が入ってこない
- 2 時間がない
- 3 出ても日本語がわからない
- 4 関心がない、必要性を感じない
- 5 その他 ( )

問 4 災害が発生したときに一番心配なことは何ですか。(○はひとつだけ)

- 1 家族の安否を確認できるか
- 2 避難所で日本人と一緒に生活できるか
- 3 自分の言語で必要な情報を入手できるか
- 4 母国の家族と連絡がとれるか
- 5 その他 ( )

【2】行政サービスの利用についておたずねします。

問5	以下の行政サービスを利用したことがありますか。 A～Jのそれぞれについて、1～3のいずれかひとつに○をつけてください。			
	1 利用したことがある	2 知っているが 利用したことはない	3 知らない	
A	市役所の外国人情報窓口	1	2	3
B	ポルトガル語版広報いわた	1	2	3
C	磐田市ホームページ ポルトガル語版	1	2	3
D	多文化交流センター「こんにちは！」 親子遊び	1	2	3
E	「こんにちは！」の学習と遊び（登録制）	1	2	3
F	「こんにちは！」の相談・情報提供	1	2	3
G	「こんにちは！」の中学生学習支援	1	2	3
H	「こんにちは！」の学び直し	1	2	3
I	磐田国際交流協会の日本語教室	1	2	3
J	ごみ収集カレンダー・外国語版	1	2	3

【3】家族のことについておたずねします。

- 問6 この家に住んでいる人の人数をお知らせください。  
( ) 人
- 問7 この家に住んでいる人たちについてお知らせください。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。
- 世帯主の  
1 配偶者、 2 子ども、 3 きょうだい、 4 親、 5 孫、  
配偶者の  
6 親、 7 きょうだい  
その他  
8 その他の親族 9 非親族
- 問8 あなたの世帯の過去3ヶ月間の平均月収はいくらですか。  
複数の世帯員の収入がある場合、それらを合計した金額をお知らせください。  
( ) 円／月

【4】子どものことについておたずねします。

- 問9 あなたのお子さんは全部で何人ですか。（人数を記入、いない場合は「いない」に○）  
( ) 人  
これで質問は終了です。ありがとうございました。
- 問10 そのうち、現在、あなたと一緒に同居しているお子さんは何人ですか。（問9と同様に回答）  
( ) 人  
これで質問は終了です。ありがとうございました。
- 問11 同居しているお子さんのうち、0歳～15歳のお子さんは何人いますか。（問9と同様に回答）  
( ) 人  
これで質問は終了です。ありがとうございました。
- 問12 以下では、あなたと同居している0～15歳のお子さんについてうかがいます。  
そのうち、一番年上のお子さんと、二番目に年上のお子さんについてお答えください。

	一番年上のお子さん	二番目に年上のお子さん
A 性別	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
B 年齢	( ) 歳	( ) 歳
C 出生地	1 日本 2 外国	1 日本 2 外国
D 来日年	1 日本で生まれた 2 ( ) 年に来日	1 日本で生まれた 2 ( ) 年に来日
E 現在、お子さんは学校（または、保育園・幼稚園）に通っていますか、	1 まだ学校（保育園・幼稚園）に通っていない 2 学校（保育園・幼稚園）に通っている 3 在学しているが、休んでいる 4 学校を中退した 5 既に卒業した	1 まだ学校（保育園・幼稚園）に通っていない 2 学校（保育園・幼稚園）に通っている 3 在学しているが、休んでいる 4 学校を中退した 5 既に卒業した
F 現在通っている学校はどれですか。休学中の方は在学中の、中退・卒業された方は最後の学校を選んでください。	1 日本の保育園・幼稚園 2 日本の小学校 3 日本の中学校 4 日本の高校 5 外国人学校の保育園・幼稚園	1 日本の保育園・幼稚園 2 日本の小学校 3 日本の中学校 4 日本の高校 5 外国人学校の保育園・幼稚園

	6 外国人学校の小・中学校 7 外国人学校の高校 8 専門学校 9 その他	6 外国人学校の小・中学校 7 外国人学校の高校 8 専門学校 9 その他
G (既にお子さんが学校を終えられている場合) お子さんは、現在、収入をともなう仕事についていますか。	1 仕事についている 2 今は仕事についていないが、過去についていた 3 仕事についていたことはない	1 仕事についている 2 今は仕事についていないが、過去についていた 3 仕事についていたことはない
H ふだん、このお子さんと一緒に夕食をとることはありますか。	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～2回 5 あまり無い	1 ほぼ毎日 2 週に3～4回 3 週に1～2回 4 月に1～2回 5 あまり無い
I このお子さんとの会話はどの言語で行われていますか。	1 主に親の母国語 2 主に日本語 3 両方の言語が半々で混ざる	1 主に親の母国語 2 主に日本語 3 両方の言語が半々で混ざる

問 1 3 行政から受けている援助はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 児童手当
- 2 生活保護
- 3 母子家庭等自立支援給付金
- 4 要保護ないし準要保護児童生徒認定による就学援助費
- 5 受給していない

問 1 4 PTAに参加したことはありませんか。

- 1 参加したことがない
- 2 たまに参加する
- 3 できる限り参加するようにしている
- 4 ほぼ欠かさず参加している
- 5 役員も経験したことがある

問 1 5 日本の学校の習慣やルールについて、どうやって情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 学校の先生に聞く
- 2 多文化交流センター「こんにちは」のスタッフに聞く
- 3 同国人の知り合いから話を聞く
- 4 日本人の知り合いから話を聞く
- 5 学校からの配布物等を読む
- 6 インターネット等で調べる
- 7 その他 ( )

問 1 6 子どもは平日の放課後、主に誰と遊びますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 日本人の同級生／友達
- 2 同国人の同級生／友達
- 3 その他の外国人の同級生／友人
- 4 兄弟で遊ぶ
- 5 一人で遊ぶ

問 1 7 子どもは週末、主に誰と遊びますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 日本人の同級生／友達
- 2 同国人の同級生／友達
- 3 その他の外国人の同級生／友人
- 4 兄弟で遊ぶ
- 5 一人で遊ぶ

問 1 8 学齢期前の子どもは誰が面倒を見ますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 おじいちゃん、おばあちゃんなどの親族
- 2 日本の保育園
- 3 日本の幼稚園
- 4 ブラジル人が経営する託児所
- 5 家にいる
- 6 学齢期前の子どもはいない

【5】子どもの将来についておたずねします。

問 1 9 あなたは子どもが将来も日本で生活することを希望しますか。

- 1 はい
- 2 いいえ → これで質問は終了です。ありがとうございました。
- 3 わからない

問 2 0 子どもにどのような学歴を望みますか。

- 1 日本の中学校を卒業
- 2 外国人学校の中学校段階を卒業
- 3 日本の高等学校を卒業
- 4 外国人学校の高等学校段階を卒業
- 5 専門学校を卒業
- 6 短大・大学を卒業
- 7 母国の通信教育で大学を卒業
- 8 わからない

問 2 1 子どもの進学について課題は何ですか。

- 1 日本の進学情報にアクセスできない
- 2 翻訳された進学情報が不足している
- 3 進学について相談できる人がいない
- 4 家計への負担が大きい
- 5 子どもの学力が不安
- 6 その他 ( )

問 2 2 子どもに将来日本でどんな職業に就いてもらいたいですか。

- 1 生産工程・一般作業（製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者）
- 2 販売・サービス（店主、店員、セールスマン、給仕、接客など）
- 3 事務的職業（事務員、銀行員など）
- 4 専門職・管理職（エンジニア、看護師、介護福祉士、ヘルパー、教員、通訳、管理職など）
- 5 農業
- 6 専業主婦
- 7 学生
- 8 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

問 2 3 とくに子どものことで困っていることや行政に望むことがあれば、以下に自由に書いてください。

これで質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

いわたし とうしんちやうだんち せいかつじやうきやう ちやうさ  
磐田市 東新町団地の生活状況をめぐる調査 C  
がいこくじんむ せたい ちやうさひやう ちやうさ  
(外国人向け世帯調査票)  
しずおかぶんかがけいじゆつだいがく  
調査団体：静岡文化芸術大学  
だひひやうしや いけがなしげひら  
(代表者：池上重弘)

ちやうさ  
調査への ご協力の おねがい

- ちやうさひやう こくせき がいこく かいぞく ひと ねが  
この調査票は 外国の 国籍の 人が いる 家族に お願いをしています。
- ふうとう なか かいぞく しつもん はい  
封筒の 中に 家族についての 質問が 入っています。
- ちやうさひやう がいこくご か にほんご  
調査票は 外国語で 書かかれているものと、やさしい日本語で  
書かれているものがあります。内容は 同じです。わかりやすい方で  
答えて、ひとつだけ 出してください。
- ちやうさひやう しつもん たくさん あります。  
この調査票は、子どもについての 質問が たくさん あります。
- こくせき かんけい じぶん こ ひとつ  
国籍に 関係なく、自分の 子どものことが 一番 わかっている 人が  
答えてください。
- ちやうさ かわらないうことが あれば、した ばんごう でんわ  
この調査について わからないことが あれば、下の 番号に 電話を  
かけてください。

しずおかぶんかがけいじゆつだいがく ちいきれんけいしつ  
静岡文化芸術大学 地域連携室  
うえだ なおみ でんわ 電話：053-457-6105  
にほんご 上田ナナシ直美  
にほんご ポルトガル語/スペイン語/英語  
げつようび きんようび  
月曜日～金曜日、10:00～17:00

いわたし とうしんちやうだんち せいかつじやうきやう ちやうさ  
磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査 C  
がいこくじんむ せたい ちやうさ しずおかぶんかがけいじゆつだいがく  
(外国人世帯調査、2014年11月実施 静岡文化芸術大学)

ちやうさひやう かいぞく しつもん ちやうさ  
この調査票には 家族についての 質問が あります。子どもが いる 場合、子どもの  
ことが 良く わかっている 親が 答えてください。

ほうさい  
【1】防災についての 質問です。

さいがい じしん たいふう じゆんび おし  
Q1 災害(地震、台風など)のために 準備しているものを 教えてください。

(Oはいくつでも)

- ひなんじよ に ばしよ し  
1 避難所(逃げる 場所)を 知っている  
かいぞく ともがた ほうほう け  
2 家族や 友達と つながる 方法を 決めている  
いえ なか たか たお  
3 家の 中の 高い 棚などが 倒れないように している  
た の じゆんび  
4 食べものや 飲み水を 準備している  
て も あか  
5 手に 持てる ラジオや 明りなどを 準備している  
なに なに  
6 何もしていない

す ぼろあいくんかん じしん ねに  
Q2 あなたが 住んでいる町の 防災訓練(地震などが 起きた場合、何を すればいいのかを  
練習すること)に 参加したことが ありますか。

- 1 ある → Q4に 行ってください

2 ない

うま  
Q3 上の Q2で 「2 ない」と 答えた人は 理由を 教えてください。(Oはいくつでも)

- くしれん じやうほう れんしやう ないやう  
1 訓練の 情報(練習する日や 内容など)を 知らなかった  
じかん  
2 時間が ない  
さんか にほんご  
3 参加しても 日本語が わからない  
きようみ ひつよう おも  
4 興味が ない、必要だと 思わない  
ほか  
5 その他( )

Q4 災害(地震、台風など)が起きたときに一番心配していることは何ですか。

(○はひとつだけ)

- 1 家族が安全かどうかを確かめることができるか
- 2 避難所(逃げる場所)で日本人と一緒に生活できるか
- 3 私の国の言葉で必要な情報があるか
- 4 私の国にいたる家族と連絡がとれるか
- 5 その他( )

【2】市役所のサービスの利用についての質問です。

Q5 下の市役所のサービスを使ったことがありますか。

A～Jのそれぞれについて、1～3のどれかひとつに○をつけてください。

	1 使ったことがある	2 知っているけど、使ったことはない	3 知らない
A 市役所の外国人のための情報窓口	1	2	3
B ポルトガル語の広報いわた	1	2	3
C 磐田市のポルトガル語のホームページ	1	2	3
D 多文化交流センター「こんにちは！」での親と子どもの遊び	1	2	3
E 「こんにちは！」での勉強と遊び(行く前に連絡する必要がある)	1	2	3
F 「こんにちは！」の人に相談する	1	2	3
G 「こんにちは！」での中学生の勉強の手伝い	1	2	3
H 「こんにちは！」での学び直し	1	2	3
I 磐田国際交流協会の日本語教室	1	2	3
J 外国語の出し方のカレンダー	1	2	3

【3】あなたの家族についての質問です。

- Q6 この家には何人住んでいますか。  
( )人
- Q7 この家に住んでいる人たちを下から選んで、○を書いてください。  
世帯主(家族を代表する人)の
- 1 結婚している相手、2 子ども、3 きょうだい、4 親、5 孫、  
結婚している相手の
- 6 親、7 きょうだい
- その他
- 8 その他の家族、9 家族ではない人

Q8 あなたの家の過去3ヶ月間の毎月の給料はいくらくらいですか。働いている人がたくさんいる場合は、それぞれの毎月の給料を合わせた金額を書いてください。  
( )円/月

【4】あなたの子どもについての質問です。

Q9 あなたの家族には子どもが何人いますか。(子どもがいない人は、「いない」に○をつけてください。)

( )人

これで質問は終わります。ありがとうございます。

Q10 そのうち、今もあなたと一緒に住んでいる子どもは何人ですか。  
(子どもと一緒に住んでいない人は、「いない」に○をつけてください。)

( )人

これで質問は終わります。ありがとうございます。

Q11 一緒に住んでいる子どものうち、0歳～15歳の子どもは何人いますか。  
( )人

( )人

これで質問は終わります。ありがとうございます。

Q12に 行ってください



Q16 子どもは 学校が 終わった後、誰と 遊びますか。(Oはいくつでも)

- 1 日本人の 友達 4 きょうだいで 遊ぶ  
2 同じ国の 友達 5 一人で 遊ぶ  
3 その他の 国の 友達

Q17 子どもは 休みの日は、誰と 遊びますか。(Oはいくつでも)

- 1 日本人の 友達 4 きょうだいで 遊ぶ  
2 同じ国の 友達 5 一人で 遊ぶ  
3 その他の 国の 友達

Q18 まだ学校に行っていない 子どもは 誰が 世話を していましたか。(Oはいくつでも)

- 1 おじいちゃん、おばあちゃんなどの 家族  
2 日本の 保育園  
3 日本の 幼稚園  
4 ブラジル人や その他の 外国人が やっている 子どもを 世話する 場所  
5 家に いる  
6 まだ 学校に 行っていない 子どもは いない

【5】子どもの 将来についての 質問です。

Q19 あなたは 子どもが 大人になっても 日本に 住んで ほしいですか。

- 1 はい  
2 いいえ → これで 質問は 終わります。ありがとうございます。  
3 わからない

Q20 あなたは 子どもに どこまで 学校を 卒業して ほしいですか。(Oはいくつでも)

- 1 日本の 中学校を 卒業  
2 外国人学校の 中学校を 卒業  
3 日本の 高校を 卒業  
4 外国人学校の 高校を 卒業  
5 専門学校を 卒業  
6 大学を 卒業  
7 インターネットなどで 授業が 受けられる 私の 国の 大学を 卒業  
8 わからない

Q21 子どもが 次の 学校に 進むときの 問題は 何ですか。(Oはいくつでも)

- 1 日本で 次の 学校に 進むときの 情報が どこにあるのか わからない  
2 私の 国の 言葉での 情報が 足りない  
3 相談できる 人が いない  
4 お金が たくさん かかる  
5 子どもが 次の 学校に 行くための 勉強が できるか わからない  
6 その他 ( )

Q22 子どもに、将来、日本で どんな仕事を してほしいですか。

- 1 ものを つくる・作業する (つくる、直す、運ぶ、家を たてる、工事を する)  
2 ものを 売る・サービスする (店を持つ、店で 働く、ものを 売る、人を 世話する)  
3 事務に 関係する (事務所で 働く、銀行で 働く など)  
4 専門の 仕事・人の 管理を する (エンジニア、看護師、介護福祉士、ヘルパー、先生、通訳、人の 管理をする など)  
5 田畑で 植物 (米や 野菜など) を とる  
6 主婦 (家で 家事を する)  
7 学生  
8 その他 ( )

Q23 子どもの中で 困っていることや 役所などに お願いが あれば、下に 書いて ください。

これで 質問は 終わります。ありがとうございます。



**(C) Questionário sobre a vida cotidiana no  
Conjunto Habitacional Toshincho da Cidade de Iwata**  
**(Pesquisa Familiar / Estrangeiros)**

Realização: Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka  
(Coordenador da pesquisa: Shigehiro Ikegami)

**Solicitação de colaboração para a pesquisa**

1. Este questionário é voltado para as famílias que incluem moradores estrangeiros.
2. Caso haja ao menos um membro da família que seja de nacionalidade estrangeira, o envelope que foi entregue incluirá o questionário familiar.
3. **O questionário possui versões em línguas estrangeiras e japoneses fácil, mas o conteúdo é o mesmo.** Responda no idioma que achar mais fácil, e entregue **somente um questionário preenchido.**
4. Neste questionário há várias perguntas relacionadas aos filhos, por isso pedimos que, independentemente da nacionalidade, **o responsável que tiver mais conhecimento sobre os filhos responda às perguntas.**
5. Para mais informações sobre o objetivo, conteúdo e método de coleta do questionário, entre em contato com:

Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka  
Divisão de Relações Comunitárias  
Nancy Naomi Ueda  
Tel. 053-457-6105  
Atendimento em japonês, português, espanhol e inglês  
Segunda a Sexta das 10:00 às 17:00

**(C) Questionário sobre a vida cotidiana no  
Conjunto Habitacional Toshincho da Cidade de Iwata**

(Pesquisa Familiar/Estrangeiros - Novembro de 2014 - Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka)

Este **Questionário Familiar** deve ser preenchido pelo(a) chefe de família ou pelo responsável que tiver mais conhecimento sobre os filhos.

**[1] QUESTÕES SOBRE PREVENÇÃO DE DESASTRES E TERREMOTOS**

**1-Você está preparado para casos de terremotos ou outras catástrofes naturais?**

(Circule todas as alternativas correspondentes)

- 1 Sei onde fica o local de refúgio determinado do bairro
- 2 Combinei com a família e amigos o modo de nos comunicarmos
- 3 Fixei os móveis, etc, para que não tombem
- 4 Armazenei alimentos e bebidas para casos de emergência
- 5 Tenho rádio portátil e lanterna
- 6 Não tenho nada preparado

**2-Você já participou de algum treinamento de desastres naturais na sua região?**

- 1 Sim → Vá para a questão número 4
- 2 Não

**3-Qual é o motivo de você ter respondido “não” na pergunta anterior?**

(Circule todas as alternativas correspondentes)

- 1 Não recebo informações sobre o treinamento
- 2 Não tenho tempo
- 3 Mesmo se eu participar, eu não entendo o japonês
- 4 Não tenho interesse, não acho importante
- 5 Outro ( )

**4-Qual é a sua maior preocupação se ocorrer um desastre natural?**

(Circule apenas uma alternativa)

- 1 Se vou conseguir confirmar que meus familiares estão seguros
- 2 Se vou conseguir conviver com os japoneses no local de refúgio
- 3 Se vou conseguir obter as informações necessárias no meu idioma
- 4 Se vou conseguir me comunicar com meus familiares no Brasil
- 5 Outro ( )

**[2] QUESTÕES SOBRE O USO DE SERVIÇOS ADMINISTRATIVOS**

5-Você já usou os serviços administrativos abaixo?

Para cada um dos itens de A a J, circule uma alternativa de 1 a 3.

	1-Já usei	2-Conheço, mas nunca usei	3-Não conheço
A Balcão de Informação aos Estrangeiros da Prefeitura	1	2	3
B Boletim Informativo de Iwata em português	1	2	3
C Site eletrônico da Prefeitura de Iwata em português	1	2	3
D Centro de Intercâmbio Multicultural "KONNICHIIWA!" Brincadeiras com pais e filhos (OYAKO ASOBI)	1	2	3
E Estudos e brincadeiras no "KONNICHIIWA!" (Há necessidade de inscrição)	1	2	3
F Consultas e informações no "KONNICHIIWA!"	1	2	3
G Apoio aos estudos e tarefas escolares dos alunos do ginásio (CHUGAKUSEI) no "KONNICHIIWA!"	1	2	3
H Revisão de matérias no "KONNICHIIWA!" (MANABINAOSHI)	1	2	3
I Curso de Japonês da Associação de Intercâmbio Internacional de Iwata	1	2	3
J Calendário de Coleta de Lixo Doméstico em português	1	2	3

**[3] QUESTÕES SOBRE SUA FAMÍLIA**

6-Quantas pessoas moram neste apartamento?

( ) pessoas

7-Quem mora neste apartamento? (Circule todas as alternativas correspondentes)

Pessoas ligadas ao(à) chefe de família:

1 Esposo(a), 2 Filhos, 3 Irmãos, 4 Pais, 5 Netos,

Pessoas ligadas ao(à) esposo(a):

6 Pais, 7 Irmãos,

Outros:

8 Outros parentes, 9 Pessoas que não são familiares

8-Quanto foi a média do salário mensal total da sua família nos últimos 3 meses?

Se vários membros da família recebem salário, considere a soma total dos salários.

\_\_\_\_\_ ienes / mês

**[4] QUESTÕES SOBRE SEUS FILHOS**

9-Quantos filhos você tem no total?

( ) filhos, se não tiver filhos, circule a alternativa "Não tenho filhos"

→ Não tenho filhos

→ Fim do questionário. Muito obrigado pela colaboração.

10-Desses, quantos filhos moram com você atualmente?

( ) filhos

→ Nenhum(a) filho(a)

→ Fim do questionário. Muito obrigado pela colaboração.

11-Dos filhos que moram com você, quantos têm entre 0 e 15 anos?

( ) filhos

→ Nenhum(a) filho(a)

→ Fim do questionário. Muito obrigado pela colaboração.

12-Abaixo, responda sobre os dois filhos mais velhos que moram com você e que têm entre 0 e 15 anos.

	1º Filho		2º Filho	
A Sexo	1 Masculino 2 Feminino		1 Masculino 2 Feminino	
B Idade	( ) anos		( ) anos	
C Local de nascimento	1 Japão 2 Exterior ( )		1 Japão 2 Exterior ( )	
D Ano em que veio ao Japão	1 Nasceu no Japão 2 Veio no ano ( )		1 Nasceu no Japão 2 Veio no ano ( )	
E Atualmente, seu filho está frequentando a escola? (inclui educação infantil / educação infantil / HOIKUEN, YOCHIEN)	1 Ainda não frequenta a escola (inclui educação infantil) 2 Está frequentando a escola (inclui educação infantil) 3 Está matriculado, mas não está indo à escola 4 Abandonou a escola 5 Já se formou		1 Ainda não frequenta a escola (inclui educação infantil) 2 Está frequentando a escola (inclui educação infantil) 3 Está matriculado, mas não está indo à escola 4 Abandonou a escola 5 Já se formou	
F Qual é a escola que seu filho frequenta no momento? (Se ele abandonou ou concluiu os estudos, circule a última escola)	1 HOIKUEN / YOCHIEN do Japão 2 SHOGAKKO do Japão 3 CHUGAKKO do Japão 4 KOKO do Japão 5 Educação Infantil de Escola Brasileira		1 HOIKUEN / YOCHIEN do Japão 2 SHOGAKKO do Japão 3 CHUGAKKO do Japão 4 KOKO do Japão 5 Educação Infantil de Escola Brasileira	



**21-Quais são as dificuldades em relação ao prosseguimento dos estudos do(a) seu(sua) filho(a)?** (Circule todas as alternativas correspondentes)

- 1 Não consigo acessar informações sobre o prosseguimento dos estudos no Japão
- 2 Faltam informações sobre o assunto traduzidas para o português
- 3 Não conheço ninguém para fazer consultas sobre o prosseguimento dos estudos
- 4 O peso sobre as despesas domésticas é muito grande
- 5 Estou inseguro em relação à habilidade escolar do(a) meu(minha) filho(a)
- 6 Outro ( )

**22-No futuro, qual é a profissão que você gostaria que seu(sua) filho(a) tivesse no Japão?**

- 1 Operário / técnico (produção, conserto, transporte, construção, etc)
- 2 Vendas / prestação de serviços (proprietário, vendedor, balconista, atendente, etc)
- 3 Trabalho de escritório (funcionário de escritório, bancário, etc)
- 4 Trabalho especializado / gerência (engenheiro, enfermeiro, assistente social, HELPER, professor, intérprete, administrador, etc)
- 5 Agricultor
- 6 Do lar
- 7 Estudante
- 8 Outro (Especificar: \_\_\_\_\_)

**23-Use o espaço abaixo para escrever sobre problemas relacionados aos seus filhos ou fazer pedidos e/ou sugestões para a administração pública.**

*Fim do questionário. Muito obrigado pela colaboração.*

(C) Cuestionario sobre la vida cotidiana en el  
Conjunto Habitacional Toshincho de la Ciudad de Iwata  
(Investigación Familiar / Extranjeros)

Realización: Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka  
(Coordinador de la investigación: Shigehiro Ikegami)

Solicitud de colaboración para la investigación

1. Este cuestionario es para las familias que incluyen moradores extranjeros.
2. Caso tenga al menos un miembro en la familia que sea de nacionalidad extranjera, el sobre que fue entregue incluirá el cuestionario familiar.
3. **El cuestionario tiene versiones en lenguas extranjeras y japonés fácil, pero el contenido es el mismo.** Responda en el idioma que tenga más facilidad y entregue **solamente un cuestionario respondido.**
4. En este cuestionario hay varias preguntas relacionadas a los hijos, por eso pedimos que independientemente de la nacionalidad, **el responsable que tenga más conocimiento sobre los hijos responda a las preguntas.**
5. Para más informaciones sobre el objetivo, contenido y método de colecta del cuestionario, entre en contacto con:

Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka  
División de Relaciones Comunitarias  
Nancy Naomi Ueda  
Tel. 053-457-6105  
Atendimiento en japonés, portugués, español y inglés  
Lunes a Viernes de las 10:00 a las 17:00

(C) Cuestionario sobre la vida cotidiana en el  
Conjunto Habitacional Toshincho de la Ciudad de Iwata

(Investigación Familiar/Extranjeros - Noviembre de 2014 - Universidad de Arte y Cultura de Shizuoka)

Este **Cuestionario Familiar** debe ser llenado por el(la) jefe de familia o el responsable que tenga más conocimiento sobre los hijos

[1] CUESTIONES SOBRE PREVENCIÓN DE DESASTRES Y TERREMOTOS

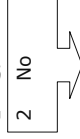
1-¿Usted está preparado para casos de terremotos o otras catástrofes naturales?

(Circule todas las alternativas correspondientes)

- 1 Sé dónde queda el local de refugio determinado del barrio
- 2 Combiné con la familia y amigos el modo de comunicarnos
- 3 Fijé los muebles, etc, para que no se muevan
- 4 Almacené alimentos y bebidas para casos de emergencia
- 5 Tengo radio portátil y linterna
- 6 No tengo nada preparado

2-¿Usted ya participó de algún entrenamiento de desastres naturales en su región?

- 1 Sí → Ir para la cuestión número 4
- 2 No



3-¿Cuál es el motivo de usted tener respondido "no" en la pregunta anterior?

(Circule todas las alternativas correspondientes)

- 1 No recibo informaciones sobre el entrenamiento
- 2 No tengo tiempo
- 3 Mismo si yo participar, yo no entiendo el japonés
- 4 No tengo interés, no creo que sea importante
- 5 Otro ( )

4-¿Cuál es su mayor preocupación si ocurrir un desastre natural?

(Circule **apenas una** alternativa)

- 1 Si voy a lograr confirmar que mis familiares están seguros
- 2 Si voy a lograr convivir con los japoneses en el local de refugio
- 3 Si voy a lograr obtener las informaciones necesarias en mi idioma
- 4 Si voy a lograr comunicarme con mis familiares en Perú
- 5 Otro ( )

**【2】 CUESTIONES SOBRE EL USO DE SERVICIOS ADMINISTRATIVOS**

**5-¿Usted ya usó los servicios administrativos abajo?**

Para cada uno de los ítemes de A a J, **circule una alternativa de 1 a 3.**

	1-Ya usé	2-Conozco, pero nunca usé	3-No conozco
A Ventanilla de Consulta para los Extranjeros de la Municipalidad	1	2	3
B Boletín Informativo de Iwata en portugués	1	2	3
C Sitio web de la Ciudad de Iwata en portugués	1	2	3
D Centro de Intercambio Multicultural "KONNICHIIWA!"	1	2	3
Juegos para padres e hijos (OYAKO ASOBI)			
E Estudios y juegos en el "KONNICHIIWA!"	1	2	3
(Por inscripción)			
F Consultas y informaciones en el "KONNICHIIWA!"	1	2	3
G Apoyo a los estudios de los alumnos de la secundaria (CHUGAKUSEI) en el "KONNICHIIWA!"	1	2	3
H Oportunidad para el reaprendizado en el "KONNICHIIWA!" (MANABINAOSHI)	1	2	3
I Curso de Japonés de la Asociación de Intercambio Internacional de Iwata	1	2	3
J Calendario de Colecta de Basura en español	1	2	3

**【3】 CUESTIONES SOBRE SU FAMILIA**

**6-¿Cuántas personas viven en este apartamento?**

( ) personas

**7-¿Quién vive en este apartamento?** (Circule todas las alternativas correspondientes)

Personas vinculadas al jefe de familia:

1 Espos(a), 2 Hijos, 3 Hermanos(as), 4 Padres, 5 Nietos,

Personas vinculadas al esposo(a):

6 Padres, 7 Hermanos(as),

Otros:

8 Otros parientes, 9 Personas que no son familiares

**8-¿Cuánto fue el promedio del salario mensual total de su familia en los últimos 3 meses?** Si varios miembros de la familia reciben salario, llene la suma de los salarios.

\_\_\_\_\_ ienes / mes

**【4】 CUESTIONES SOBRE SUS HIJOS**

**9-¿Cuántos hijos usted tiene en el total?**

(Llene el número de hijos, si no tiene hijos, circule la alternativa "No tengo hijos")

( ) hijos No tengo hijos

*Fin del cuestionario. Muchas gracias por su colaboración.*

**10-¿Entre esos, cuántos hijos viven con usted actualmente?**

( ) hijos Ningún(a) hijo(a)

*Fin del cuestionario. Muchas gracias por su colaboración.*

**11-¿De los hijos que viven con usted, cuántos tienen entre 0 a 15 años?**

( ) hijos Ningún(a) hijo(a)

*Fin del cuestionario. Muchas gracias por su colaboración.*

**12-¿Abajo, responda sobre los dos hijos más viejos que viven con usted y que tienen entre 0 a 15 años.**

	1er Hijo	2º Hijo
A Sexo	1 Masculino 2 Femenino	1 Masculino 2 Femenino
B Edad	( ) años	( ) años
C Local de nacimiento	1 Japón 2 Exterior ( )	1 Japón 2 Exterior ( )
D Año en que vino a Japón	1 Nació en Japón 2 Vino en el año ( )	1 Nació en Japón 2 Vino en el año ( )
E ¿Actualmente, su hijo está frecuentando la escuela? (incluye educación inicial / educación inicial / HOIKUEN, YOCHIEN)	1 Todavía no frecuenta la escuela (incluye educación inicial) 2 Está frecuentando la escuela (incluye educación inicial) 3 Está matriculado, pero no está yendo a la escuela 4 Abandonó la escuela 5 Ya se formó	1 Todavía no frecuenta la escuela (incluye educación inicial) 2 Está frecuentando la escuela (incluye educación inicial) 3 Está matriculado, pero no está yendo a la escuela 4 Abandonó la escuela 5 Ya se formó
F ¿Cuál es la escuela que su hijo frecuenta en el momento? (Si el abandonó o concluyó los estudios, circule la última escuela)	1 HOIKUEN / YOCHIEN de Japón 2 SHOGAKKO de Japón 3 CHUGAKKO de Japón 4 KOKO de Japón 5 Educación Inicial de la Escuela Peruana	1 HOIKUEN / YOCHIEN de Japón 2 SHOGAKKO de Japón 3 CHUGAKKO de Japón 4 KOKO de Japón 5 Educación Inicial de la Escuela Peruana

	<div><div>6Educación Secundaria de la Escuela Peruana</div><div>7Educación Secundaria Superior de la Escuela Peruana</div><div>8Escuela Técnica</div><div>9Otro</div></div>	<div><div>6Educación Secundaria de la Escuela Peruana</div><div>7Educación Secundaria Superior de la Escuela Peruana</div><div>8Escuela Técnica</div><div>9Otro</div></div>
G (Si su hijo ya concluyó los estudios) ¿Actualmente su hijo está trabajando?	<div><div>1Sí, está trabajando</div><div>2No está trabajando ahora, pero ya ha trabajado antes</div><div>3Nunca ha trabajado</div></div>	<div><div>1Sí, está trabajando</div><div>2No está trabajando ahora, pero ya ha trabajado antes</div><div>3Nunca ha trabajado</div></div>
H ¿En el día a día, usted cena junto con su hijo?	<div><div>1Casi todos los días</div><div>2De 3 a 4 veces por semana</div><div>3De 1 a 2 veces por semana</div><div>4De 1 a 2 veces por mês</div><div>5Difícilmente</div></div>	<div><div>1Casi todos los días</div><div>2De 3 a 4 veces por semana</div><div>3De 1 a 2 veces por semana</div><div>4De 1 a 2 veces por mês</div><div>5Difícilmente</div></div>
I ¿En que lengua usted conversa con su hijo?	<div><div>1La lengua de los padres</div><div>2Principalmente en japonés</div><div>3Mesclo las dos lenguas</div></div>	<div><div>1La lengua de los padres</div><div>2Principalmente en japonés</div><div>3Mesclo las dos lenguas</div></div>

13-¿Usted recibe auxilio de la administración pública? (Circule las alternativas correspondientes)

1Subsidio Infantil (JIDOU TEATE)

2Auxilio para Subsistencia (SEIKATSU HOGO)

3Auxilio de Incentivo para la Independencia de Madre e Hijo (BOSHI JIRITSU SHIEN KYUFUKIN)

4Auxilio de los Gastos Escolares (para familias de baja renda)

5No

14-¿Usted ya ha participado de la Asociación de Padres y Mestres (PTA)?

(Circule todas las alternativas correspondientes)

1Nunca he participado

2Participo algunas veces

3Tiento participar siempre que puedo

4Participo casi siempre

5Sí, y ya tuve la experiencia de ser escogido como representante

15-¿Cómo usted obtiene informaciones sobre los costumbres y reglas de la escuela japonesa? (Circule todas las alternativas correspondientes)

1Pregunto a los profesores de la escuela

2Pregunto a las personas del Centro de Intercambio Multicultural "KONNICHITWA!"

3Pregunto a conocidos peruanos

4Pregunto a conocidos japoneses

5Leo los materiales distribuidos por la escuela

6Busco en la Internet, etc

7Otro ( )

4

16-¿Con quién su hijo(a) juega después del termino de las clases en los días de semana? (Circule todas las alternativas correspondientes)

1Con compañeros de clase/amigos japoneses

2Con compañeros de clase/amigos peruanos

3Con compañeros de clase/amigos de otras nacionalidades

4Con los hermanos

5Solo

17-¿Con quién su hijo(a) juega en los fines de semana?

(Circule todas las alternativas correspondientes)

1Con compañeros de clase/amigos japoneses

2Con compañeros de clase/amigos peruanos

3Con compañeros de clase/amigos de otras nacionalidades

4Con los hermanos

5Solo

18-¿Quién cuida de su hijo(a) que no está en edad escolar?

(Circule todas las alternativas correspondientes)

1Abuelo, abuela, otros parientes

2HOIKUEN japonés

3YOCHIEN japonés

4Guardería administrada por peruanos/brasileños

5Se queda en la casa

6No tengo hijo(a) que no está en edad escolar

5

CUESTIONES SOBRE EL FUTURO DE SUS HIJOS

19-¿Usted gustaría que su hijo(a) continúe viviendo en Japón en el futuro?

1Sí

2No → Fin del cuestionario. Muchas gracias por la colaboración.

3No sé

20-¿Cuál es el grado de educación que usted desea a su hijo(a)?

(Circule todas las alternativas correspondientes)

1Conclusión de CHUGAKKO japonés

2Conclusión de la Educación Secundaria en escuela peruana

3Conclusión de KOKO japonés

4Conclusión de la Educación Secundaria Superior en escuela peruana

5Conclusión de la Escuela Técnica

6Conclusión de un curso de universidad, facultad de corta duración

7Conclusión de curso universitario a distancia de Perú

8No sé

5

110

**21.-¿Cuáles son las dificultades en relación al proseguimiento de los estudios de su hijo(a)?** (Circule todas las alternativas correspondientes)

- 1 No encuentro informaciones sobre el proseguimiento de los estudios en Japón
- 2 Faltan informaciones sobre el asunto traducidas para el español
- 3 No conozco a nadie para hacer consultas sobre el proseguimiento de los estudios
- 4 La carga sobre la economía familiar es muy grande
- 5 Me siento inseguro acerca del nivel escolar de mi hijo(a)
- 6 Otro ( )

**22.-¿En el futuro, cuál es la profesión que usted gustaría que su hijo(a) tuviera en Japón?**

- 1 Operario / técnico (producción, reparación, transporte, construcción, etc)
- 2 Ventas / prestación de servicios (propietario, empleado de ventas, atención al público, etc)
- 3 Trabajo de oficina (funcionario de oficina, bancario, etc)
- 4 Trabajo especializado / gerencia (ingeniero, enfermero, asistente social, HELPER, profesor, intérprete, administrador, etc)
- 5 Agricultor
- 6 Ama de casa
- 7 Estudiante
- 8 Otro (Especificar: \_\_\_\_\_)

**23-Use el espacio abajo para escribir sobre problemas relacionados a sus hijos o hacer pedidos y/o sugerencias para la administración pública.**

*Fin del cuestionario. Muchas gracias por la colaboración.*



## (C) Questionnaire on the living conditions at the Toshincho Housing Complex in Iwata City

### (Household Survey / Foreigners)

Execution: Shizuoka University of Art and Culture  
(Research coordinator: Shigehiro Ikegami)

### Request for cooperation to the survey

1. This questionnaire is intended for families which includes foreign residents.
2. If at least one of the members of the family is a foreign national, the envelope that was distributed contains a household questionnaire.
3. **The questionnaire has versions in foreign languages and easy Japanese, but the content is the same.** Answer in the language you feel most comfortable with, and **hand in only one completed questionnaire.**
4. There are many questions related to the children in this survey, therefore we would like to ask that, regardless of the nationality, **the parent who knows more about the children to answer the questions.**
5. For more information about the purpose, content and method of collection of the survey, contact the following person:

Shizuoka University of Art and Culture  
Community Relations Section  
Nancy Naomi Ueda  
Tel. 053-457-6105  
Japanese, Portuguese, Spanish and English  
Monday to Friday, 10:00 to 17:00

## (C) Questionnaire on the living conditions at the Toshincho Housing Complex in Iwata City

(Household Survey/Foreigners – November 2014 – Shizuoka University of Art and Culture)

This **Household Questionnaire** should be filled in by the head of the family or the parent who knows more about the children.

### [1] QUESTIONS ABOUT DISASTER PREVENTION AND EARTHQUAKES

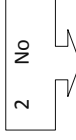
#### 1-Are you prepared for earthquakes or other natural disasters?

(Circle all corresponding alternatives)

- 1 I know where the designated emergency evacuation center is
- 2 I have arranged with my family and friends how we should communicate
- 3 I have fixed the furniture, etc, so that it will not fall over
- 4 I have prepared emergency food and beverages
- 5 I have a portable radio and torch
- 6 I have nothing prepared

#### 2-Have you ever participated in any disaster prevention training in your region?

- 1 Yes → Go to question number 4
- 2 No



#### 3-What is your reason for answering "no" in the previous question?

(Circle all corresponding alternatives)

- 1 I do not receive information about the training
- 2 I do not have time
- 3 Even if I participate, I cannot understand Japanese
- 4 I am not interested, I do not think it is important
- 5 Other ( )

#### 4-What is your biggest concern in case a natural disaster occurs?

(Circle **only one** alternative)

- 1 If I will be able to confirm if my family is safe
- 2 If I will be able to live with the Japanese people at the emergency evacuation center
- 3 If I will be able to obtain the necessary information in my native language
- 4 If I will be able to communicate with my family in my home country
- 5 Other ( )

## 【2】 QUESTIONS ABOUT THE USE OF ADMINISTRATIVE SERVICES

### 5- Have you ever used any of the administrative services below?

For each of the items from A to J, circle one alternative from 1 to 3.

	1- Yes, I have used	2- I know, but I have never used	3- I do not know
A Information Counter for Foreigners at the City Office	1	2	3
B Iwata Information Bulletin (in Japanese, Portuguese)	1	2	3
C Iwata City Office Website (in Japanese, English, Portuguese)	1	2	3
D Multicultural Exchange Center "KONNICHWA!" Plays for parents and children (OYAKO ASOBI)	1	2	3
E Learning and playing at "KONNICHWA!" (Subscription needed)	1	2	3
F Consultation and information at "KONNICHWA!"	1	2	3
G Support for learning for students of junior high school (CHUGAKUSEI) at "KONNICHWA!"	1	2	3
H Relearning subjects at "KONNICHWA!" (MANABINAOSHI)	1	2	3
I Japanese Course of the Iwata International Exchange Association	1	2	3
J Garbage Collection Calendar in my native language	1	2	3

## 【3】 QUESTIONS ABOUT YOUR FAMILY

### 6- How many people live in this apartment?

( ) people

### 7- Who lives in this apartment? (Circle all the corresponding alternatives)

People related to the head of the family:

1 Spouse, 2 Children, 3 Brothers, 4 Parents, 5 Grandchildren,

People related to the spouse:

6 Parents, 7 Brothers,

Others:

8 Other relatives, 9 People whom are not family

### 8- What was the average total income of your household in the past 3 months?

If there are many family members who receive salary, fill in the total sum of the salaries.

\_\_\_\_\_ yen / month

## 【4】 QUESTIONS ABOUT YOUR CHILDREN

### 9- How many children do you have in total? (Fill in the number of children, if you do not have children, circle the alternative "I do not have children")

( ) children

I do not have children

End of the questionnaire. Thank you for your cooperation.

### 10- Of these, how many children currently live with you?

( ) children

No one

End of the questionnaire. Thank you for your cooperation.

### 11- Of the children who live with you, how many are between 0 and 15 years?

( ) children

No one

End of the questionnaire. Thank you for your cooperation..

### 12- Below, answer about the two oldest children who live with you and whose age is between 0 and 15 years.

	1 <sup>st</sup> Child	2 <sup>nd</sup> Child
A Gender	1 Male 2 Female	1 Male 2 Female
B Age	( ) years	( ) years
C Place of birth	1 Japan 2 Abroad ( )	1 Japan 2 Abroad ( )
D Year in which arrived in Japan	1 Born in Japan 2 Came in the year ( )	1 Born in Japan 2 Came in the year ( )
E Currently, is your child attending school? (includes nursery school, kindergarten / HOIKUEN, YOCHIEN)	1 He/she is not attending school yet (includes nursery/ kindergarten) 2 He/she is attending school (includes nursery/ kindergarten) 3 He/she is enrolled, but is not going to school 4 Dropped out of school 5 Already graduated	1 He/she is not attending school yet (includes nursery/ kindergarten) 2 He/she is attending school (includes nursery/ kindergarten) 3 He/she is enrolled, but is not going to school 4 Dropped out of school 5 Already graduated
F What is the school your child currently attends? (if he/she dropped out or finished school, circle the last school attended)	1 Japanese HOIKUEN / YOCHIEN 2 Japanese SHOAGAKKO 3 Japanese CHUGAKKO 4 Japanese KOKO 5 Kindergarten/nursery of an ethnic school	1 Japanese HOIKUEN / YOCHIEN 2 Japanese SHOAGAKKO 3 Japanese CHUGAKKO 4 Japanese KOKO 5 Kindergarten/nursery of an ethnic school

	6 Primary/Junior High school of an ethnic school	6 Primary/Junior High school of an ethnic school
	7 High school of an ethnic school	7 High school of an ethnic school
	8 Professional training school	10 Professional training school
	9 Other	11 Other
G (If your child has finished studying) Is your child currently working?	1 Yes, he/she is working 2 No, he/she is not working now, but has worked before 3 Never worked	1 Yes, he/she is working 2 No, he/she is not working now, but has worked before 3 Never worked
H In your everyday life, do you have dinner with your child?	1 Almost every day 2 3 to 4 times a week 3 1 to 2 times a week 4 1 to 2 times a week 5 Hardly	1 Almost every day 2 3 to 4 times a week 3 1 to 2 times a week 4 1 to 2 times a week 5 Hardly
I In which language do you speak with your child?	1 In the parent's language 2 Mainly in Japanese 3 I mix both languages	1 In the parent's language 2 Mainly in Japanese 3 I mix both languages

**13-Do you receive aid from the public administration?** (Circle all corresponding alternatives)

- 1 Allowance for dependent children (JIDOU TEATE)
- 2 Supplemental Security Income (SEIKATSU HOGO)
- 3 Stipend for the Independence of Mother and Child (BOSHI JIRITSU SHIEN KYUFUKIN)
- 4 School Expenses Subsidies (for low income families)
- 5 No

**14-Have you ever participated in the Parents and Teachers Association (PTA)?**

(Circle all of the corresponding alternatives)

- 1 I have never participated
- 2 Sometimes I participate
- 3 I try to participate whenever I can
- 4 I almost always participate
- 5 Yes, and I have also had the experience of being chosen as a representative

**15-How do you obtain information about common practices and rules of Japanese schools?**

(Circle all of the corresponding alternatives)

- 1 I ask the teachers of the school
- 2 I ask the staff of the Multicultural Exchange Center "KONNICHUWA!"
- 3 I ask acquaintances of my nationality
- 4 I ask Japanese acquaintances
- 5 I read the material that is distributed by the school
- 6 I search on the Internet, etc
- 7 Other ( )

**16-Who does your child play with after school during week days?**

(Circle all corresponding alternatives)

- 1 With Japanese classmates/friends
- 2 With classmates/friends of the same nationality
- 3 With classmates/friends of other nationalities
- 4 With their siblings
- 5 Alone

**17-Who does your child play with on the weekends?** (Circle all corresponding alternatives)

- 1 With Japanese classmates/friends
- 2 With classmates/friends of the same nationality
- 3 With classmates/friends of other nationalities
- 4 With their siblings
- 5 Alone

**18-Who takes care of your child who is not of school age?** (Circle all corresponding alternatives)

- 1 Grandparents, other relatives
- 2 Japanese HOIKUEN
- 3 Japanese YOCHIEN
- 4 Nursery school administered by a person of my nationality
- 5 My child stays at home
- 6 I do not have a child who is not of school age

**[5] QUESTIONS ABOUT THE FUTURE OF YOUR CHILDREN**

**19-Do you want your child to keep living in Japan in the future?**

- 1 Yes
- 2 No → End of the questionnaire. Thank you for your cooperation.
- 3 I do not know

**20-What is the highest level of education that you wish for your child?**

(Circle all corresponding alternatives)

- 1 Complete Japanese CHUGAKKO
- 2 Complete Junior High School in an ethnic school
- 3 Complete Japanese KOKO
- 4 Complete High School in an ethnic school
- 5 Complete Professional School
- 6 Complete a University, Two-year College course
- 7 Complete a long distance university course from my home country
- 8 I do not know

**21-What are the challenges related to your child's education continuance?**

(Circle all corresponding alternatives)

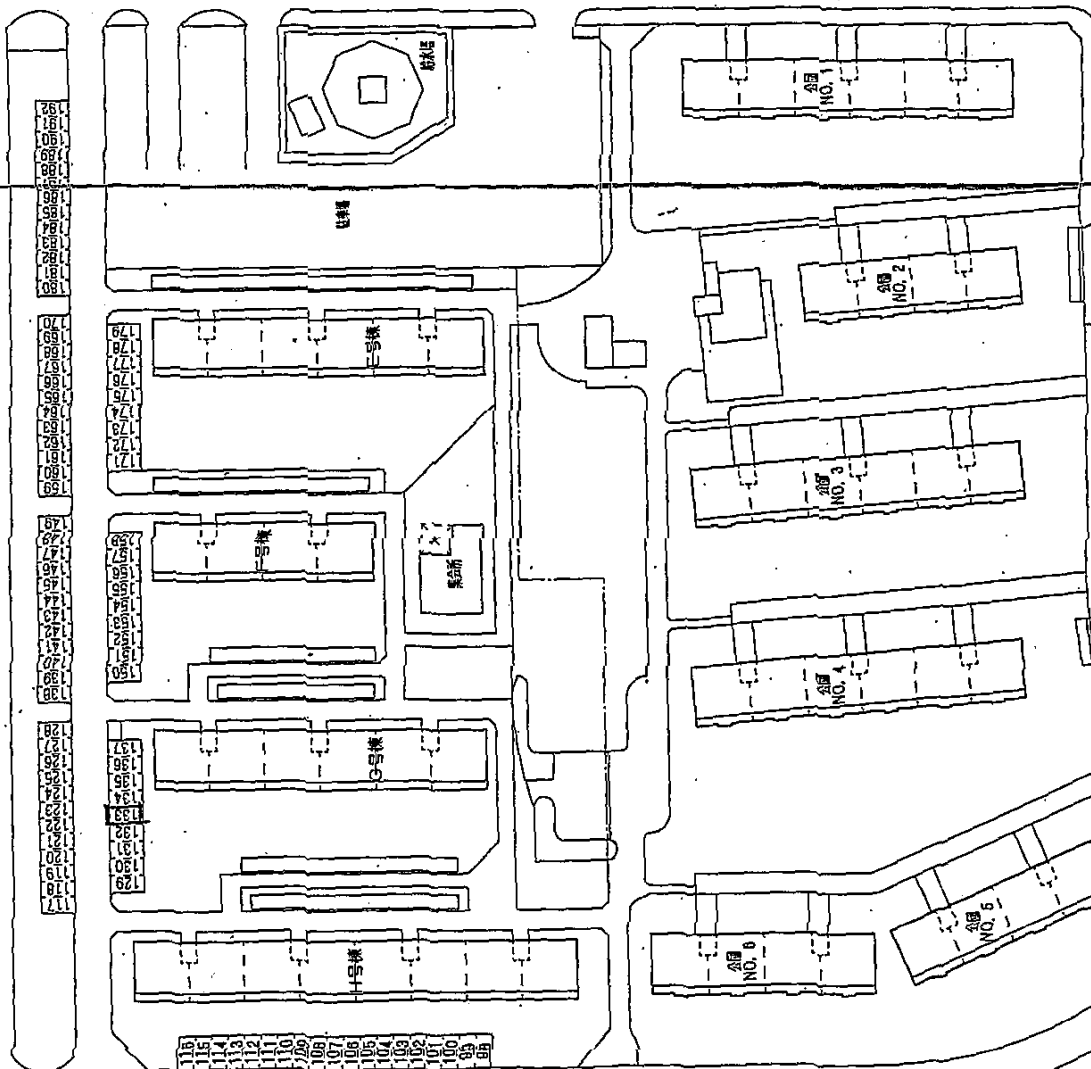
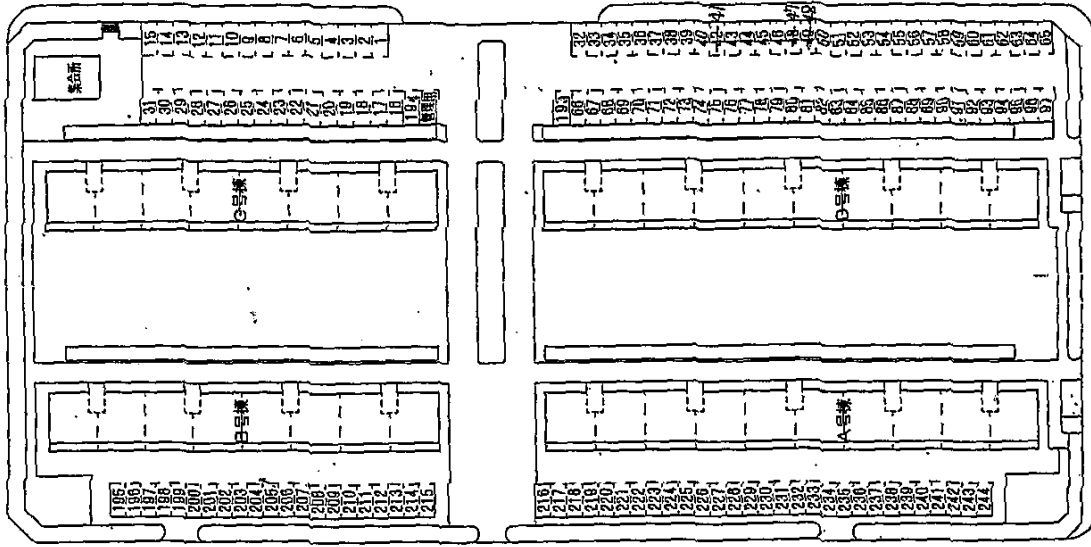
- 1 I cannot access information regarding education continuance in Japan
- 2 There is lack of information about the topic translated into my language
- 3 I do not know anyone whom I can consult about education continuance
- 4 The burden over the family budget is too high
- 5 I am insecure about my child's academic abilities
- 6 Other ( )

**22-In the future, what is the career you wish for your child in Japan?**

- 1 Worker / technician (production, repair, transport, construction, etc)
- 2 Sales / services (owner, salesperson, receptionist, clerk, etc)
- 3 Office work (office employee, bank clerk, etc)
- 4 Specialized work / management (engineer, nurse, social worker, caretaker, teacher, interpreter, manager, etc)
- 5 Agriculture
- 6 Housekeeper
- 7 Student
- 8 Other (Specify: )

**23-Use the space below to write about problems related to your children or to make requests and/or suggestions for the public administration.**

End of the questionnaire. Thank you for your cooperation.



原宮橋田団地 8-1/750



2015年2月22日

Gracias MUITO OBRIGADO thank you  
**ありがとうございました**

東新町団地にお住まいの皆様へ

昨年11月に行ったアンケート調査の結果がまとまりました。  
 調査の折にはご協力いただき、本当にありがとうございました。

つきましては、団地の皆さんに結果をお知らせする報告会を  
 以下のとおり開催します。どうぞお越しください。

日時: 3月8日(日)14:00~16:00

場所: 県営住宅第二集会場

言語: 日本語/ポルトガル語

主催: 静岡文化芸術大学

事前申込み不要、入場無料

お問い合わせ:  
 磐田市 市民部 市民活動推進課 協働・共生社会推進グループ  
 TEL 0538-37-4710



22/02/2015

Obrigado ありがとうございます gracias  
**Thank you**

**For the residents of the TOSHINCHO housing complex**

Thank you very much for your cooperation in the survey we  
 conducted in November last year.

We will organise a meeting with the residents to inform about  
 the results of the survey.

We hope you will be able to attend it in the following date.

Date: **8 March** (Sunday), **14:00 - 16:00**

Place: **Ken'ei Jūtaku Dai Ni Shūkaijo**

Language: **Japanese / Portuguese**

Organizer: Shizuoka University of Art and Culture

There is no need to register; the entrance is free

For more information:  
 Iwata City Office, Shimin Katsudō Suishin Ka  
 Kyōdō Kyōsei Shakai Suishin Group TEL 0538-37-4710



22/02/2015

Gracias ありがとうございます thank you  
**Muito obrigado**

Aos moradores do conjunto habitacional TOSHINCHO

Muito obrigado pela sua colaboração na pesquisa realizada  
 em novembro do ano passado.

Na data abaixo faremos uma reunião com os moradores para  
 informar a respeito dos resultados da pesquisa.

Contamos com a sua presença.

Dia: **8 de março** (dom), **14:00 às 16:00**

Local: **Ken'ei Jūtaku Dai Ni Shūkaijo**

Idioma: **Japonês / Português**

Realização: Univ. Arte e Cultura de Shizuoka

Não é preciso fazer inscrição, entrada gratuita

Mais informações:  
 Prefeitura de Iwata, Shimin Katsudō Suishin Ka  
 Kyōdō Kyōsei Shakai Suishin Group Tel. 0538-37-4710



22/02/2015

Obrigado ありがとうございます thank you  
**Muchas gracias**

A los moradores del conjunto habitacional TOSHINCHO

Muchas gracias por su colaboración en la encuesta realizada  
 en noviembre del año pasado.

En la fecha abajo haremos una reunión con los moradores  
 para informarles acerca de los resultados de la encuesta.

Contamos con su presencia.

Fecha: **8 de marzo** (dom), **14:00 - 16:00**

Lugar: **Ken'ei Jūtaku Dai Ni Shūkaijo**

Lengua: **Japonés / Portugués**

Realización: Univ. Arte y Cultura de Shizuoka

No es necesario hacer la inscripción, es gratis

Más informaciones:  
 Municipalidad de Iwata, Shimin Katsudō Suishin Ka  
 Kyōdō Kyōsei Shakai Suishin Group Tel. 0538-37-4710

## 磐田市東新町団地調査の結果報告 －居住者の皆様へ－

2015年3月8日(土)@県営第二集会場

静岡文化芸術大学 文化政策学部

池上重弘 イシカワ エウニセ アケミ

### 東新町団地調査

- 県営住宅、公団（UR）住宅の全世帯が対象
- 16歳以上の居住者にアンケート調査
- 2014年11月に静岡文化芸術大学が実施
- 調査員の本学学生20名のうち半数が外国につながる学生たち
- 3つの調査
  - － 調査A 日本人個人調査
  - － 調査B 外国人個人調査
  - － 調査C 外国人世帯調査

## 回収数と回収率

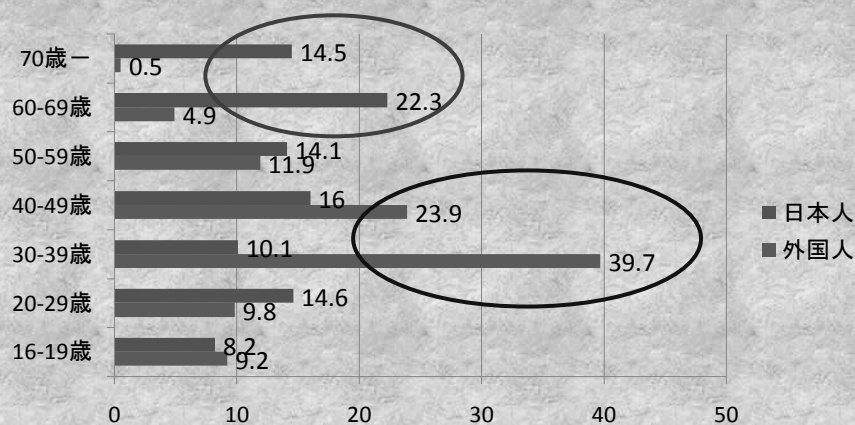
		リスト上の対象者数	調査票回収数	回収率
A票	日本人向け個人調査	352	229	<b>65.1%</b>
B票	外国人向け個人調査	402	197	<b>49.0%</b>
	やさしい日本語		11	
	ポルトガル語		171	
	スペイン語		9	
	英語		6	
C票	外国人向け世帯調査	198	104	<b>52.5%</b>
	やさしい日本語		5	
	ポルトガル語		88	
	スペイン語		8	
	英語		3	

日本人個人調査の回収率は65%

外国人調査でも個人調査が49%、世帯調査が52.5%の高い回収率

## 回答者の年齢層構成比(%)

日本人(219人)、外国人(184人)

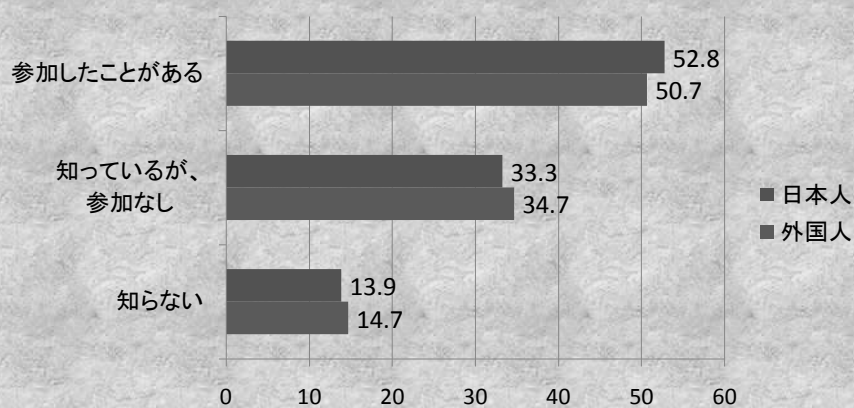


日本人回答者は全般的に年齢が高く60代、70代も多いが、外国人回答者は30代、40代が大半を占める。



## 自治会の会合への参加(%)

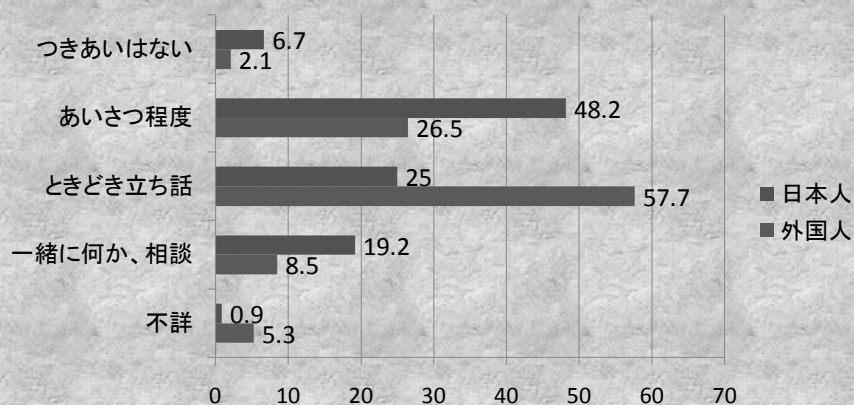
日本人(216人)、外国人(150人)



日本人と外国人で大きな違いは見られない。

## 団地に住む同じ国の人とのつきあい(%)

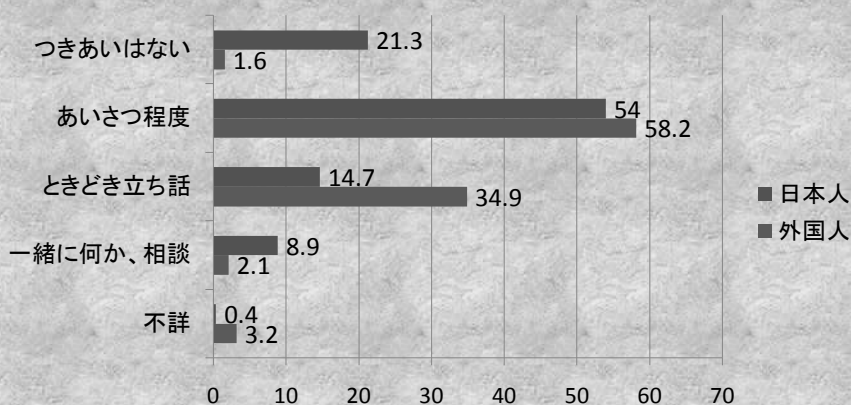
日本人(224人)、外国人(189人)



日本人はあいさつ程度のつきあいが約半数。  
一方、一緒に何かしたり相談したりする人も約2割。  
外国人は立ち話程度が多い一方、何かを一緒にする人は少ない

## 団地に住む外国人／日本人とのつきあい(%)

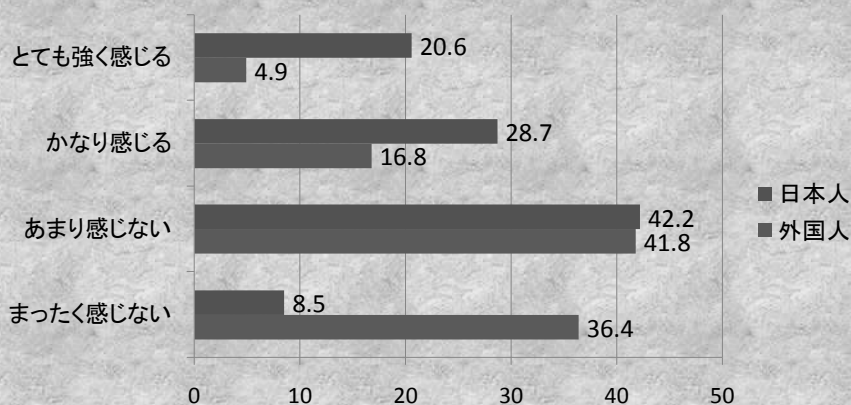
日本人(224人)、外国人(189人)



日本人と外国人に認識のギャップあり。  
日本人は外国人とつきあいはないと感じている人が約2割と多い。  
一方、外国人はときどき立ち話程度と感じている人が多い。

## 団地に住む外国人／日本人との間の壁(%)

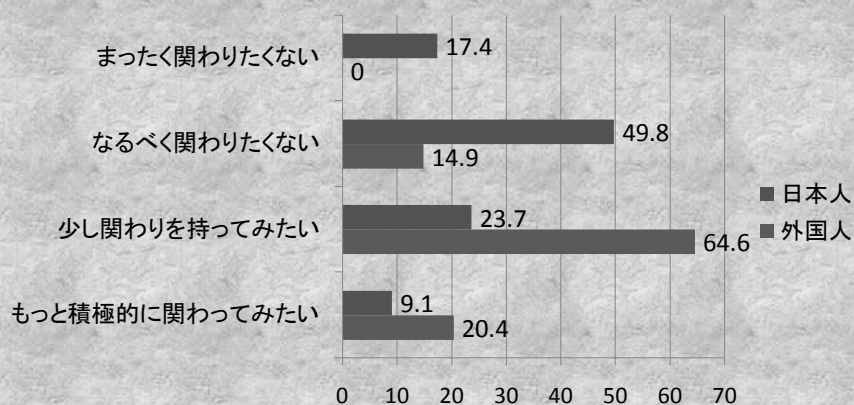
日本人(223人)、外国人(184人)



日本人と外国人に認識のギャップあり。  
日本人は外国人との間に壁を感じる人が約半数。  
一方、外国人はまったく感じない人が36%。

## 団地に住む外国人／日本人との今後の関係(%)

日本人(219人)、外国人(181人)



日本人は外国人との関わりに消極的。

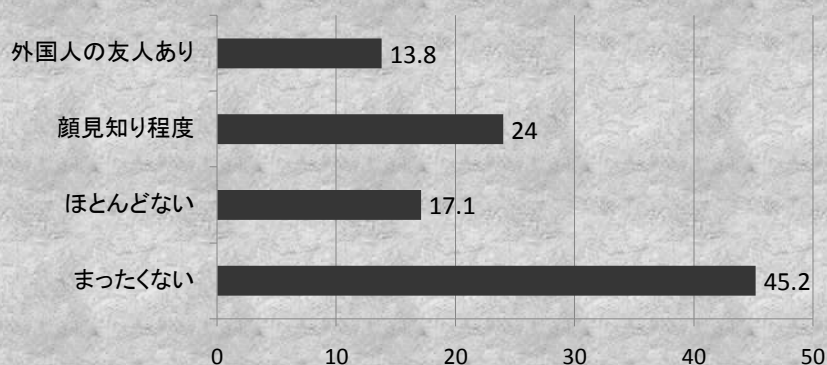
一方、外国人は日本人との関わりに85%が積極的。

## まとめ(1)

- 幹旋会社のつながりが強く、問題があっても地域の同国人に相談することは少ない。
- 団地に住んでいても、「ここが自分の場所」とは思っていない人が多い。
- 数はたくさん住んでいても「外国人コミュニティ」ができていないわけではない。
- 日本人とのつきあいを望む外国人も多い。
- 新しい関係づくりが求められる。

### 団地以外での外国人とのつきあい(%)

日本人(217人)



外国人の友人がいる日本人は約14%。  
顔見知り程度まで含めても37.8%でほぼ3分の1。  
その中(89人)では、仕事関係(45%)、学校(18%)、  
子どもを通じた親どうしのつながり(11%)。

### 団地における外国人受け入れの条件(%)

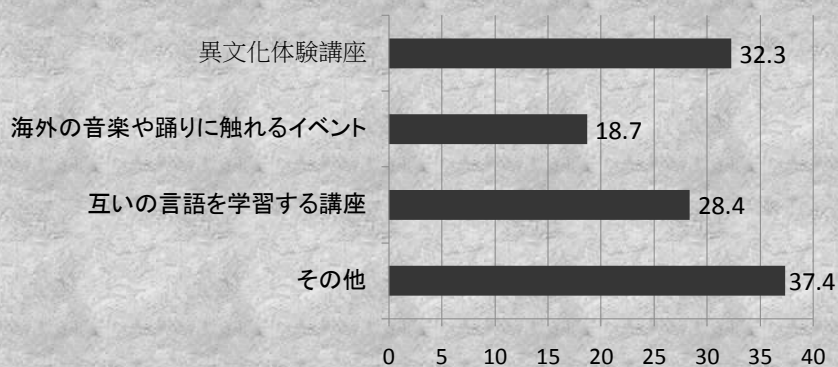
日本人(218人)



生活ルール順守を求める声が多い。  
では「ルール」とは何か? 「ルール」を伝える手段は確立しているか?  
一切受け入れるべきではないという強い拒否は1割弱。  
団地での共生は決して不可能ではない。

## 外国人との相互理解のために参加したいもの(%)

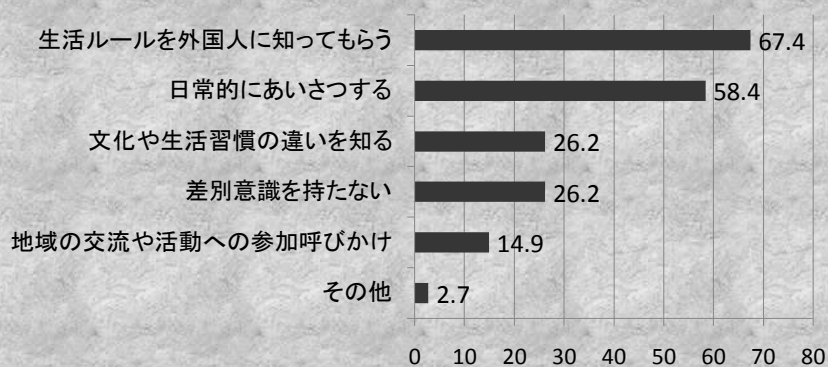
日本人(155人)



異文化体験講座への参加希望が多い。  
一方、互いの言語を学習する講座への希望もある。

## 外国人との相互理解のために地域で必要なこと(%)

日本人(221人)複数回答3つまで



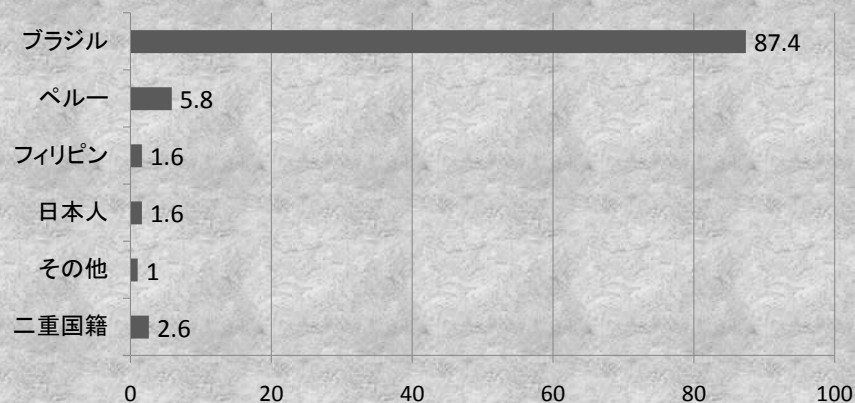
もっとも多いのは生活ルールを知ってもらった上で、  
日常的にあいさつを交わすことが必要と考えられている。

## まとめ(2)

- 団地以外で外国人とのつきあいのある人は多くない。いても仕事関係が多いが、学校関係や子どもつながりもある。
- 団地での生活において、日本人の多くは生活ルールへの遵守を求めている。
- 一方で、異文化体験や互いの言語を学ぶ講座への関心も認められる。
- 生活ルールの理解を共有した上で、あいさつを交わせるような関係づくりが求められている。

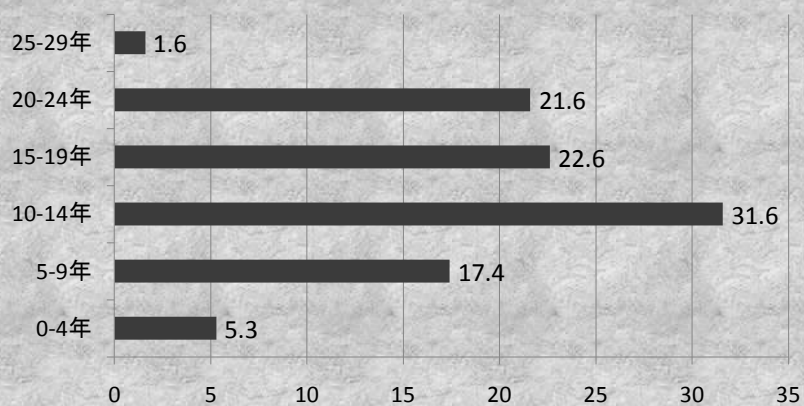
### 外国人回答者の国籍(%)

外国人(191人)



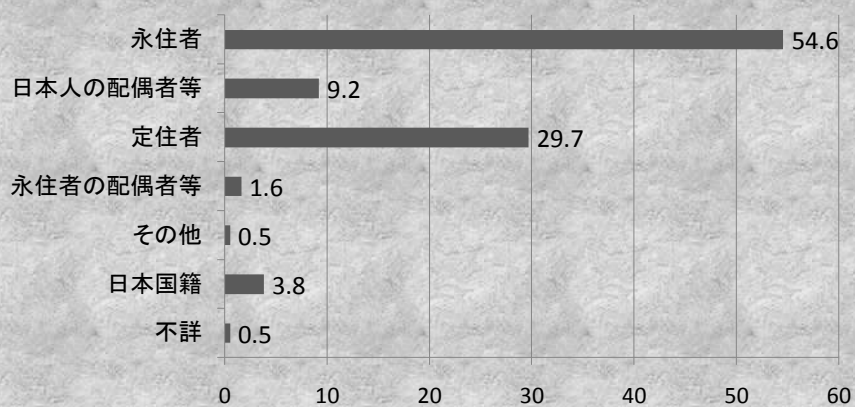
圧倒的にブラジル国籍者が多い。

### 日本での滞在年数(%) 外国人(190人)

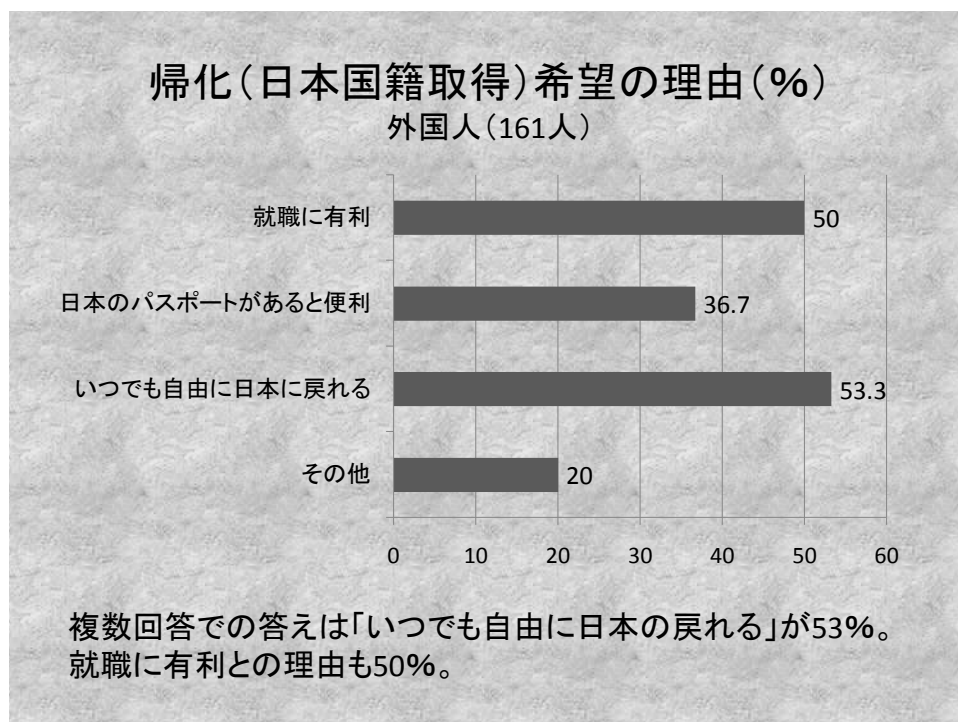
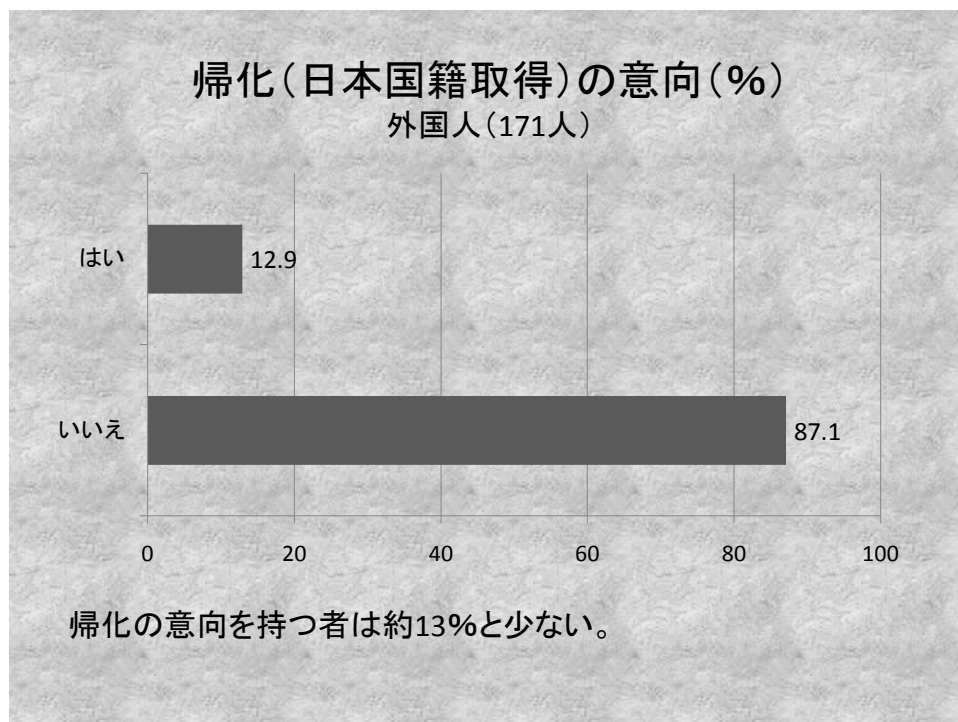


15年以上日本に滞在している回答者が約半数。

### 外国人回答者の在留資格(%) 外国人(185人)



永住者が5割強で過半数を占める。  
次いで定住者が約3割が多い。





## 生活情報の入手(%)

外国人(189人)



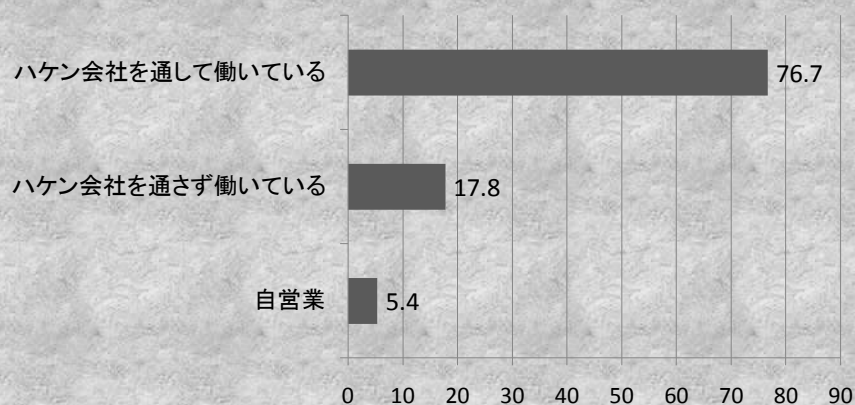
上位4つは母国語での情報。  
 しかし、日本のラジオ・テレビも47%が活用。  
 一方、日本人からの直接的な情報入手は多くない。

## まとめ(3)

- 外国人回答者はブラジル人が大多数。
- 日本滞在が15年以上に及ぶ人が約半数。
- 永住資格が55%だが、日本国籍取得希望は13%と少ない。日本永住に「迷い」がある？
- 生活情報の入手はやはり母国語に頼る
  - － 母国語の新聞・雑誌、フェイスブック
  - － 広報外国語版、同国籍の友人からの情報

## 現在仕事をしているか(%)

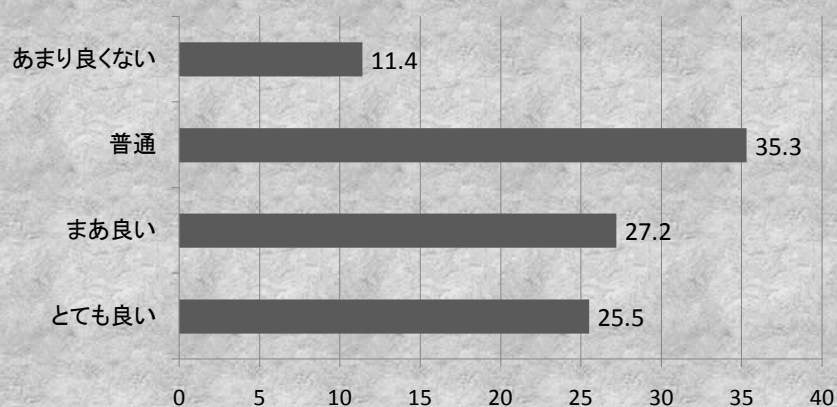
外国人(129人)



ほぼ4人に3人が「ハケン会社(斡旋業者)」を通して働く。  
自営業(経済的自立)は5%ほどでごくわずか。

## いまの健康状態(%)

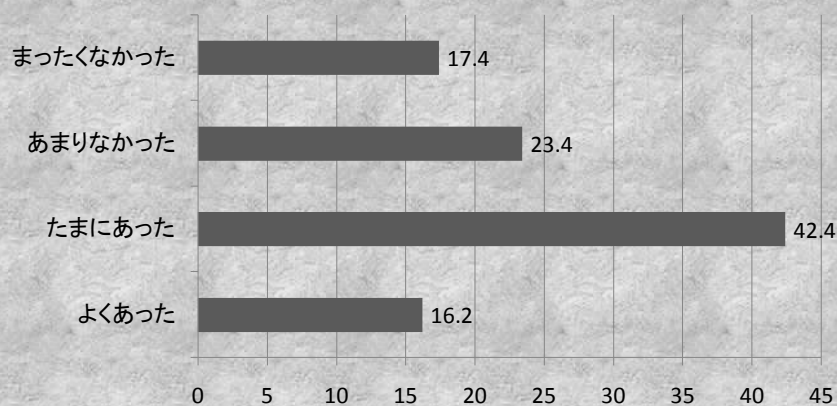
外国人(184人)



健康状態は比較的よい。

### この1年間の悩みやストレス(%)

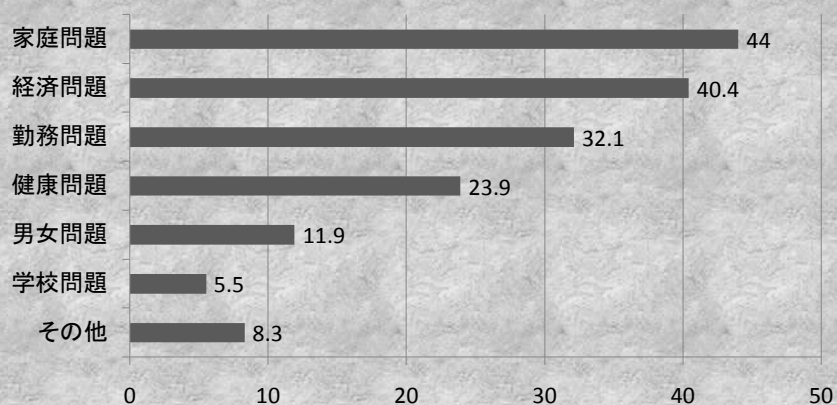
外国人(184人)



悩みやストレスは半数以上が経験。  
よくあったという人も16%。

### 悩みやストレスの理由(%)

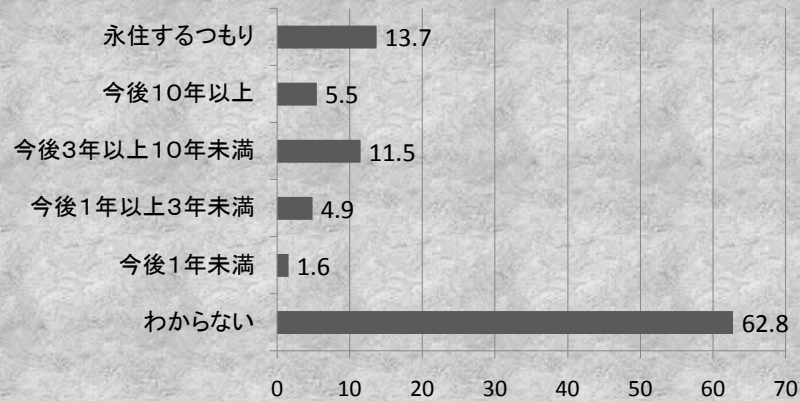
外国人(184人)



家庭問題、経済問題、勤務問題は  
相互に関連していることがうかがえる。

## 今後の日本での滞在予定(%)

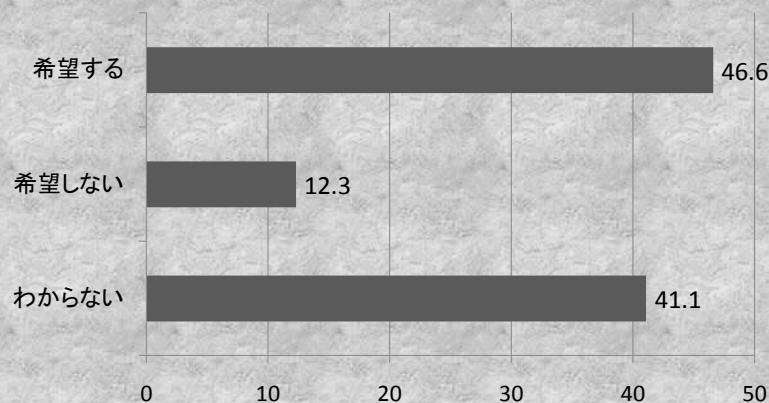
外国人(183人)



明確な永住希望は13.7%でほぼ7人に1人。  
不安定な就労状況を反映しているためか、  
「あとどれくらい日本で生活するかわからない」が約3分の2。

## 子どもの将来(日本での生活)への希望(%)

外国人(73人)



約半数は子どもが将来日本で生活することを希望。  
一方、「わからない」の回答も41%。  
先行きの不透明感がここにも表れている。

## 子どもの教育への希望(%)

外国人(70人)



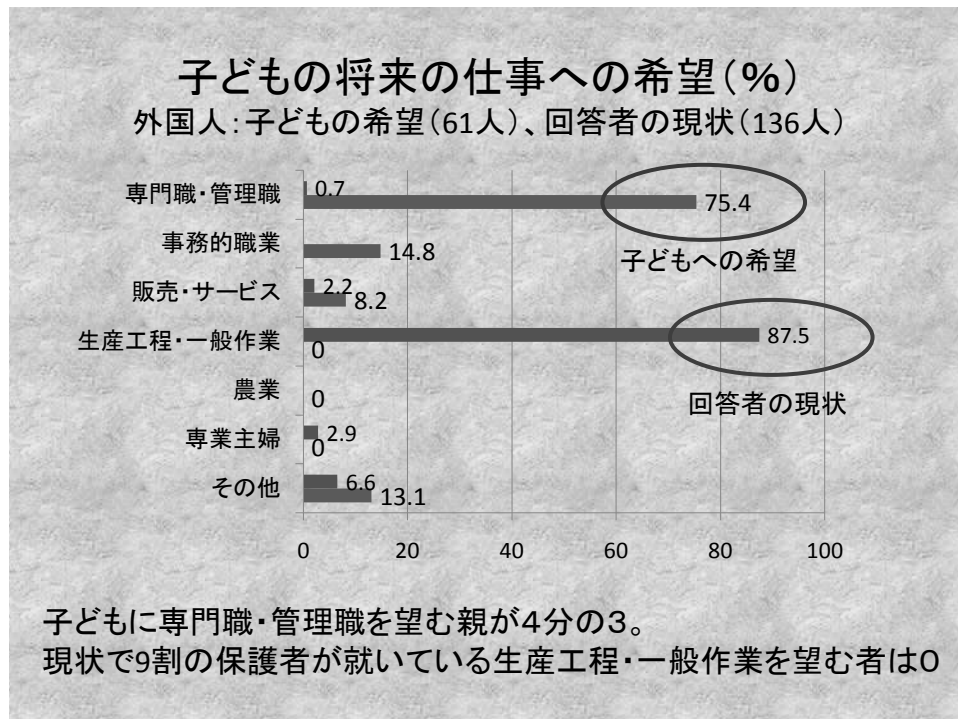
日本の短大・大学卒業を望む親が37%。  
日本の高卒後のさらなる学歴を希望するのは全体の3分の2。

## 子どもの進学に関する問題(%)

外国人(56人)



進学については、家計への負担の心配が大きい(55%)。  
また進学情報の不足も課題(40%)。



## まとめ(4)

- 親世代の就労はここ20年、ほぼ変わらない
  - 製造業での間接雇用、ライン労働
  - 短期契約の不安定な雇用
  - 社会的・経済的上昇は難しい現状
- 子どもには日本での生活を期待
  - 日本での学歴、日本での安定した就業を望む
  - しかし経済状況や情報不足が課題

# Relatório de Pesquisa Conjunto Residencial Toshincho

8 de março de 2015 (Sáb) @ Sala 2  
Universidade de Arte e Cultura de Shizuoka  
Faculdade de Administração e Política Cultural

Shigehiro Ikegami  
Eunice Akemi Ishikawa

## Pesquisa no Conjunto Residencial Toshincho

- Todos os residentes do conjunto provincial e apartamentos públicos (UR)
- Maiores de 16 anos
- Pesquisa realizada pela Univ. de Arte e Cultura de Shizuoka em novembro de 2014
- Entrevistadores: dos 20 estudantes, metade são estrangeiros
- 3 partes da pesquisa
  - Pesquisa A Japoneses (Individual)
  - Pesquisa B Estrangeiros (Individual)
  - Pesquisa C Estrangeiros (Família)

## Coleta dos questionários em número e porcentagem

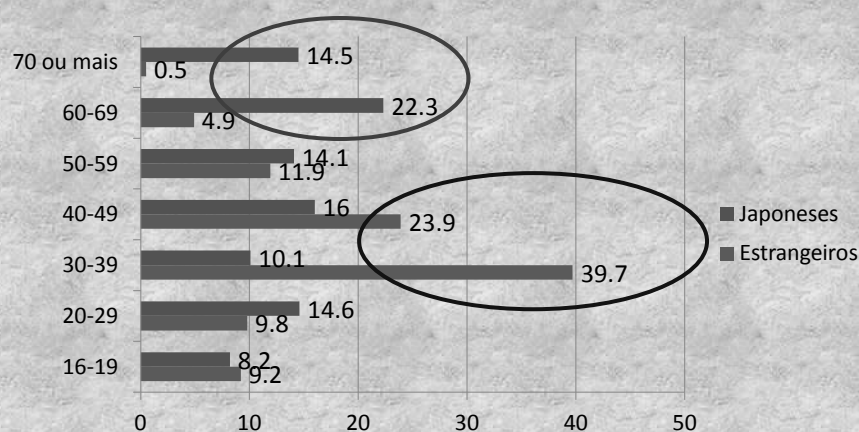
		リスト上の対象者数	調査票回収数	回収率
A票	日本人向け個人調査	352	229	<b>65.1%</b>
B票	外国人向け個人調査	402	197	<b>49.0%</b>
	やさしい日本語		11	
	ポルトガル語		171	
	スペイン語		9	
	英語		6	
C票	外国人向け世帯調査	198	104	<b>52.5%</b>
	やさしい日本語		5	
	ポルトガル語		88	
	スペイン語		8	
	英語		3	

Coleta dos questionários: Japanese (Individual) 65%

Estrangeiros (Individual) 49%, Estrangeiro (Família) 52,5%

## Comparação de Idade dos respondentes (%)

Japoneses (219)、Estrangeiros (184)



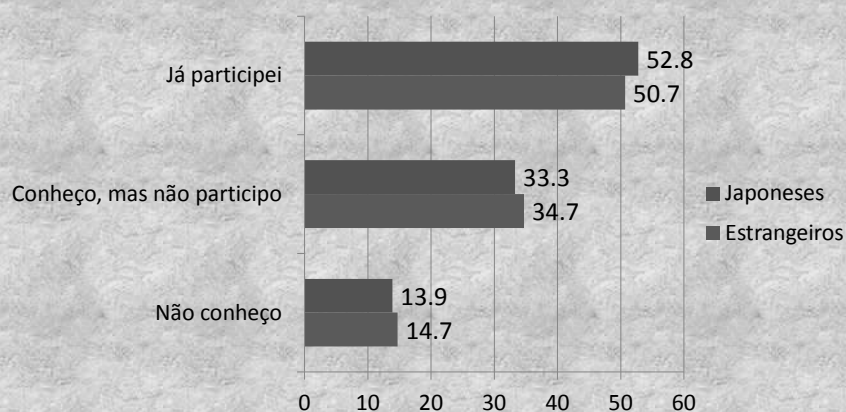
Idade média dos japoneses respondentes: faixa dos 60 e 70 anos ou mais.

Estrangeiros, maioria na faixa dos 30 a 40 anos ou mais.



### Participação na Associação de Residentes (%)

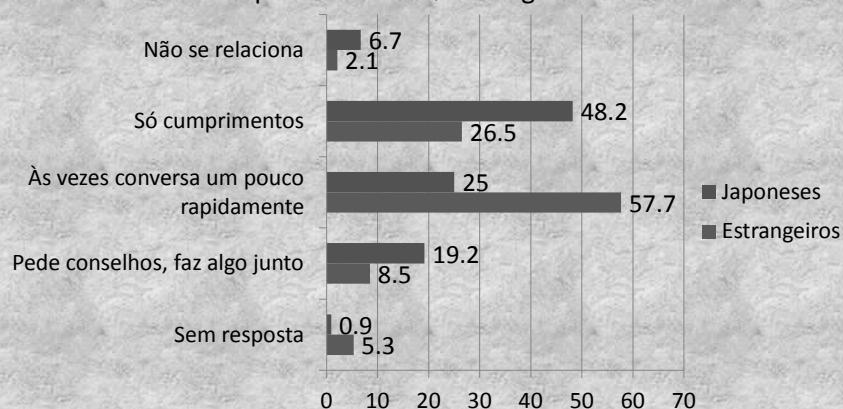
Japoneses (216) 、Estrangeiros (150)



Não apresenta grande diferença entre japoneses e estrangeiros.

### Relação com os moradores conterrâneos no residencial (%)

Japoneses (224) 、Estrangeiros (189)



Japoneses: Metade relaciona-se apenas com cumprimentos

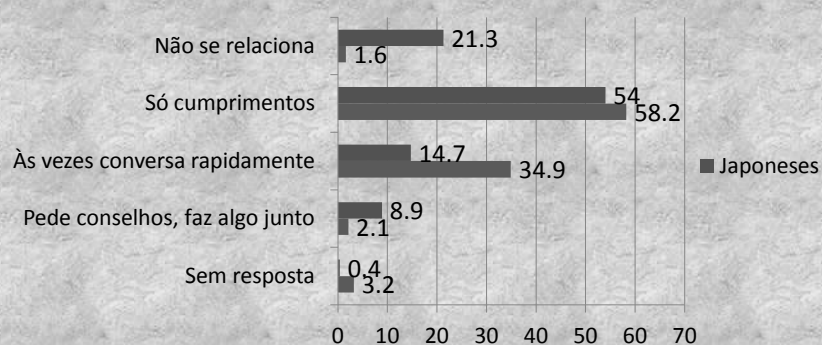
20% faz programas juntos ou pede conselhos uns aos outros

Estrangeiros: Maioria relaciona-se apenas com cumprimentos.

Poucos fazem algum programa juntos.

### Relacionamento entre estrangeiros e japoneses (%)

Japoneses (224) 、Estrangeiros (189)



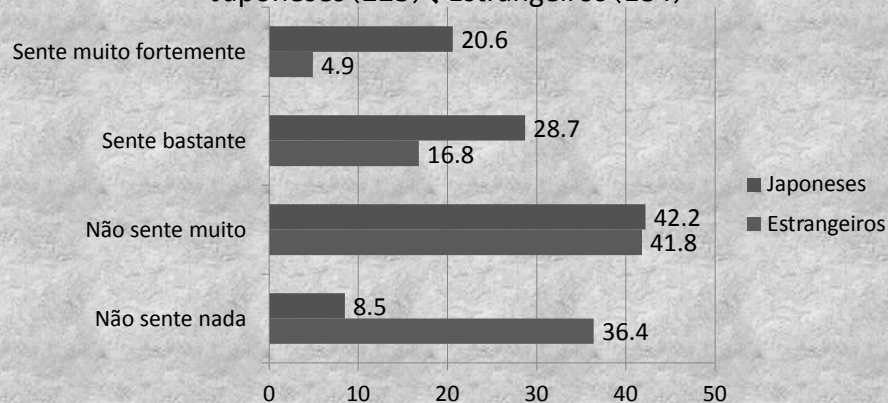
#### Diferença de percepção entre japoneses e estrangeiros.

Japoneses: 20 % sente que não tem relacionamento com os estrangeiros

Estrangeiros: Muitos sentem que conversam com os japoneses com certa frequência

### Barreiras entre estrangeiros e japoneses (%)

Japoneses (223) 、Estrangeiros (184)

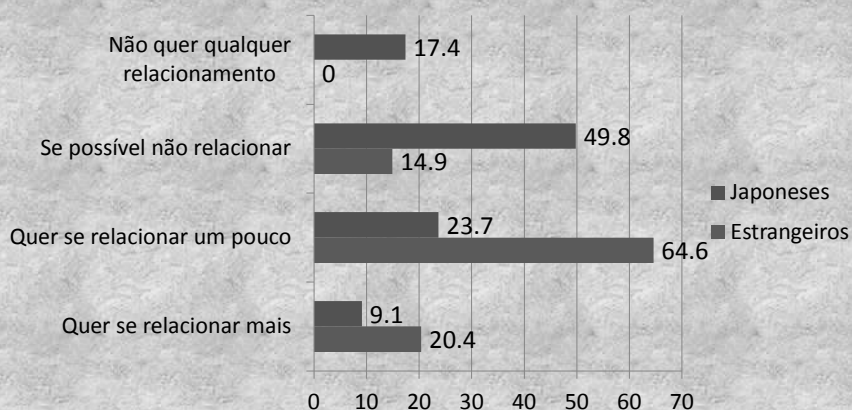


#### Diferença de percepção entre japoneses e estrangeiros.

Metade dos japoneses sente uma barreira em relação aos estrangeiros. Por outro lado, 36% dos estrangeiros não sente nenhuma barreira.

### Relações futuras entre estrangeiros e japoneses (%)

Japoneses (219) 、Estrangeiros (181)

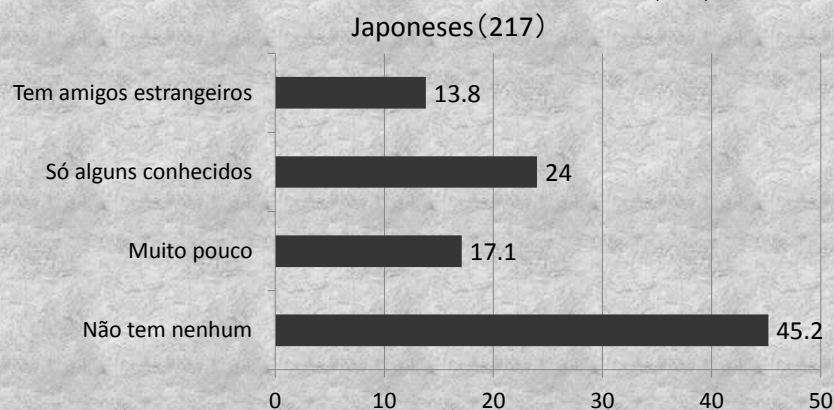


Japoneses têm pouco interesse em relacionar-se com os estrangeiros. Mas, 85% dos estrangeiros quer relacionar-se com os japoneses.

### Conclusão (1)

- Relacionamento forte com empreiteiras, por isso mesmo quando existe algum problema, poucos recorrem aos residentes conterrâneos .
- Mesmo morando neste residencial, poucos pensam que este é “O SEU LUGAR”.
- Mesmo que haja um grande número de residentes estrangeiros, isso não significa que exista uma “COMUNIDADE ESTRANGEIRA” formada.
- Muitos estrangeiros querem se relacionar melhor com os japoneses.
- É necessário um novo tipo de relacionamento.

### Relacionamento dos japoneses com estrangeiros fora do residencial Toshincho (%)

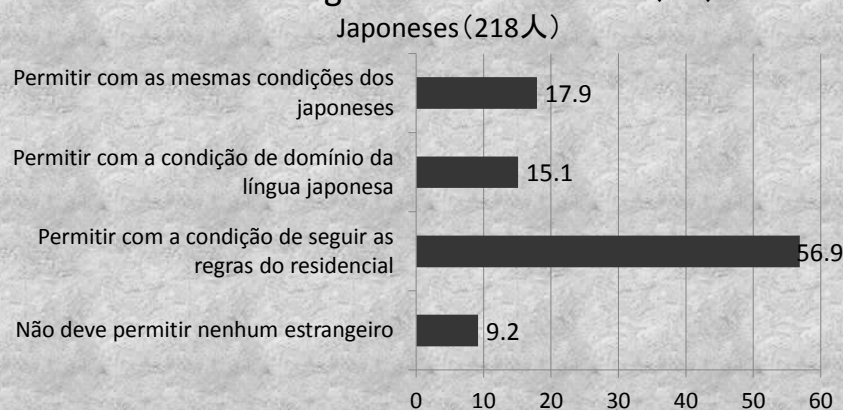


14% tem amigos estrangeiros.

Mesmo incluindo os conhecidos, apenas 37,8% tem algum relacionamento com estrangeiros, ou seja 1/3 dos respondentes.

Entre eles, 45% no trabalho, 18% na escola e 11% através dos filhos.

### Condições para a entrada de estrangeiros no residencial (%)

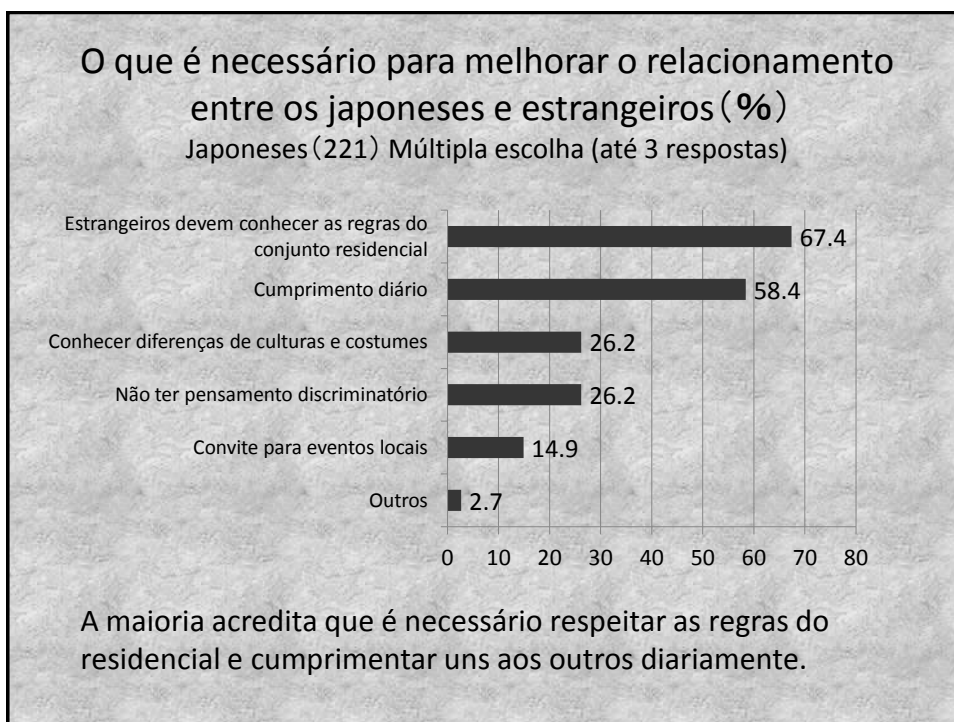
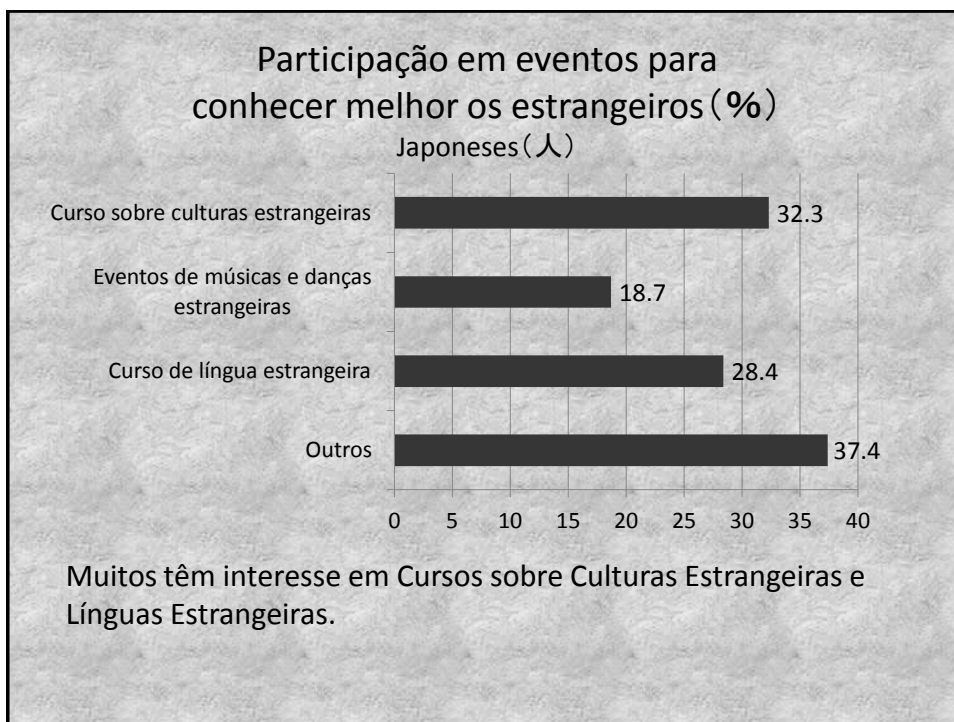


Respeitar as regras do residencial.

Mas quais são as regras? Como informar estas regras aos estrangeiros?

10% dos japoneses rejeita fortemente a entrada de estrangeiros.

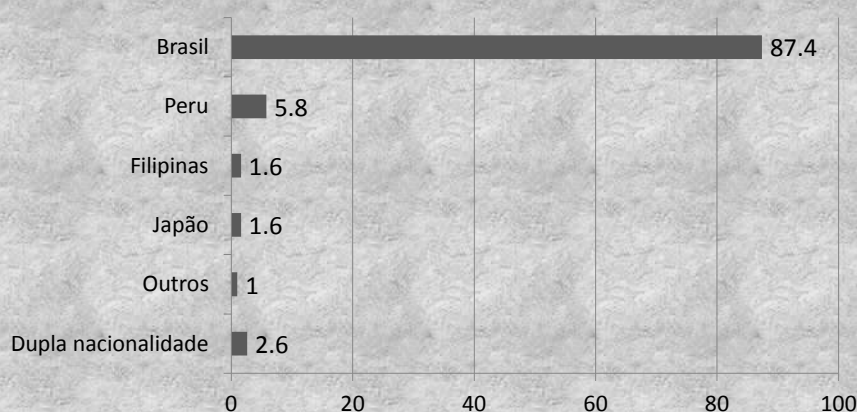
Não é impossível a convivência multicultural no residencial.



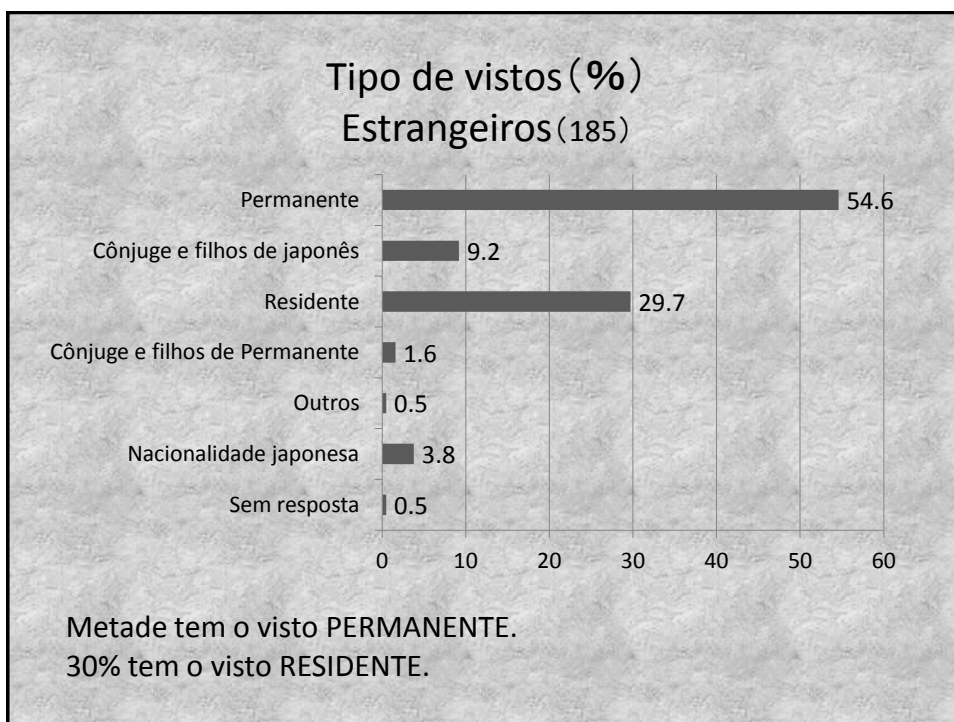
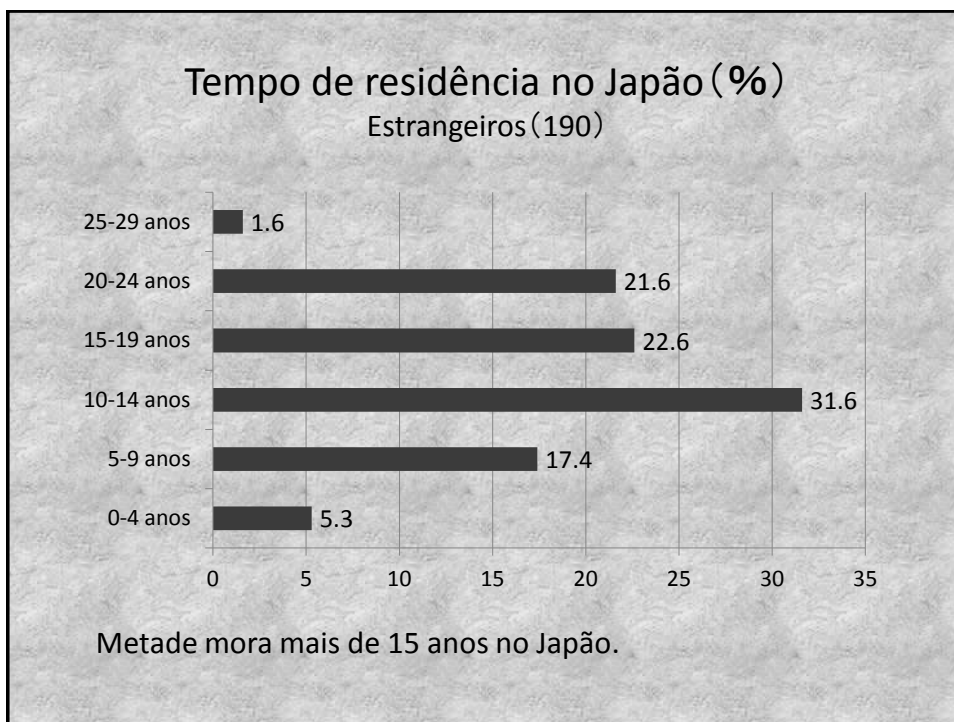
## Conclusão (2)

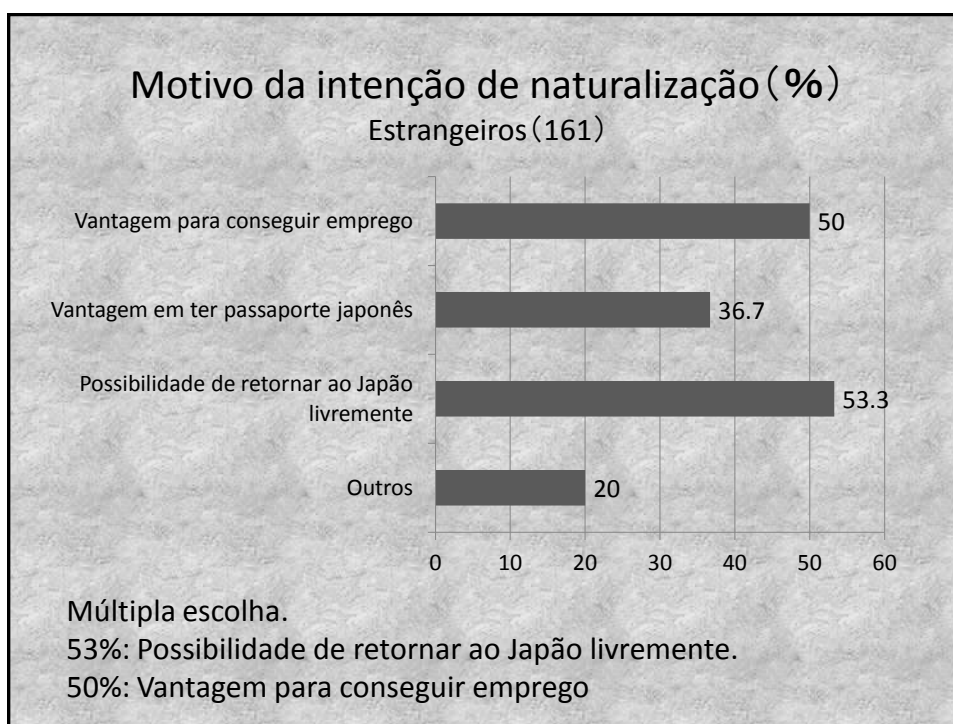
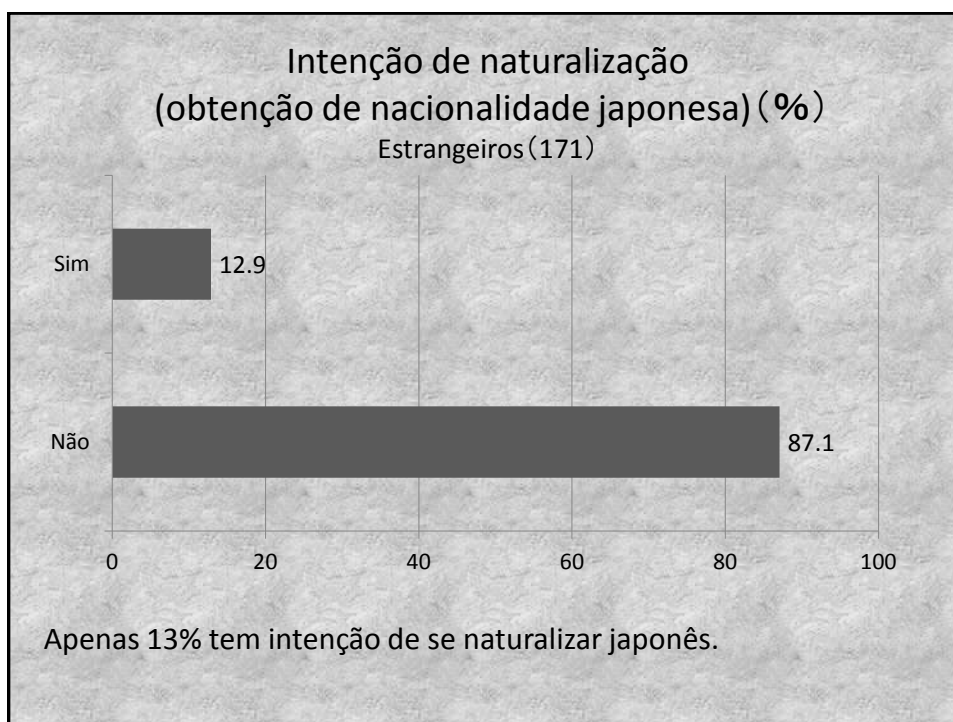
- Poucos têm relacionamentos com estrangeiros fora do residencial. Os que têm, são através do trabalho ou dos filhos.
- A maioria dos japoneses pede mais respeito às regras do residencial a todos os moradores.
- Por outro lado, muitos japoneses têm interesse em cursos sobre culturas e línguas estrangeiras.
- É necessário um relacionamento mútuo respeitando as regras do residencial, e uma relação onde as pessoas se cumprimentem diariamente.

Nacionalidade dos estrangeiros (%)  
Estrangeiros (191)



A maioria é de nacionalidade brasileira.







## Informações do dia-a-dia (%)

Estrangeiros (189)



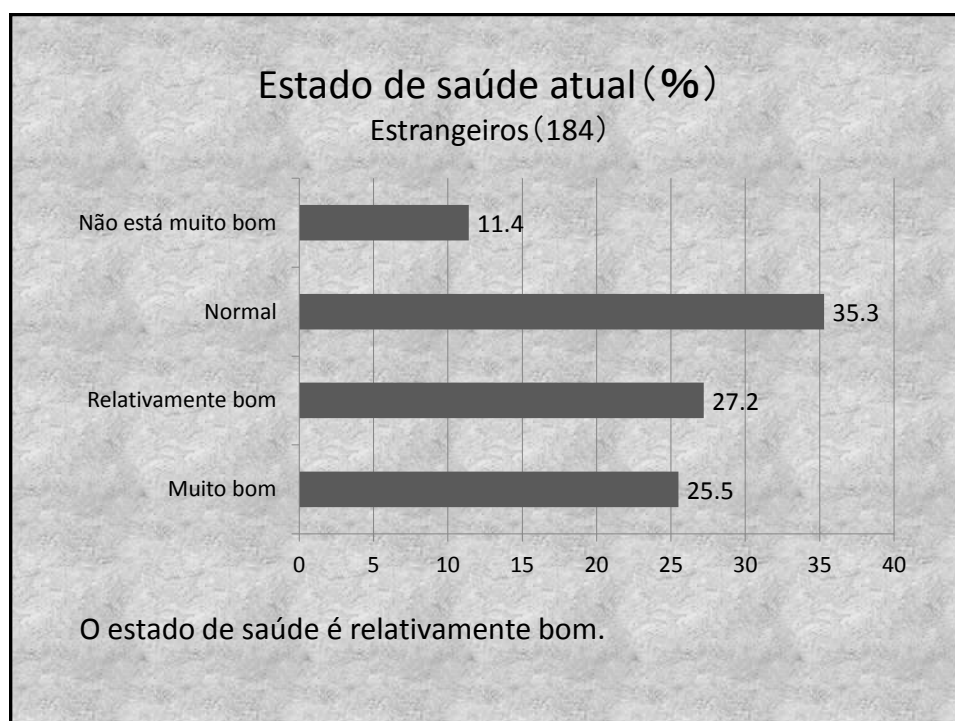
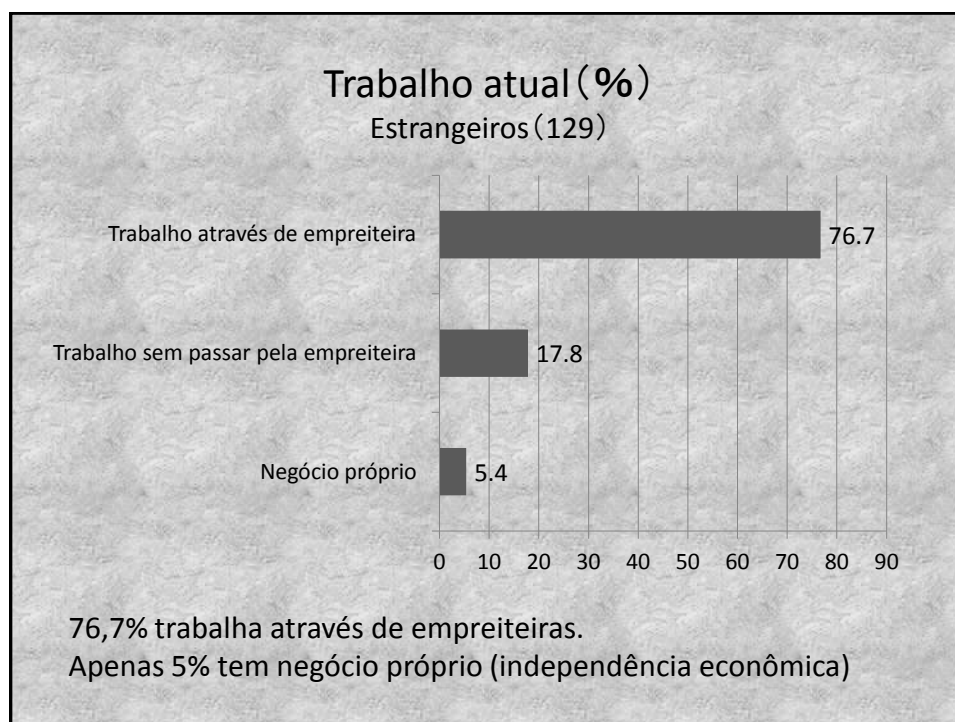
Os 4 mais escolhidos são via língua nativa.

Mas, 47% também obtêm através de rádio e TV japoneses.

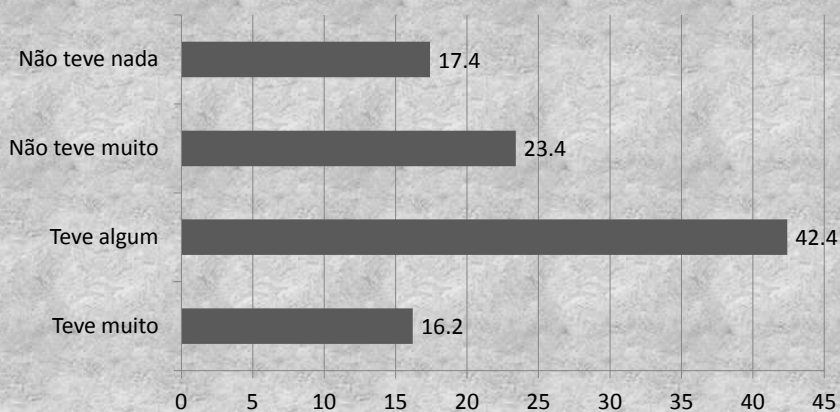
Poucos obtêm através de japoneses.

## Conclusão (3)

- Maioria dos respondentes é brasileiro.
- Metade mora no Japão mais de 15 anos.
- 55% tem o visto PERMANENTE, mas apenas 13% tem intenção de naturalizar-se japonês.  
Dúvidas em residir permanentemente no Japão?
- Muita dependência da língua nativa para obter informações do dia-a-dia
  - Jornais e revistas na língua nativa, Facebook
  - Informativo na língua nativa
  - Informações através de amigos conterrâneos

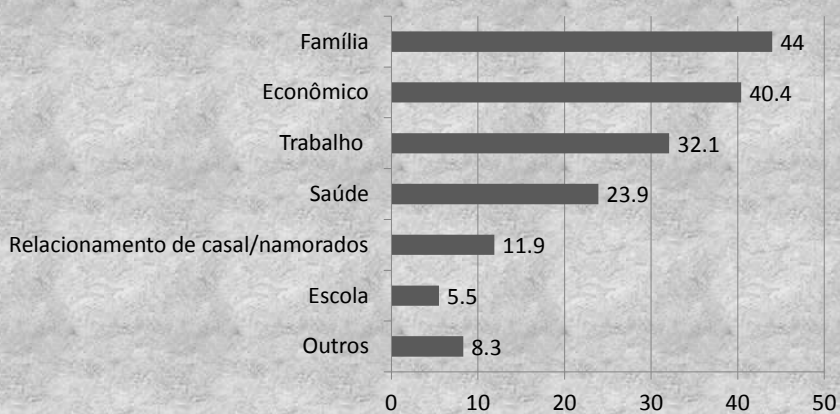


### Estresse e preocupação neste último ano (%) Estrangeiro (184)



Mais da metade teve algum tipo de preocupação ou estresse.  
16% teve com muita frequência.

### Motivo da preocupação ou estresse (%) Estrangeiros (184)



Problemas de família, econômico e de trabalho estão ligados entre si nos motivos de preocupação e estresse.

### Planos de permanência no Japão (%)

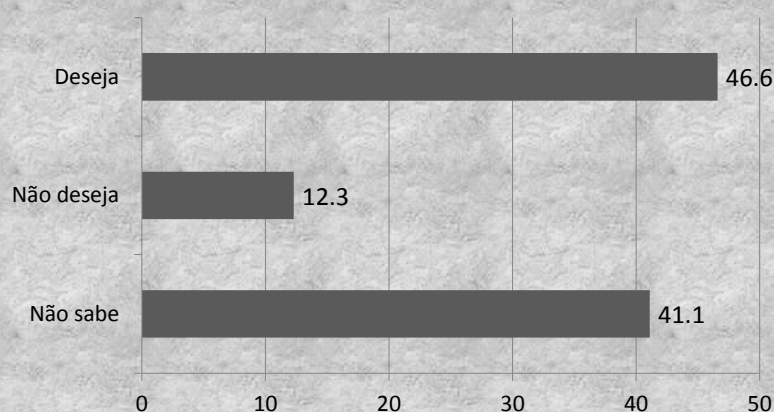
Estrangeiros (183)



13,7% tem intenção clara de residir permanentemente.  
Talvez por motivo de instabilidade no trabalho, 63% não sabe quanto tempo mais vai residir no Japão.

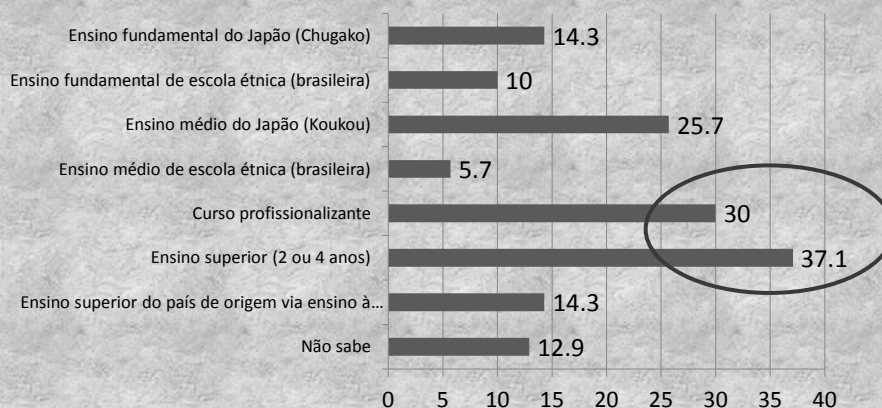
### Futuro dos filhos no Japão (%)

Estrangeiros (73)



Quase a metade quer que os filhos fiquem no Japão.  
Mas, 41% respondeu que não sabe.  
Aqui pode-se ver a indecisão e incerteza dos pais.

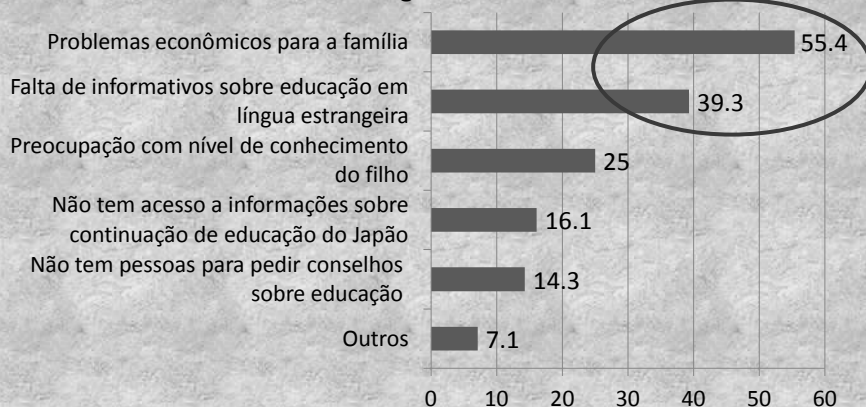
### Educação dos filhos (%) Estrangeiros (70)



37% quer que os filhos terminem o ensino superior (curso 2 ou 4 anos).

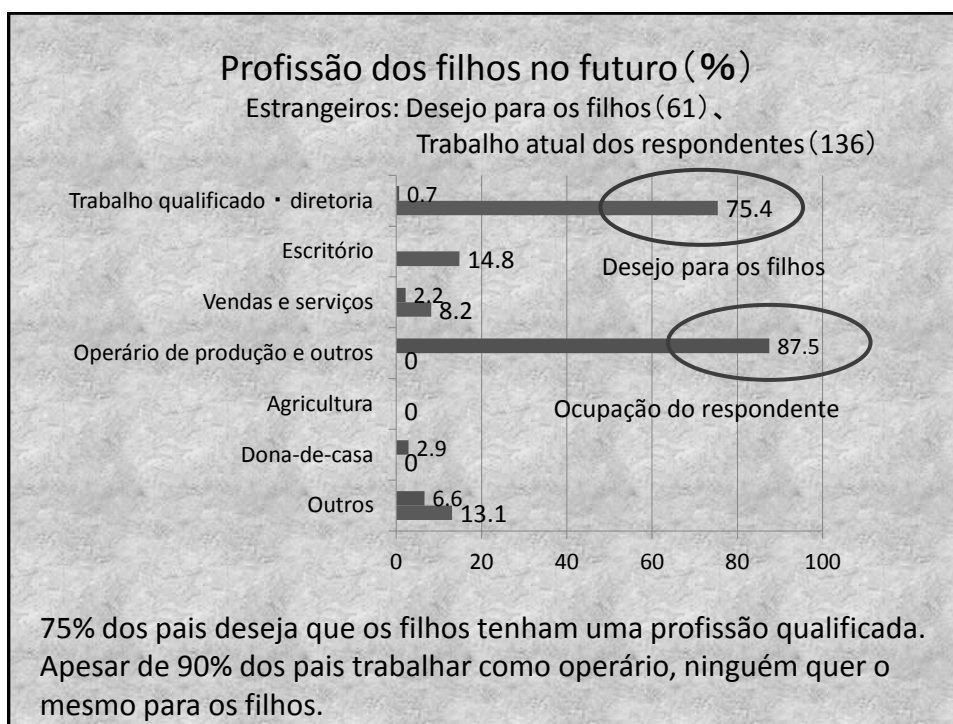
67% quer que os filhos continuem os estudos após o ensino médio.

### Problemas na continuação da educação dos filhos (%) Estrangeiros (56)



Preocupação com problemas econômicos da família (55%).

Falta de informação sobre como continuar os estudos no Japão (40%).



## Conclusão (4)

- As condições de trabalho quase não mudaram nos últimos 20 anos.
  - Contrato indireto e trabalho em fábricas.
  - Contratos temporários e instáveis.
  - Dificuldades de ascensão social e econômica.
- Planos dos pais para os filhos no Japão
  - Desejam que os filhos estudem no Japão e obtenham uma profissão estável no Japão.
  - Porém, há problemas econômicos e a falta de informações.

関連新聞記事  
静岡新聞  
2014年8月2日

# 外国人など生活調査

## 市、多文化共生推進へ

磐田の東新町団地

静岡文化芸術大の池上重弘教授らの研究チームは、今秋、磐田市で特に外国人居住率が高い東新町団地の生活状況について実態調査に乗り出す。居住者の生活や子育てに関する意識を把握し、市の多文化共生施策推進に役立つ提言をまとめる。

同団地はリーマン・ショック以降、居住者が大幅に変わったが、これまで市などに居住者の実態を詳細に調べる機会がなかった。池上教授ら研究チームは、同市東新町に立地する東新町団地やUR（都市再生機構）住宅には世帯調査も行う。

調査票は日本語、ポルトガル語など5カ国語に対応する。同大の池上教授は1日、市役所で市や自治会などの関係者と調査票の質を高め、回収し、調査結果を分析し、文化共生推進の道しるべとなる報告書を仕上げたい」と語った。

# 「共生」日本人側に壁

静岡文化芸術大 磐田で調査 外国人と意識のずれ

関連新聞記事  
静岡新聞  
2015年2月11日

静岡文化芸術大の池上重弘教授らの研究チームが、今秋、磐田市の外国人居住率が高い東新町団地で実施した意識調査の結果を報告した。日本人居住者との交流を望む外国人が多い一方、日本人は外国人との関わりに消極的であることがうかがえた。池上教授は「日本人側が共生への壁を強く感じている」と分析した。調査結果は市の多文化共生推進施策に役立てる。

調査は昨年11月、同大の外国人籍学生たちが対面式で行った。16歳以上の全居住者が対象で、日本人は352人中229人（回収率65・1%）、外国人は402人中197人（同49%）、外国人世帯は198世帯中104世帯（同52・5%）から回答を得た。

日本人は外国人との関係について全く関わりたくない、なるべし関わりたくないという人が計67・2%を占めた。一方、外国人で日本人と関わりたくないと言った人は計と分かった。

また子どもの教育に関する質問では、多くの外国人が日本での進学・就職を望んでいることが判明。わが子に日本での安定した生活を期待しながらも、経済状況や進学情報の不足が問題になっている

---

磐田市東新町団地の生活状況をめぐる調査  
の詳細分析報告書

2016 年 3 月 印刷発行

編集

池上重弘、上田ナンシー直美

発行 静岡文化芸術大学

430-8533 浜松市中区中央 2 丁目 1-1

TEL (053) 457-6156

FAX (053) 457-6156

Email: ikegami@suac.ac.jp

印刷 松本印刷株式会社

435-0048 浜松市東区上西町8の3

TEL (053) 464-8359

FAX (053) 464-9126

---